

安城市障害者福祉計画策定のための
アンケート
【調査結果報告書】

令和8年3月
安城市

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査の実施概要.....	2
3 報告書の見方.....	6
第2章 18歳以上の障害のある人へのアンケート調査結果.....	7
1 あなた自身について.....	8
2 あなたの日中の暮らしについて.....	17
3 お仕事について.....	36
4 障害福祉サービスなどについて.....	41
5 相談や情報などについて.....	52
6 障害理解などについて.....	60
7 災害時の避難について.....	66
8 市の施策について.....	70
9 自由意見について.....	76
第3章 18歳未満の障害のある人へのアンケート調査結果.....	79
1 あなた自身について.....	80
2 日中の暮らしについて.....	90
3 園や学校について.....	100
4 将来の暮らしなどについて.....	103
5 福祉サービスなどについて.....	109
6 相談や情報などについて.....	118
7 障害理解などについて.....	122
8 災害時の避難について.....	125
9 市の施策について.....	129
10 あて名のお子さんの保護者について.....	135
11 自由意見について.....	147
第4章 18歳以上の一般市民へのアンケート調査結果.....	149
1 あなた自身について.....	150
2 障害のある人との関わりについて.....	152
3 障害のある人への差別・権利擁護について.....	153
4 障害のある人の地域生活について.....	155
5 障害のある人への手助けについて.....	157
6 障害のある人の就労について.....	161
7 障害のある児童・生徒の教育について.....	162
8 障害のある人への虐待について.....	163

9 障害者施策などについて	164
10 自由意見について.....	166
第5章 18歳未満の一般市民へのアンケート調査結果.....	169
1 あなた自身について	170
2 障害のある人への手助けについて	173
3 障害者施策などについて	179
4 自由意見について.....	187

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、18歳以上の障害のある人、18歳未満の障害のある人、18歳以上の一般市民、18歳未満の一般市民の意識や実態等を把握し、次期障害者計画等策定のための基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2 調査の実施概要

調査の実施概要は次のとおりです。

①調査期間

令和7年12月19日から令和8年1月9日まで（督促1回）

②調査手法

郵送による配布、郵送による回収又はWEBを通じた回答

③調査対象者及び抽出方法

	区分	配布数（票）	抽出方法
1	18歳以上の障害のある人	2,400	18歳以上の各手帳所持者又は各受給者証所持者から無作為抽出
	身体障害者手帳所持者	1,000	
	療育手帳所持者	500	
	精神障害者保健福祉手帳所持者又は自立支援医療受給者証（精神通院）所持者	700	
	特定医療費受給者証所持者	200	
2	18歳未満の障害のある人	600	18歳未満の障害者手帳所持児童又は障害児支援サービス利用児童から無作為抽出
3	18歳以上の一般市民	1,400	18歳以上の一般市民から無作為抽出
4	18歳未満の一般市民	1,000	10歳～18歳未満の一般市民から無作為抽出
	合計	5,400	

④回収状況

区分		配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)
1	18歳以上の障害のある人	2,400	1,395	58.1
2	18歳未満の障害のある人	600	339	56.5
3	18歳以上の一般市民	1,400	734	52.4
4	18歳未満の一般市民	1,000	474	47.4
合計		5,400	2,942	54.5

■回答形式の状況

区分		回収数 (票)	郵送回答 (票)	WEB回答 (票)
1	18歳以上の障害のある人	1,395 (100.0%)	1,133 (81.2%)	262 (18.8%)
2	18歳未満の障害のある人	339 (100.0%)	204 (60.2%)	135 (39.8%)
3	18歳以上の一般市民	734 (100.0%)	499 (68.0%)	235 (32.0%)
4	18歳未満の一般市民	474 (100.0%)	270 (57.0%)	204 (43.0%)
合計		2,942 (100.0%)	2,106 (71.6%)	836 (28.4%)

■回答者の所持手帳等の状況

18歳以上の障害のある人

身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	自立支援医療受給 者証（精神通院）	特定医療費 受給者証	回答者数
○					497
	○				181
		○			12
			○		153
				○	110
○	○				60
○	○	○			2
○	○	○	○	○	3
○	○		○	○	4
○	○			○	11
○		○			10
○		○	○		18
○		○	○	○	3
○			○		24
○			○	○	6
○				○	56
	○	○			3
	○	○	○		2
	○	○	○	○	2
	○	○		○	1
	○		○		28
	○		○	○	1
	○			○	7
		○	○		120
		○	○	○	10
		○		○	2
			○	○	5

※手帳の所持状況等が不明である者もいるため、回答者数の合計は回収数と一致しません。

18歳未満の障害のある人

身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	自立支援医療受給 者証（精神通院）	特定医療費 受給者証	回答者数
○					22
	○				135
		○			16
			○		14
				○	1
○	○				18
○	○	○			1
○	○	○	○	○	1
○	○			○	2
○		○			2
○		○	○		2
○		○	○	○	1
○				○	1
	○	○			2
	○	○	○		1
	○	○	○	○	1
	○		○		3
	○		○	○	2
	○			○	4
		○	○		7

※手帳の所持状況等が不明である者もいるため、回答者数の合計は回収数と一致しません。

3 報告書の見方

●表記について

グラフ中に記載している語句の定義は次のとおりです。

- ・「身体」は、「身体障害者手帳をお持ちですか」の質問に「持っている」と回答した方
- ・「療育」は、「療育手帳をお持ちですか」の質問に「持っている」と回答した方
- ・「精神」は、「精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか」の質問に「持っている」と回答した方、又は「自立支援医療受給者証（精神通院）をお持ちですか」の質問に「持っている」と回答した方
- ・「難病」は「特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちですか」の質問に「持っている」と回答した方
- ・「手帳非所持」は身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳（又は自立支援医療受給者証（精神通院））のいずれも持っていないと回答した方（18歳未満の障害のある人へのアンケート調査のみ）

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果とクロス集計結果を記載しています。なお、クロス集計結果では、性別等の不明・無回答者が含まれていないため、クロス集計結果の回答者総数の合計と全体の回答者総数は合致しません。

また、18歳以上の障害のある人と18歳未満の障害のある人への調査の「合計」には、手帳又は受給者証をいずれも持っていないと回答した方が含まれます。

●「n」について

グラフ中の「n」とは、number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるもの全てに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

●「不明・無回答」について

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。

●クロス集計について

集計対象者総数（n）が少ない（10件未満）クロス集計については、分析文の記載を省略しています。

●表について

表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、**最も割合の高い項目**と**二番目に割合の高い項目**と**三番目に割合の高い項目**を表しています。

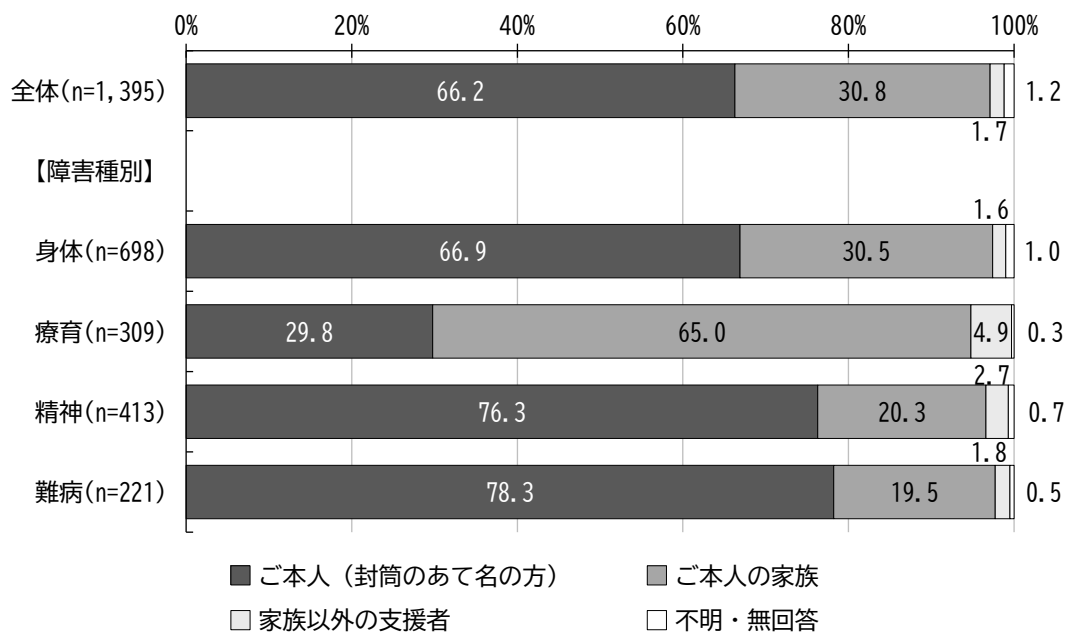
第2章 18歳以上の障害のある人へのアンケート調査結果

1 あなた自身について

問1 ご記入いただくのは、どなたですか。(○は1つ)

調査の記入者は、「ご本人（封筒のあて名の方）」が66.2%と最も高く、次いで「ご本人の家族」が30.8%、「家族以外の支援者」が1.7%となっています。

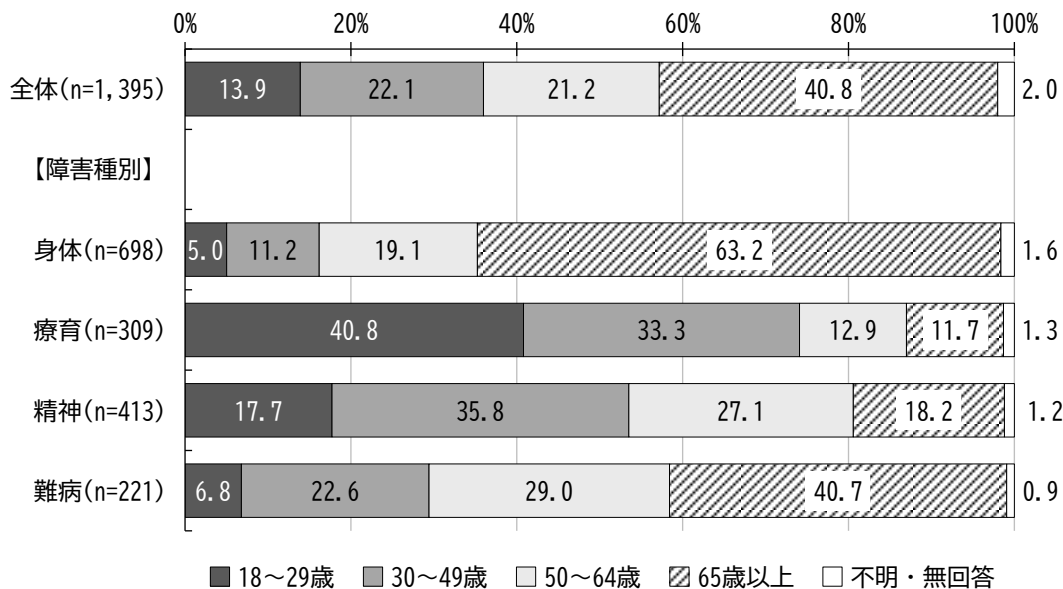
障害種別にみると、療育では「ご本人の家族」、その他の区分では「ご本人（封筒のあて名の方）」が最も高くなっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入)
(令和7年12月1日時点)

年齢は、「65歳以上」が40.8%と最も高く、次いで「30～49歳」が22.1%、「50～64歳」が21.2%となっています。

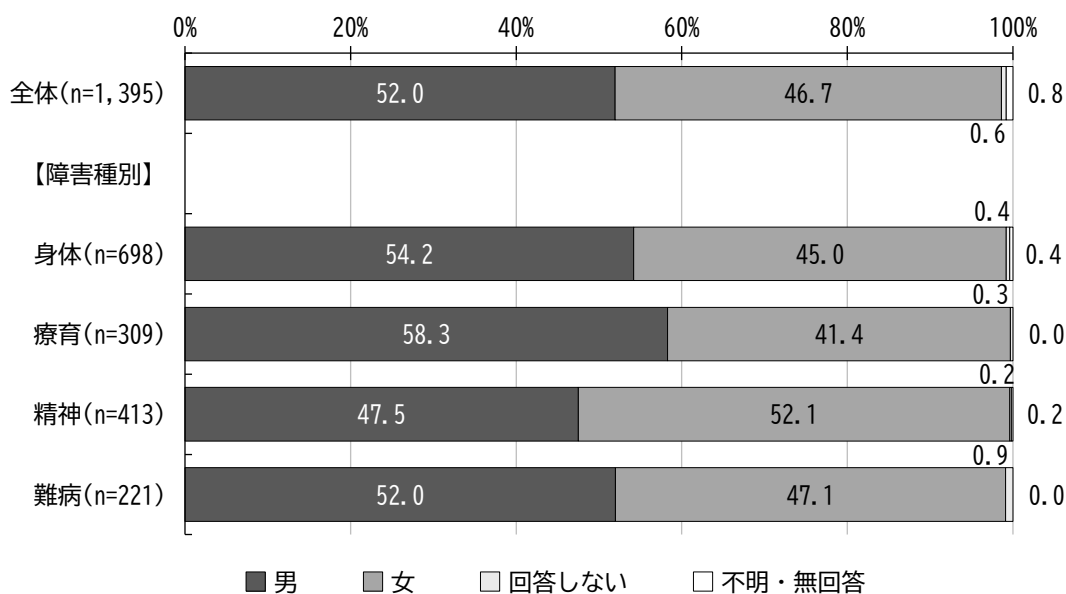
障害種別にみると、身体・難病では「65歳以上」、療育では「18～29歳」、精神では「30～49歳」が最も高くなっています。



問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

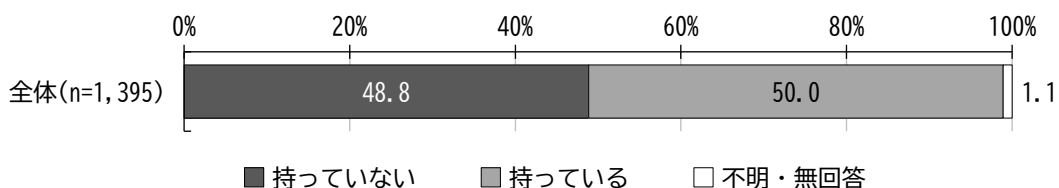
性別は、「男」が52.0%と最も高く、次いで「女」が46.7%、「回答しない」が0.6%となっています。

障害種別にみると、精神では「女」、その他の区分では「男」が最も高くなっています。



問4 身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つ)

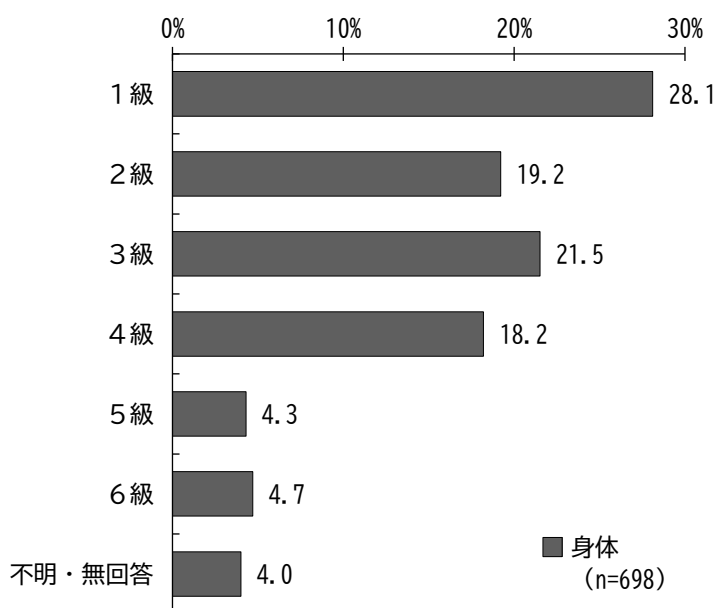
身体障害者手帳の所持状況は、「持っていない」が48.8%、「持っている」が50.0%となっています。



問4で「持っている」と答えた方

問4-1 お持ちの等級（総合等級）をお答えください。(○は1つ)

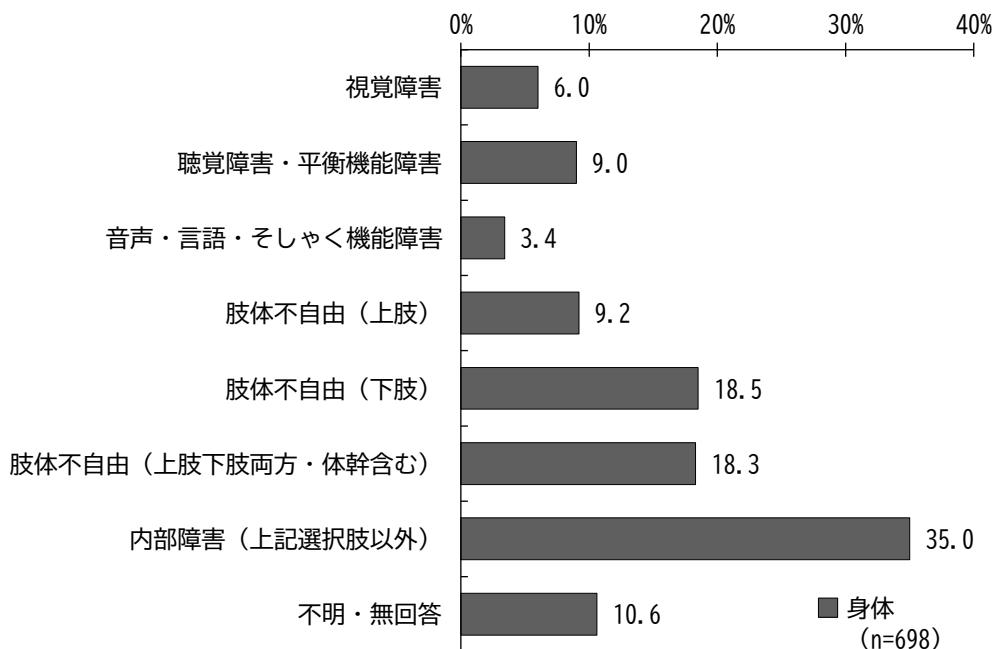
身体障害者手帳の等級（総合等級）は、「1級」が28.1%と最も高く、次いで「3級」が21.5%、「2級」が19.2%となっています。



問4で「持っている」と答えた方

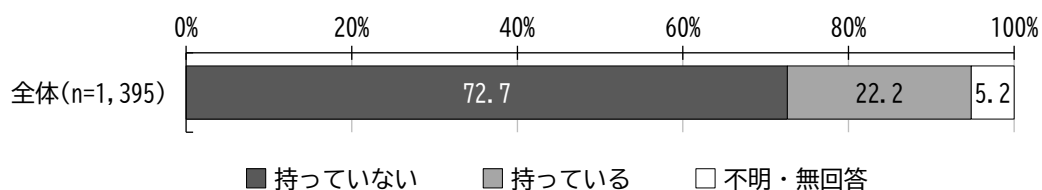
問4-2 手帳に記載のある障害をお答えください。(○はいくつでも)

身体障害者手帳に記載のある障害は、「内部障害（上記選択肢以外）」が35.0%と最も高く、次いで「肢体不自由（下肢）」が18.5%、「肢体不自由（上肢下肢両方・体幹含む）」が18.3%となっています。



問5 療育手帳をお持ちですか。(○は1つ)

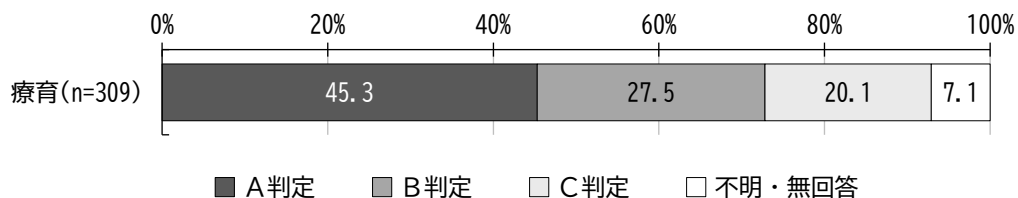
療育手帳の所持状況は、「持っていない」が72.7%、「持っている」が22.2%となっています。



問5で「持っている」と答えた方

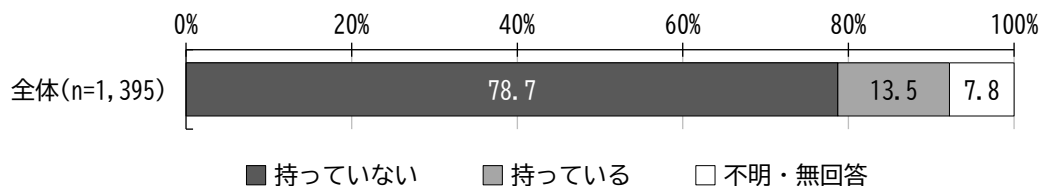
問5-1 お持ちの等級をお答えください。(○は1つ)

療育手帳の等級は、「A判定」が45.3%と最も高く、次いで「B判定」が27.5%、「C判定」が20.1%となっています。



問6 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つ)

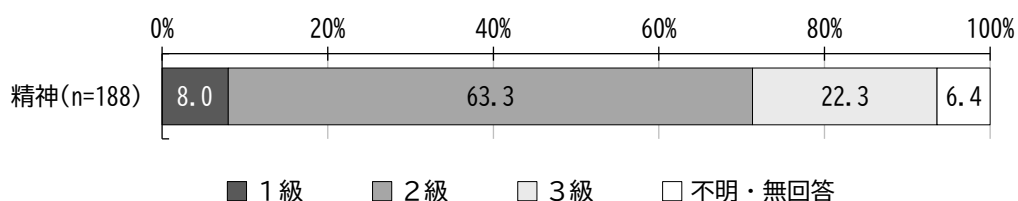
精神障害者保健福祉手帳の所持状況は、「持っていない」が78.7%、「持っている」が13.5%、「不明・無回答」が7.8%となっています。



問6で「持っている」と答えた方

問6-1 お持ちの等級をお答えください。(○は1つ)

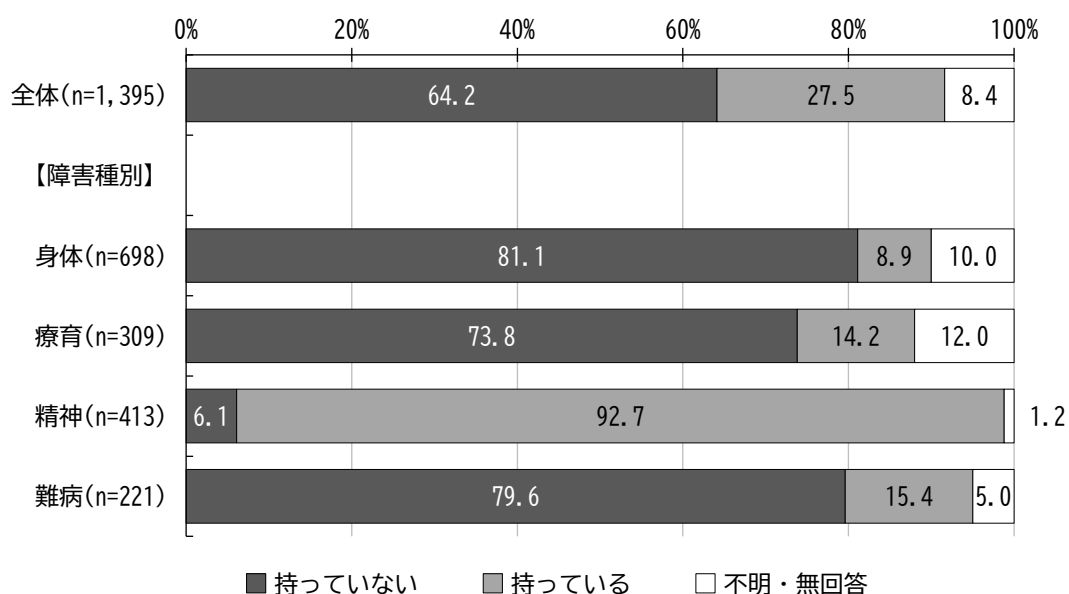
精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が63.3%と最も高く、次いで「3級」が22.3%、「1級」が8.0%となっています。



問7 自立支援医療受給者証（精神通院）をお持ちですか。(○は1つ)

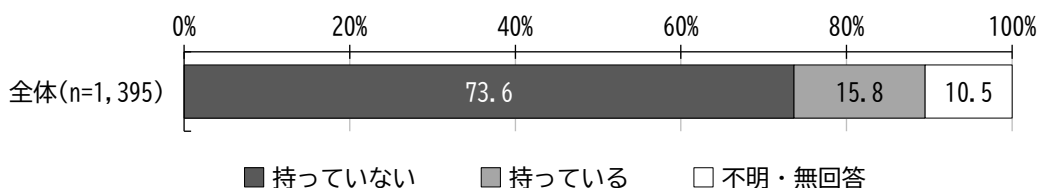
自立支援医療受給者証（精神通院）の所持状況は、「持っていない」が64.2%、「持っている」が27.5%、「不明・無回答」が8.4%となっています。

障害種別にみると、精神では「持っている」、その他の区分では「持っていない」が高くなっています。



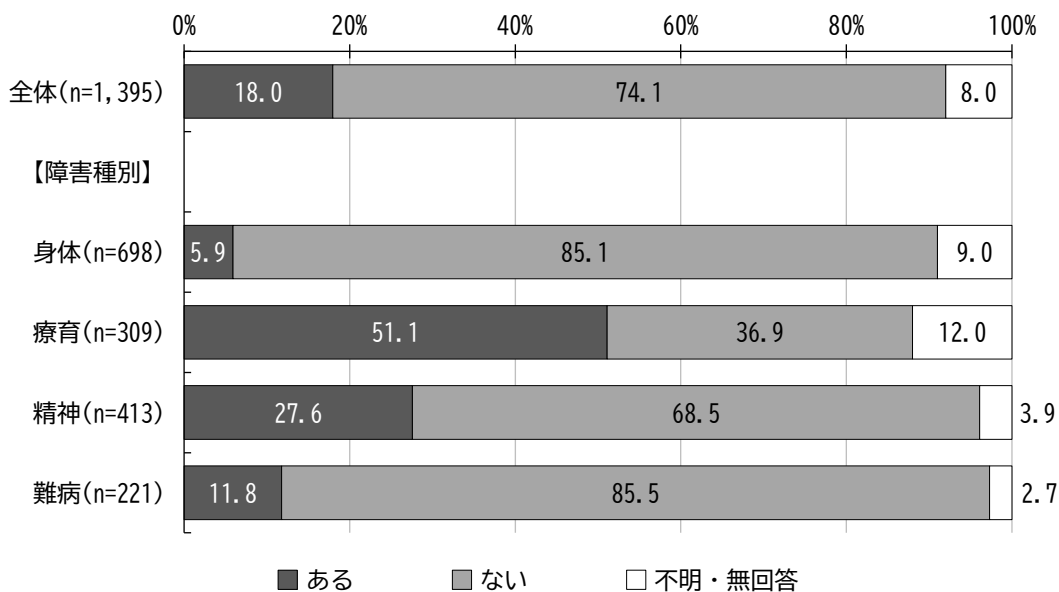
問8 特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちですか。（○は1つ）

特定医療費（指定難病）受給者証の所持状況は、「持っていない」が73.6%、「持っている」が15.8%となっています。



問9 あなたは、手帳の有無にかかわらず、発達障害またはその疑いがあると診断されたことはありますか。（○は1つ）

発達障害の診断の有無は、「ある」が18.0%、「ない」が74.1%となっています。障害種別にみると、療育では「ある」、その他の区分では「ない」が高くなっています。

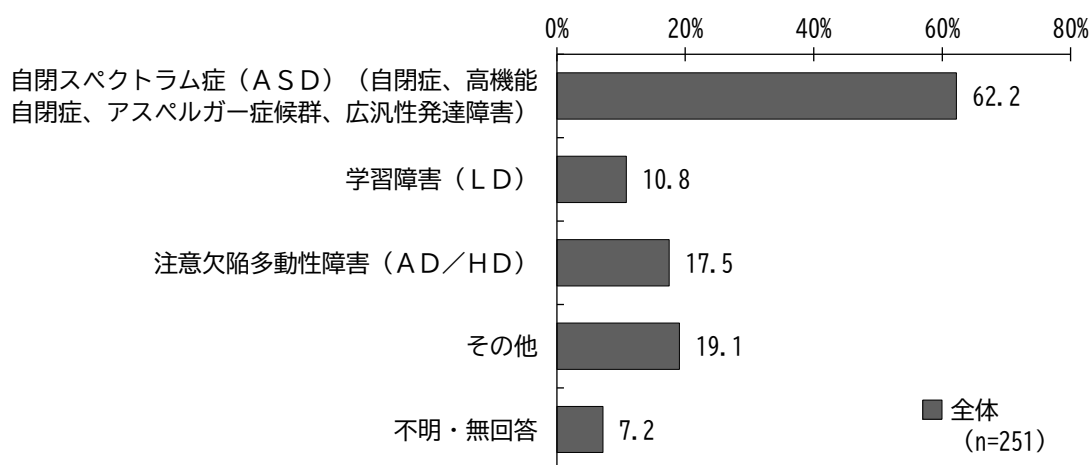


問9で「ある」と答えた方

問9-1 障害の内容を教えてください。(〇はいくつでも)

障害の内容は、「自閉スペクトラム症（ASD）（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）」が62.2%と最も高く、次いで「その他」が19.1%、「注意欠陥多動性障害（AD/HD）」が17.5%となっています。

障害種別にみると、身体では「その他」、その他の区分では「自閉スペクトラム症（ASD）（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）」が最も高くなっています。

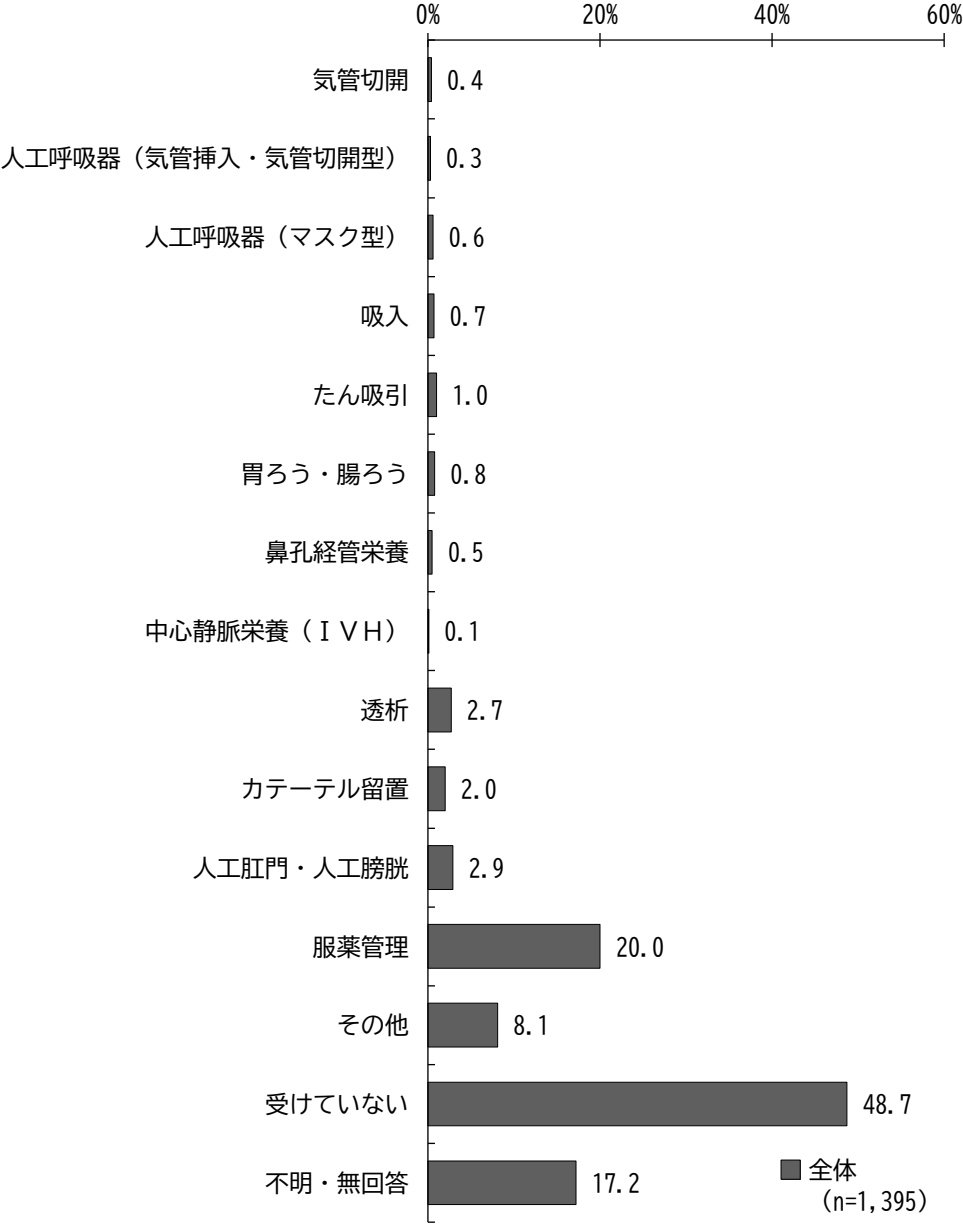


単位：%		自閉スペクトラム症（ASD）（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）	学習障害（LD）	注意欠陥多動性障害（AD/HD）	その他	不明・無回答
全体 (n=251)		62.2	10.8	17.5	19.1	7.2
障害種別	身体 (n=41)	31.7	17.1	17.1	36.6	17.1
	療育 (n=158)	63.9	13.3	5.1	23.4	7.0
	精神 (n=114)	62.3	14.0	35.1	8.8	5.3
	難病 (n=26)	50.0	26.9	19.2	23.1	15.4

問10 現在受けている医療的ケアがあればお答えください。
(〇はいくつでも)

現在受けている医療的ケアは、「受けていない」が48.7%と最も高く、次いで「服薬管理」が20.0%、「その他」が8.1%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「受けていない」が最も高くなっています。



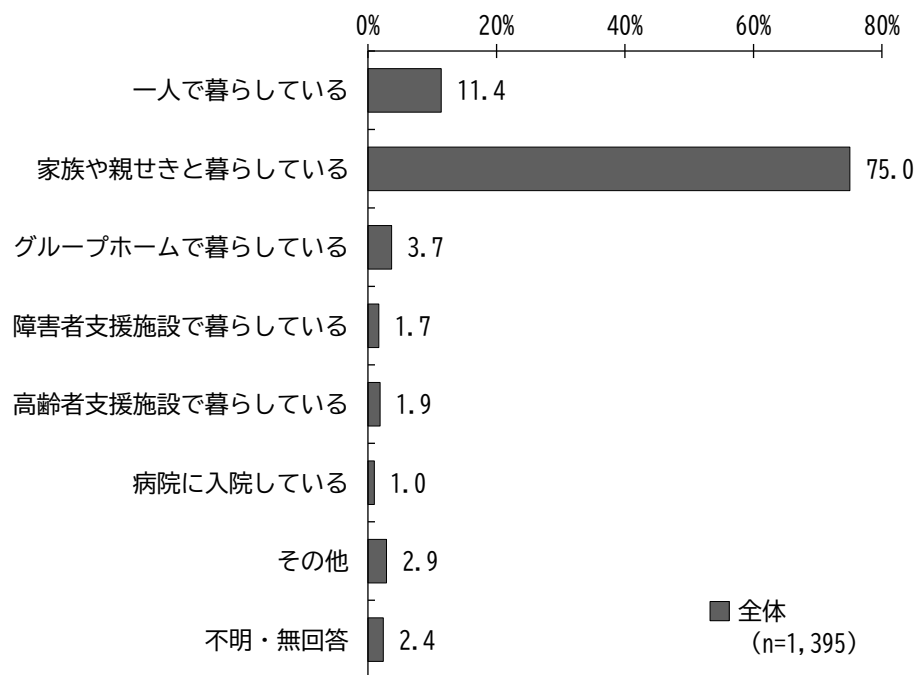
単位：％		気管切開	人工呼吸器（気管挿入・気管切開型）	人工呼吸器（マスク型）	吸入	たん吸引	胃ろう・腸ろう	鼻孔経管栄養	中心静脈栄養（IVH）
全体（n=1,395）		0.4	0.3	0.6	0.7	1.0	0.8	0.5	0.1
障害種別	身体（n=698）	0.9	0.6	1.0	1.3	1.7	1.6	0.3	0.3
	療育（n=309）	0.3	0.3	0.3	1.0	0.3	1.0	0.0	0.0
	精神（n=413）	0.0	0.2	0.0	1.0	0.2	0.2	0.0	0.0
	難病（n=221）	0.0	0.9	0.5	0.9	3.2	2.3	2.7	0.5

単位：％		透析	カテーテル留置	人工肛門・人工膀胱	服薬管理	その他	受けていない	不明・無回答
全体（n=1,395）		2.7	2.0	2.9	20.0	8.1	48.7	17.2
障害種別	身体（n=698）	5.3	3.6	5.0	20.2	9.5	40.5	17.6
	療育（n=309）	0.0	1.0	0.6	12.0	7.4	57.0	21.4
	精神（n=413）	1.2	0.2	0.5	21.8	6.1	55.0	16.7
	難病（n=221）	7.2	2.3	1.8	24.0	10.0	39.8	16.7

2 あなたの日中の暮らしについて

問11 あなたは、現在どのように暮らしていますか。(〇は1つ)

現在の暮らし方は、「家族や親せきと暮らしている」が75.0%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」が11.4%、「グループホームで暮らしている」が3.7%となっています。
障害種別にみると、全ての区分で「家族や親せきと暮らしている」が最も高くなっています。

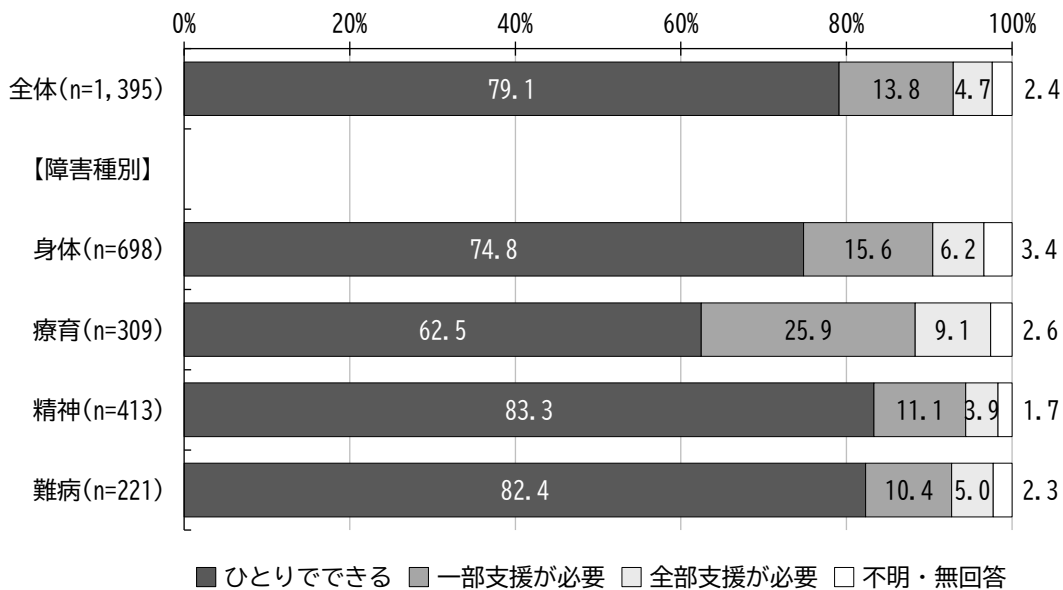


単位：%		一人で暮らしている	家族や親せきと暮らしている	グループホームで暮らしている	障害者支援施設で暮らしている	高齢者支援施設で暮らしている	病院に入院している	その他	不明・無回答
全体 (n=1,395)		11.4	75.0	3.7	1.7	1.9	1.0	2.9	2.4
障害種別	身体 (n=698)	14.9	70.1	3.3	1.1	2.4	1.3	3.7	3.2
	療育 (n=309)	3.2	71.5	10.4	7.8	1.0	1.0	3.2	1.9
	精神 (n=413)	9.0	79.9	4.1	2.2	0.5	0.5	1.9	1.9
	難病 (n=221)	13.6	74.2	3.6	1.4	0.5	1.8	3.2	1.8

問12 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。
 (①から⑩のそれぞれ1つに○)

問12 ①食事 (○は1つ)

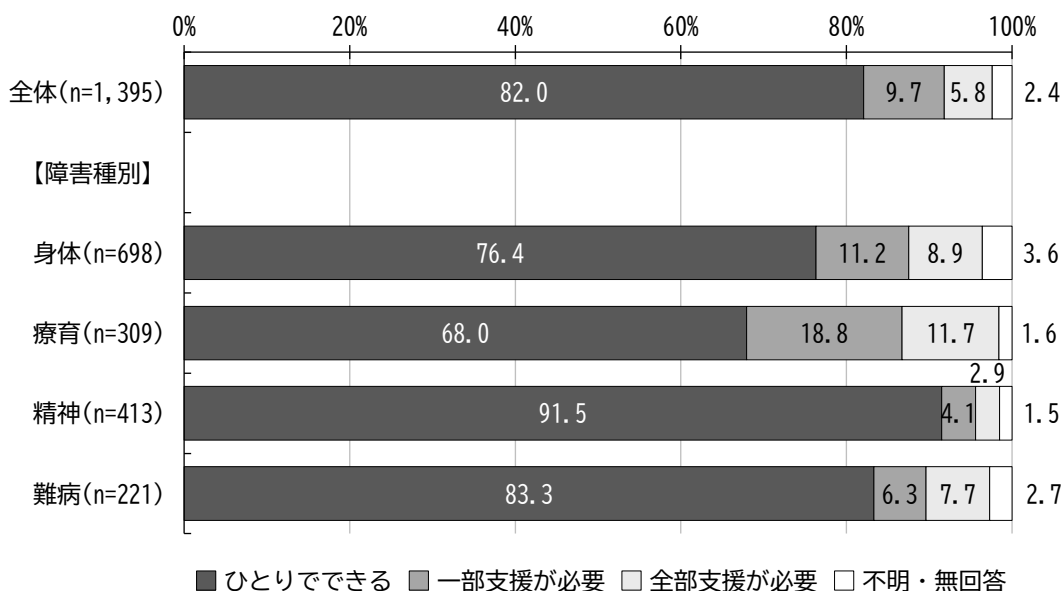
食事は、「ひとりでできる」が79.1%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が13.8%、「全部支援が必要」が4.7%となっています。
 障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ②トイレ (〇は1つ)

トイレは、「ひとりでできる」が82.0%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が9.7%、「全部支援が必要」が5.8%となっています。

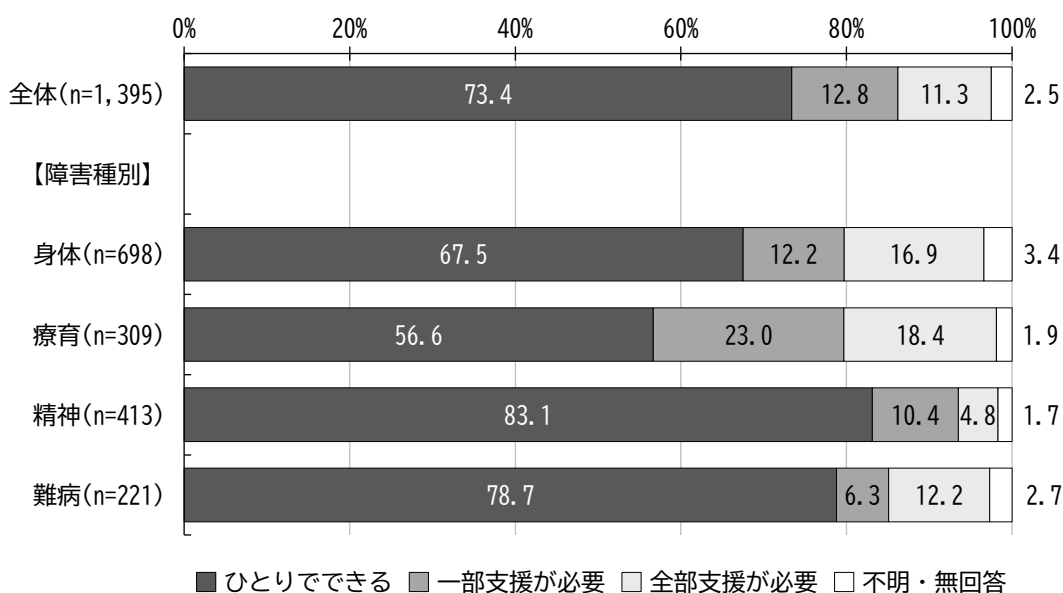
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ③入浴 (〇は1つ)

入浴は、「ひとりでできる」が73.4%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が12.8%、「全部支援が必要」が11.3%となっています。

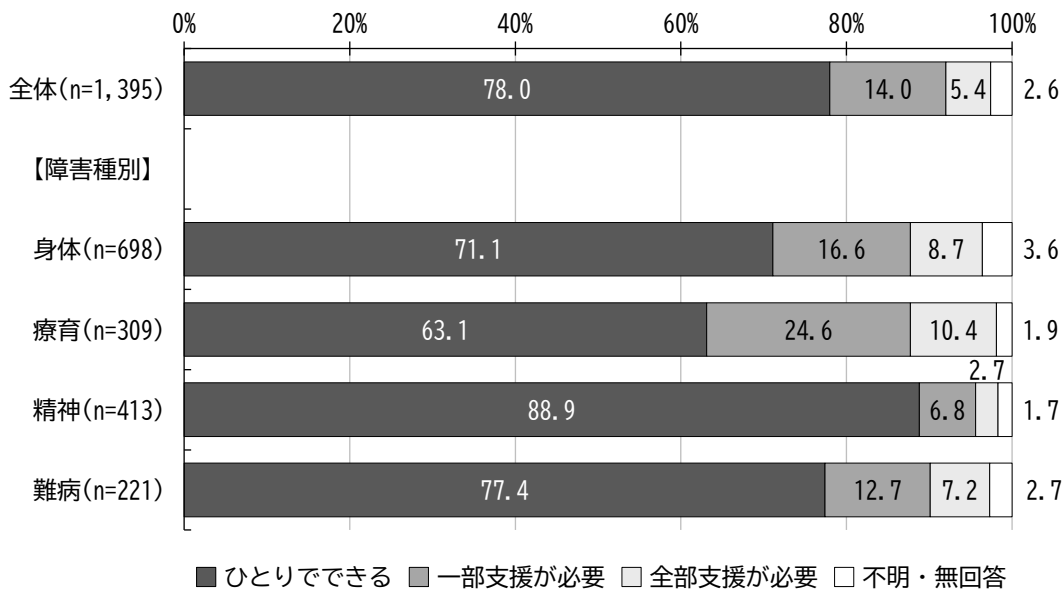
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ④衣服の着脱（○は1つ）

衣服の着脱は、「ひとりでできる」が78.0%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が14.0%、「全部支援が必要」が5.4%となっています。

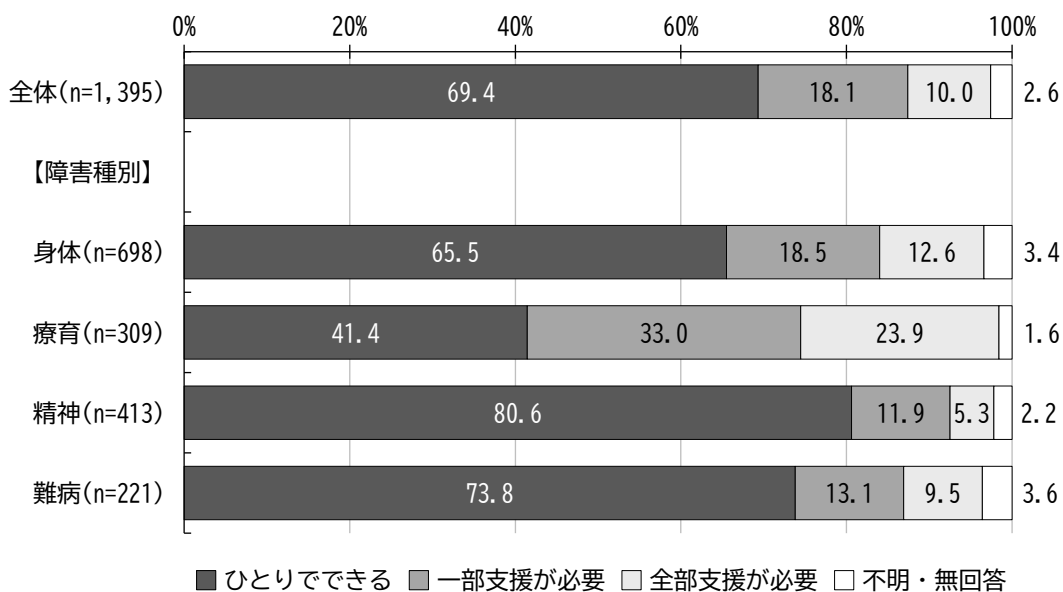
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ⑤身だしなみ（洗顔・爪切りなど）（○は1つ）

身だしなみ（洗顔・爪切りなど）は、「ひとりでできる」が69.4%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が18.1%、「全部支援が必要」が10.0%となっています。

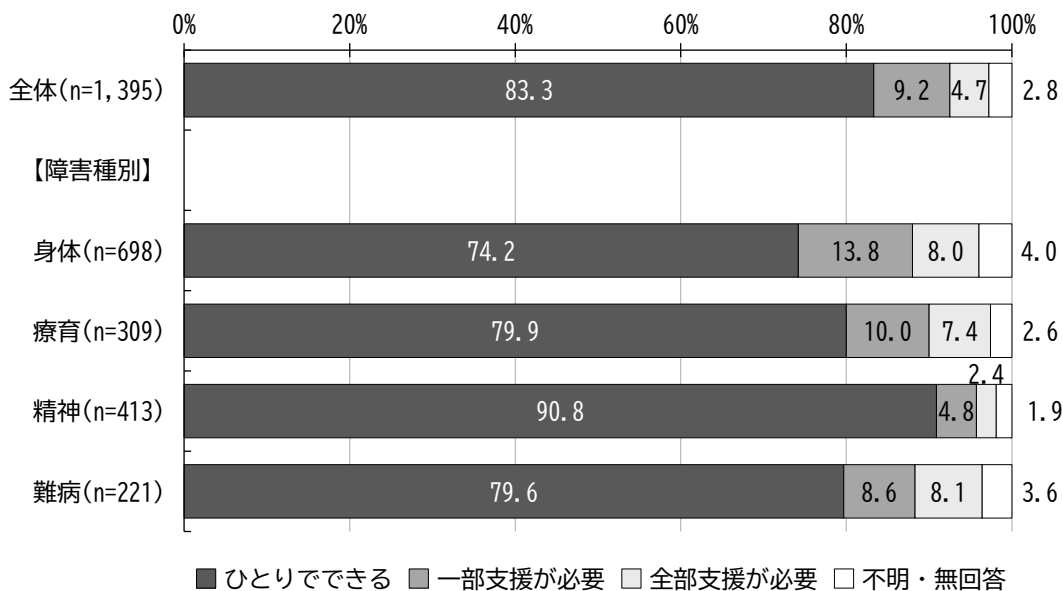
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ⑥家の中の移動 (○は1つ)

家の中の移動は、「ひとりでできる」が83.3%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が9.2%、「全部支援が必要」が4.7%となっています。

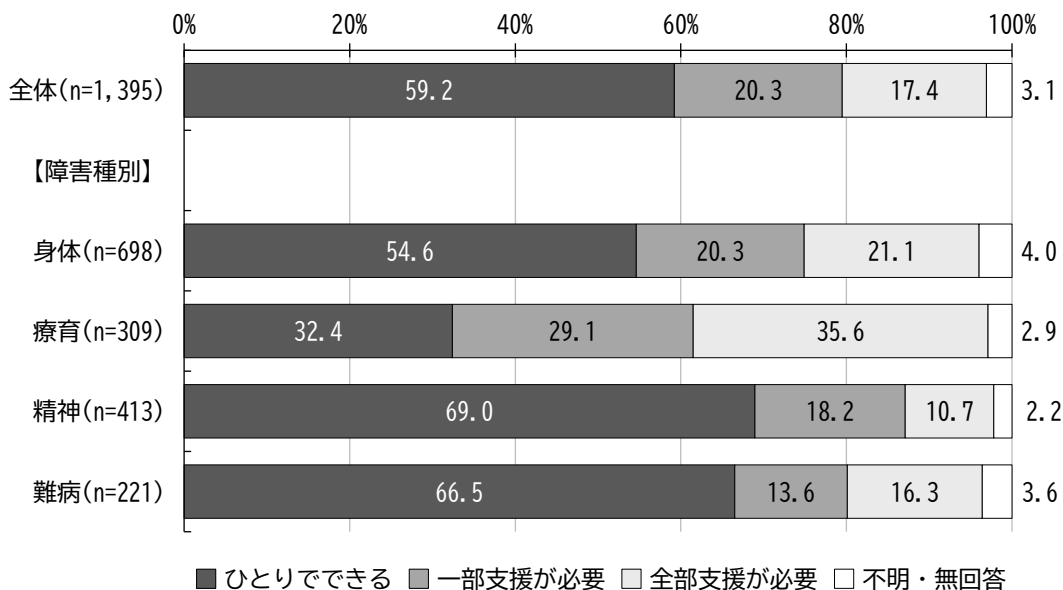
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ⑦外出 (○は1つ)

外出は、「ひとりでできる」が59.2%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が20.3%、「全部支援が必要」が17.4%となっています。

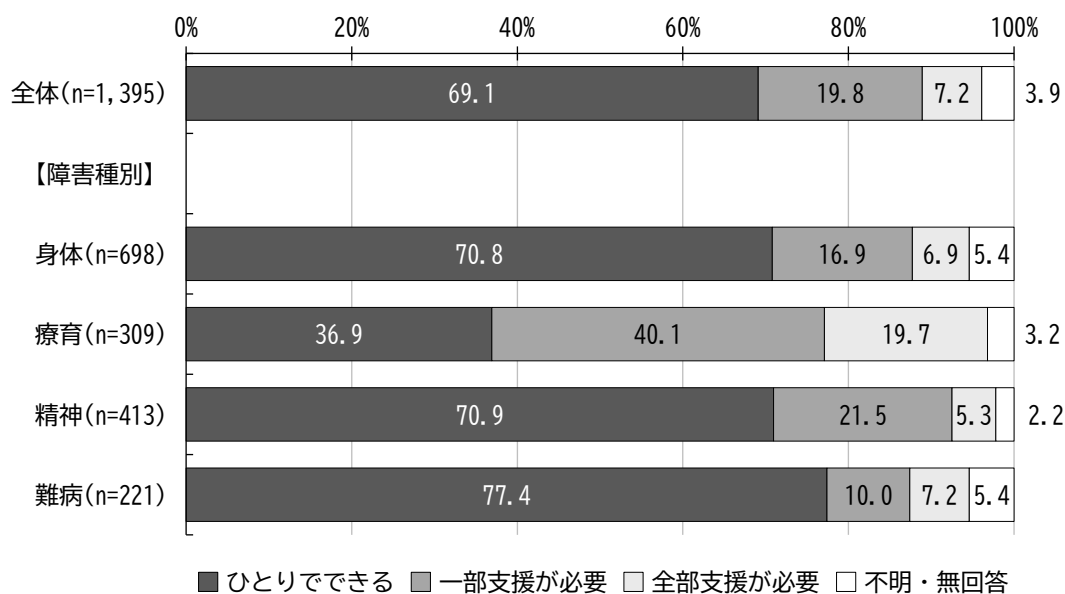
障害種別にみると、療育では「全部支援が必要」、その他の区分では「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ⑧家族以外の人との意思疎通 (○は1つ)

家族以外の人との意思疎通は、「ひとりでできる」が69.1%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が19.8%、「全部支援が必要」が7.2%となっています。

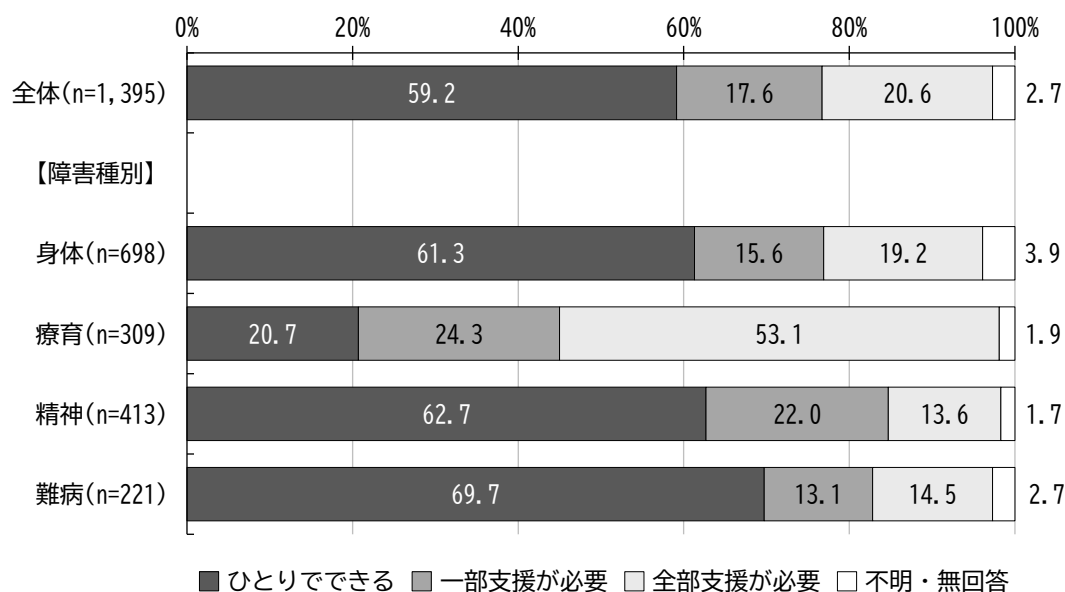
障害種別にみると、療育では「一部支援が必要」、その他の区分では「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ⑨お金の管理 (○は1つ)

お金の管理は、「ひとりでできる」が59.2%と最も高く、次いで「全部支援が必要」が20.6%、「一部支援が必要」が17.6%となっています。

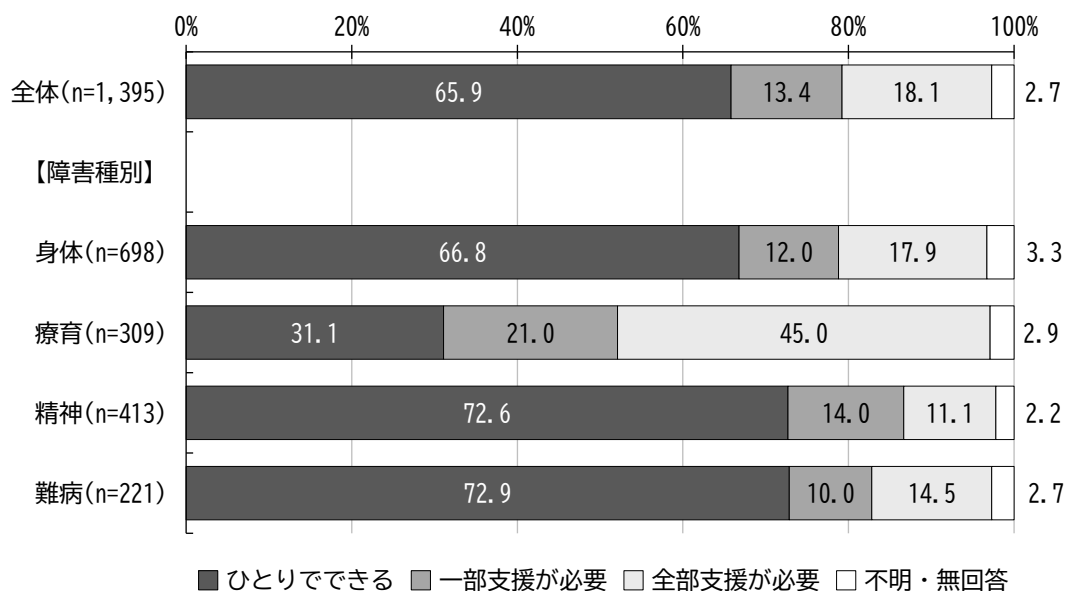
障害種別にみると、療育では「全部支援が必要」、その他の区分では「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問12 ⑩薬の管理 (○は1つ)

薬の管理は、「ひとりでできる」が65.9%と最も高く、次いで「全部支援が必要」が18.1%、「一部支援が必要」が13.4%となっています。

障害種別にみると、療育では「全部支援が必要」、その他の区分では「ひとりでできる」が最も高くなっています。

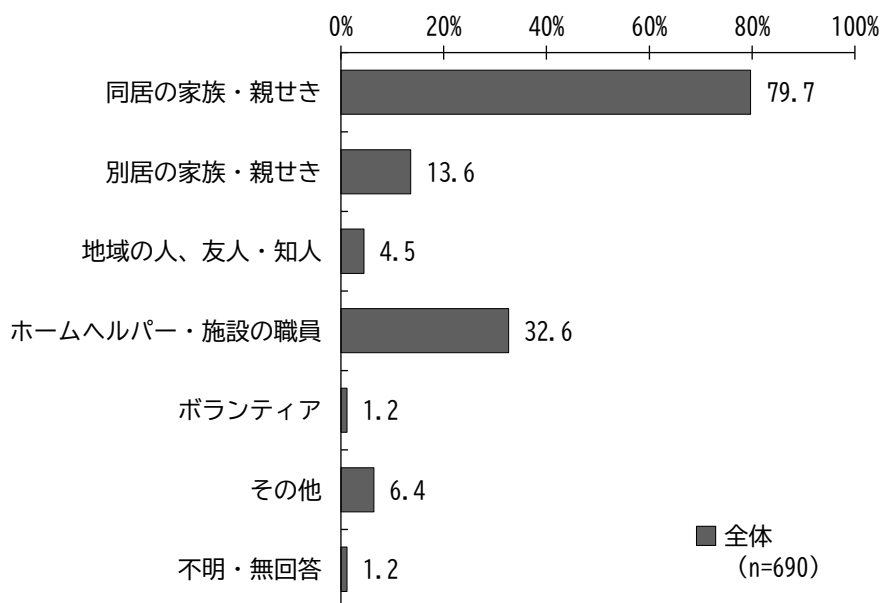


問12でひとつでも「一部支援が必要」又は「全部支援が必要」と答えた方

問12-1 支援してくれる人はだれですか。(〇はいくつでも)

支援してくれる人は、「同居の家族・親せき」が79.7%と最も高く、次いで「ホームヘルパー・施設の職員」が32.6%、「別居の家族・親せき」が13.6%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「同居の家族・親せき」が最も高くなっています。



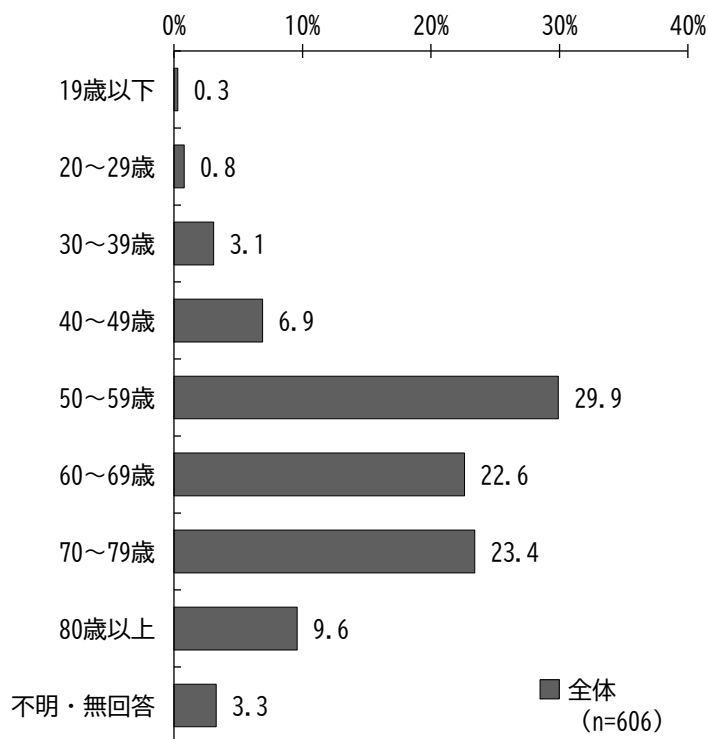
単位：%		同居の家族・親せき	別居の家族・親せき	地域の人、友人・知人	ホームヘルパー・施設の職員	ボランティア	その他	不明・無回答
全体 (n=690)		79.7	13.6	4.5	32.6	1.2	6.4	1.2
障害種別	身体 (n=353)	77.1	16.1	4.8	34.6	2.0	7.1	1.1
	療育 (n=251)	87.3	6.8	2.8	46.6	1.2	4.8	0.0
	精神 (n=185)	80.0	13.0	6.5	23.8	1.1	9.2	1.1
	難病 (n=89)	75.3	16.9	3.4	38.2	0.0	7.9	3.4

問12-1で「同居の家族・親せき」又は「別居の家族・親せき」と答えた方

問12-2 (1) 主な支援者の年齢(数字を記入)(令和7年12月1日時点)

主な支援者の年齢は、「50～59歳」が29.9%と最も高く、次いで「70～79歳」が23.4%、「60～69歳」が22.6%となっています。

障害種別にみると、身体・難病では「70～79歳」、療育・精神では「50～59歳」が最も高くなっています。



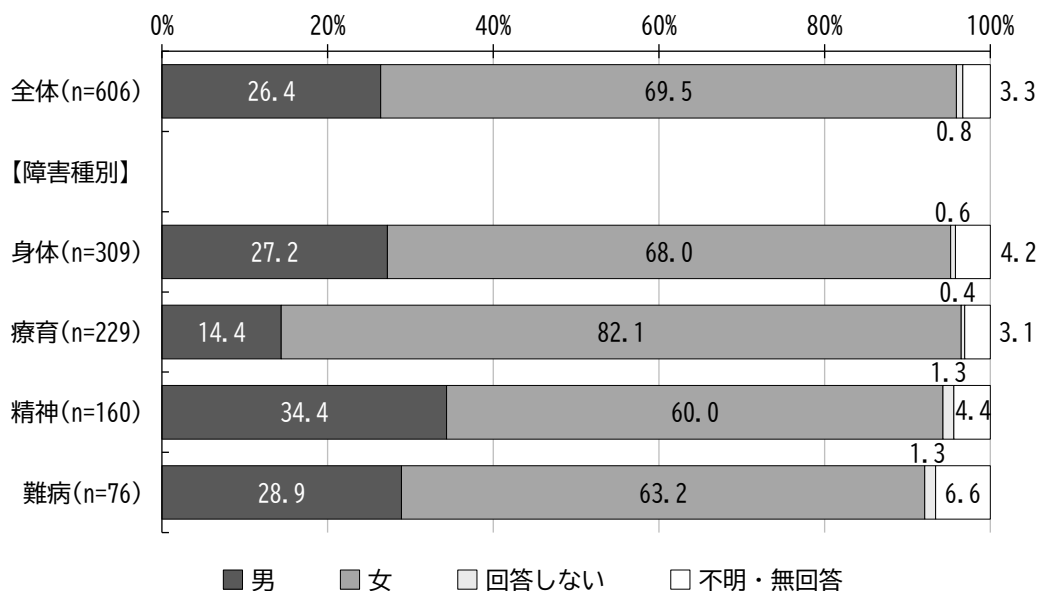
単位：%		1	2	3	4	5	6	7	8	不明・無回答
		9歳以下	0歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
全体 (n=606)		0.3	0.8	3.1	6.9	29.9	22.6	23.4	9.6	3.3
障害種別	身体 (n=309)	0.6	0.3	2.3	5.2	24.3	20.4	30.4	12.9	3.6
	療育 (n=229)	0.0	0.4	0.4	7.9	38.4	24.9	20.5	5.2	2.2
	精神 (n=160)	0.0	2.5	8.8	9.4	31.3	18.1	19.4	6.3	4.4
	難病 (n=76)	0.0	0.0	5.3	11.8	22.4	21.1	25.0	11.8	2.6

問12-1で「同居の家族・親せき」又は「別居の家族・親せき」と答えた方

問12-2 (2) 主な支援者の性別 (○は1つ)

主な支援者の性別は、「女」が69.5%と最も高く、次いで「男」が26.4%、「回答しない」が0.8%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「女」が最も高くなっています。

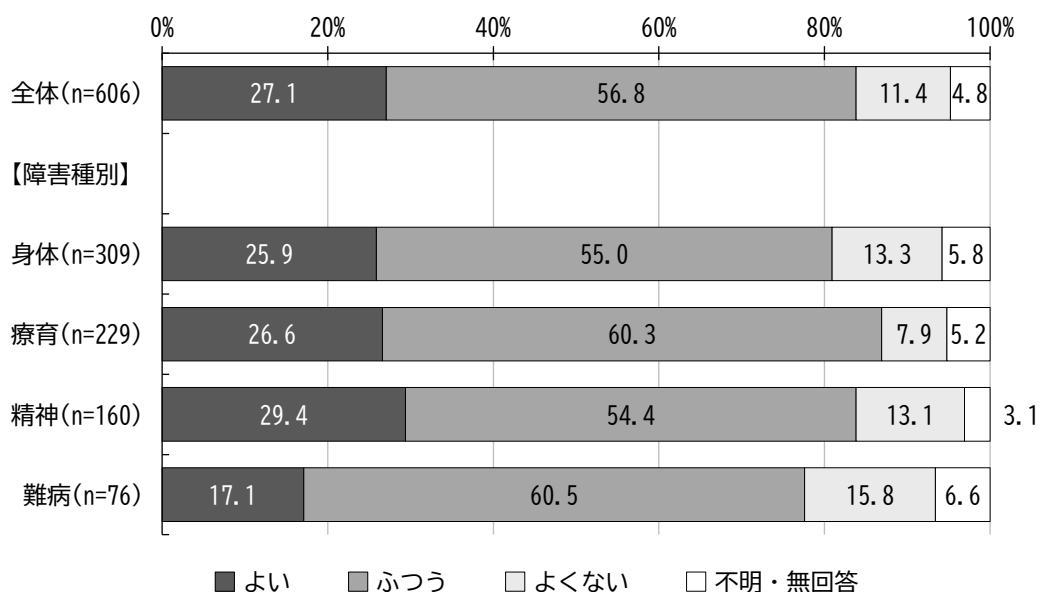


問12-1で「同居の家族・親せき」又は「別居の家族・親せき」と答えた方

問12-2 (3) 主な支援者の健康状態 (○は1つ)

主な支援者の健康状態は、「ふつう」が56.8%と最も高く、次いで「よい」が27.1%、「よくない」が11.4%となっています。

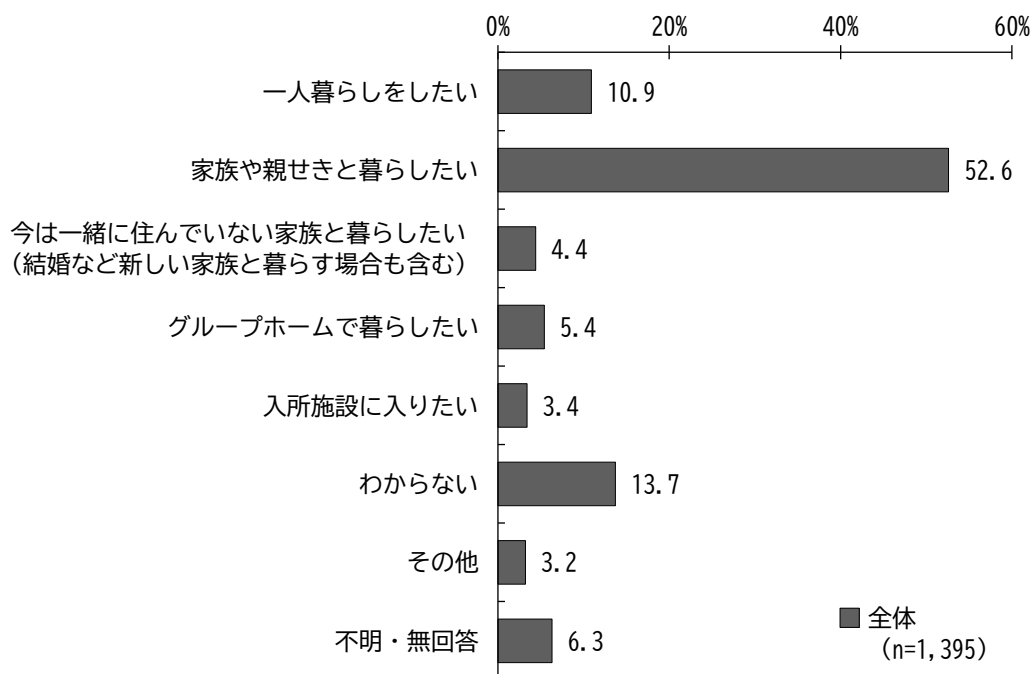
障害種別にみると、全ての区分で「ふつう」が最も高くなっています。



問13 あなたは今後、どのように生活したいと思いますか。(〇は1つ)

今後どのように生活したいかは、「家族や親せきと暮らしたい」が52.6%と最も高く、次いで「わからない」が13.7%、「一人暮らしをしたい」が10.9%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「家族や親せきと暮らしたい」が最も高くなっています。

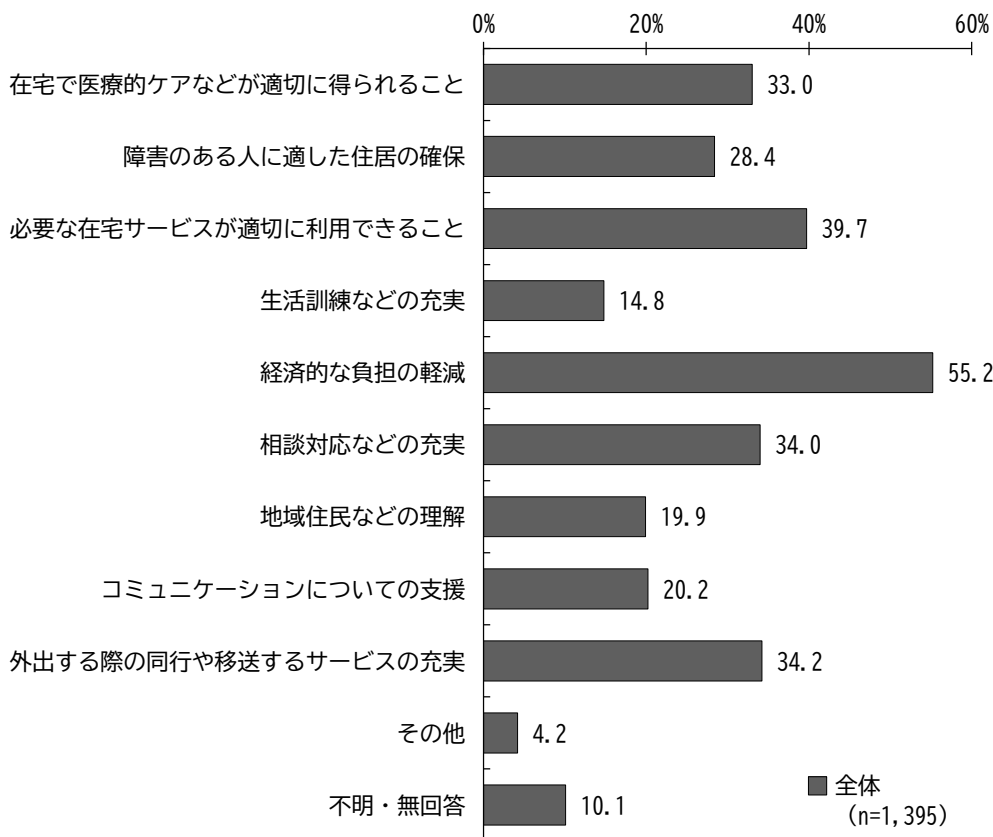


単位：%	一人暮らしをしたい	家族や親せきと暮らしたい	今は一緒に住んでいない家族と暮らしたい (結婚など新しい家族も含む)	グループホームで暮らしたい	入所施設に入りたい	わからない	その他	不明・無回答
全体 (n=1,395)	10.9	52.6	4.4	5.4	3.4	13.7	3.2	6.3
障害種別								
身体 (n=698)	11.3	52.3	3.7	3.7	3.7	12.6	4.6	8.0
療育 (n=309)	6.8	37.5	3.9	19.1	7.4	16.2	3.2	5.8
精神 (n=413)	14.0	52.1	3.6	3.9	1.9	17.4	3.4	3.6
難病 (n=221)	10.9	56.1	5.4	4.1	1.4	9.5	3.6	9.0

問14 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

地域で生活するためには、最も高い支援は、「経済的な負担の軽減」が55.2%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が39.7%、「外出する際の同行や移送するサービスの充実」が34.2%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「経済的な負担の軽減」が最も高くなっています。

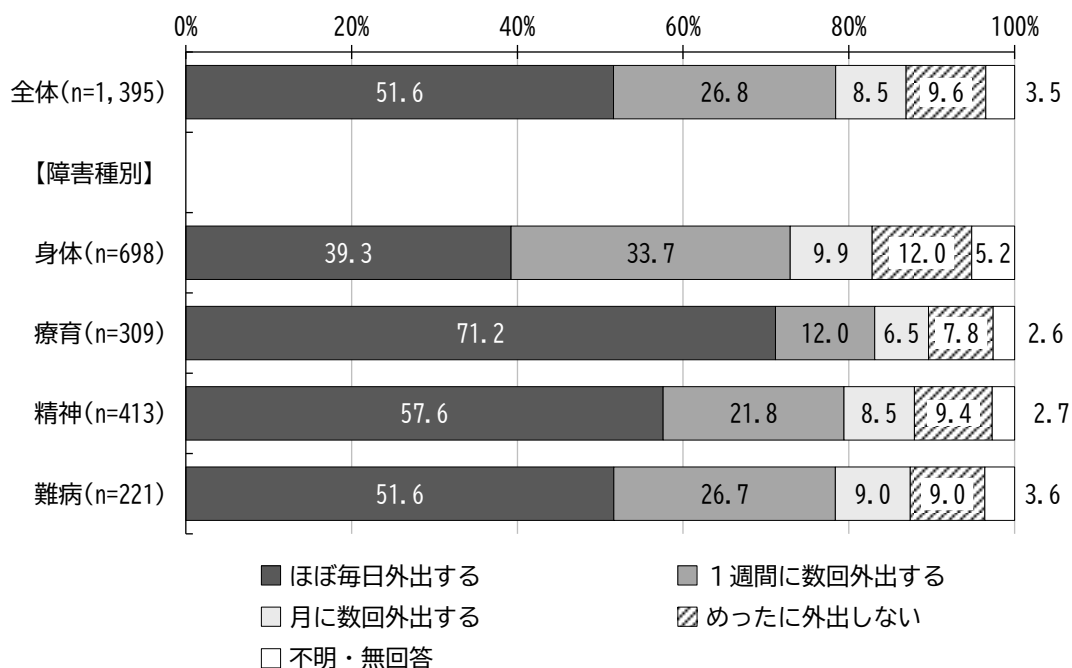


単位：%		在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	障害のある人に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	外出する際の同行や移送サービスの充実	その他	不明・無回答
全体 (n=1,395)		33.0	28.4	39.7	14.8	55.2	34.0	19.9	20.2	34.2	4.2	10.1
障害種別	身体 (n=698)	41.3	27.4	44.6	12.3	50.1	25.8	14.9	14.6	35.8	4.7	11.6
	療育 (n=309)	19.7	51.1	42.4	24.6	55.0	46.3	39.2	36.9	51.1	5.5	7.8
	精神 (n=413)	24.9	25.9	31.2	15.7	62.2	41.9	20.3	26.4	25.9	4.6	7.5
	難病 (n=221)	38.9	20.4	41.6	13.1	62.0	29.4	11.3	10.0	33.0	2.3	12.7

問15 あなたはどの程度外出（通学、通勤、通所を含みます。）しますか。
（○は1つ）

外出頻度は、「ほぼ毎日外出する」が51.6%と最も高く、次いで「1週間に数回外出する」が26.8%、「めったに外出しない」が9.6%となっています。

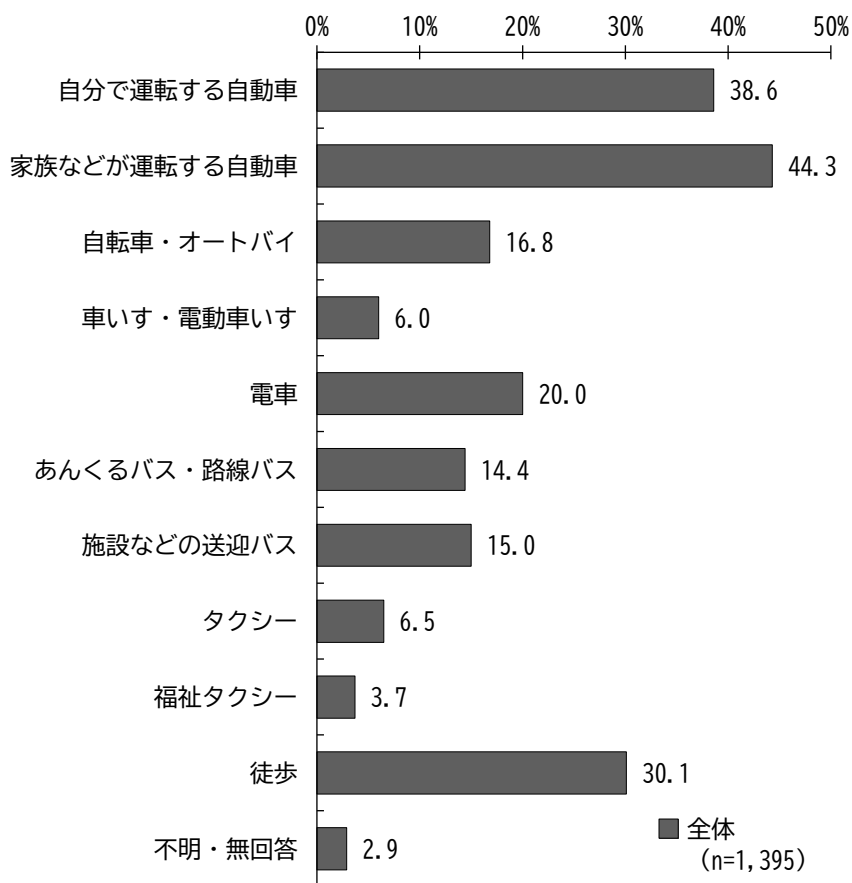
障害種別にみると、全ての区分で「ほぼ毎日外出する」が最も高くなっています。



問16 主な移動手段はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

主な移動手段は、「家族などが運転する自動車」が44.3%と最も高く、次いで「自分で運転する自動車」が38.6%、「徒歩」が30.1%となっています。

障害種別にみると、精神・難病では「自分で運転する自動車」、身体・療育では「家族などが運転する自動車」が最も高くなっています。

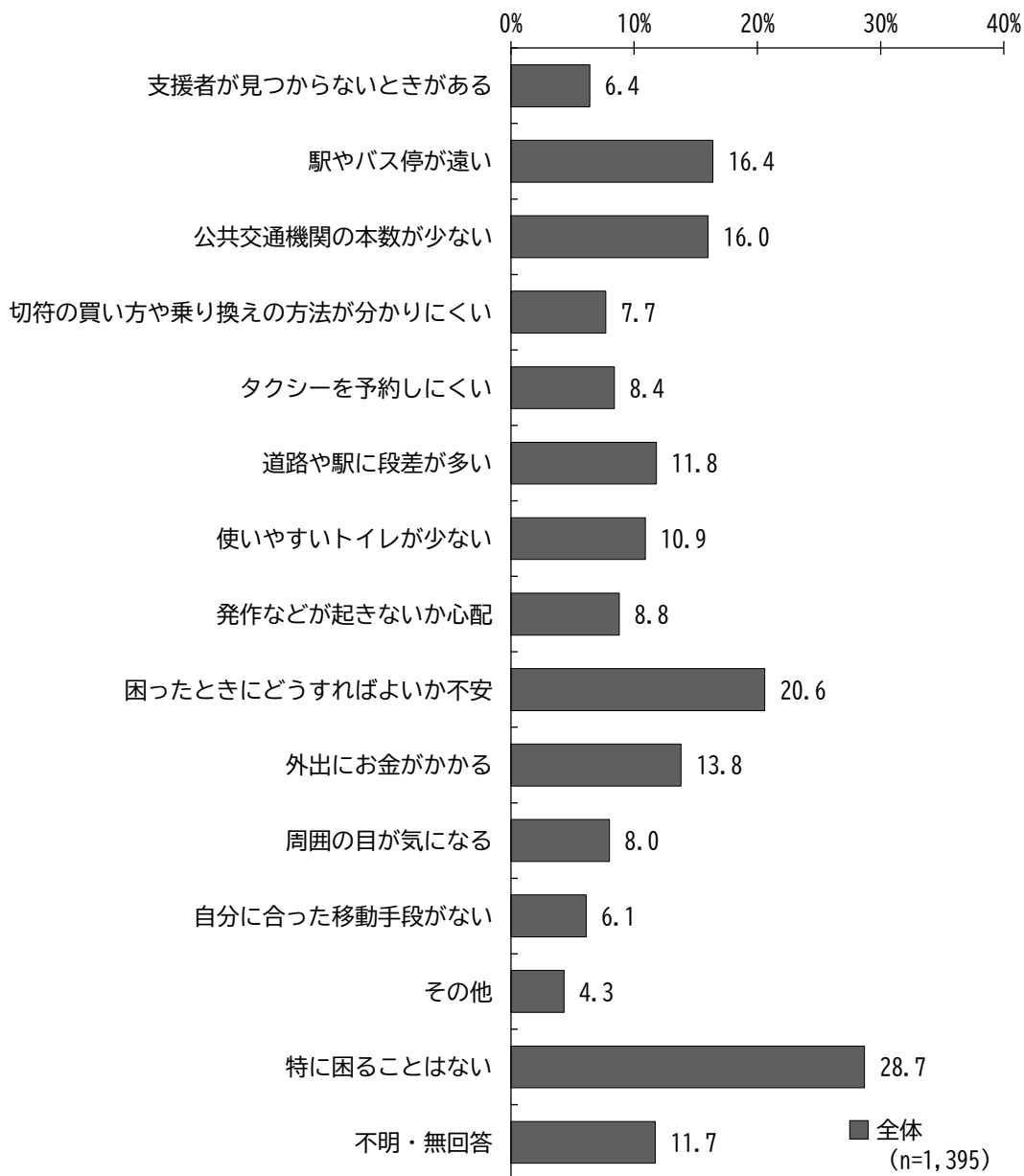


単位：%		自分で運転する自動車	家族などが運転する自動車	自転車・オートバイ	車いす・電動車いす	電車	あんくるバス・路線バス	施設などの送迎バス	タクシー	福祉タクシー	徒歩	不明・無回答
全体 (n=1,395)		38.6	44.3	16.8	6.0	20.0	14.4	15.0	6.5	3.7	30.1	2.9
障害種別	身体 (n=698)	39.5	46.3	10.7	10.6	13.3	13.6	15.2	8.9	6.3	23.8	3.4
	療育 (n=309)	7.1	57.0	24.9	5.8	25.9	19.7	32.7	2.9	3.2	34.3	1.9
	精神 (n=413)	44.6	41.6	21.3	1.7	24.9	13.3	11.1	5.6	1.2	36.3	2.2
	難病 (n=221)	49.8	37.1	10.9	6.8	15.8	7.7	11.8	6.3	6.8	22.2	4.1

問17 外出の時に困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

外出の時に困ることは、「特に困ることはない」が28.7%と最も高く、次いで「困ったときにどうすればよいか不安」が20.6%、「駅やバス停が遠い」が16.4%となっています。

障害種別にみると、身体・精神・難病では「特に困ることはない」、療育では「困ったときにどうすればよいか不安」が最も高くなっています。



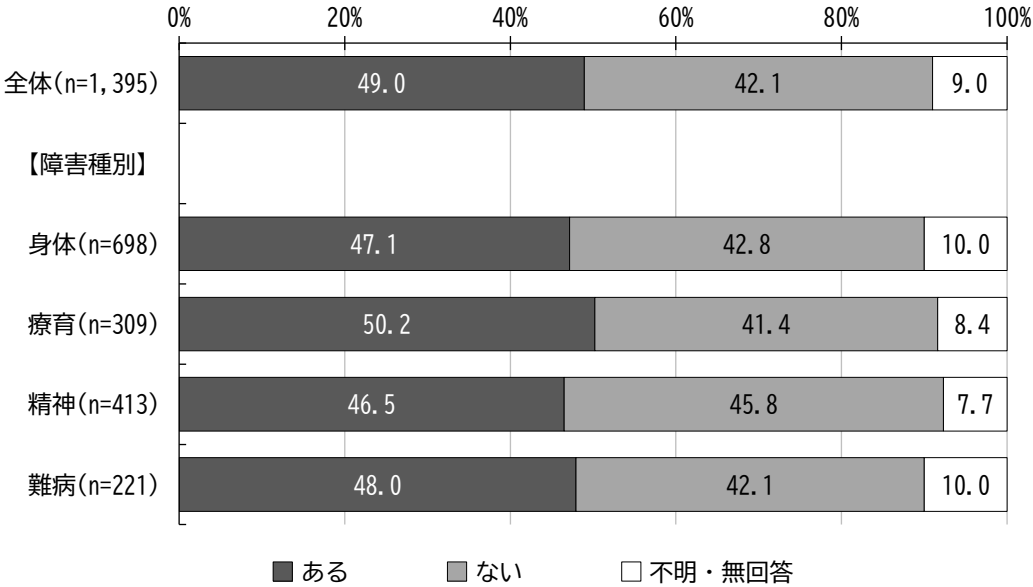
単位：%		支援者が見つからないとき	駅やバス停が遠い	公共交通機関の本数が少ない	切符の買い方や乗り換えの方法が分かりにくい	タクシーを予約しにくい	道路や駅に段差が多い	使いやすいトイレが少ない	発作などが起きないか心配
全体 (n=1,395)		6.4	16.4	16.0	7.7	8.4	11.8	10.9	8.8
障害種別	身体 (n=698)	5.6	15.3	15.2	5.3	10.7	18.9	15.2	7.4
	療育 (n=309)	12.9	18.8	22.3	18.8	5.8	9.4	11.7	9.7
	精神 (n=413)	6.5	19.1	17.4	9.4	7.3	5.3	6.5	12.8
	難病 (n=221)	6.3	18.1	14.0	7.7	12.7	11.3	15.8	9.5

単位：%		困ったときにどうすればよいか不安	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	自分に合った移動手段がない	その他	特に困ることはない	不明・無回答
全体 (n=1,395)		20.6	13.8	8.0	6.1	4.3	28.7	11.7
障害種別	身体 (n=698)	16.2	9.9	4.7	6.9	5.0	26.1	14.5
	療育 (n=309)	37.9	18.4	11.7	9.1	5.2	18.8	10.0
	精神 (n=413)	23.2	23.5	12.8	6.8	3.4	30.3	9.0
	難病 (n=221)	16.3	10.9	5.4	5.4	1.4	30.3	10.9

問18 あなたにとって、自宅以外で、気軽に行ける場所や仲間と集まることができる場所などがありますか。(○は1つ)

気軽に行ける場所や仲間と集まることができる場所の有無は、「ある」が49.0%、「ない」が42.1%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「ある」が高くなっています。

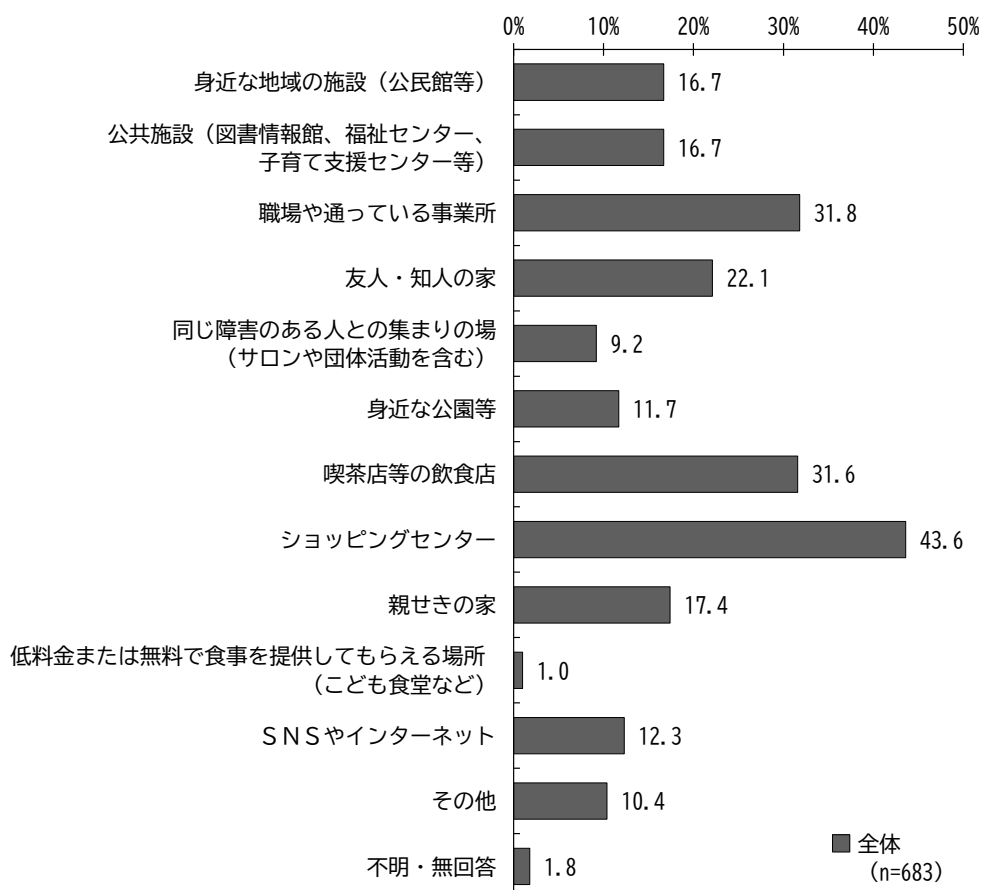


問18で「ある」と答えた方

問18-1 具体的に、そこはどこですか。(〇はいくつでも)

気軽に行ける場所や仲間と集まることができる場所は、「ショッピングセンター」が43.6%と最も高く、次いで「職場や通っている事業所」が31.8%、「喫茶店等の飲食店」が31.6%となっています。

障害種別にみると、療育では「職場や通っている事業所」、その他の区分では「ショッピングセンター」が最も高くなっています。

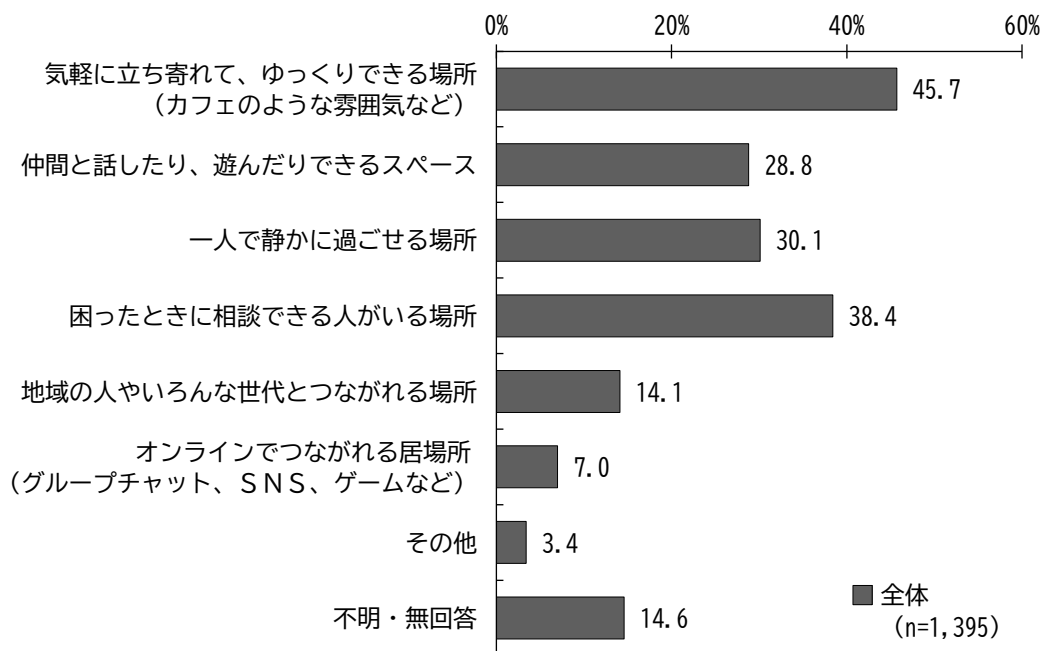


単位：%		身近な地域の施設 (公民館等)	福祉センター、図書情報館、子育て支援センター等	公共施設 (図書情報館、福祉センター、子育て支援センター等)	職場や通っている事業所	友人・知人の家	活動を含み (サロンや団体集まりの場)	同じ障害のある人との集まりの場 (サロンや団体活動を含む)	身近な公園等	喫茶店等の飲食店	ショッピングセンター	親せきの家	低料金または無料で食事を提供してもらえる場所 (こども食堂など)	SNSやインターネット	その他	不明・無回答
全体 (n=683)		16.7	16.7	31.8	22.1	9.2	11.7	31.6	43.6	17.4	1.0	12.3	10.4	1.8		
障害種別	身体 (n=329)	23.4	17.3	22.5	22.5	9.1	11.2	32.5	39.5	14.6	1.8	7.9	10.6	1.8		
	療育 (n=155)	9.7	14.8	56.8	9.7	22.6	9.7	16.1	43.9	21.9	0.6	5.8	8.4	0.6		
	精神 (n=192)	11.5	18.8	32.8	26.6	7.3	17.7	36.5	44.3	18.2	1.6	21.9	11.5	0.0		
	難病 (n=106)	16.0	8.5	31.1	27.4	4.7	5.7	34.9	46.2	20.8	0.9	12.3	7.5	2.8		

問19 居場所としてどのような場所があるとよいですか。(〇はいくつでも)

居場所としてあるとよい場所は、「気軽に立ち寄れて、ゆっくりできる場所(カフェのような雰囲気など)」が45.7%と最も高く、次いで「困ったときに相談できる人がいる場所」が38.4%、「一人で静かに過ごせる場所」が30.1%となっています。

障害種別にみると、身体・精神・難病では「気軽に立ち寄れて、ゆっくりできる場所(カフェのような雰囲気など)」、療育では「困ったときに相談できる人がいる場所」が最も高くなっています。



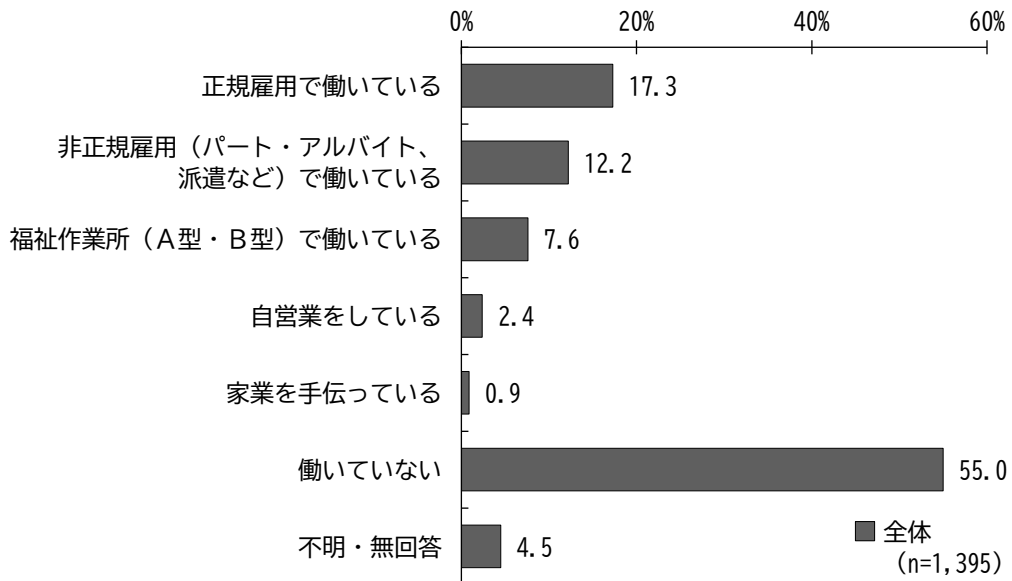
単位：%		気軽に立ち寄れて、ゆっくりできる場所(カフェのような雰囲気など)	仲間と話したり、遊んだりできるスペース	一人で静かに過ごせる場所	困ったときに相談できる人がいる場所	地域の人やいろんな世代とつながれる場所	SNS、グループチャット、オンラインでつながれる居場所	その他	不明・無回答
全体 (n=1,395)		45.7	28.8	30.1	38.4	14.1	7.0	3.4	14.6
障害種別	身体 (n=698)	44.6	28.8	21.9	33.4	13.5	3.7	3.9	17.8
	療育 (n=309)	35.3	33.7	28.2	46.6	16.2	3.9	4.2	13.3
	精神 (n=413)	47.7	25.9	45.0	44.3	13.6	15.3	2.7	9.9
	難病 (n=221)	46.2	25.3	29.0	36.7	13.1	7.2	2.3	15.4

3 お仕事について

問20 現在収入を得て働いていますか。(○は1つ)

就労状況は、「働いていない」が55.0%と最も高く、次いで「正規雇用で働いている」が17.3%、「非正規雇用（パート・アルバイト、派遣など）で働いている」が12.2%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「働いていない」が最も高くなっています。



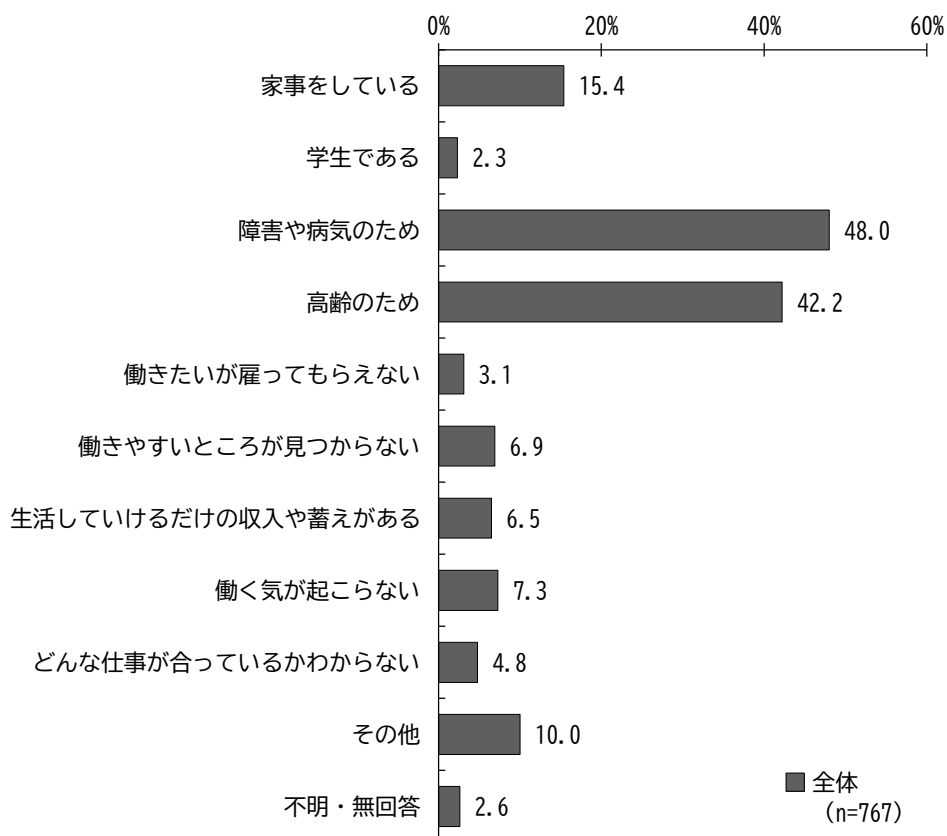
単位：%		正規雇用で働いている	ト、非正規雇用（パート・アルバイト）	い福祉作業所（A型・B型）で働	自営業をしている	家業を手伝っている	働いていない	不明・無回答
全体 (n=1,395)		17.3	12.2	7.6	2.4	0.9	55.0	4.5
障害種別	身体 (n=698)	10.6	7.7	4.7	2.4	1.1	68.3	5.0
	療育 (n=309)	15.9	12.6	22.0	0.6	0.3	43.7	4.9
	精神 (n=413)	22.0	17.2	7.3	2.9	1.5	46.0	3.1
	難病 (n=221)	24.0	12.7	3.2	4.1	0.5	49.8	5.9

問20で「働いていない」と答えた方

問20-1 働いていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

働いていない理由は、「障害や病気のため」が48.0%と最も高く、次いで「高齢のため」が42.2%、「家事をしている」が15.4%となっています。

障害種別にみると、身体では「高齢のため」、その他の区分では「障害や病気のため」が最も高くなっています。



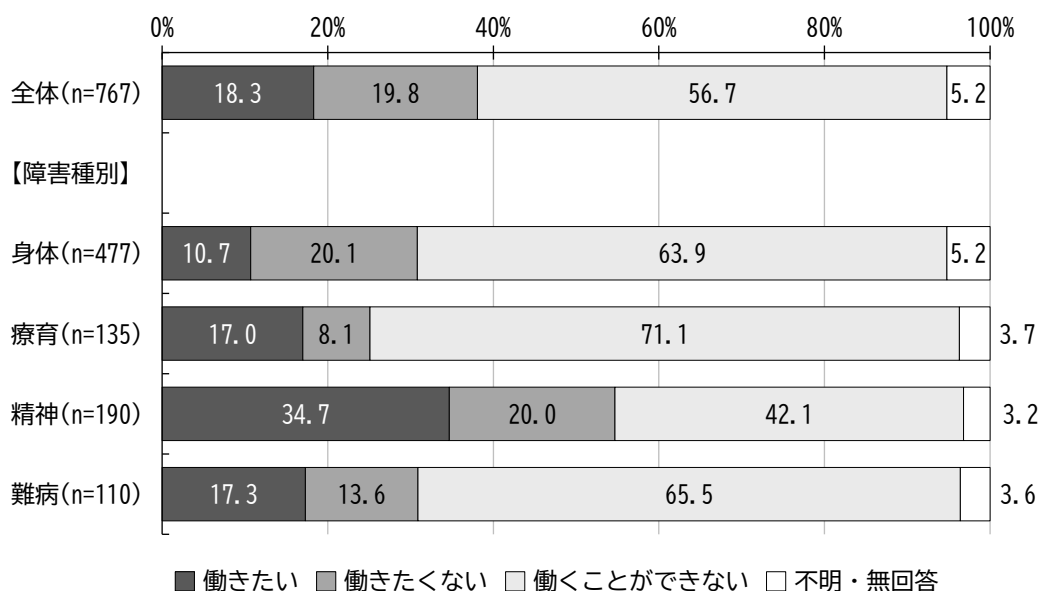
単位：%		家事をしている	学生である	障害や病気のため	高齢のため	働きたいが雇ってもらえない	働きやすいところが見つからない	生活していけるだけの収入や蓄えがある	働く気が起こらない	どんな仕事か合っているかわからない	その他	不明・無回答
全体 (n=767)		15.4	2.3	48.0	42.2	3.1	6.9	6.5	7.3	4.8	10.0	2.6
障害種別	身体 (n=477)	14.7	0.6	46.5	55.3	1.9	4.4	7.8	3.6	2.3	7.8	2.3
	療育 (n=135)	5.2	6.7	62.2	14.1	3.0	5.9	0.0	2.2	5.9	13.3	3.0
	精神 (n=190)	16.3	4.7	57.4	18.9	5.3	13.2	5.3	18.9	13.2	13.7	1.6
	難病 (n=110)	17.3	1.8	60.0	38.2	2.7	5.5	6.4	2.7	3.6	7.3	0.9

問20で「働いていない」と答えた方

問20-2 今後、あなたは働きたいですか。(○は1つ)

今後の就労意向は、「働くことができない」が56.7%と最も高く、次いで「働きたくない」が19.8%、「働きたい」が18.3%となっています。

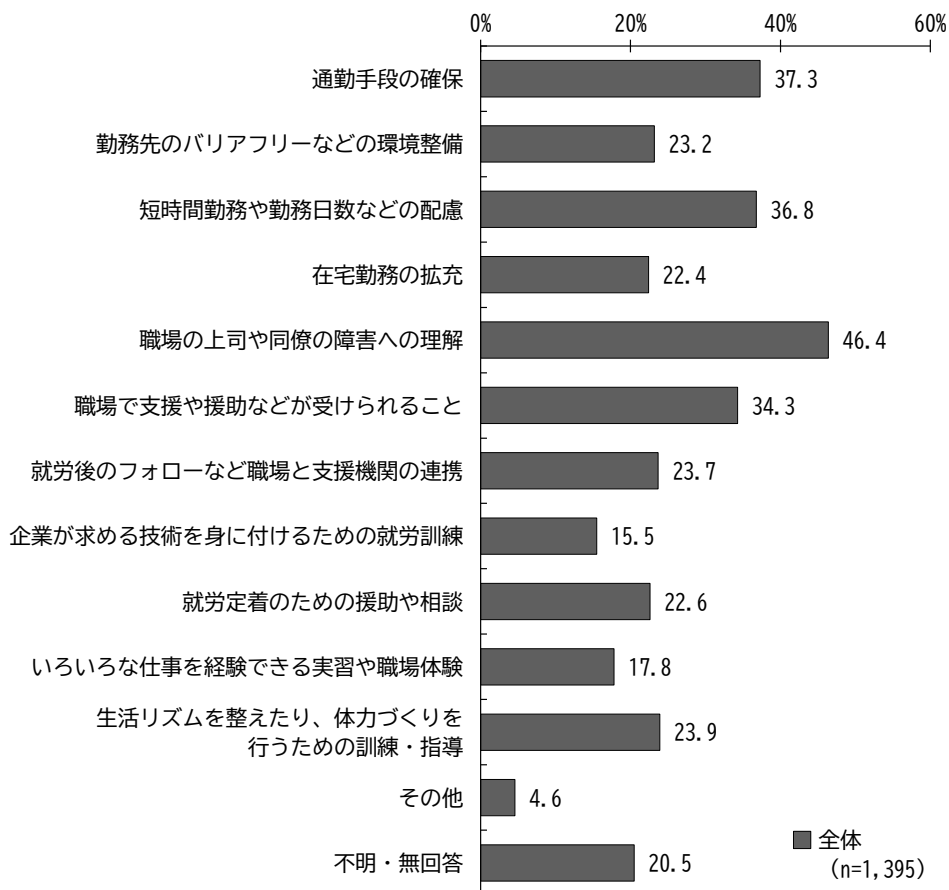
障害種別にみると、全ての区分で「働くことができない」が最も高くなっています。



問21 障害のある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

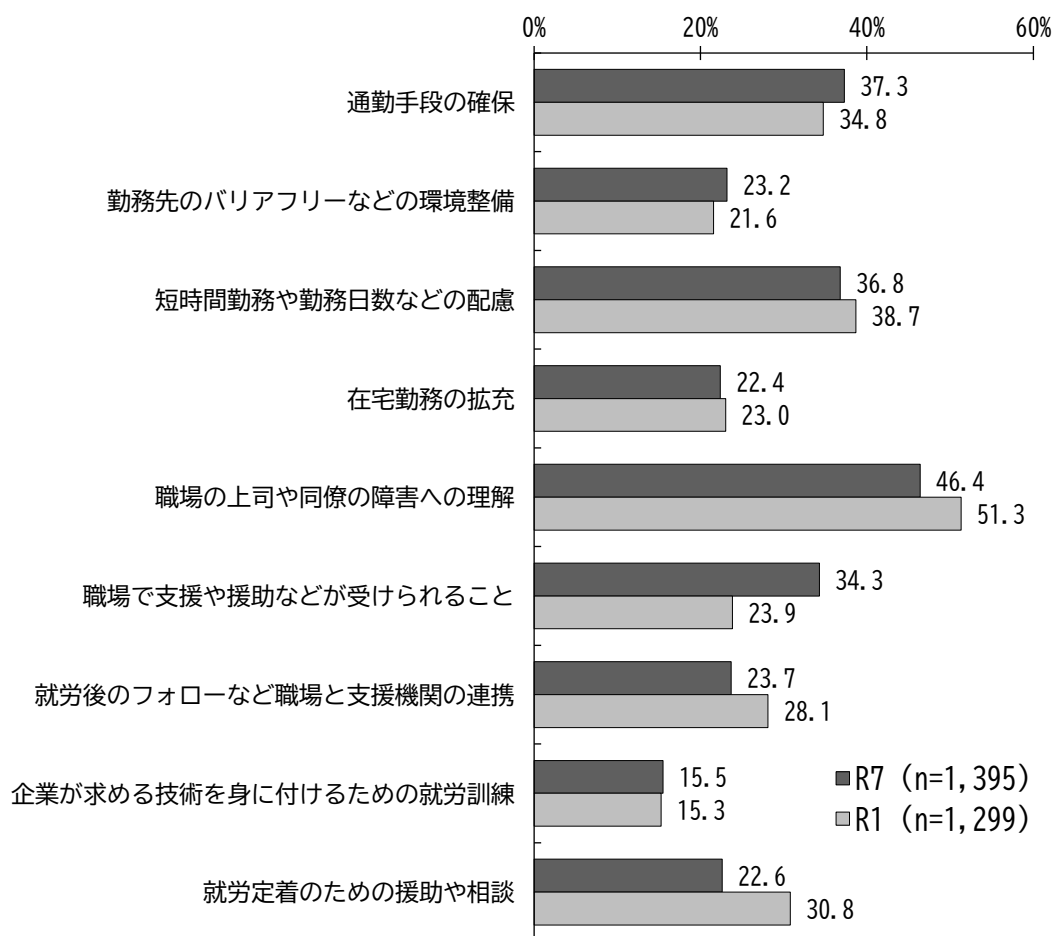
障害のある人の就労支援として必要なことは、「職場の上司や同僚の障害への理解」が46.4%と最も高く、次いで「通勤手段の確保」が37.3%、「短時間勤務や勤務日数などの配慮」が36.8%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「職場の上司や同僚の障害への理解」が最も高くなっています。



単位：%		通勤手段の確保	勤務先のバリアフリーなどの環境整備	短時間勤務や勤務日数などの配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚の障害への理解	職場で支援や援助などが受けられること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業が求める技術を身に付けるための就労訓練	就労定着のための援助や相談	いろいろな仕事を体験できる実習や職場体験	生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練・指導	その他	不明・無回答
全体 (n=1,395)		37.3	23.2	36.8	22.4	46.4	34.3	23.7	15.5	22.6	17.8	23.9	4.6	20.5
障害種別	身体 (n=698)	33.7	28.1	33.2	20.6	36.7	25.9	16.0	11.9	15.9	12.9	20.8	5.9	27.2
	療育 (n=309)	44.7	19.4	26.2	10.7	54.7	48.5	32.7	18.1	29.4	23.0	25.6	5.2	15.2
	精神 (n=413)	40.0	16.2	43.6	29.1	56.7	40.2	31.2	20.6	31.0	23.5	29.8	4.8	12.1
	難病 (n=221)	35.3	24.0	41.6	22.6	44.8	34.4	22.6	12.7	19.5	14.9	22.2	3.2	22.2

【経年比較】



■各調査の選択肢

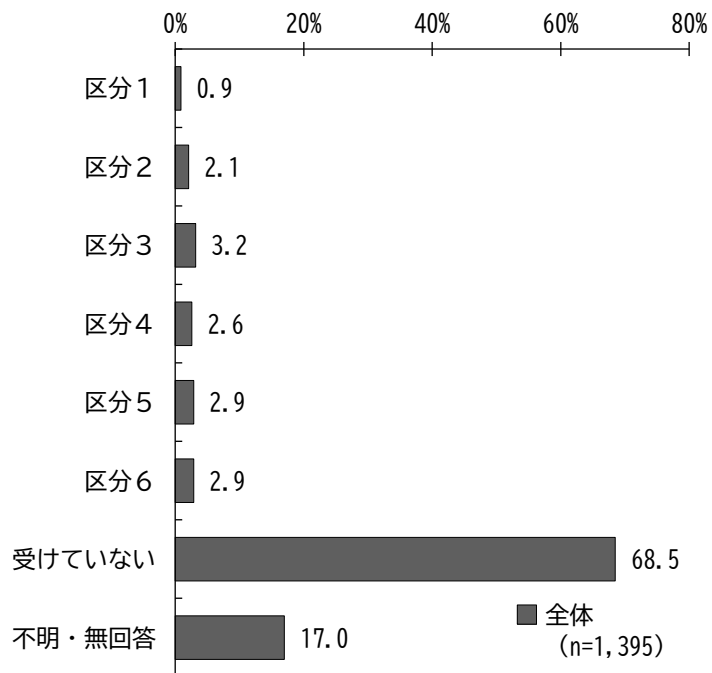
R7 年度調査	R1 年度調査
通勤手段の確保	変更なし
勤務先のバリアフリーなどの環境整備	勤務先のバリアフリーなどの配慮
短時間勤務や勤務日数などの配慮	変更なし
在宅勤務の拡充	変更なし
職場の上司や同僚の障害への理解	変更なし
職場で支援や援助などが受けられること	職場での介助や援助
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	就労後の支援など職場と支援機関の連携
企業が求める技術を身に付けるための就労訓練	企業ニーズに合った就労訓練
就労定着のための援助や相談	就労や就労定着のための援助や相談
いろいろな仕事を経験できる実習や職場体験	項目なし
生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練・指導	項目なし
その他	その他

4 障害福祉サービスなどについて

問22 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つ)

障害支援区分の認定状況は、「受けていない」が68.5%と最も高く、次いで「区分3」が3.2%、「区分5」「区分6」が2.9%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「受けていない」が最も高くなっています。

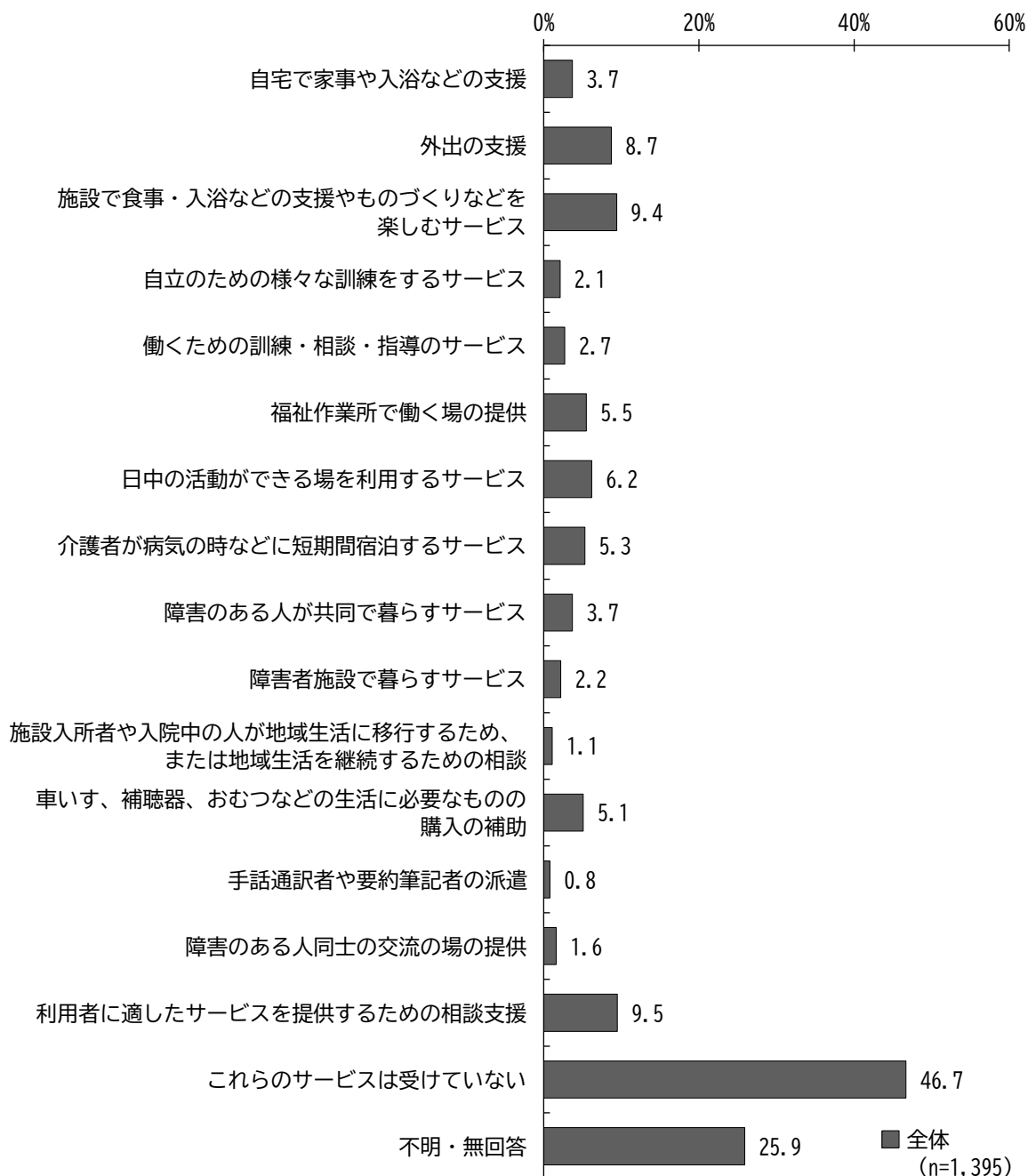


単位：%		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	不明・無回答
全体 (n=1,395)		0.9	2.1	3.2	2.6	2.9	2.9	68.5	17.0
障害種別	身体 (n=698)	1.3	1.3	1.9	1.9	1.7	3.2	68.1	20.8
	療育 (n=309)	1.3	6.5	12.0	8.4	11.7	11.7	36.9	11.7
	精神 (n=413)	0.5	2.4	1.2	1.9	1.9	2.2	78.5	11.4
	難病 (n=221)	1.4	2.3	0.9	0.5	2.7	1.8	70.1	20.4

問23 ①現在受けているサービス（〇はいくつでも）

現在受けているサービスは、「これらのサービスは受けていない」が46.7%と最も高く、次いで「利用者に適したサービスを提供するための相談支援」が9.5%、「施設で食事・入浴などの支援やものづくりなどを楽しむサービス」が9.4%となっています。

障害種別にみると、療育では「利用者に適したサービスを提供するための相談支援」、その他の区分では「これらのサービスは受けていない」が最も高くなっています。



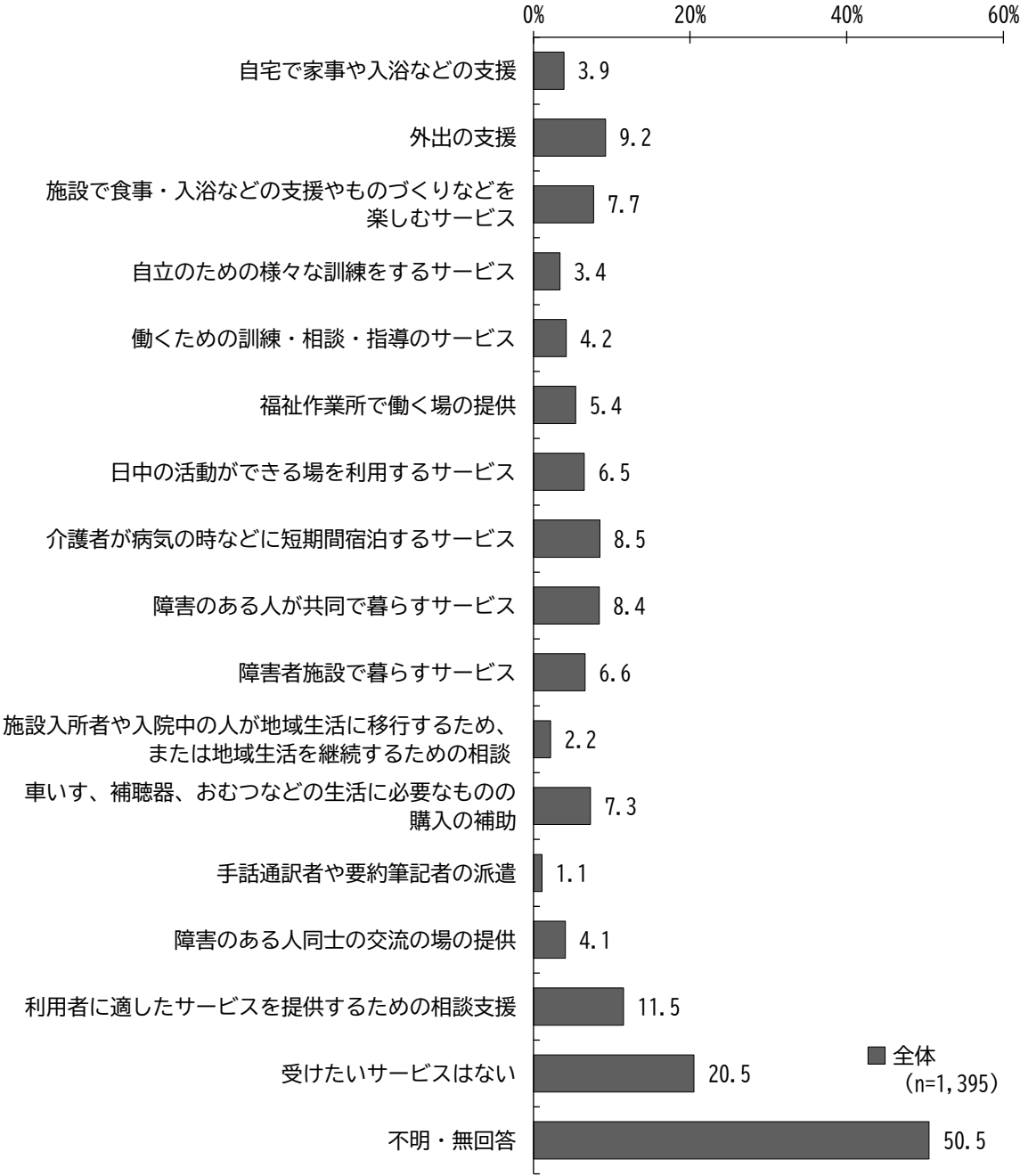
単位：％		自宅で家事や入浴などの支援	外出の支援	施設での食事・入浴などの支援や もみぐりなどを楽しむサービス	自立のための様々な訓練をする サービス	働くための訓練・相談・指導の サービス	福祉作業所で働く場の提供	日中の活動ができる場を利用す るサービス	介護者が病気の時などに短期間 宿泊するサービス	障害のある人が共同で暮らす サービス
全体 (n=1,395)		3.7	8.7	9.4	2.1	2.7	5.5	6.2	5.3	3.7
障害 種別	身体 (n=698)	5.9	8.5	9.0	2.4	0.9	3.7	4.2	5.2	3.6
	療育 (n=309)	5.8	27.5	27.2	3.2	4.2	15.2	23.3	17.8	12.3
	精神 (n=413)	2.4	4.1	6.5	2.4	6.1	5.6	4.1	1.7	4.1
	難病 (n=221)	4.5	5.4	6.3	1.4	1.4	1.4	3.6	3.6	2.3

単位：％		障害者施設で暮らすサービス	施設入所者や入院中の人が地域 生活に移行するため、または地 域生活を継続するための相談	車いす、補聴器、おむつなどの 生活に必要なものの購入などの 生活に必要なもの	手話通訳者や要約筆記者の派遣	障害のある人同士の交流の場 の提供	利用者にとっての相談支援サ ービスを提供	これらのサービスは受けていな い	不明・無回答
全体 (n=1,395)		2.2	1.1	5.1	0.8	1.6	9.5	46.7	25.9
障害 種別	身体 (n=698)	2.0	1.4	9.6	1.1	1.3	6.7	43.4	30.9
	療育 (n=309)	6.5	1.3	7.1	0.6	1.6	30.7	23.6	13.9
	精神 (n=413)	4.6	1.5	1.5	0.7	3.4	9.4	55.0	19.1
	難病 (n=221)	2.3	1.4	4.5	0.0	2.3	6.8	47.1	35.3

問23 ②利用を続けたいサービス・今後新たに利用したいサービス
(〇はいくつでも)

利用を続けたいサービス・今後新たに利用したいサービスは、「受けたいサービスはない」が20.5%と最も高く、次いで「利用者に適したサービスを提供するための相談支援」が11.5%、「外出の支援」が9.2%となっています。

障害種別にみると、療育では「障害のある人が共同で暮らすサービス」、その他の区分では「受けたいサービスはない」が最も高くなっています。



単位：％		自宅で家事や入浴などの支援	外出の支援	施設で食事・入浴などの支援やも のづくりなどを楽しむサービス	自立のための様々な訓練をする サービス	働くための訓練・相談・指導の サービス	福祉作業所で働く場の提供	日中の活動ができる場を利用する サービス	介護者が病気の時などに短期間宿 泊するサービス	障害のある人が共同で暮らすサー ビス
全体 (n=1,395)		3.9	9.2	7.7	3.4	4.2	5.4	6.5	8.5	8.4
障害種別	身体 (n=698)	5.2	7.4	6.9	3.2	2.4	3.3	3.3	6.3	4.7
	療育 (n=309)	7.1	27.5	21.7	6.1	6.5	11.3	20.4	23.3	28.5
	精神 (n=413)	3.9	6.3	5.8	4.1	7.7	7.7	5.3	4.6	5.1
	難病 (n=221)	5.4	6.8	5.4	1.8	3.6	2.3	3.2	7.2	5.0

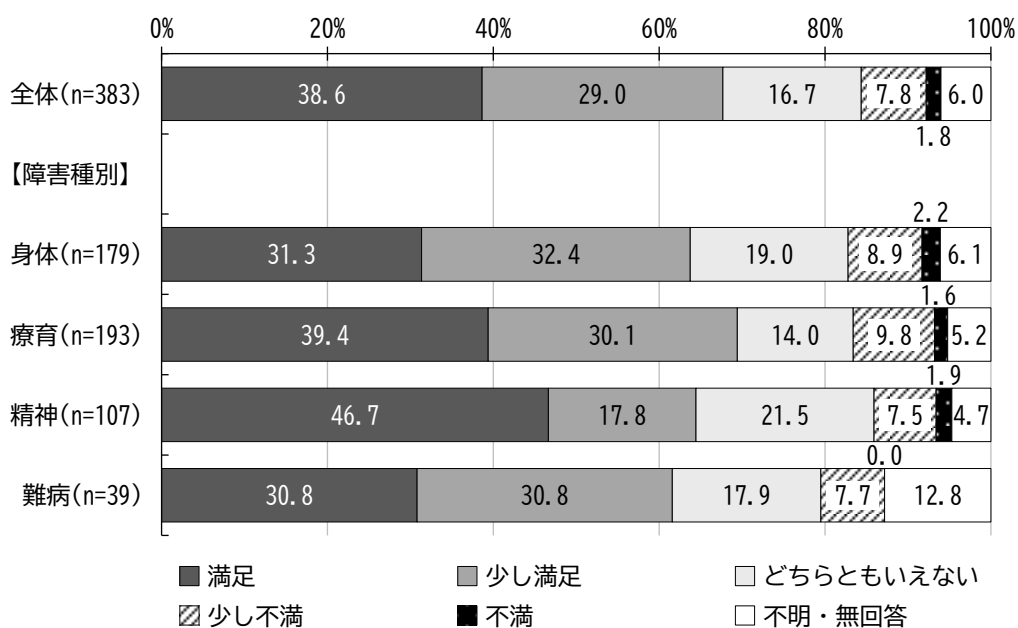
単位：％		障害者施設で暮らすサービス	活を継続するため の相談	施設入所者や入院中 の人が地域生活に 移行するため	車いす、補聴器、おむつなどの 生活に必要なものの購入の補助	手話通訳者や要約筆記者の派遣	障害のある人同士の交流の場 の提供	利用者に適したサービスを提供す るための相談支援	受けたいサービスはない	不明・無回答
全体 (n=1,395)		6.6	2.2	7.3	1.1	4.1	11.5	20.5	50.5	
障害種別	身体 (n=698)	5.0	2.3	12.0	1.4	3.2	8.7	17.6	55.9	
	療育 (n=309)	19.1	3.2	10.0	1.0	8.4	27.8	8.7	35.6	
	精神 (n=413)	5.1	1.9	2.9	0.5	5.1	13.3	28.6	43.1	
	難病 (n=221)	3.2	2.7	6.8	0.5	5.4	7.2	25.8	53.4	

問23①で「自宅で家事や入浴などの支援」～「利用者に適したサービスを提供するための相談支援」のいずれかに答えた方

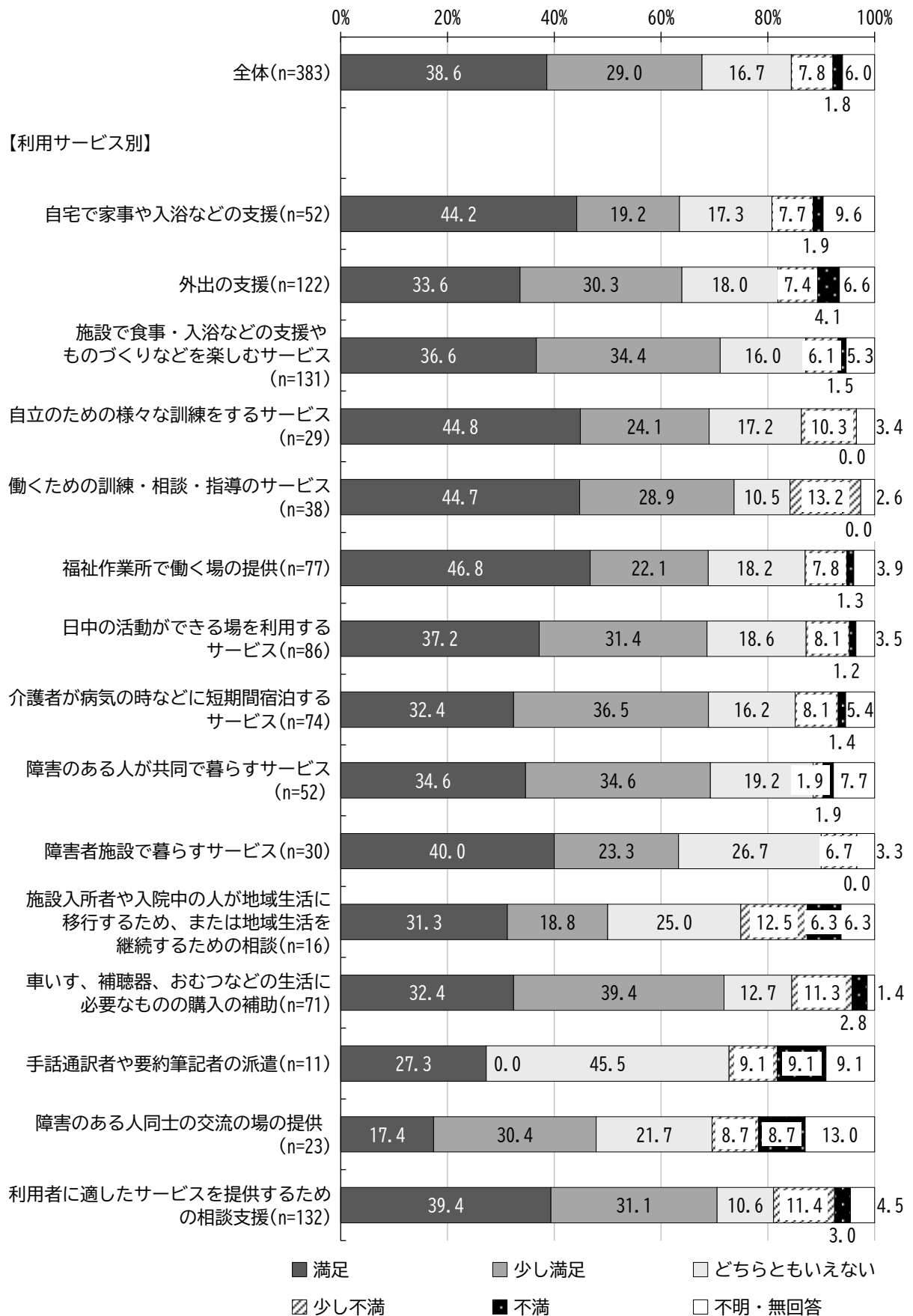
問23-1 そのサービスにどれくらい満足していますか。(○は1つ)

現在受けているサービスへの満足度は、「満足」が38.6%と最も高く、次いで「少し満足」が29.0%、「どちらともいえない」が16.7%となっています。『満足している』（「満足」と「少し満足」の合算）は67.6%、『不満である』（「不満」と「少し不満」の合算）は9.6%となっています。

障害種別に見ると、療育・精神では「満足」、身体では「少し満足」、難病では「満足」「少し満足」が最も高くなっています。



【問23①「現在受けているサービス」と問23-1「サービスの満足度」のクロス集計】

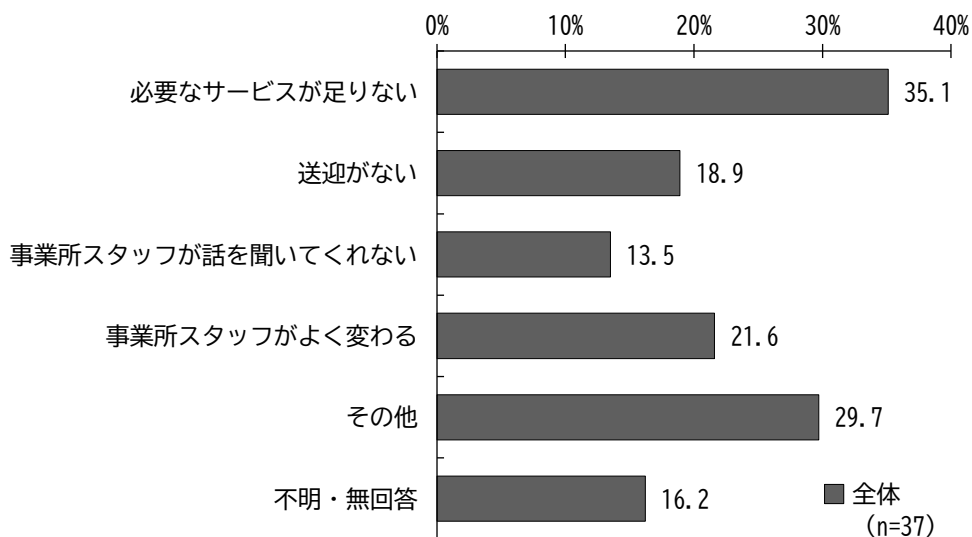


問23-1で「少し不満」又は「不満」と答えた方

問23-2 そのサービスに不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

現在受けているサービスに不満な理由は、「必要なサービスが足りない」が35.1%と最も高く、次いで「その他」が29.7%、「事業所スタッフがよく変わる」が21.6%となっています。

障害種別にみると、身体・療育では「必要なサービスが足りない」、精神では「その他」が最も高くなっています。



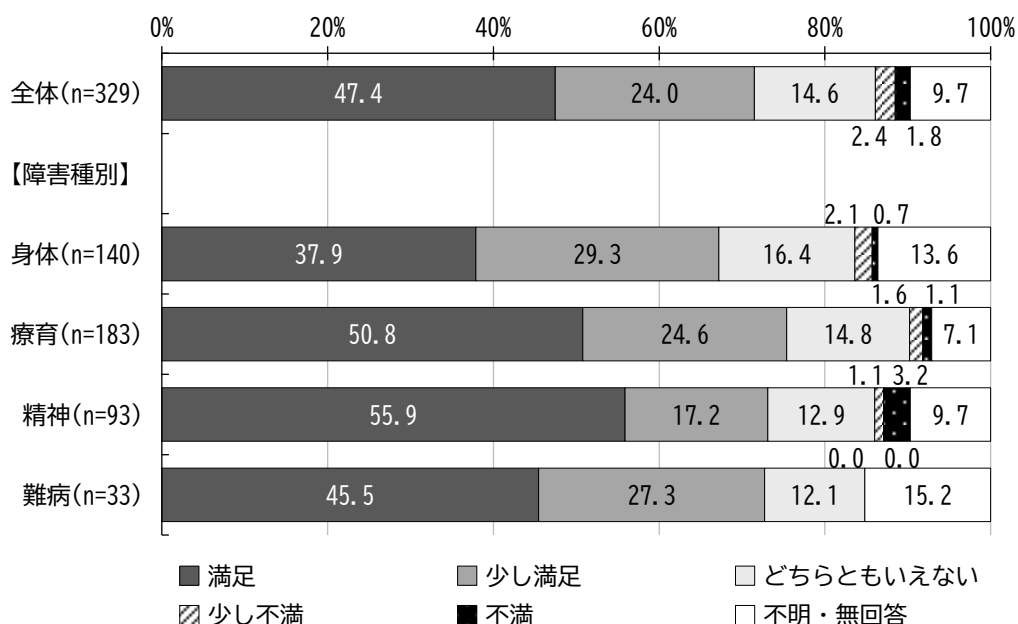
単位：%		必要なサービスが足りない	送迎がない	事業所スタッフが話を聞いてくれない	事業所スタッフがよく変わる	その他	不明・無回答
全体 (n=37)		35.1	18.9	13.5	21.6	29.7	16.2
障害種別	身体 (n=20)	50.0	20.0	10.0	15.0	10.0	20.0
	療育 (n=22)	36.4	22.7	9.1	18.2	27.3	9.1
	精神 (n=10)	30.0	10.0	30.0	30.0	50.0	0.0
	難病 (n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

問23①で「自宅で家事や入浴などの支援」～「施設入所者や入院中の人々が地域生活に移行するため、又は地域生活を継続するための相談」のいずれかに答えた方

問23-3 サービス等利用計画書を作るために相談支援専門員に相談してもらっていますが、その相談にどれくらい満足していますか。
(○は1つ)

相談支援専門員への相談への満足度は、「満足」が47.4%と最も高く、次いで「少し満足」が24.0%、「どちらともいえない」が14.6%となっています。『満足している』（「満足」と「少し満足」の合算）は71.4%、『不満である』（「不満」と「少し不満」の合算）は4.2%となっています。

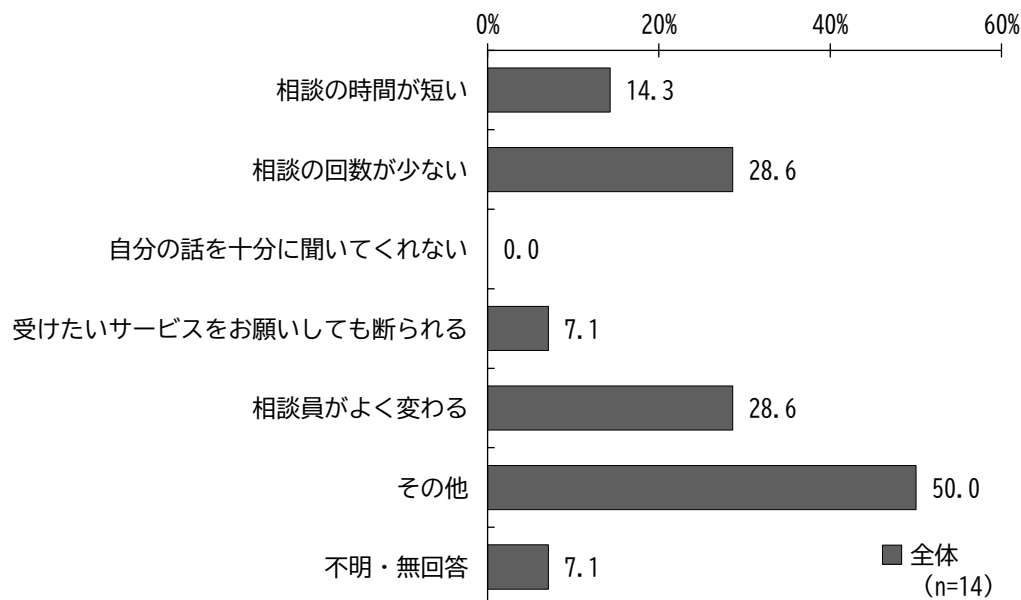
障害種別にみると、全ての区分で「満足」が最も高くなっています。



問23-3で「少し不満」又は「不満」と答えた方

問23-4 その相談に不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

相談支援専門員への相談に不満な理由は、「その他」が50%（7件）と最も高く、次いで「相談の回数が少ない」「相談員がよく変わる」が28.6%（4件）、「相談の時間が短い」が14.3%（2件）となっています。



単位：%		相談の時間が短い	相談の回数が少ない	く自分の話を十分に聞いてくれない	い受けたいサービスをお願いしても断られる	相談員がよく変わる	その他	不明・無回答
全体 (n=14)		14.3	28.6	0.0	7.1	28.6	50.0	7.1
障害種別	身体 (n=4)	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
	療育 (n=5)	40.0	40.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
	精神 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0

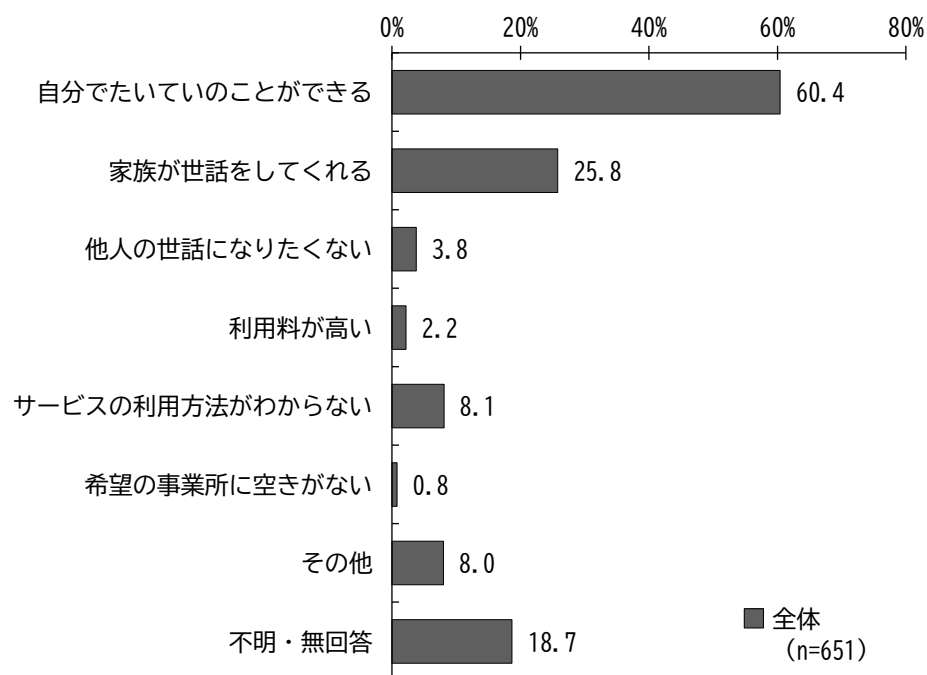
※難病は (n=0) のため省略

問23①で「これらのサービスは受けていない」と答えた方

問23-5 そのサービスを受けていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

サービスを受けていない理由は、「自分でたいていのことができる」が60.4%と最も高く、次いで「家族が世話をしてくれる」が25.8%、「サービスの利用方法がわからない」が8.1%となっています。

障害種別にみると、療育では「家族が世話をしてくれる」、その他の区分では「自分でたいていのことができる」が最も高くなっています。



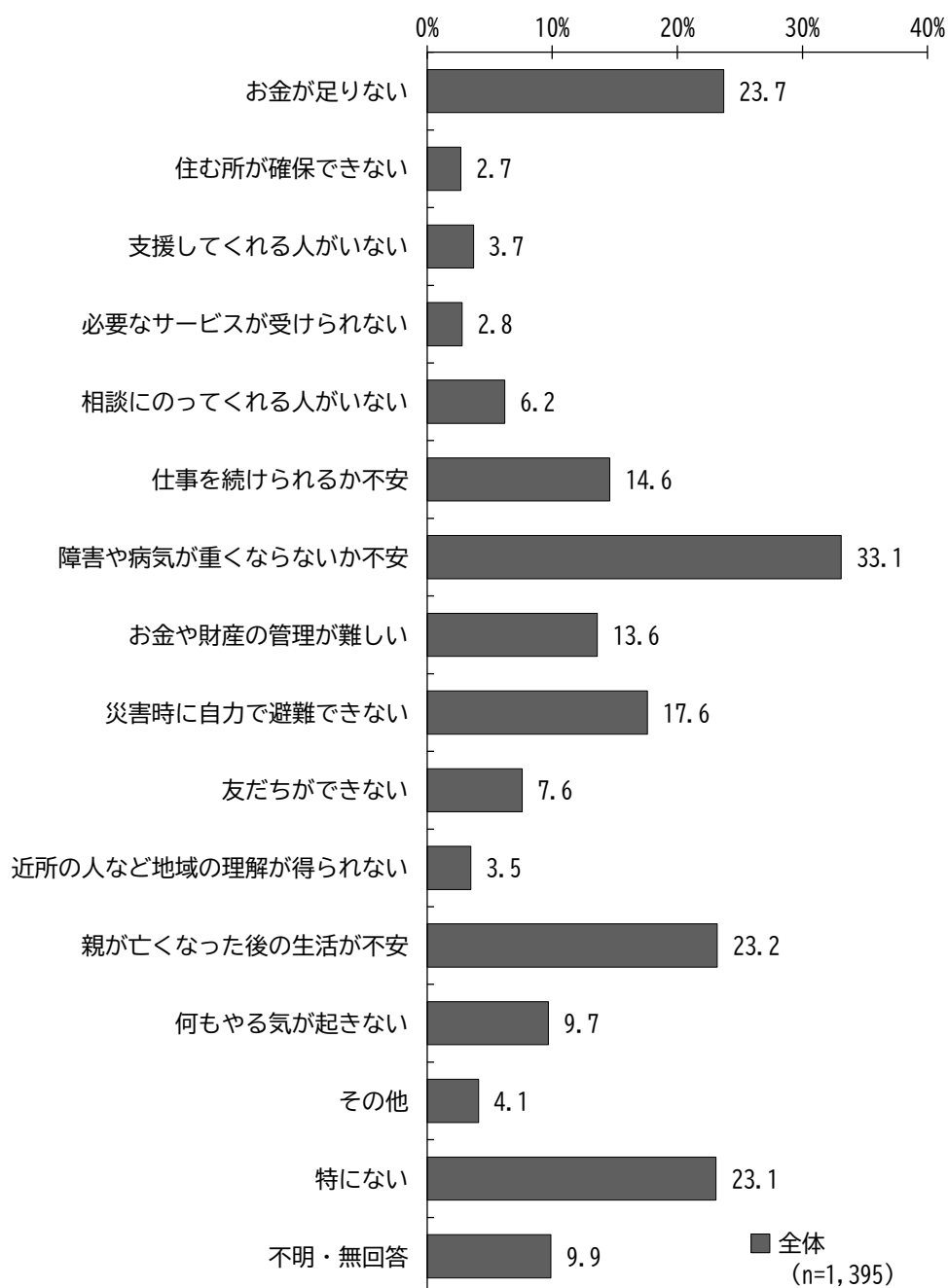
単位：%		自分でたいていのことができる	家族が世話をしてくれる	他人の世話になりたくない	利用料が高い	サービスの利用方法がわからない	希望の事業所に空きがない	その他	不明・無回答
全体 (n=651)		60.4	25.8	3.8	2.2	8.1	0.8	8.0	18.7
障害種別	身体 (n=303)	59.4	29.7	3.3	1.7	8.3	0.0	8.3	17.8
	療育 (n=73)	42.5	46.6	2.7	6.8	11.0	4.1	12.3	19.2
	精神 (n=227)	59.5	21.6	6.2	2.6	9.3	0.9	8.8	20.3
	難病 (n=104)	64.4	12.5	1.0	0.0	6.7	0.0	7.7	23.1

5 相談や情報などについて

問24 現在不安なことや困っていることはありませんか。(〇はいくつでも)

現在不安なことや困っていることは、「障害や病気が重くならないか不安」が33.1%と最も高く、次いで「お金が足りない」が23.7%、「親が亡くなった後の生活が不安」が23.2%となっています。

障害種別にみると、療育では「親が亡くなった後の生活が不安」、その他の区分では「障害や病気が重くならないか不安」が最も高くなっています。



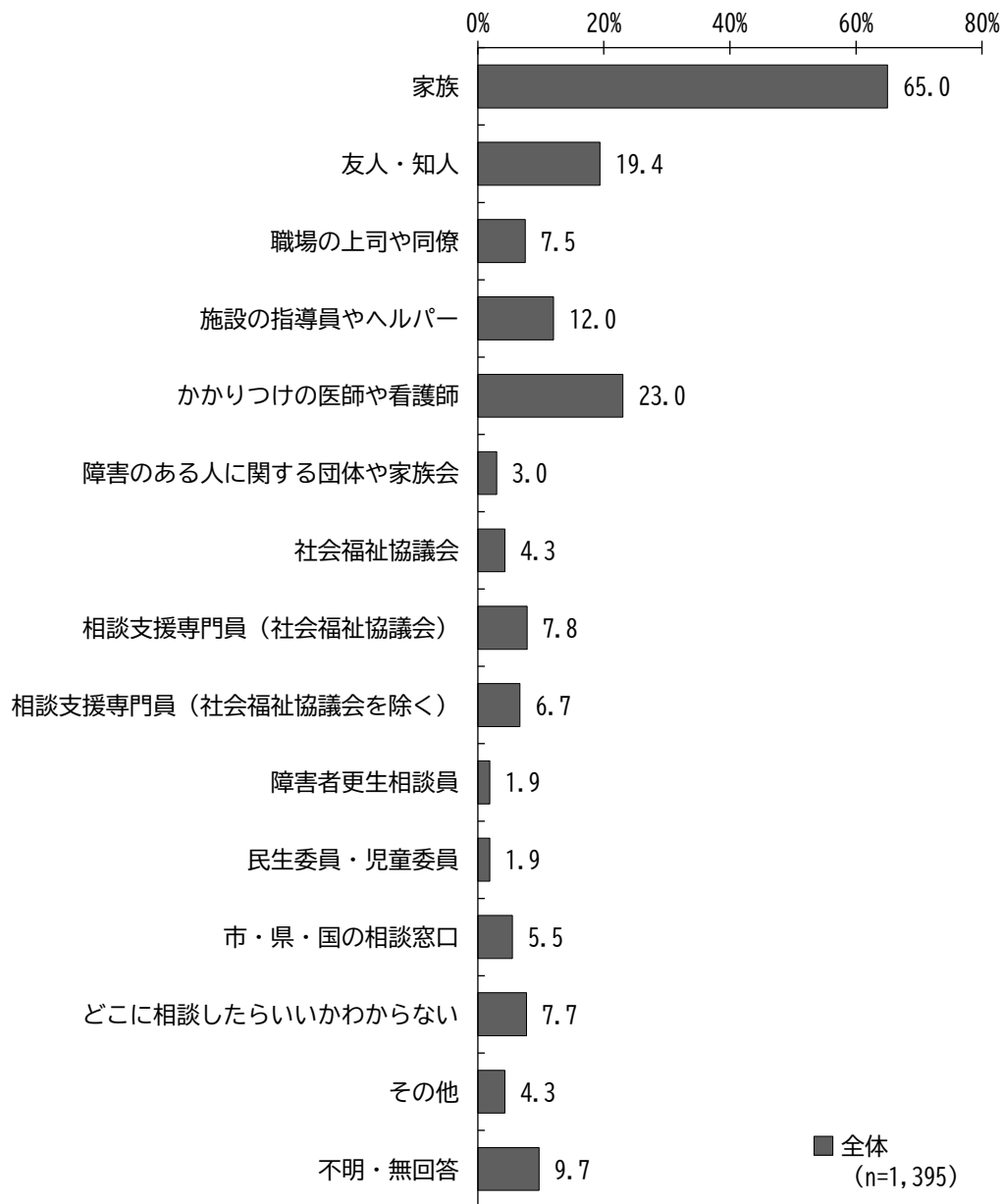
単位：％		お金が足りない	住む所が確保できない	支援してくれる人がいない	必要なサービスが受けられない	相談のつてくれる人がいない	仕事を続けられるか不安	障害や病気が重くならないか不安	お金や財産の管理が難しい
全体 (n=1,395)		23.7	2.7	3.7	2.8	6.2	14.6	33.1	13.6
障害種別	身体 (n=698)	22.5	2.0	3.2	2.3	4.3	7.9	35.7	6.6
	療育 (n=309)	18.4	6.1	4.5	4.2	4.2	12.6	22.3	32.7
	精神 (n=413)	34.6	3.1	5.8	4.6	12.1	25.2	36.1	19.9
	難病 (n=221)	26.2	1.8	3.6	1.4	8.1	15.8	43.4	8.1

単位：％		災害時に自力で避難できない	友だちができない	近所の人など地域の理解が得られない	親が亡くなった後の生活が不安	何もやる気が起きない	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=1,395)		17.6	7.6	3.5	23.2	9.7	4.1	23.1	9.9
障害種別	身体 (n=698)	22.6	3.9	2.9	13.2	6.4	3.9	24.8	13.8
	療育 (n=309)	29.4	7.8	5.2	61.5	2.9	3.9	13.3	6.5
	精神 (n=413)	10.4	16.0	6.3	27.8	21.8	5.1	19.9	4.8
	難病 (n=221)	16.3	6.3	3.2	11.3	7.7	2.3	22.2	9.0

問25 悩みや困りごとを誰に相談したいですか。(〇はいくつでも)

悩みや困りごとを誰に相談したいかは、「家族」が65.0%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が23.0%、「友人・知人」が19.4%となっています。

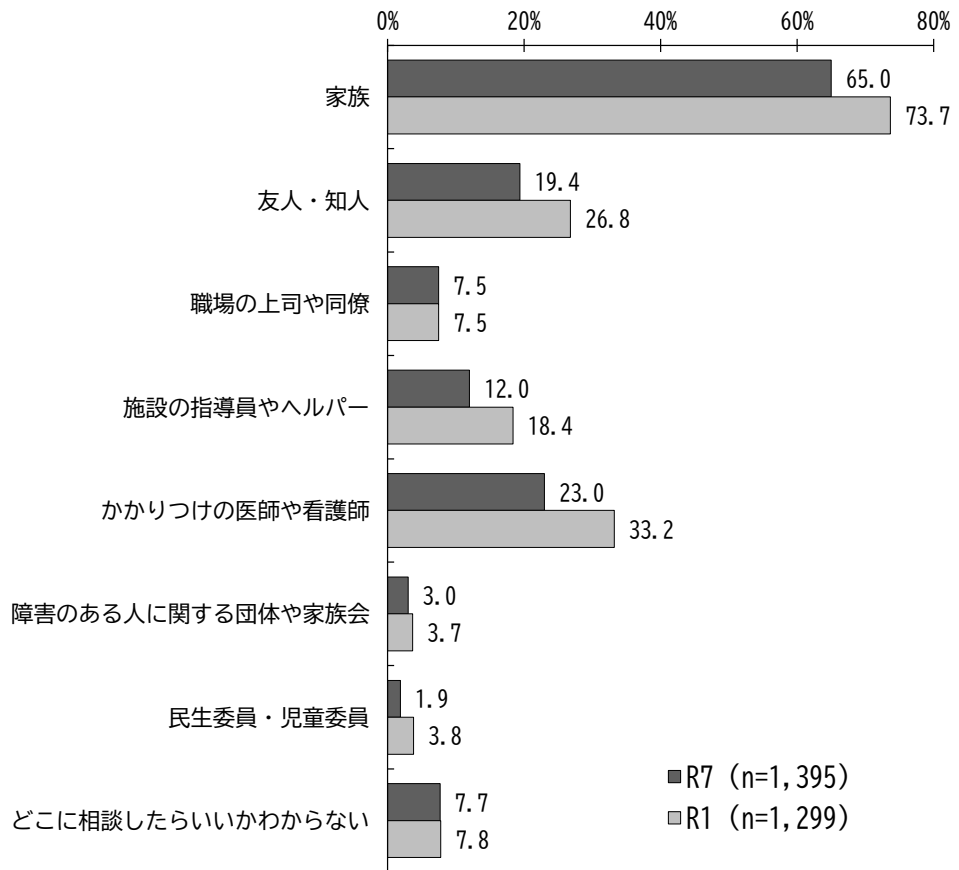
障害種別にみると、全ての区分で「家族」が最も高くなっています。



単位：％		家族	友人・知人	職場の上司や同僚	施設の指導員やヘルパー	かかりつけの医師や看護師	障害のある人に関する団体や家族会	社会福祉協議会	相談支援専門員（社会福祉協議会）
全体（n=1,395）		65.0	19.4	7.5	12.0	23.0	3.0	4.3	7.8
障害種別	身体（n=698）	63.9	18.5	3.0	11.3	20.5	3.0	5.0	5.9
	療育（n=309）	67.0	11.0	15.2	30.1	17.2	5.8	7.8	18.4
	精神（n=413）	63.4	24.7	11.1	10.9	32.9	3.9	4.4	8.2
	難病（n=221）	67.9	19.9	4.5	9.5	26.2	1.8	6.8	6.3

単位：％		福祉協議会を除外した相談支援専門員（社会福祉協議会）	障害者更生相談員	民生委員・児童委員	市・県・国の相談窓口	どこに相談したらいいかわからない	その他	不明・無回答
全体（n=1,395）		6.7	1.9	1.9	5.5	7.7	4.3	9.7
障害種別	身体（n=698）	5.6	2.1	2.6	6.3	6.9	4.3	11.7
	療育（n=309）	14.9	2.9	1.6	5.8	5.5	3.2	8.7
	精神（n=413）	7.0	3.1	2.2	4.8	10.7	4.1	5.3
	難病（n=221）	9.0	3.2	3.6	8.1	6.3	4.5	10.0

【経年比較】



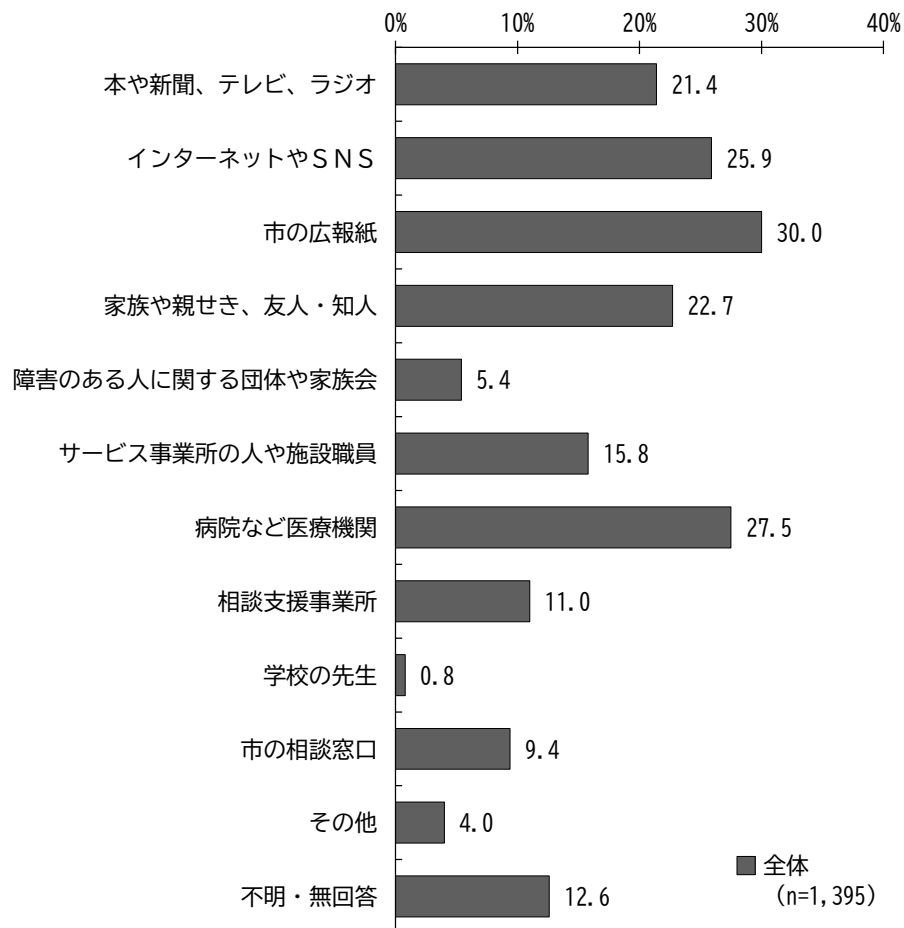
■各調査の選択肢

R7 年度調査	R1 年度調査
家族	家族や親せき
友人・知人	変更なし
項目なし	近所の人
職場の上司や同僚	変更なし
施設の指導員やヘルパー	施設の職員など
かかりつけの医師や看護師	変更なし
障害のある人に関する団体や家族会	障害者に関する団体や家族会
項目なし	地域生活支援拠点など
項目なし	ケースワーカー、ケアマネジャーなど
社会福祉協議会	項目なし
相談支援専門員(社会福祉協議会)	項目なし
相談支援専門員(社会福祉協議会を除く)	項目なし
項目なし	相談支援事業所などの民間の相談窓口
項目なし	ホームヘルパーなどサービス事業所の人
項目なし	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
障害者更生相談員	項目なし
民生委員・児童委員	民生委員・児童委員・障害者相談員
項目なし	市の相談窓口
項目なし	県や国の相談窓口
市・県・国の相談窓口	項目なし
どこに相談したらいいかわからない	どこに相談したらいいかわからない
その他	その他

問26 障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから入手していますか。(〇はいくつでも)

障害のことや福祉サービスなどに関する情報の入手先は、「市の広報紙」が30.0%と最も高く、次いで「病院など医療機関」が27.5%、「インターネットやSNS」が25.9%となっています。

障害種別にみると、身体では「市の広報紙」、療育では「サービス事業所の人や施設職員」、精神・難病では「病院など医療機関」が最も高くなっています。

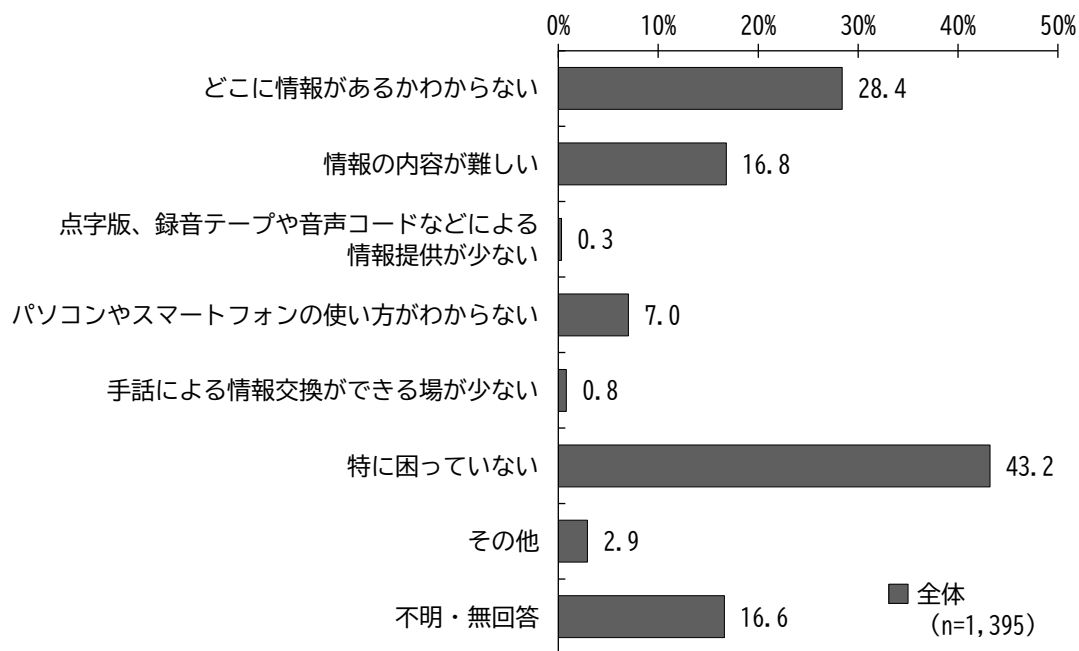


単位：%	本や新聞、テレビ、ラジオ	インターネットやSNS	市の広報紙	家族や親せき、友人・知人	障害のある人に関する団体や家族会	サービス事業所の人や施設職員	病院など医療機関	相談支援事業所	学校の先生	市の相談窓口	その他	不明・無回答
全体 (n=1,395)	21.4	25.9	30.0	22.7	5.4	15.8	27.5	11.0	0.8	9.4	4.0	12.6
障害種別												
身体 (n=698)	24.8	19.2	32.7	22.1	4.3	15.5	23.6	8.7	0.3	10.3	4.3	14.6
療育 (n=309)	17.5	17.8	24.6	32.0	16.5	35.6	12.9	30.1	2.3	9.1	4.2	12.0
精神 (n=413)	18.6	35.8	25.9	21.1	4.4	12.3	39.5	8.7	0.7	8.7	3.4	9.0
難病 (n=221)	19.0	27.6	27.6	17.2	2.7	14.5	42.1	10.0	1.4	7.2	2.7	14.0

問27 あなたは、情報の入手について困っていることはありますか。
(〇はいくつでも)

情報の入手について困っていることは、「特に困っていない」が43.2%と最も高く、次いで「どこに情報があるかわからない」が28.4%、「情報の内容が難しい」が16.8%となっています。

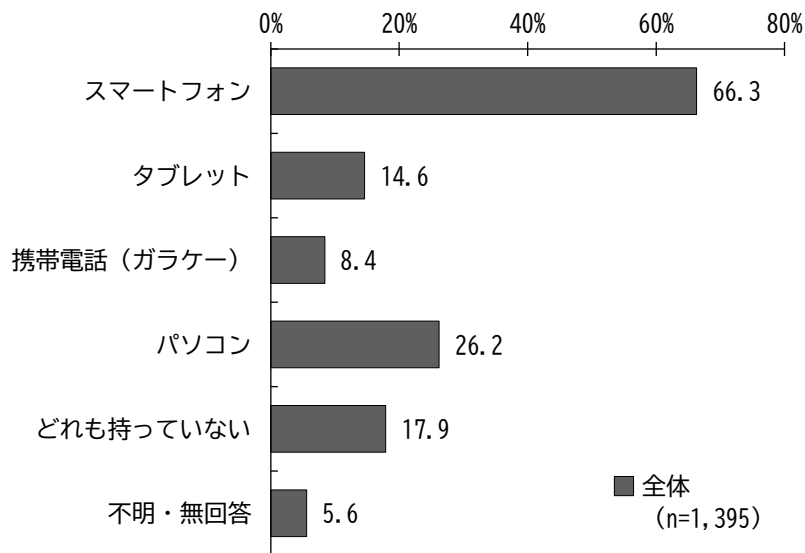
障害種別にみると、全ての区分で「特に困っていない」が最も高くなっています。



単位：%		どこに情報があるかわからない	情報の内容が難しい	点字版、録音テープや音声コードなどによる情報提供が少ない	パソコンやスマートフォンの使い方がわからない	手話による情報交換ができる場が少ない	特に困っていない	その他	不明・無回答
全体 (n=1,395)		28.4	16.8	0.3	7.0	0.8	43.2	2.9	16.6
障害種別	身体 (n=698)	26.1	14.5	0.3	7.7	1.0	41.7	2.4	20.5
	療育 (n=309)	31.4	29.4	0.6	7.4	1.0	31.7	3.2	18.1
	精神 (n=413)	35.1	18.6	1.0	5.6	1.0	45.3	3.9	10.2
	難病 (n=221)	30.3	15.4	0.5	10.9	0.0	39.8	0.9	19.0

問28 あなたは、スマートフォンやパソコンなどを持っていますか。お持ちのものについて教えてください。(〇はいくつでも)

スマートフォンやパソコンなどの所持状況は、「スマートフォン」が66.3%と最も高く、次いで「パソコン」が26.2%、「どれも持っていない」が17.9%となっています。
障害種別にみると、全ての区分で「スマートフォン」が最も高くなっています。



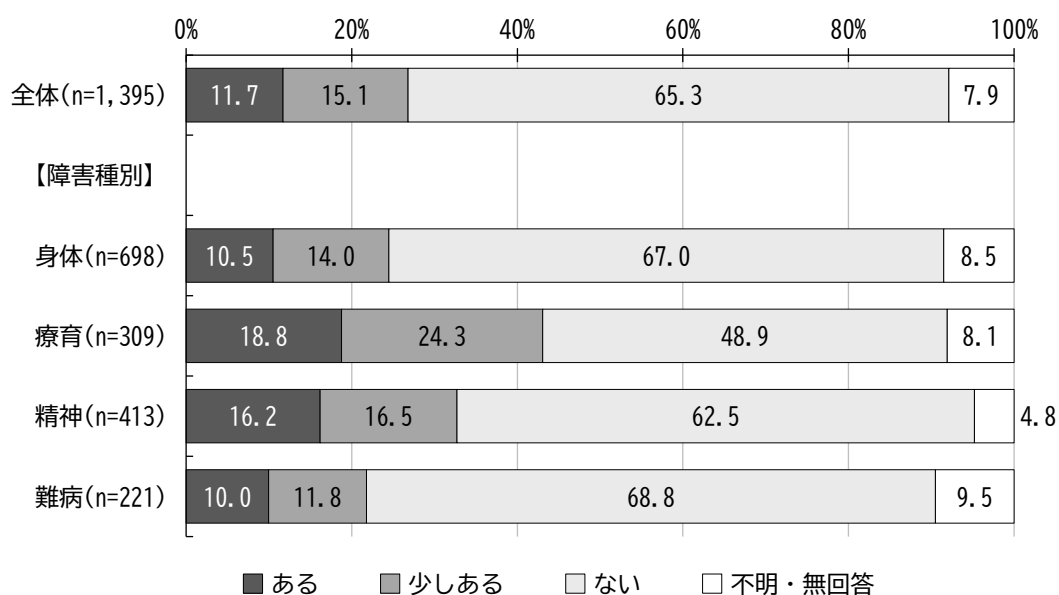
単位：%		スマートフォン	タブレット	携帯電話 (ガラケー)	パソコン	どれも持っていない	不明・無回答
全体 (n=1,395)		66.3	14.6	8.4	26.2	17.9	5.6
障害種別	身体 (n=698)	59.9	11.5	11.0	23.1	20.5	7.6
	療育 (n=309)	46.6	12.6	7.1	11.3	35.0	5.8
	精神 (n=413)	79.2	19.1	3.6	34.1	11.6	3.1
	難病 (n=221)	72.4	14.0	6.8	28.5	13.6	6.3

6 障害理解などについて

問29 あなたは過去3年ぐらいのうちに、障害があることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つ)

障害があることで差別や嫌な思いをした経験の有無は、「ない」が65.3%と最も高く、次いで「少しある」が15.1%、「ある」が11.7%となっています。『経験がある』（「ある」と「少しある」の合算）は26.8%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「ない」が最も高くなっています。

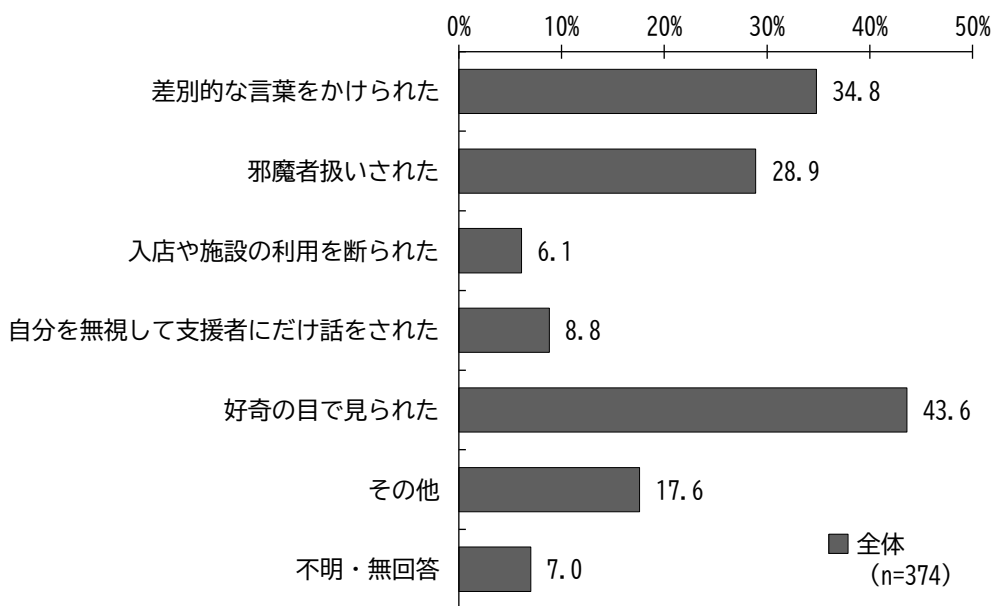


問29で「ある」又は「少しある」と答えた方

問29-1 障害のために受けた差別や嫌な思いは、具体的に何ですか。 (〇はいくつでも)

障害のために受けた差別や嫌な思いの具体的な内容は、「好奇の目で見られた」が43.6%と最も高く、次いで「差別的な言葉をかけられた」が34.8%、「邪魔者扱いされた」が28.9%となっています。

障害種別にみると、精神では「差別的な言葉をかけられた」、その他の区分では「好奇の目で見られた」が最も高くなっています。

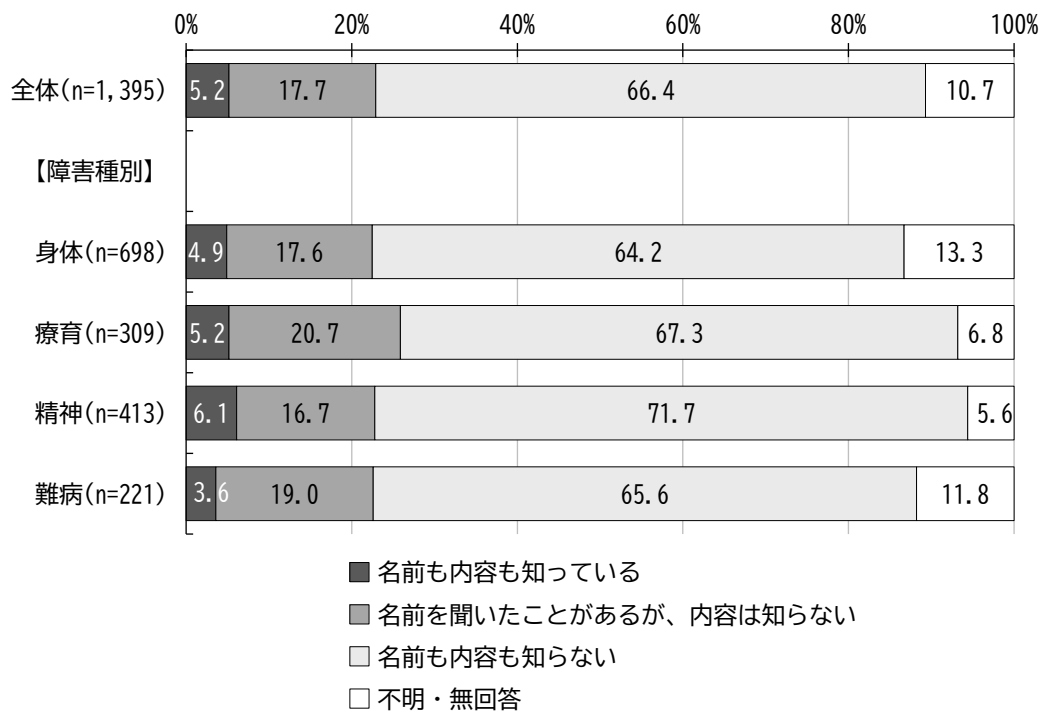


単位：%		差別的な言葉をかけられた	邪魔者扱いされた	入店や施設の利用を断られた	自分を無視して支援者にだけ話をされた	好奇の目で見られた	その他	不明・無回答
全体 (n=374)		34.8	28.9	6.1	8.8	43.6	17.6	7.0
障害種別	身体 (n=171)	31.6	26.9	9.4	11.7	43.3	16.4	6.4
	療育 (n=133)	30.1	21.8	7.5	7.5	58.6	12.0	4.5
	精神 (n=135)	46.7	41.5	5.9	9.6	32.6	23.0	8.1
	難病 (n=48)	33.3	29.2	14.6	6.3	41.7	20.8	6.3

問30 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）について知っていますか。（○は1つ）

障害者差別解消法の認知度は、「名前も内容も知らない」が66.4%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が17.7%、「名前も内容も知っている」が5.2%となっています。

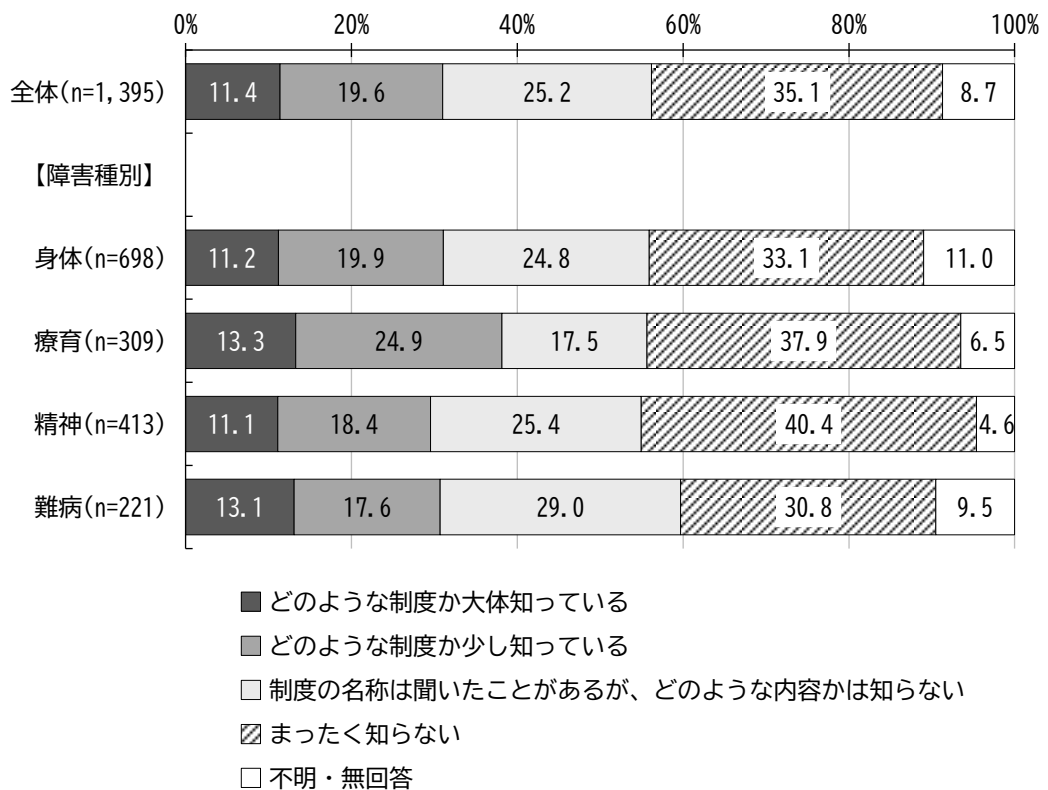
障害種別にみると、全ての区分で「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。



問3 1 認知症や障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利を守る「成年後見制度」についてお聞きします。あなたは、成年後見制度を知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度の認知度は、「まったく知らない」が35.1%と最も高く、次いで「制度の名称は聞いたことがあるが、どのような内容かは知らない」が25.2%、「どのような制度か少し知っている」が19.6%となっています。

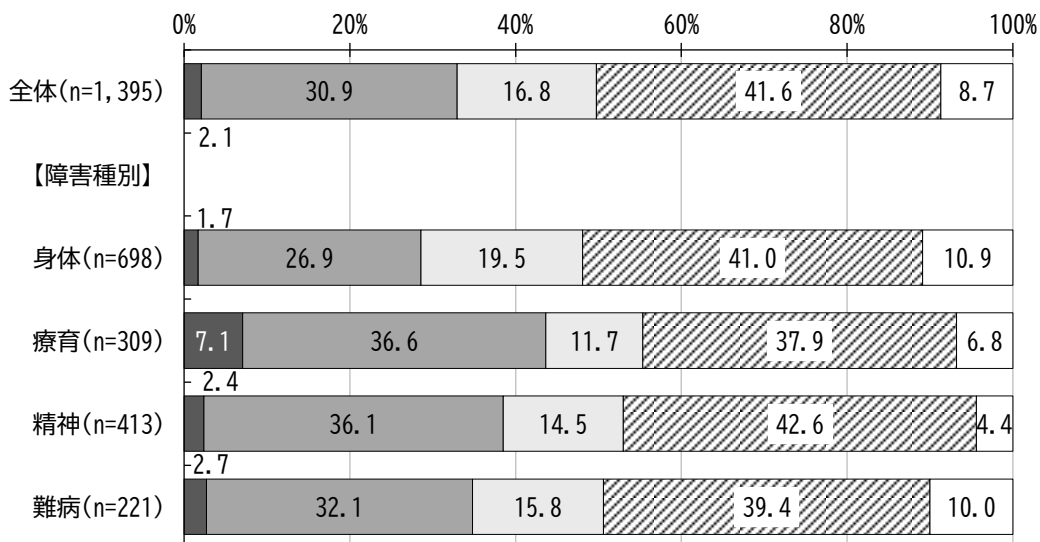
障害種別にみると、全ての区分で「まったく知らない」が最も高くなっています。



問32 あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

成年後見制度の利用意向は、「わからない」が41.6%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来必要になったら利用したい」が30.9%、「利用したいと思わない」が16.8%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「わからない」が最も高くなっています。

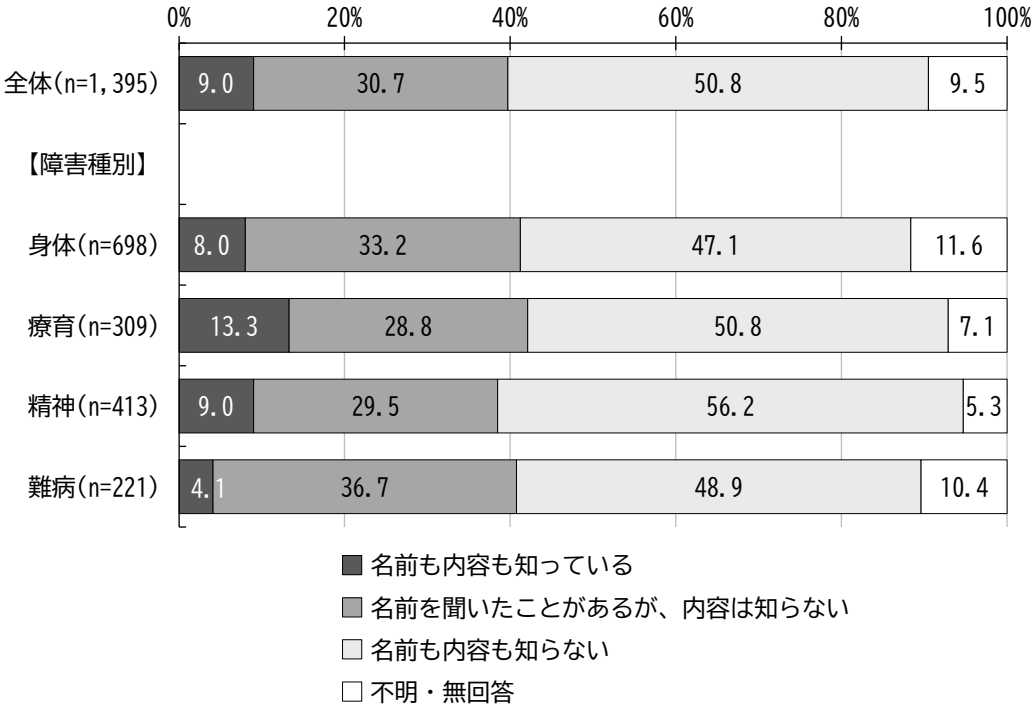


- すでに利用している
- 今は必要ないが、将来必要になったら利用したい
- 利用したいと思わない
- ▨わからない
- 不明・無回答

問33 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）について知っていますか。（○は1つ）

障害者虐待防止法の認知度は、「名前も内容も知らない」が50.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が30.7%、「名前も内容も知っている」が9.0%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。

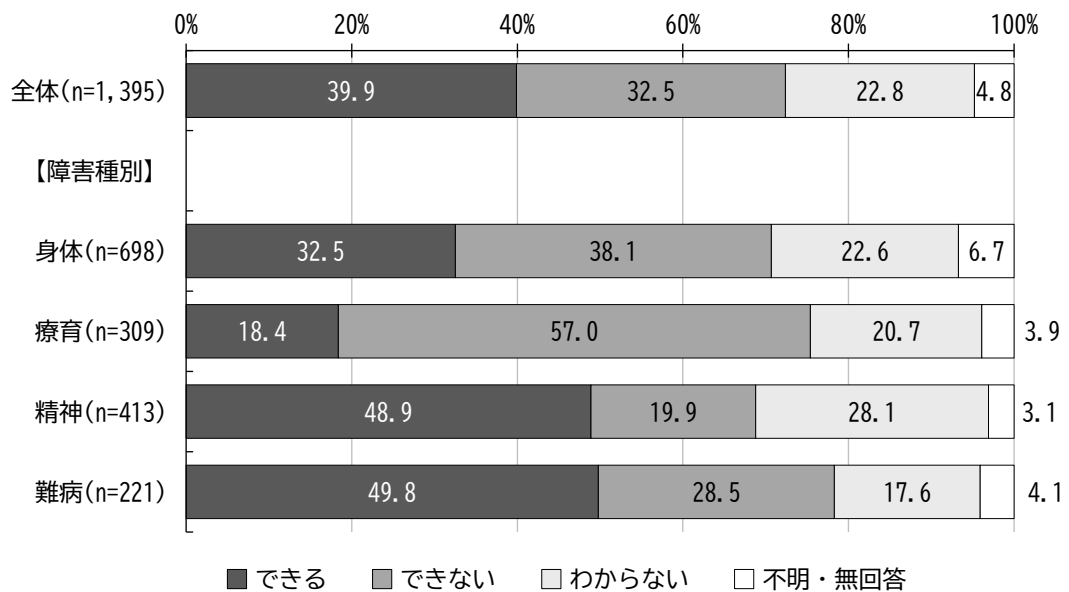


7 災害時の避難について

問34 水害や地震などの災害時に一人で避難できますか。(○は1つ)

災害時に一人で避難できるかは、「できる」が39.9%と最も高く、次いで「できない」が32.5%、「わからない」が22.8%となっています。

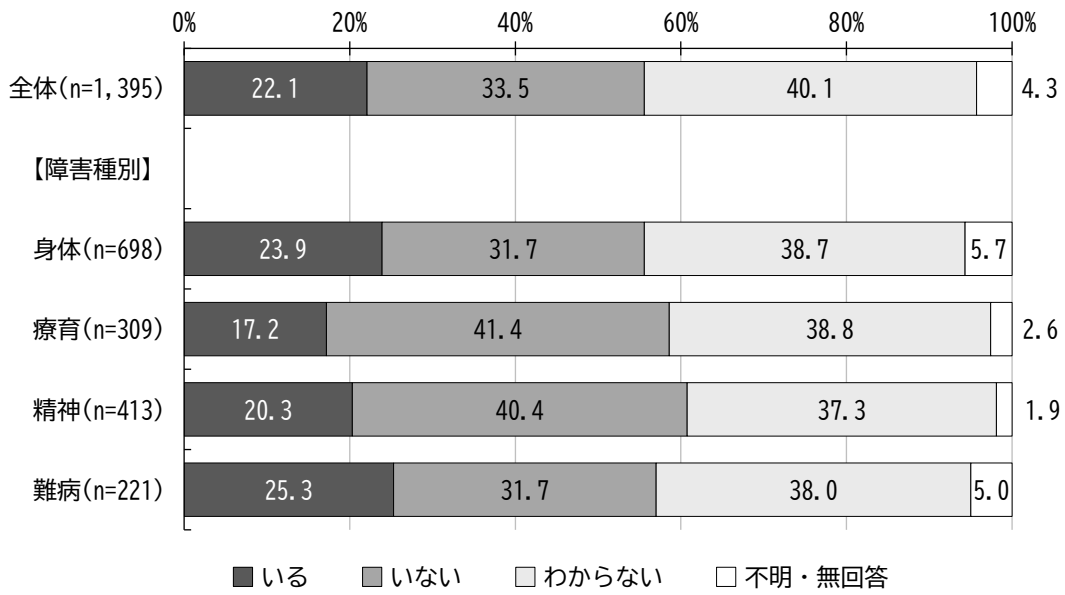
障害種別にみると、身体・療育では「できない」、精神・難病では「できる」が最も高くなっています。



問35 災害時に家族や支援者が不在の場合、近所に助けてくれる人はいますか。(○は1つ)

災害時に近所に助けてくれる人の有無は、「わからない」が40.1%と最も高く、次いで「いない」が33.5%、「いる」が22.1%となっています。

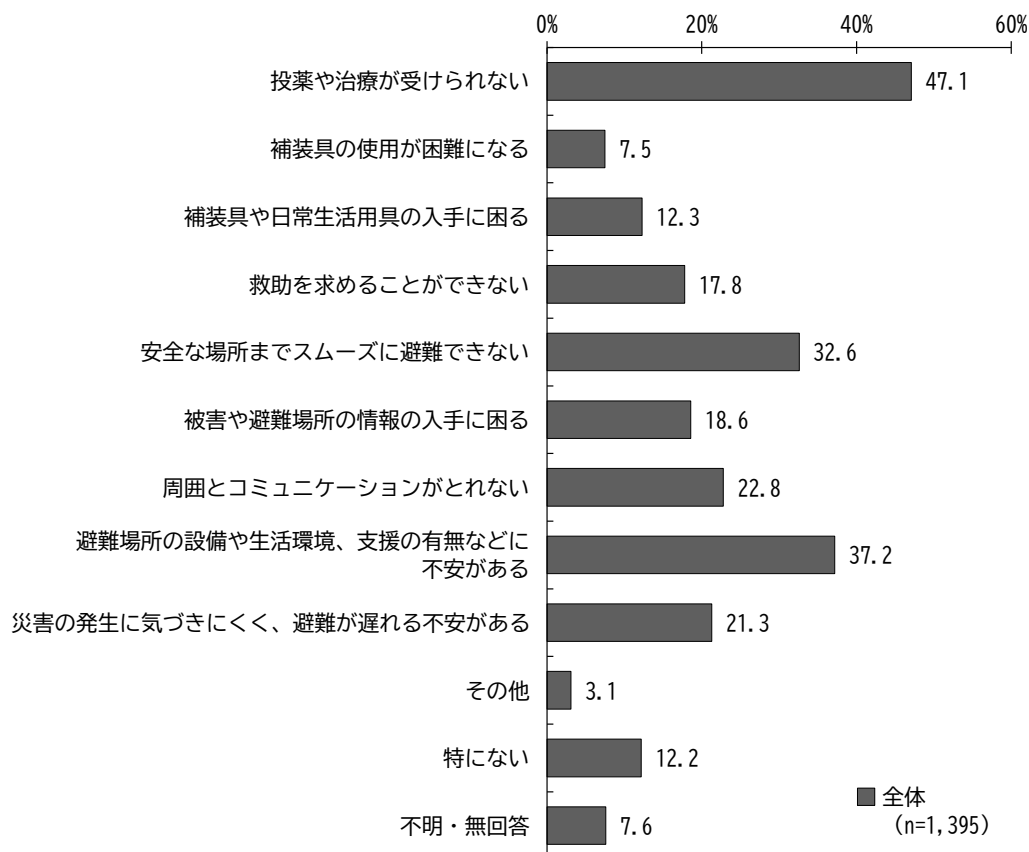
障害種別にみると、身体・難病では「わからない」、療育・精神では「いない」が最も高くなっています。



問36 水害や地震などの災害時にどのようなことに困りますか。
(〇はいくつでも)

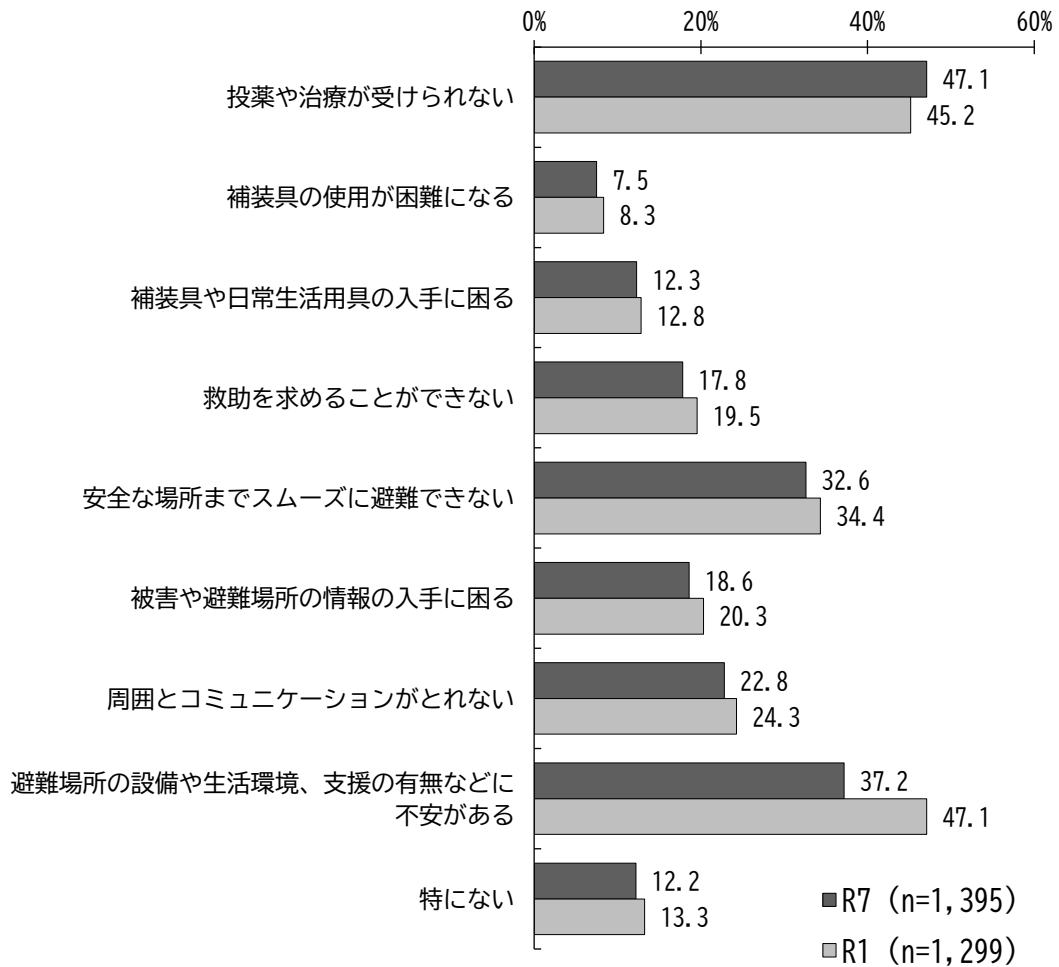
災害時に困ることは、「投薬や治療が受けられない」が47.1%と最も高く、次いで「避難場所の設備や生活環境、支援の有無などに不安がある」が37.2%、「安全な場所までスムーズに避難できない」が32.6%となっています。

障害種別にみると、療育では「避難場所の設備や生活環境、支援の有無などに不安がある」、その他の区分では「投薬や治療が受けられない」が最も高くなっています。



単位：%		投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手に困る	救助を求めることができない	安全な場所までスムーズに避難できない	被害や避難場所の情報の入手に困る	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備や生活環境、支援の有無などに不安がある	災害の発生に気づきにくく、避難が遅れる不安がある	その他	特になし	不明・無回答
全体 (n=1,395)		47.1	7.5	12.3	17.8	32.6	18.6	22.8	37.2	21.3	3.1	12.2	7.6
障害種別	身体 (n=698)	45.6	11.3	17.8	16.0	38.5	14.6	13.9	36.7	21.5	3.2	9.9	9.6
	療育 (n=309)	33.7	6.1	11.0	40.1	51.1	37.5	52.1	52.4	43.0	4.2	8.1	4.2
	精神 (n=413)	55.7	4.1	7.3	16.2	22.5	20.8	30.0	37.0	16.2	3.9	13.6	4.8
	難病 (n=221)	63.3	7.7	12.7	13.1	29.0	16.3	15.4	36.2	17.2	2.7	10.0	10.0

【経年比較】



■各調査の選択肢

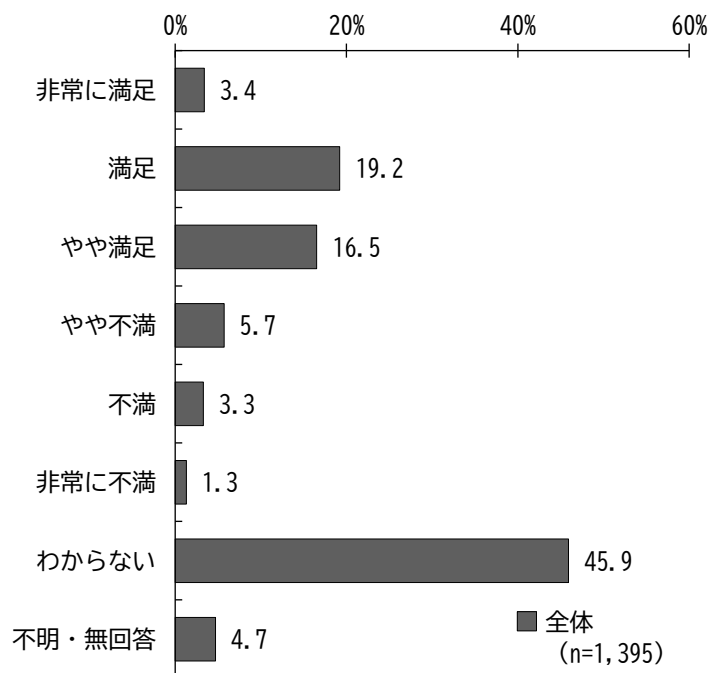
R7 年度調査	R1 年度調査
投薬や治療が受けられない	変更なし
補装具の使用が困難になる	変更なし
補装具や日常生活用具の入手に困る	変更なし
救助を求めることができない	変更なし
安全な場所までスムーズに避難できない	変更なし
被害や避難場所の情報の入手に困る	変更なし
周囲とコミュニケーションがとれない	変更なし
避難場所の設備や生活環境、支援の有無などに不安がある	避難場所の設備や生活環境への不安
災害の発生に気づきにくく、避難が遅れる不安がある	項目なし
その他	項目なし
特にない	特にない

8 市の施策について

問37 安城市の障害者福祉の取組について、どれくらい満足していますか。
(○は1つ)

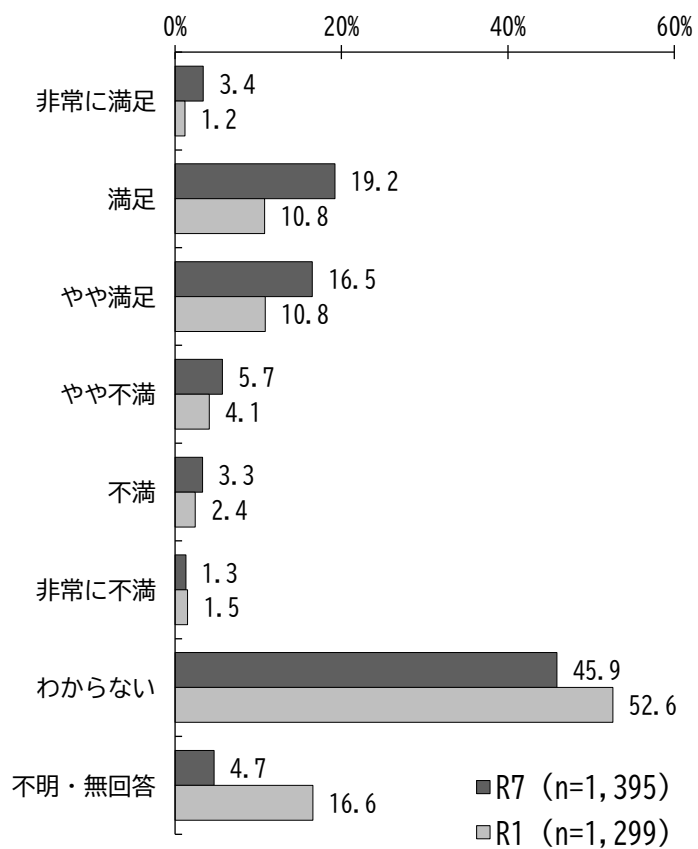
安城市の障害者福祉の取組への満足度は、「わからない」が45.9%と最も高く、次いで「満足」が19.2%、「やや満足」が16.5%となっています。『満足している』（「非常に満足」「満足」「やや満足」の合算）は39.1%、『不満である』（「非常に不満」「不満」「やや不満」の合算）は10.3%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「わからない」が最も高くなっています。



単位：%		非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満	わからない	不明・無回答
全体 (n=1,395)		3.4	19.2	16.5	5.7	3.3	1.3	45.9	4.7
障害種別	身体 (n=698)	2.3	18.8	16.0	7.0	2.7	0.9	46.3	6.0
	療育 (n=309)	2.3	15.5	18.4	10.4	5.8	1.6	43.7	2.3
	精神 (n=413)	6.1	24.2	17.7	3.9	3.4	1.7	40.9	2.2
	難病 (n=221)	2.7	12.7	17.2	5.0	4.5	1.4	48.4	8.1

【経年比較】



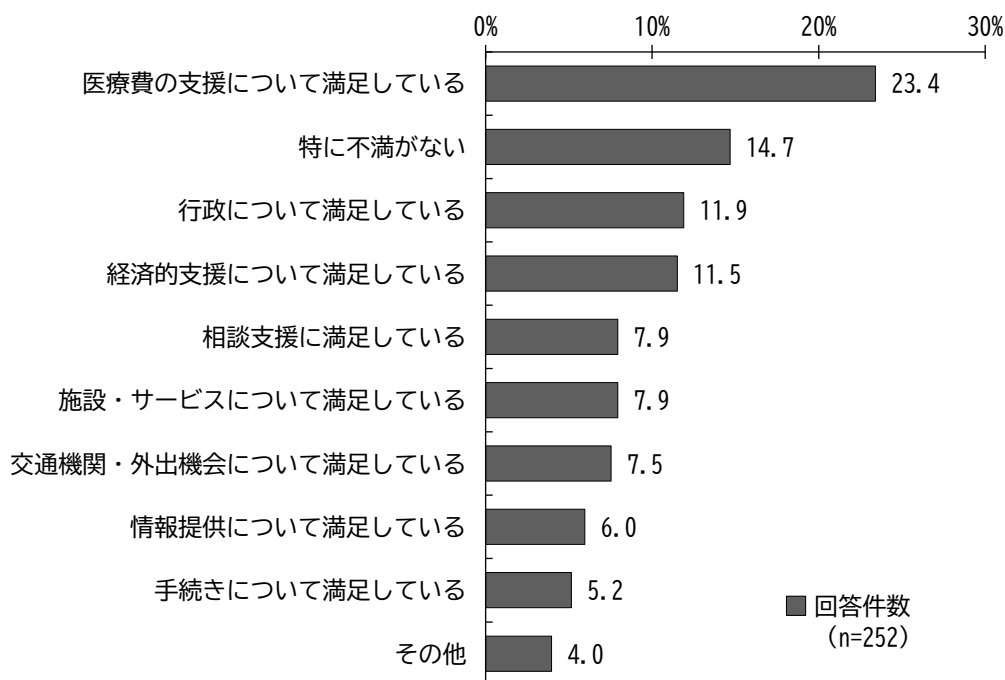
■各調査の選択肢

両調査ともにすべて同じ選択肢となっています。

問37で「非常に満足」～「やや満足」と答えた方

問37-1 安城市の障害者福祉の取組に満足と感じる理由は何ですか。 (自由に記入)

問37で「非常に満足」「満足」「やや満足」と回答した人にその理由をたずねたところ、252件の回答がありました。



意見の主な内容

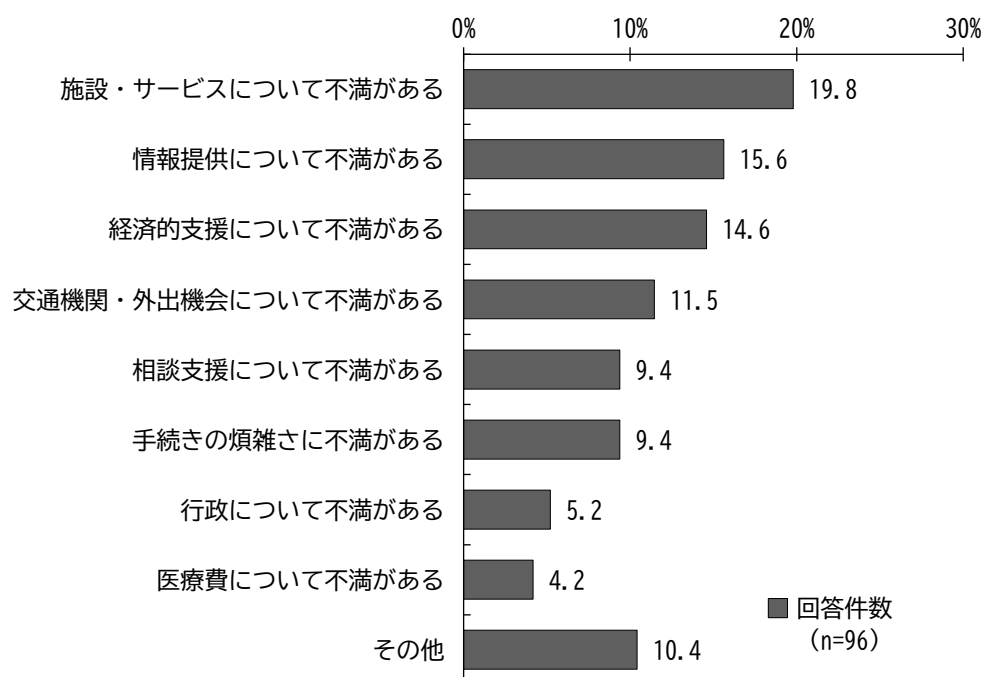
区分	満足の理由	
医療費の支援について満足している	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の支援がよい・ありがたい ・他の市にはない支援があり、安心して病院に通える ・ある程度の保障はあると感じる 	等
特に不満がない	<ul style="list-style-type: none"> ・今のままでよい・特に不満はない ・あまり困っている人を見かけないから 	等
行政について満足している	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所職員が優しく丁寧・親切に対応してくれる ・福祉に力を入れてくれている ・対応が早かった 	等
経済的支援について満足している	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭的な援助に満足している ・補装具費用の補助に満足している ・手帳による割引等に満足している ・おむつ券が助かっている 	等
相談支援に満足している	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員が親切でありありがたい・相談しやすい ・相談対応に満足している ・居場所や相談場所が充実している 	等

区分	満足の理由	
施設・サービスについて満足している	・施設が充実している ・福祉サービスが充実している	等
交通機関・外出機会について満足している	・あんくるバスが助かっている ・タクシーチケットが助かっている	等
情報提供について満足している	・説明がわかりやすい・詳しくて丁寧である ・広報活動がよい	等
手続きについて満足している	・手続き等がスムーズである ・窓口で丁寧に説明があった ・関係機関同士の連携がありスムーズに引き継いでもえらえた	等
その他	・このような意見を聞く機会が継続されるとよい ・なんとなく	等

問37で「やや不満」～「非常に不満」と答えた方

問37-2 安城市の障害者福祉の取組に不満と感じる理由は何ですか。
(自由に記入)

問37で「非常に不満」「不満」「やや不満」と回答した人にその理由をたずねたところ、96件の回答がありました。



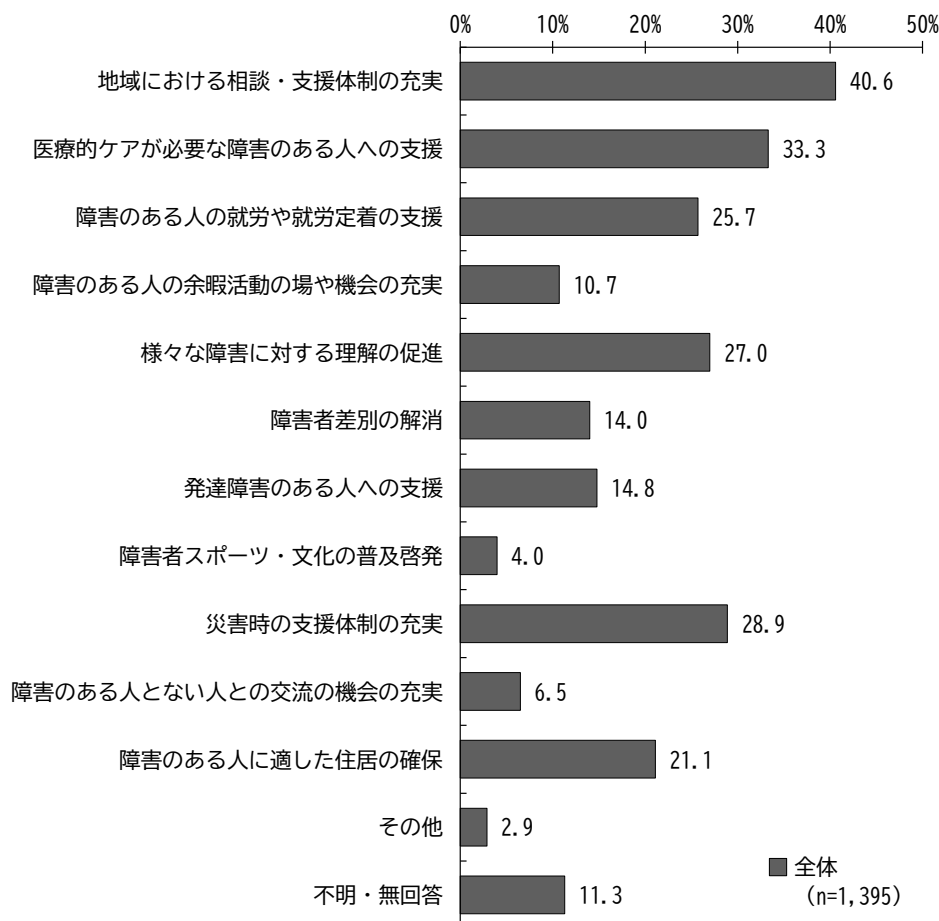
意見の主な内容

区分	不満の理由	
施設・サービスについて不満がある	・グループホームが少ない・空きがない ・障害者福祉にかかわる人材不足が不安である	等
情報提供について不満がある	・情報を取り行かないと届かない ・サービスがわかりづらい	等
経済的支援について不満がある	・金銭的な支援を増やしてほしい ・等級によって受けられるサービスの差が大きい	等
交通機関・外出機会について不満がある	・あんくるバスの停留所が遠い ・歩道の段差や幅に問題がある	等
相談支援について不満がある	・制度の狭間で相談がワンストップで終わらない ・障害や日常の困りごとを相談する機関がない	等
手続きの煩雑さに不満がある	・申請がオンラインでできるようになるとよい ・申請等にかかる書類の準備が大変である	等
行政について不満がある	・身体障害者への取組をもっと配慮してほしい ・職員の障害者に対する対応が統一されていない	等
医療費について不満がある	・医療費が高い ・治療費負担が大きくなり、生活費が減少している	等
その他	・アンケートが反映されるのか不明 ・近くでゆっくりできる場所が少ない	等

問38 障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで優先的に取り組むべきことは、「地域における相談・支援体制の充実」が40.6%と最も高く、次いで「医療的ケアが必要な障害のある人への支援」が33.3%、「災害時の支援体制の充実」が28.9%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「地域における相談・支援体制の充実」が最も高くなっています。

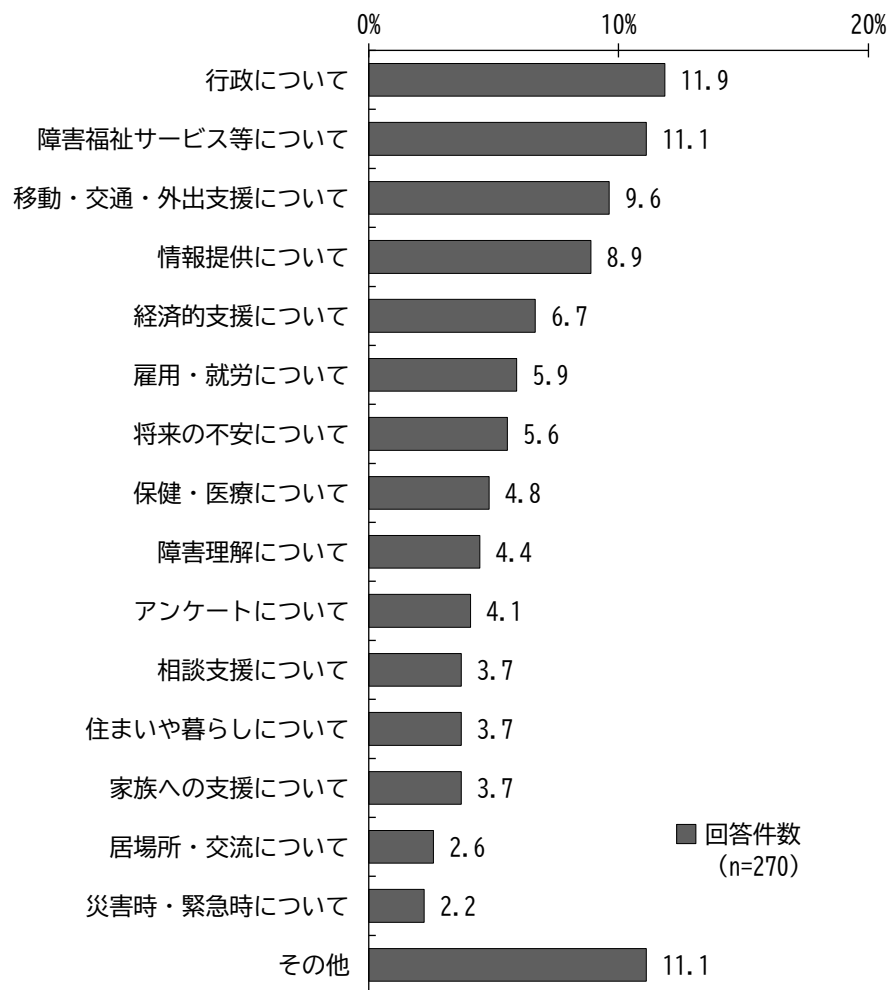


単位：%		地域における相談・支援体制の充実	医療的ケアが必要な障害のある人への支援	障害のある人の就労や就労定着の支援	障害のある人の余暇活動の場や機会の充実	様々な障害に対する理解の促進	障害者差別の解消	発達障害のある人への支援	障害者スポーツ・文化の普及啓発	災害時の支援体制の充実	障害のある人とない人との交流の機会の充実	障害のある人に適した住居の確保	その他	不明・無回答
全体 (n=1,395)		40.6	33.3	25.7	10.7	27.0	14.0	14.8	4.0	28.9	6.5	21.1	2.9	11.3
障害種別	身体 (n=698)	40.0	38.3	18.9	8.9	22.9	10.7	7.2	3.3	31.8	6.2	20.1	3.3	13.9
	療育 (n=309)	37.5	15.9	28.8	17.8	33.3	21.0	25.2	4.2	32.7	8.4	35.6	3.2	9.4
	精神 (n=413)	41.9	31.5	33.2	10.2	33.7	20.6	21.5	4.4	24.5	6.5	20.3	2.7	6.8
	難病 (n=221)	44.8	44.3	24.4	9.0	23.5	12.7	14.5	3.2	30.3	5.4	18.6	2.3	12.7

9 自由意見について

安城市の障害者福祉全般についてご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。(自由に記入)

自由意見は270件ありました。意見内容をカテゴリ別に分類して整理すると、「行政について」「障害福祉サービス等について」の意見が多くなっています。



意見の主な内容

区分	主な意見	
行政について	<ul style="list-style-type: none"> ・自立を手助けできる行政であってほしい ・将来安心して暮らせるように福祉を充実してほしい ・手続き等のオンライン化を進めてほしい 	等
障害福祉サービス等について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に安心できるグループホームがほしい ・ショートステイを利用できる日数を増やしてほしい ・福祉関係の人材確保を充実させてほしい 	等
移動・交通・外出支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・あんくるバスの乗降場所や本数を増やしてほしい ・移動支援の時間を増やしてほしい ・まちなかの段差等を解消してほしい 	等

区分	主な意見	
情報提供について	<ul style="list-style-type: none"> ・制度やサービスのことがわからない・わかりにくい ・支援が必要な人に伝わる、わかりやすい情報発信をお願いしたい ・提出書類などが複雑である 	等
経済的支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・生活費や通院費でお金がかかるので支援してほしい ・親が介護等のために働くことができず家計が苦しい 	等
雇用・就労について	<ul style="list-style-type: none"> ・理解のある就労先がほしい ・企業における障害者雇用枠が少ない ・障害者の就労支援を充実させてほしい 	等
将来の不安について	<ul style="list-style-type: none"> ・親亡き後の生活が不安である ・将来、一人でも安心して暮らせる場所がほしい ・年金だけで暮らしていけるか心配である 	等
保健・医療について	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成が助かっている ・特定医療費受診者証(指定難病)の毎年度の更新が負担である 	等
障害理解について	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な障害の特性について理解を深めてほしい ・障害のある人が住みやすい差別のない環境をつくってほしい ・学校教育で周知してほしい 	等
アンケートについて	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を取組に活かしてほしい ・アンケート項目が多い、難しい 	等
相談支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人への相談窓口の充実をお願いしたい ・地域でのあいさつや声掛けなどをお願いしたい 	等
住まいや暮らしについて	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人が一人暮らしできるところがほしい ・誰もが安心して使える、過ごせる公園がほしい 	等
家族への支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のケアだけでなく家族への支援があるとよい ・障害者と暮らしている家族が働けない ・介助等が負担で、家族の将来に不安がある 	等
居場所・交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ等を通じた交流の場がもっとあるとよい ・大人になると受け入れられる居場所が少ない 	等
災害時・緊急時について	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難所生活が不安である ・一人暮らしの安否確認をお願いしたい ・災害時に薬等が手に入るようにしてほしい 	等
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝・激励 	等

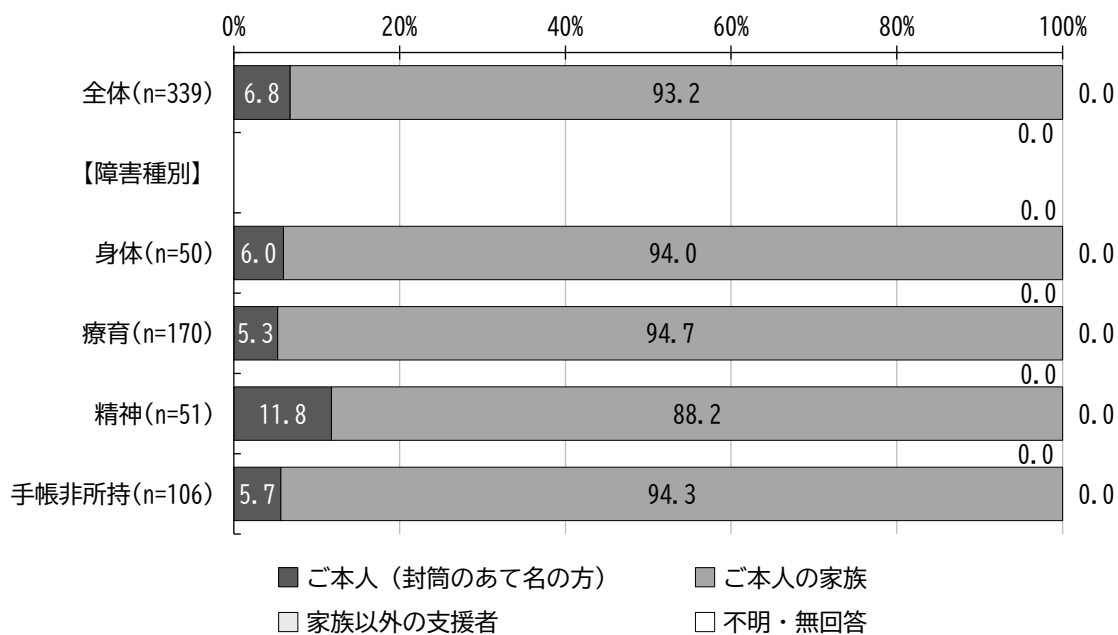
第3章 18歳未満の障害のある人へのアンケート調査結果

1 あなた自身について

問1 ご記入いただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

調査の記入者は、「ご本人の家族」が93.2%と最も高く、次いで「ご本人（封筒のあて名の方）」が6.8%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「ご本人の家族」が最も高くなっています。

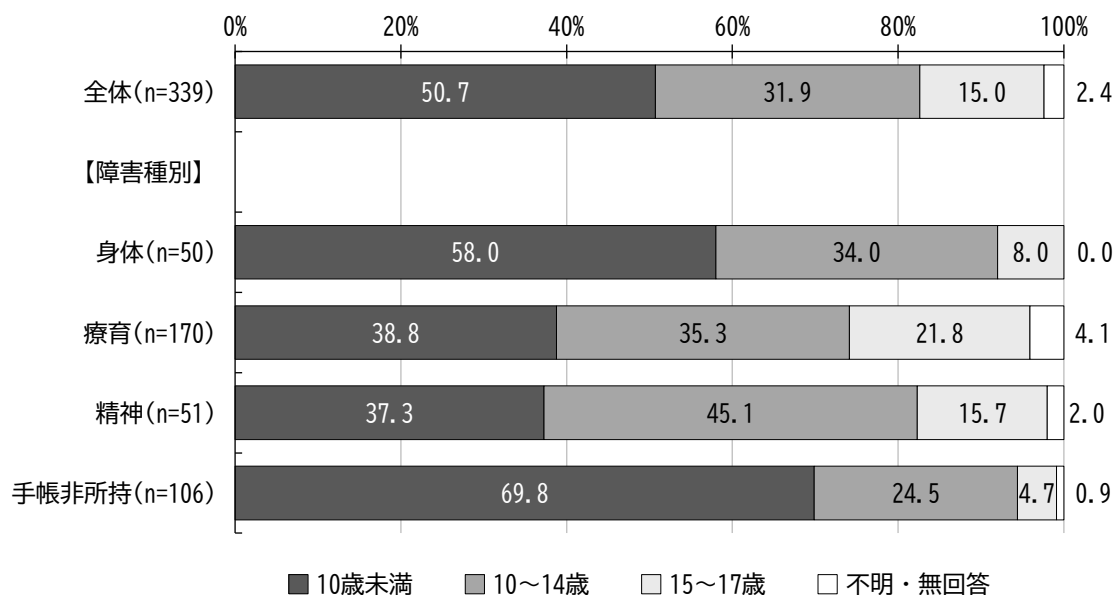


**問2 あなた（あて名のお子さん）の年齢をお答えください。（数字を記入）
（令和7年12月1日時点）**

年齢は、「10歳未満」が50.7%と最も高く、次いで「10～14歳」が31.9%、「15～17歳」が15.0%となっています。

障害種別にみると、精神では「10～14歳」、その他の区分では「10歳未満」が最も高くなっています。

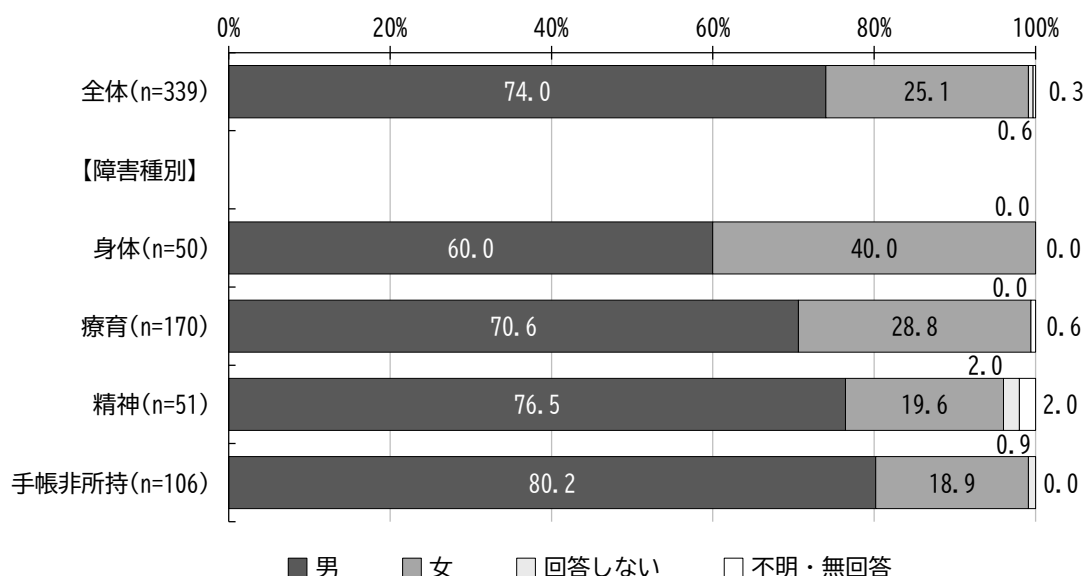
なお、回答者の平均年齢は全体で9.6歳、身体で8.6歳、療育で10.6歳、精神で10.7歳、手帳非所持で8.0歳となっています。



問3 あなた（あて名のお子さん）の性別をお答えください。（○は1つ）

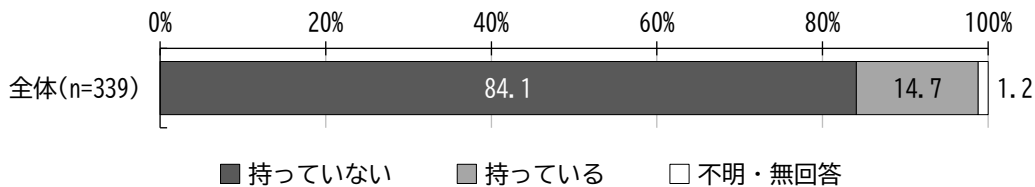
性別は、「男」が74.0%と最も高く、次いで「女」が25.1%、「回答しない」が0.6%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「男」が最も高くなっています。



問4 あなた（あて名のお子さん）は身体障害者手帳をお持ちですか。（○は1つ）

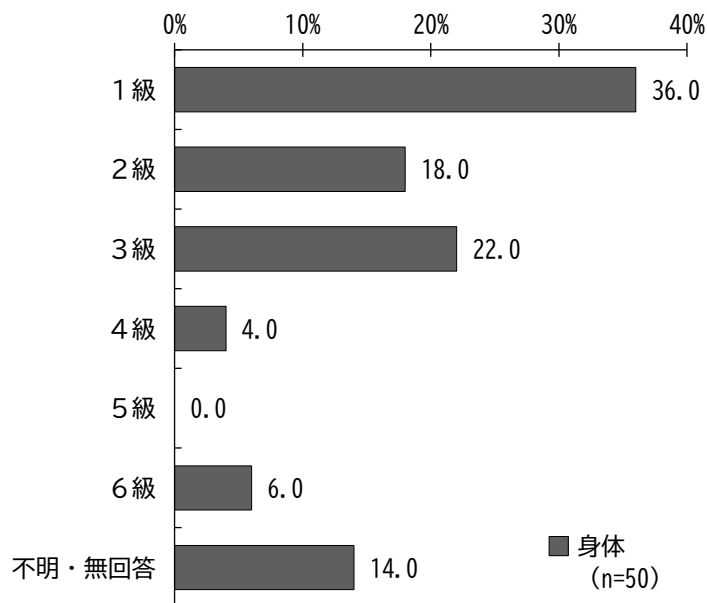
身体障害者手帳の所持状況は、「持っていない」が84.1%、「持っている」が14.7%となっています。



問4で「持っている」と答えた方

問4-1 お持ちの等級（総合等級）をお答えください。（○は1つ）

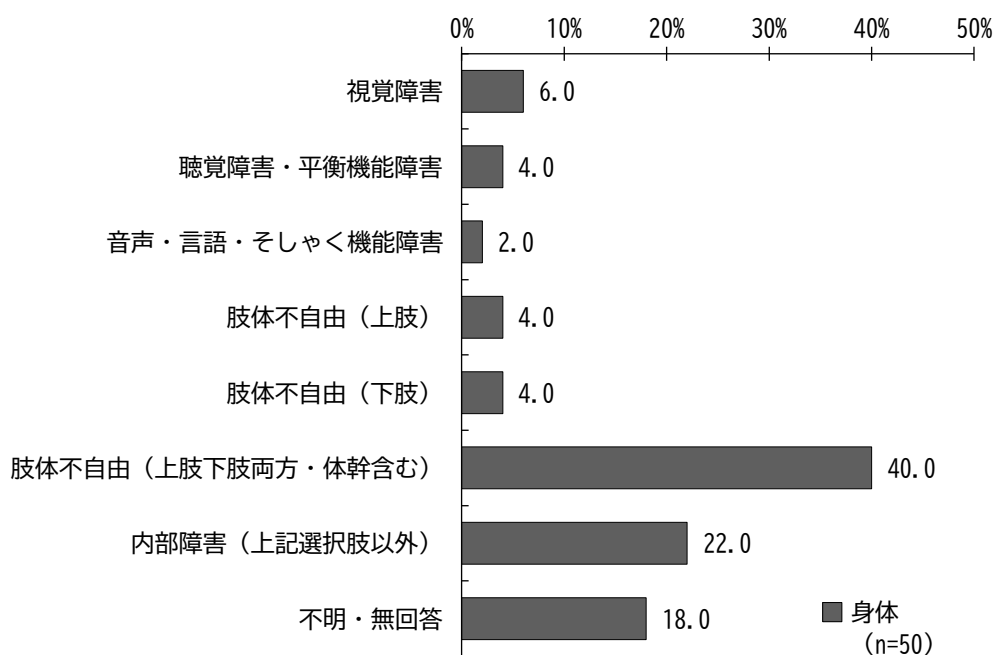
身体障害者手帳の等級（総合等級）は、「1級」が36.0%と最も高く、次いで「3級」が22.0%、「2級」が18.0%となっています。



問4で「持っている」と答えた方

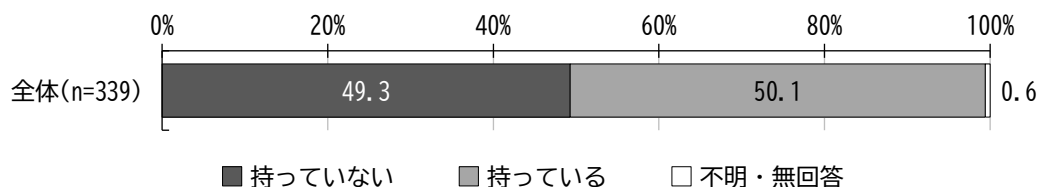
問4-2 手帳に記載のある障害をお答えください。(○はいくつでも)

身体障害者手帳に記載のある障害は、「肢体不自由（上肢下肢両方・体幹含む）」が40.0%と最も高く、次いで「内部障害（上記選択肢以外）」が22.0%、「視覚障害」が6.0%となっています。



問5 あなた（あて名のお子さん）は療育手帳をお持ちですか。(○は1つ)

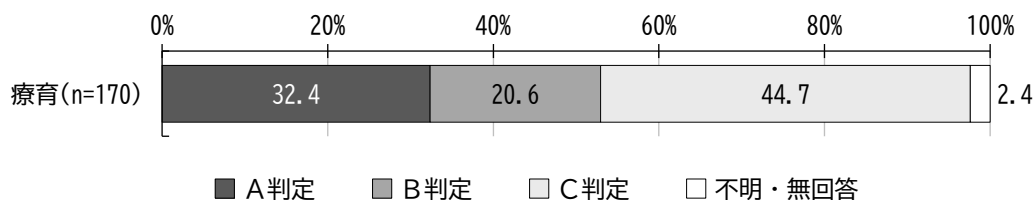
療育手帳の所持状況は、「持っていない」が49.3%、「持っている」が50.1%となっています。



問5で「持っている」と答えた方

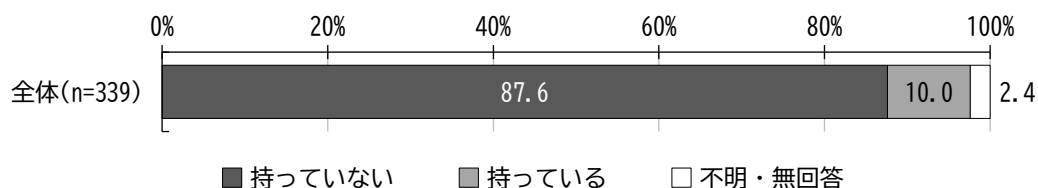
問5-1 お持ちの等級をお答えください。(○は1つ)

療育手帳の等級は、「C判定」が44.7%と最も高く、次いで「A判定」が32.4%、「B判定」が20.6%となっています。



問6 あなた（あて名のお子さん）は精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つ)

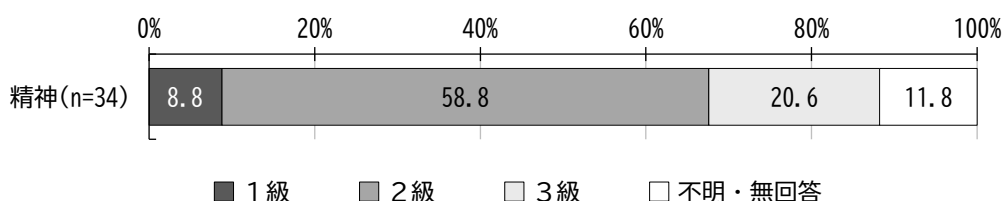
精神障害者保健福祉手帳の所持状況は、「持っていない」が87.6%、「持っている」が10.0%となっています。



問6で「持っている」と答えた方

問6-1 お持ちの等級をお答えください。(○は1つ)

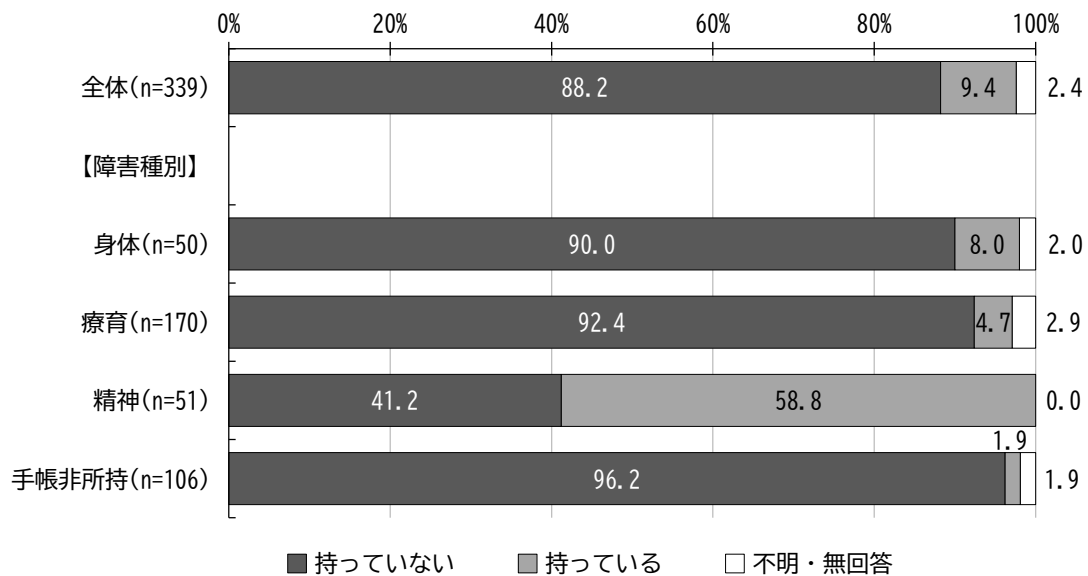
精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が58.8%と最も高く、次いで「3級」が20.6%、「1級」が8.8%となっています。



問7 あなた（あて名のお子さん）は自立支援医療受給者証（精神通院）をお持ちですか。（○は1つ）

自立支援医療受給者証（精神通院）の所持状況は、「持っていない」が88.2%、「持っている」が9.4%となっています。

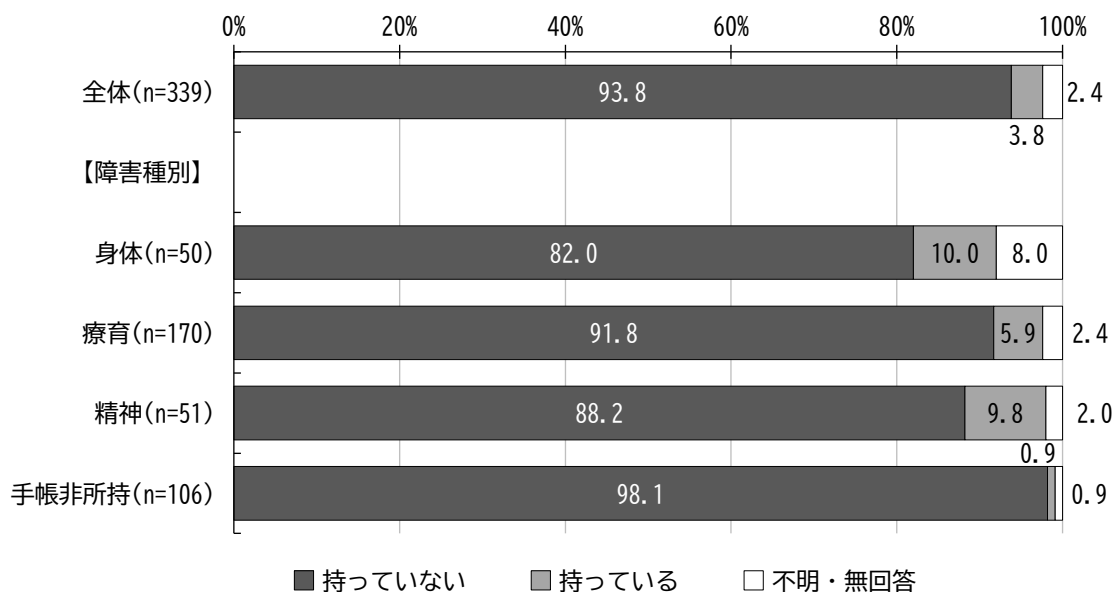
障害種別にみると、精神で「持っている」が高くなっています。



問8 あなた（あて名のお子さん）は特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちですか。（○は1つ）

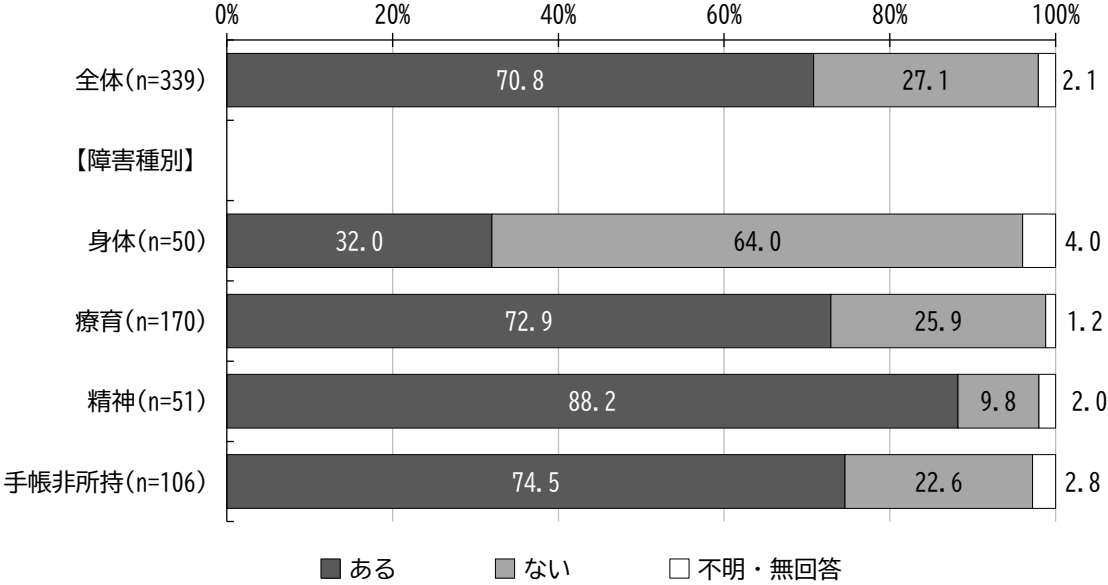
特定医療費（指定難病）受給者証の所持状況は、「持っていない」が93.8%、「持っている」が3.8%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「持っていない」が高くなっています。



問9 あなた（あて名のお子さん）は、手帳の有無にかかわらず、発達障害またはその疑いがあると診断されたことはありますか。（○は1つ）

発達障害の診断の有無は、「ある」が70.8%、「ない」が27.1%となっています。障害種別にみると、身体では「ない」、その他の区分では「ある」が高くなっています。

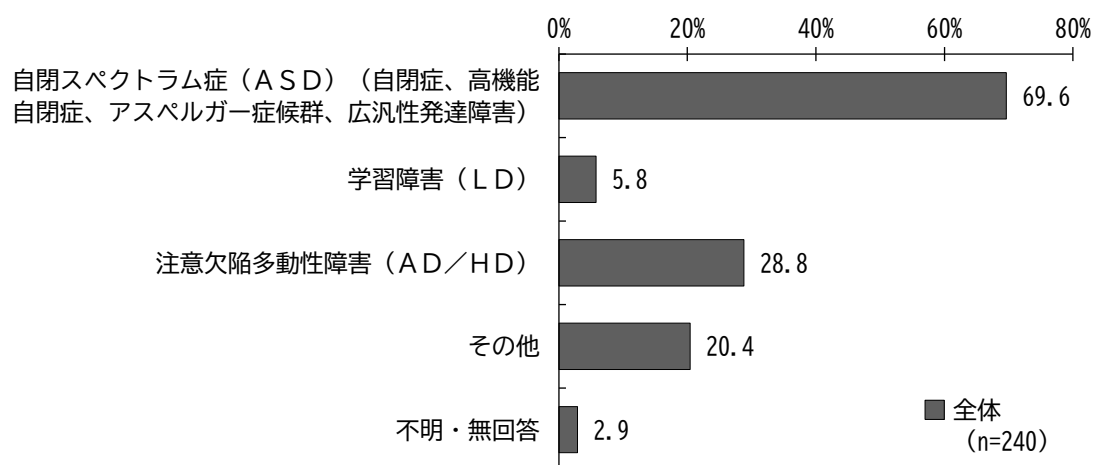


問9で「ある」と答えた方

問9-1 障害の内容を教えてください。(〇はいくつでも)

障害の内容は、「自閉スペクトラム症（ASD）（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）」が69.6%と最も高く、次いで「注意欠陥多動性障害（AD/HD）」が28.8%、「その他」が20.4%となっています。

障害種別にみると、身体では「その他」、その他の区分では「自閉スペクトラム症（ASD）（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）」が最も高くなっています。

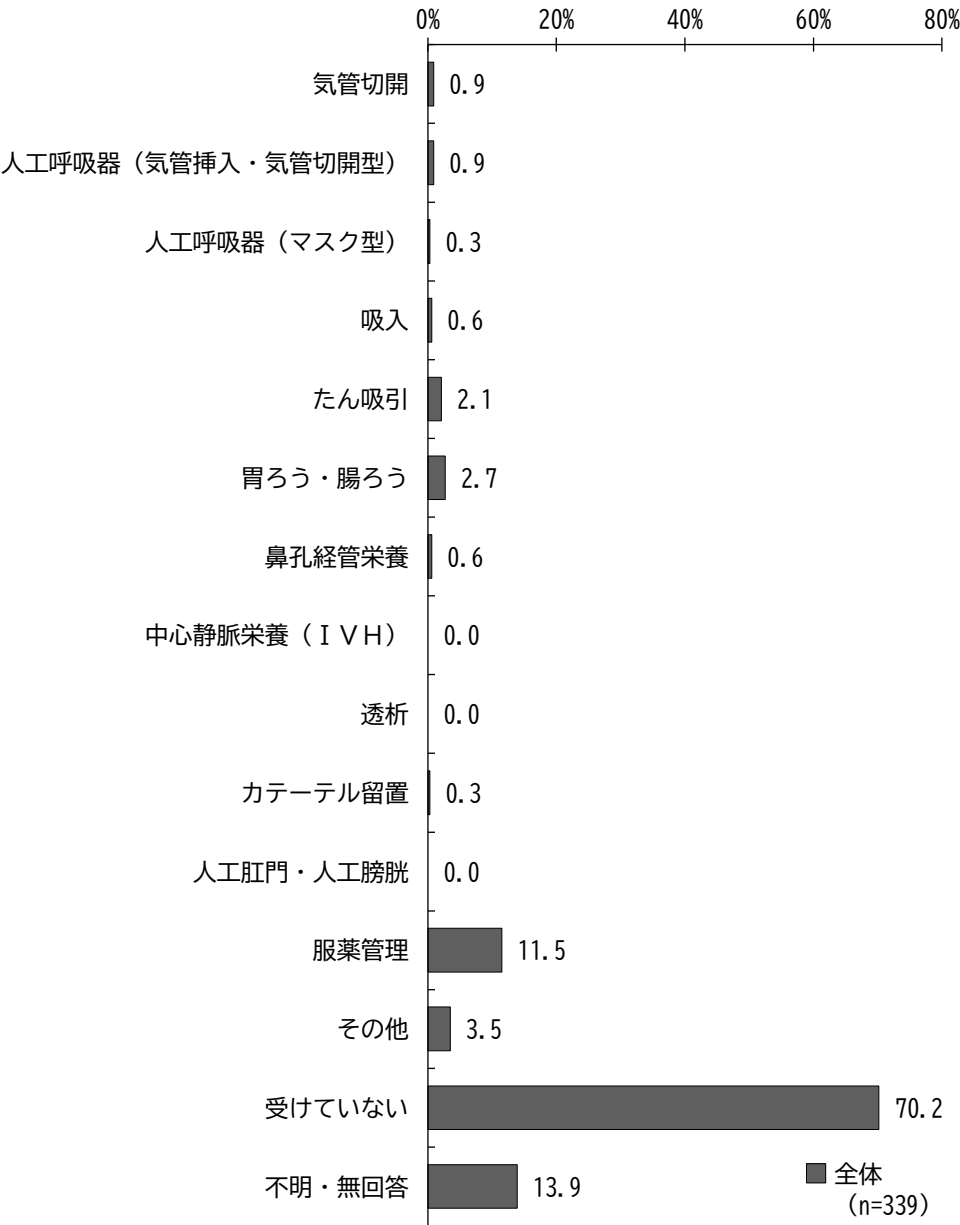


単位：%		自閉スペクトラム症（ASD）（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）	学習障害（LD）	注意欠陥多動性障害（AD/HD）	その他	不明・無回答
全体 (n=240)		69.6	5.8	28.8	20.4	2.9
障害種別	身体 (n=16)	37.5	12.5	18.8	43.8	12.5
	療育 (n=124)	71.0	7.3	18.5	25.0	4.0
	精神 (n=45)	75.6	13.3	33.3	8.9	2.2
	手帳非所持 (n=79)	67.1	2.5	44.3	19.0	0.0

問10 あなた（あて名のお子さん）が現在受けている医療的ケアがあればお答えください。（〇はいくつでも）

現在受けている医療的ケアは、「受けていない」が70.2%と最も高く、次いで「服薬管理」が11.5%、「その他」が3.5%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「受けていない」が最も高くなっています。



単位：%		気管切開	人工呼吸器（気管挿入・気管切開型）	人工呼吸器（マスク型）	吸入	たん吸引	胃ろう・腸ろう	鼻孔経管栄養	中心静脈栄養（IVH）
全体（n=339）		0.9	0.9	0.3	0.6	2.1	2.7	0.6	0.0
障害種別	身体（n=50）	6.0	6.0	0.0	2.0	12.0	14.0	4.0	0.0
	療育（n=170）	0.6	0.6	0.6	1.2	2.9	4.1	0.6	0.0
	精神（n=51）	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	手帳非所持（n=106）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：%		透析	カテーテル留置	人工肛門・人工膀胱	服薬管理	その他	受けていない	不明・無回答
全体（n=339）		0.0	0.3	0.0	11.5	3.5	70.2	13.9
障害種別	身体（n=50）	0.0	2.0	0.0	24.0	6.0	50.0	12.0
	療育（n=170）	0.0	0.0	0.0	12.9	0.6	68.2	15.9
	精神（n=51）	0.0	0.0	0.0	11.8	3.9	68.6	15.7
	手帳非所持（n=106）	0.0	0.0	0.0	6.6	5.7	81.1	8.5

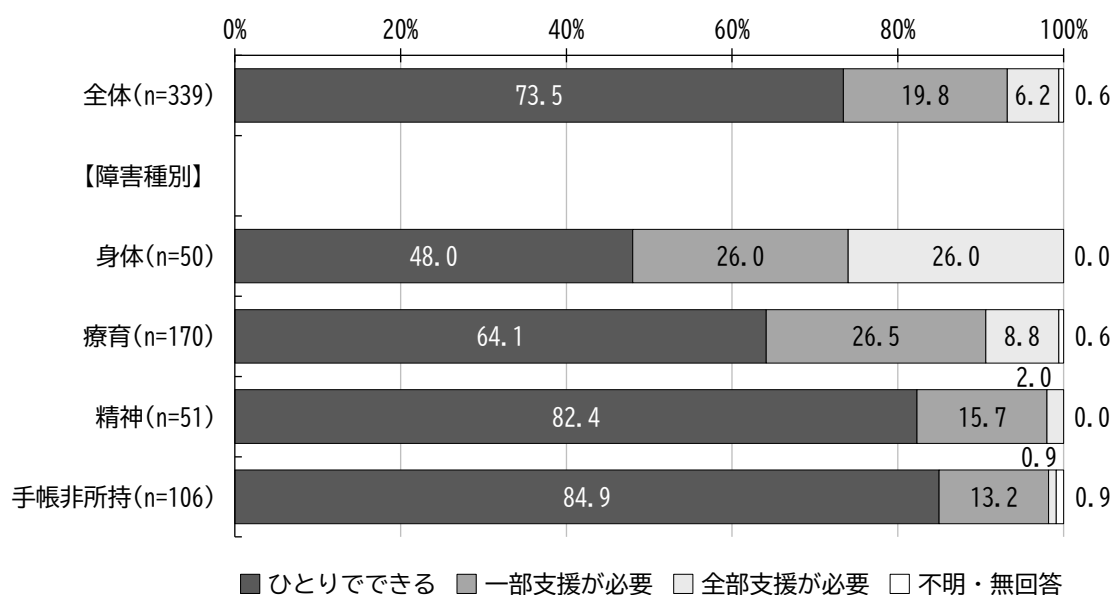
2 日中の暮らしについて

問1 1 あなた（あて名のお子さん）は、日常生活で、次のことをどのようにしていますか。（○は①から⑦までのそれぞれに1つ）

問1 1 ①食事（○は1つ）

食事は、「ひとりでできる」が73.5%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が19.8%、「全部支援が必要」が6.2%となっています。

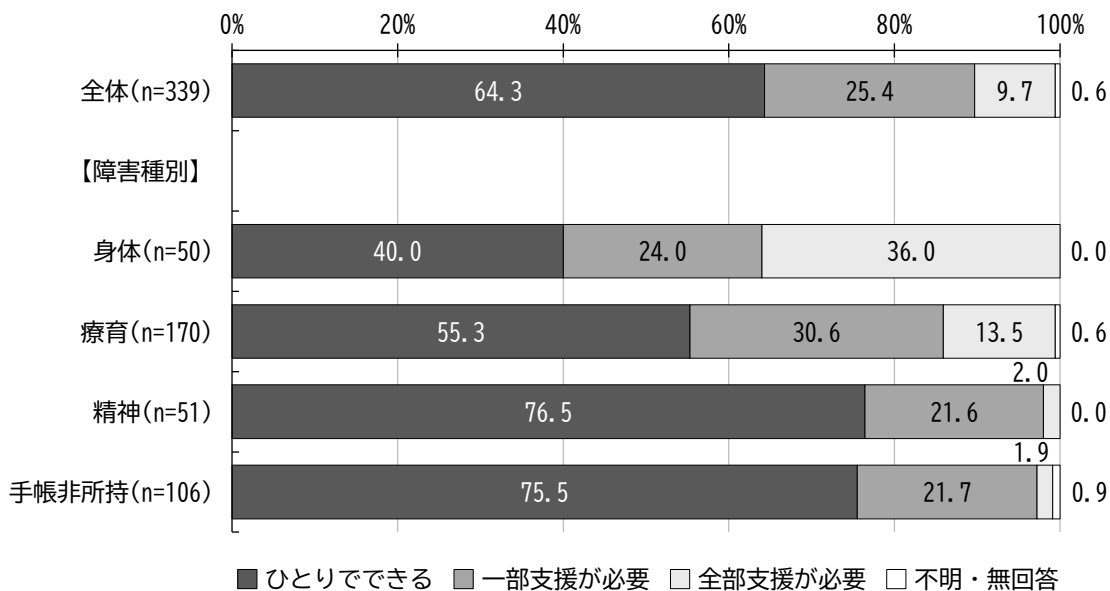
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問11 ②トイレ (〇は1つ)

トイレは、「ひとりでできる」が64.3%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が25.4%、「全部支援が必要」が9.7%となっています。

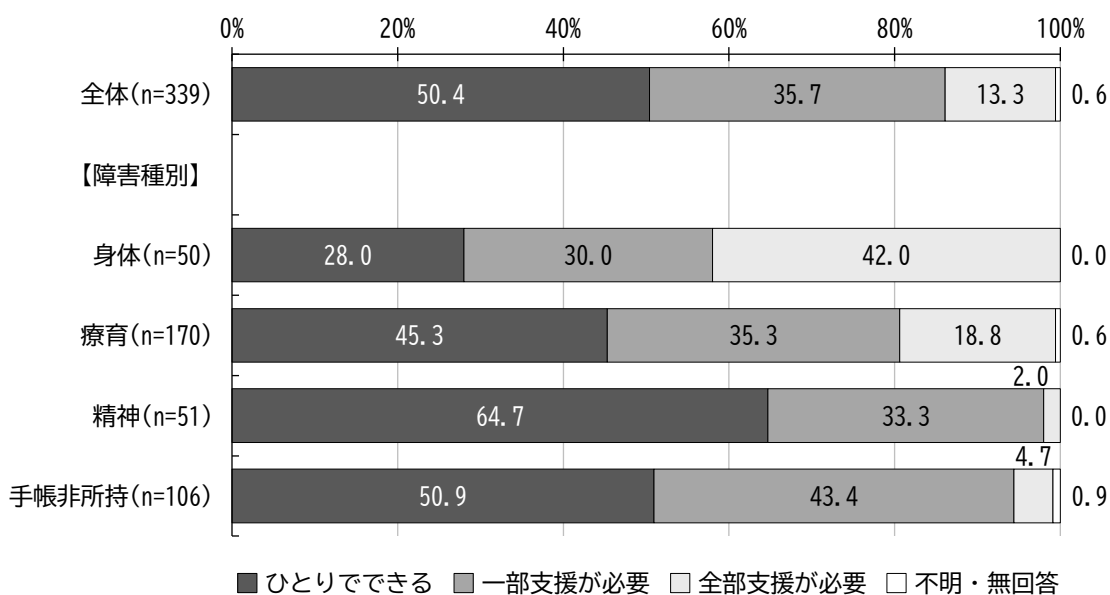
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問11 ③入浴 (〇は1つ)

入浴は、「ひとりでできる」が50.4%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が35.7%、「全部支援が必要」が13.3%となっています。

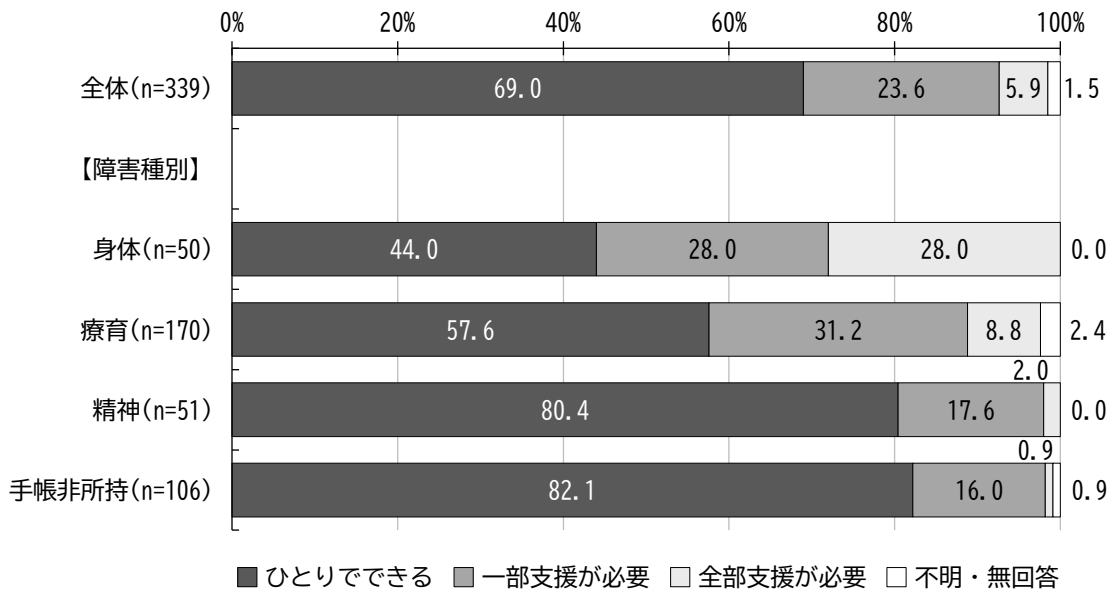
障害種別にみると、身体では「全部支援が必要」、その他の区分では「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問11 ④衣服の着脱 (○は1つ)

衣服の着脱は、「ひとりでできる」が69.0%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が23.6%、「全部支援が必要」が5.9%となっています。

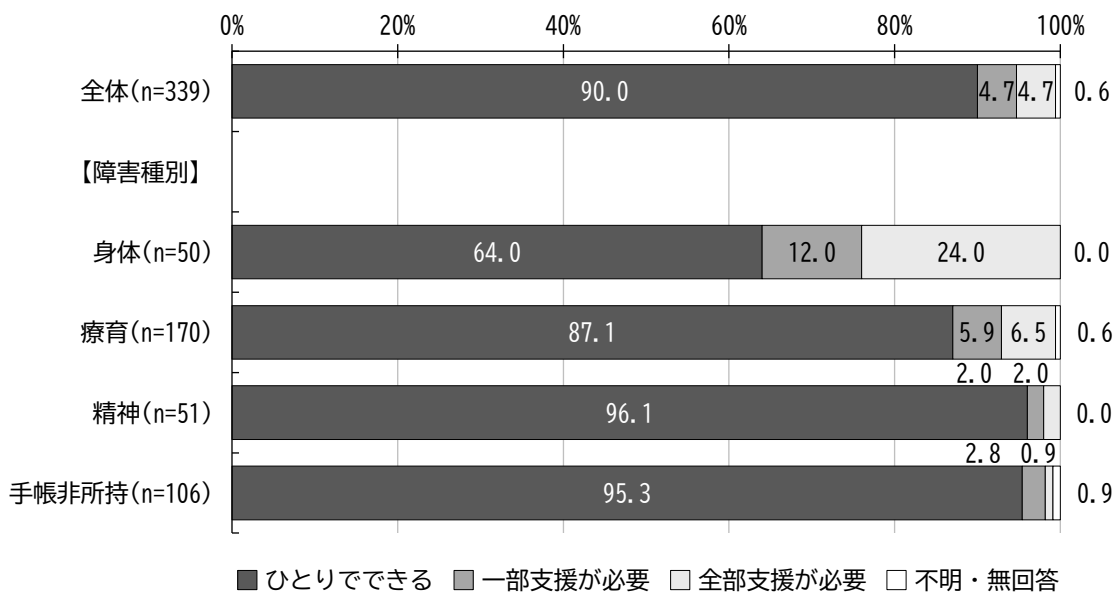
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問11 ⑤家の中の移動 (○は1つ)

家の中の移動は、「ひとりでできる」が90.0%と最も高く、次いで「一部支援が必要」「全部支援が必要」が4.7%となっています。

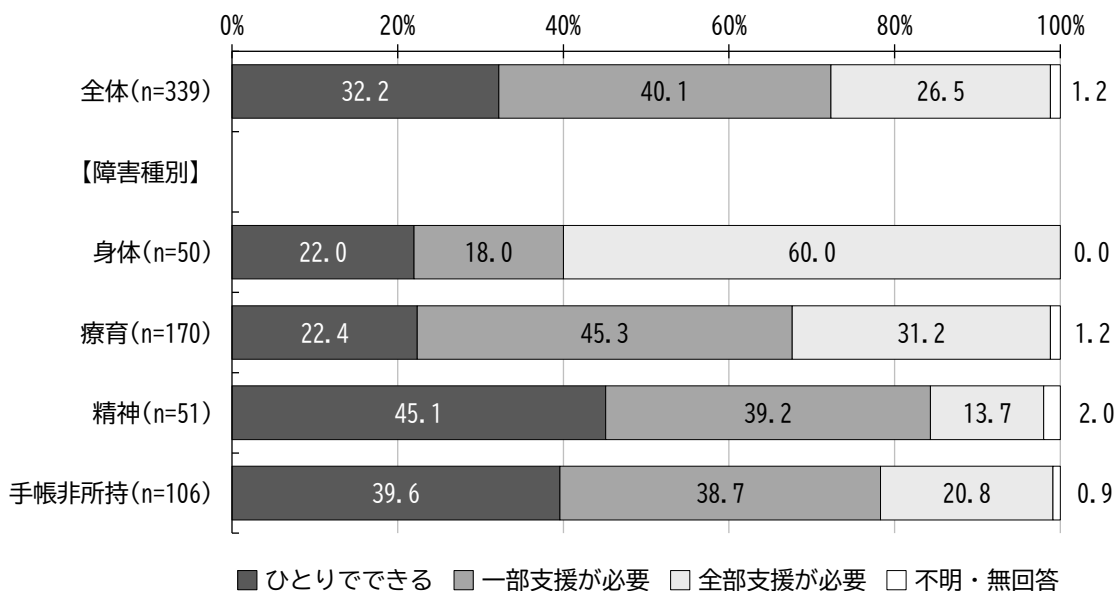
障害種別にみると、全ての区分で「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問11 ⑥外出 (○は1つ)

外出は、「一部支援が必要」が40.1%と最も高く、次いで「ひとりでできる」が32.2%、「全部支援が必要」が26.5%となっています。

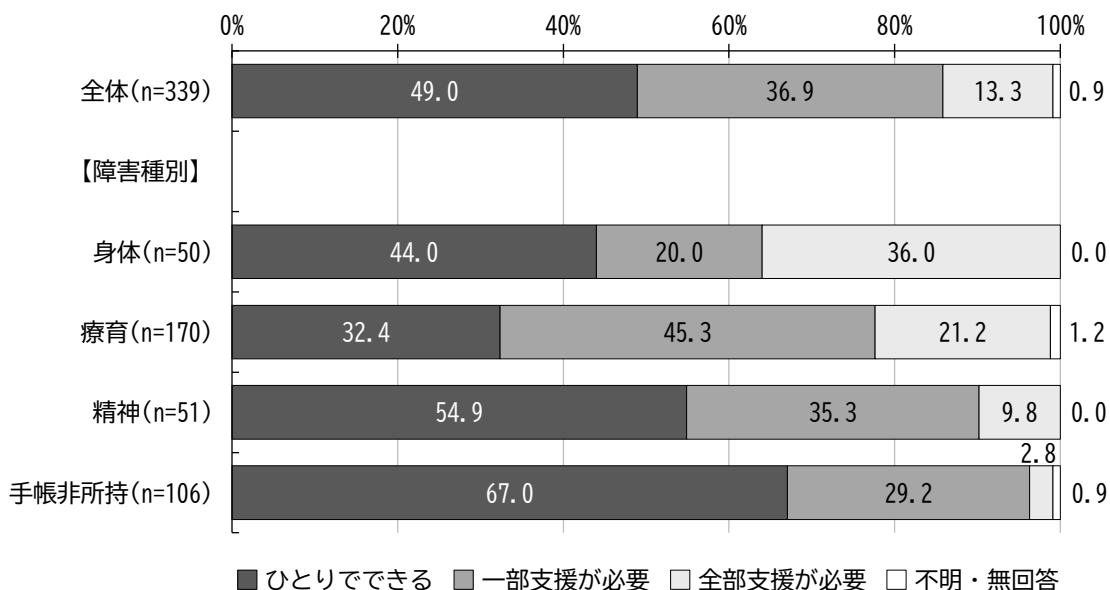
障害種別にみると、身体では「全部支援が必要」、療育では「一部支援が必要」、精神・手帳非所持では「ひとりでできる」が最も高くなっています。



問11 ⑦家族以外の人との意思疎通 (○は1つ)

家族以外の人との意思疎通は、「ひとりでできる」が49.0%と最も高く、次いで「一部支援が必要」が36.9%、「全部支援が必要」が13.3%となっています。

障害種別にみると、療育では「一部支援が必要」、その他の区分では「ひとりでできる」が最も高くなっています。

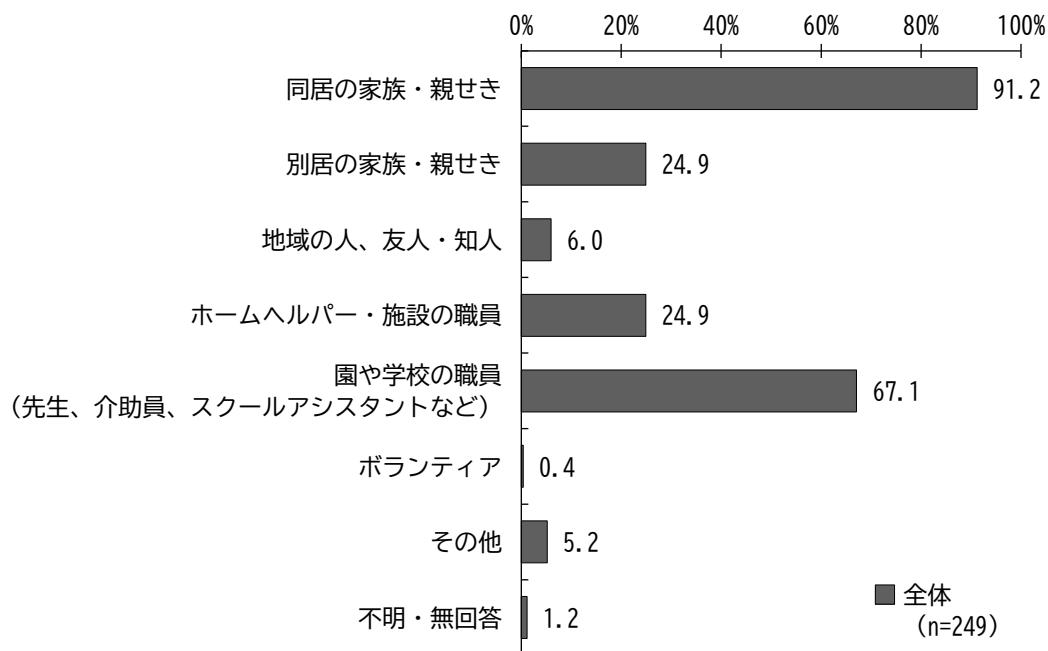


問11でひとつでも「一部支援が必要」又は「全部支援が必要」と答えた方

問11-1 支援してくれる人はだれですか。(〇はいくつでも)

支援してくれる人は、「同居の家族・親せき」が91.2%と最も高く、次いで「園や学校の職員(先生、介助員、スクールアシスタントなど)」が67.1%、「別居の家族・親せき」「ホームヘルパー・施設の職員」が24.9%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「同居の家族・親せき」が最も高くなっています。



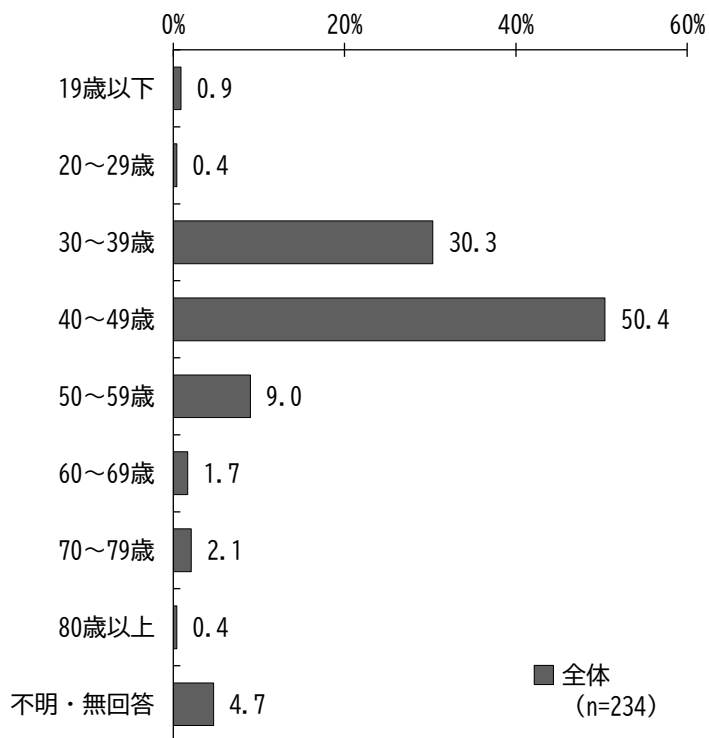
単位：%		同居の家族・親せき	別居の家族・親せき	地域の人、友人・知人	ホームヘルパー・施設の職員	園や学校の職員(先生、介助員、スクールアシスタントなど)	ボランティア	その他	不明・無回答
全体 (n=249)		91.2	24.9	6.0	24.9	67.1	0.4	5.2	1.2
障害種別	身体 (n=41)	85.4	26.8	2.4	39.0	63.4	2.4	0.0	2.4
	療育 (n=140)	93.6	29.3	4.3	31.4	75.0	0.0	5.7	0.0
	精神 (n=35)	91.4	14.3	11.4	20.0	42.9	0.0	5.7	2.9
	手帳非所持 (n=68)	91.2	19.1	8.8	11.8	60.3	0.0	5.9	2.9

問1 1-1で「同居の家族・親せき」又は「別居の家族・親せき」と答えた方

問1 1-2 (1) 主な支援者の年齢(数字を記入)(令和7年12月1日時点)

主な支援者の年齢は、「40～49歳」が50.4%と最も高く、次いで「30～39歳」が30.3%、「50～59歳」が9.0%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「40～49歳」が最も高くなっています。



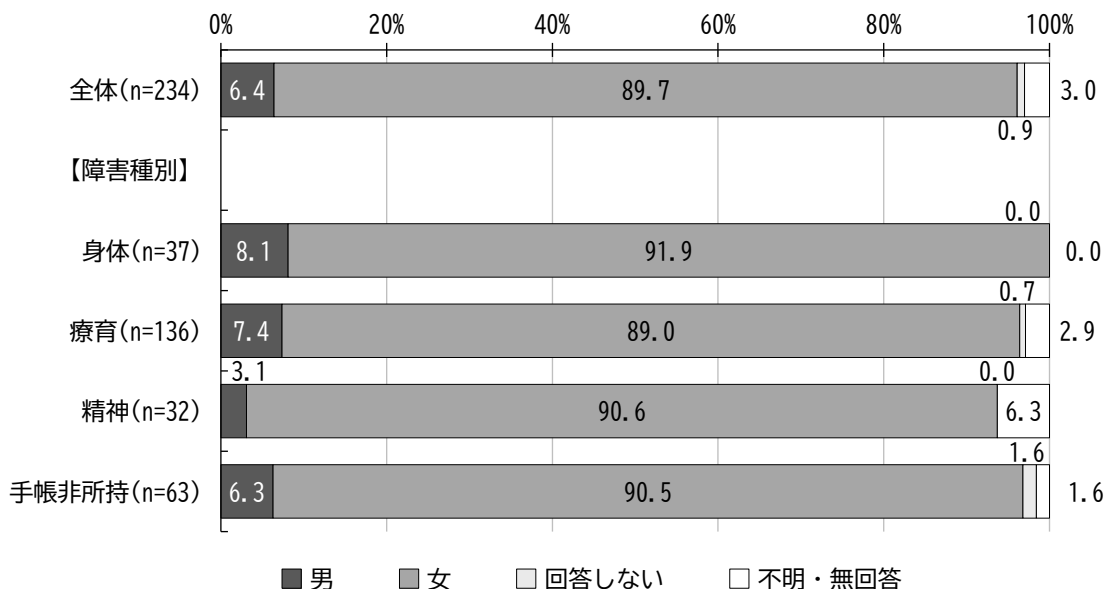
単位：%		1 9 歳 以下	2 0 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 9 歳	7 0 ～ 7 9 歳	8 0 歳 以上	不明・ 無 回 答
全体 (n=234)		0.9	0.4	30.3	50.4	9.0	1.7	2.1	0.4	4.7
障害 種 別	身体 (n=37)	0.0	0.0	37.8	56.8	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	療育 (n=136)	0.7	0.7	22.8	51.5	13.2	2.2	2.9	0.7	5.1
	精神 (n=32)	0.0	0.0	31.3	56.3	3.1	3.1	0.0	0.0	6.3
	手帳非所持 (n=63)	1.6	0.0	38.1	49.2	3.2	1.6	1.6	0.0	4.8

問11-1で「同居の家族・親せき」又は「別居の家族・親せき」と答えた方

問11-2 (2) 主な支援者の性別 (○は1つ)

主な支援者の性別は、「女」が89.7%と最も高く、次いで「男」が6.4%、「回答しない」が0.9%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「女」が最も高くなっています。

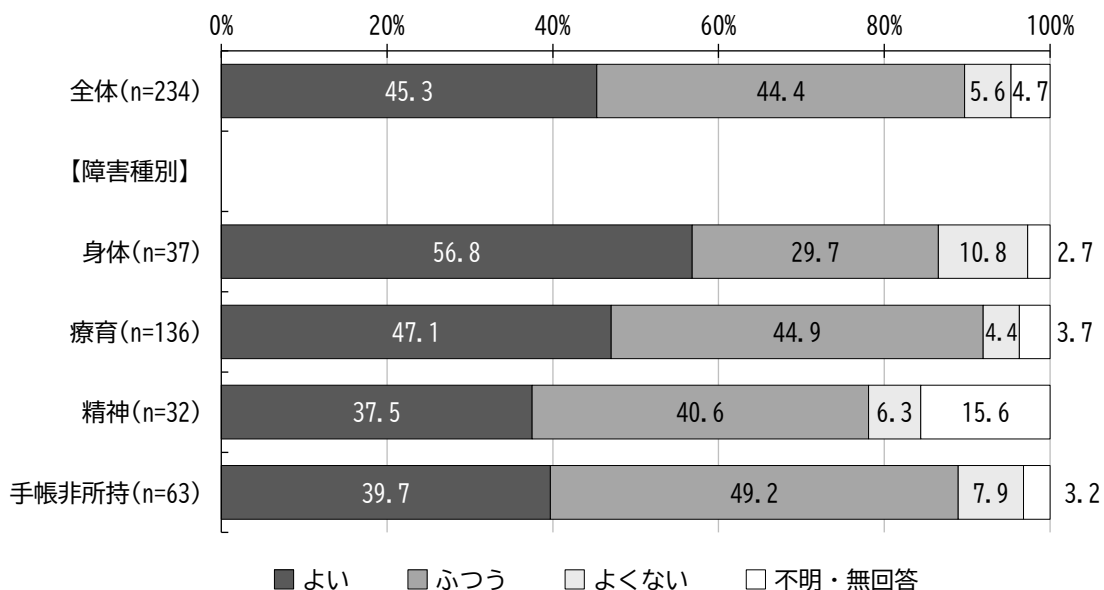


問11-1で「同居の家族・親せき」又は「別居の家族・親せき」と答えた方

問11-2 (3) 主な支援者の健康状態 (○は1つ)

主な支援者の健康状態は、「よい」が45.3%と最も高く、次いで「ふつう」が44.4%、「よくない」が5.6%となっています。

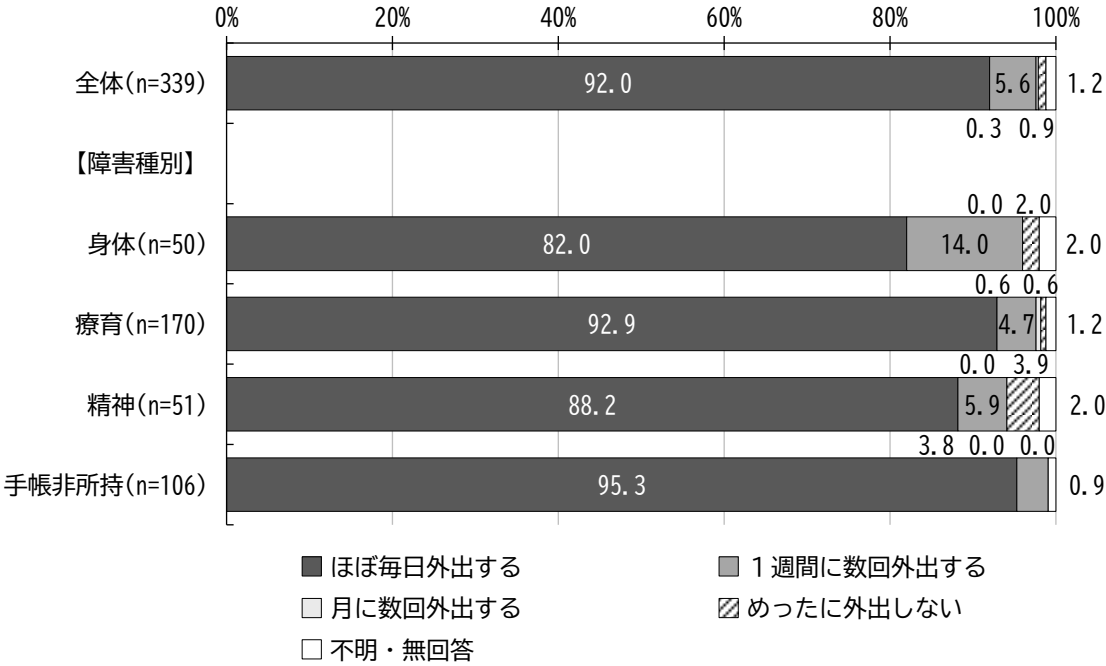
障害種別にみると、身体・療育では「よい」、精神・手帳非所持では「ふつう」が最も高くなっています。



問12 あなた（あて名のお子さん）はどの程度外出（通園・通学、通所を含みます。）しますか。（○は1つ）

外出頻度は、「ほぼ毎日外出する」が92.0%と最も高く、次いで「1週間に数回外出する」が5.6%、「めったに外出しない」が0.9%となっています。

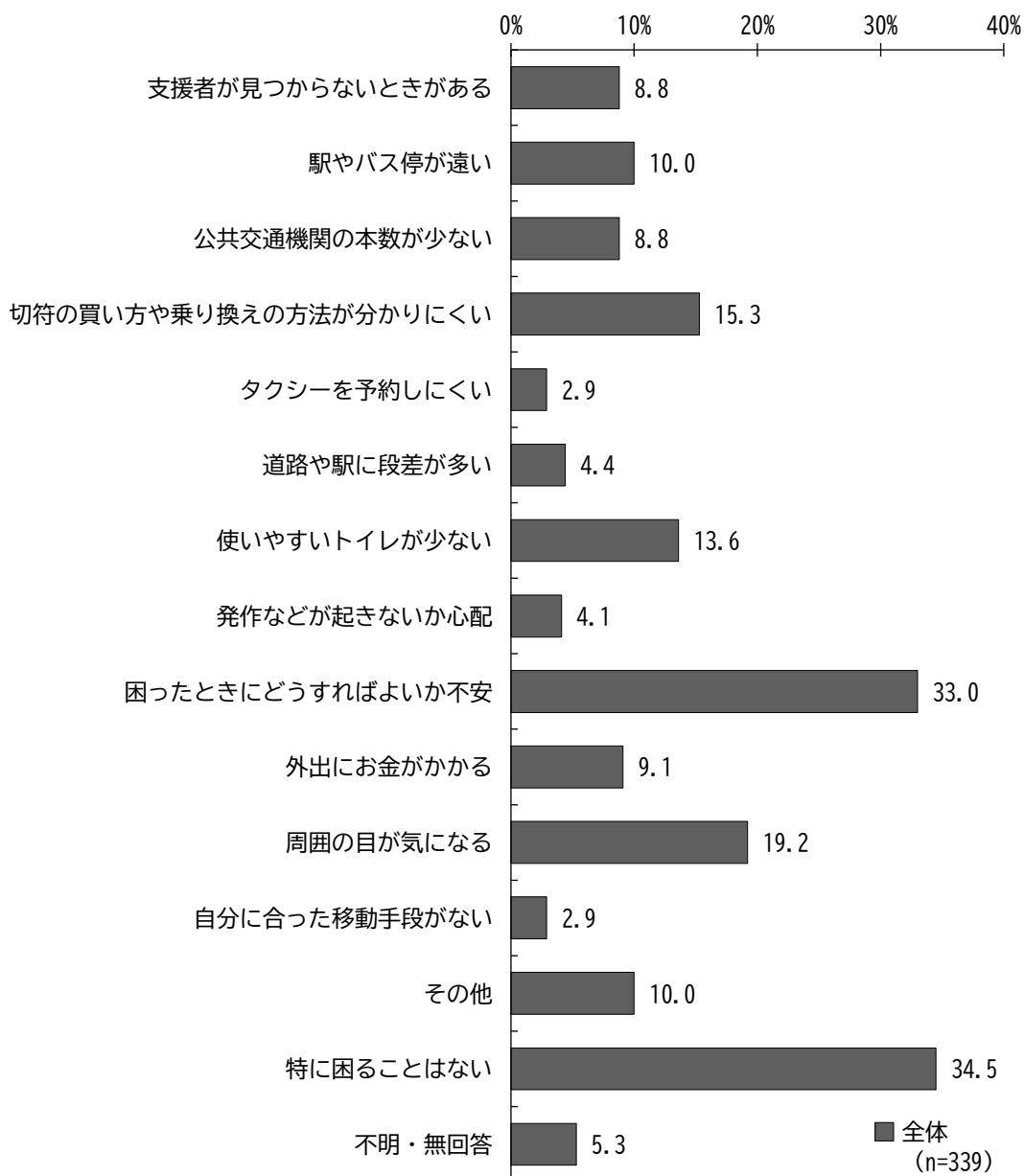
障害種別にみると、全ての区分で「ほぼ毎日外出する」が最も高くなっています。



問13 あなた（あて名のお子さん）が外出の時に困ることは何ですか。
 (〇はいくつでも)

外出の時に困ることは、「特に困ることはない」が34.5%と最も高く、次いで「困ったときにどうすればよいか不安」が33.0%、「周囲の目が気になる」が19.2%となっています。

障害種別にみると、身体・手帳非所持では「特に困ることはない」、療育・精神では「困ったときにどうすればよいか不安」が最も高くなっています。



単位：%		ある 支援者が 見つから ないとき が	駅やバス 停が遠い	公共交通 機関の本 数が少な い	切符の買 い方や乗 り換えの 方法が分 かりにく い	タクシー を予約し にくい	道路や駅 に段差が 多い	使いやす いトイレ が少ない	発作など が起きな いか心配
全体 (n=339)		8.8	10.0	8.8	15.3	2.9	4.4	13.6	4.1
障害種別	身体 (n=50)	6.0	10.0	8.0	4.0	4.0	22.0	30.0	6.0
	療育 (n=170)	10.6	15.3	10.6	20.0	3.5	7.1	17.6	5.3
	精神 (n=51)	9.8	9.8	13.7	19.6	5.9	0.0	5.9	5.9
	手帳非所持 (n=106)	6.6	3.8	4.7	10.4	0.9	0.0	8.5	0.9

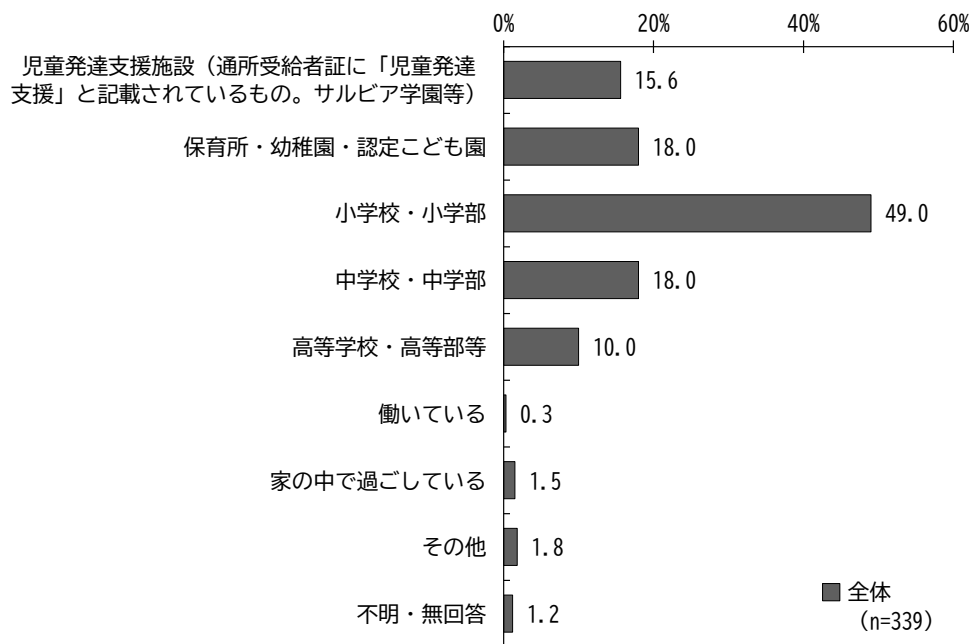
単位：%		か不安 困ったと きにどう すればよ い	外出にお 金がかか る	周囲の目 が気になる	自分に合 った移動 手段がな い	その他	特に困る ことはない	不明・無 回答
全体 (n=339)		33.0	9.1	19.2	2.9	10.0	34.5	5.3
障害種別	身体 (n=50)	26.0	6.0	14.0	10.0	12.0	32.0	8.0
	療育 (n=170)	37.1	10.6	27.6	3.5	14.1	24.1	4.7
	精神 (n=51)	43.1	13.7	19.6	3.9	5.9	25.5	5.9
	手帳非所持 (n=106)	28.3	6.6	9.4	0.0	6.6	50.0	5.7

3 園や学校について

問14 あなた（あて名のお子さん）は、どこに通学・通園をしていますか。
（〇はいくつでも）

通学・通園状況は、「小学校・小学部」が49.0%と最も高く、次いで「保育所・幼稚園・認定こども園」「中学校・中学部」が18.0%、「児童発達支援施設（通所受給者証に「児童発達支援」と記載されているもの。サルビア学園等）」が15.6%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「小学校・小学部」が最も高くなっています。



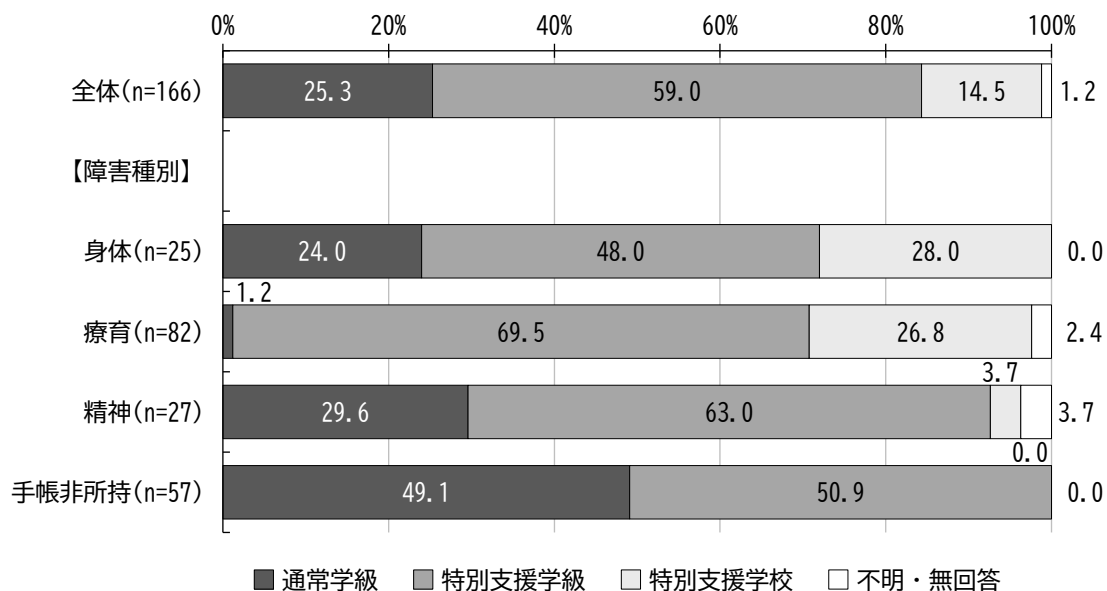
単位：%		児童発達支援施設（通所受給者証に「児童発達支援」と記載されているもの。サルビア学園等）	保育所・幼稚園・認定こども園	小学校・小学部	中学校・中学部	高等学校・高等部等	働いている	家の中で過ごしている	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		15.6	18.0	49.0	18.0	10.0	0.3	1.5	1.8	1.2
障害種別	身体 (n=50)	14.0	16.0	50.0	22.0	2.0	0.0	4.0	0.0	2.0
	療育 (n=170)	14.1	8.8	48.2	22.9	15.9	0.6	1.2	1.2	0.0
	精神 (n=51)	15.7	13.7	52.9	27.5	9.8	0.0	0.0	3.9	2.0
	手帳非所持 (n=106)	20.8	30.2	53.8	6.6	2.8	0.0	0.9	2.8	2.8

問14で「小学校・小学部」と答えた方

問14 「小学校・小学部」の通学先（○は1つ）

「小学校・小学部」の通学先は、「特別支援学級」が59.0%と最も高く、次いで「通常学級」が25.3%、「特別支援学校」が14.5%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「特別支援学級」が最も高くなっています。

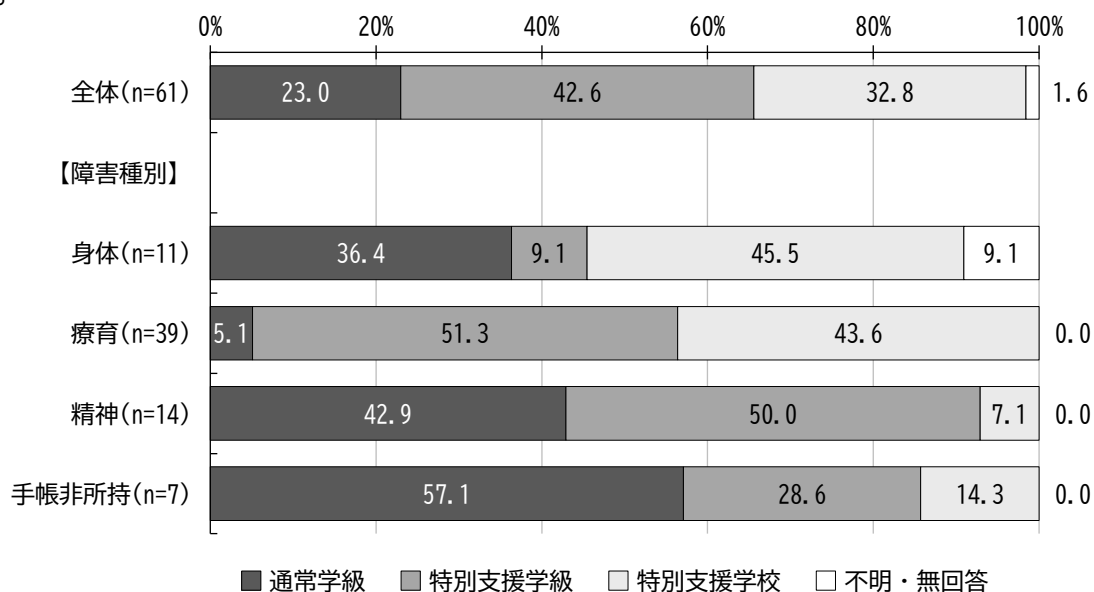


問14で「中学校・中学部」と答えた方

問14 「中学校・中学部」の通学先（○は1つ）

「中学校・中学部」の通学先は、「特別支援学級」が42.6%と最も高く、次いで「特別支援学校」が32.8%、「通常学級」が23.0%となっています。

障害種別にみると、療育・精神では「特別支援学級」、身体では「特別支援学校」が最も高くなっています。

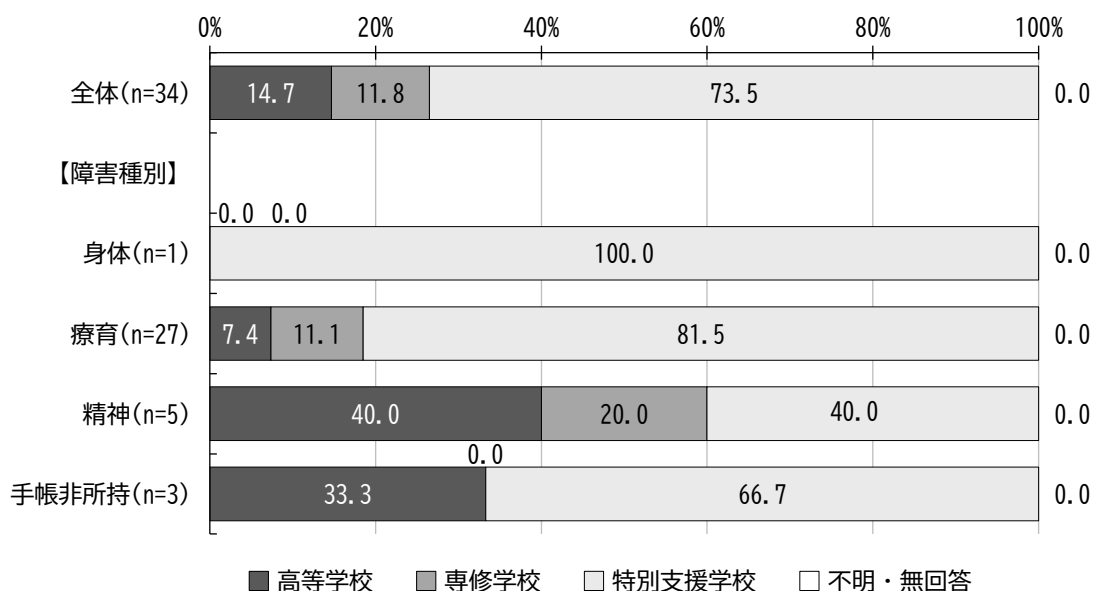


問14で「高等学校・高等部等」と答えた方

問14 「高等学校・高等部等」の通学先（○は1つ）

「高等学校・高等部等」の通学先は、「特別支援学校」が73.5%と最も高く、次いで「高等学校」が14.7%、「専修学校」が11.8%となっています。

障害種別にみると、療育では「特別支援学校」が最も高くなっています。

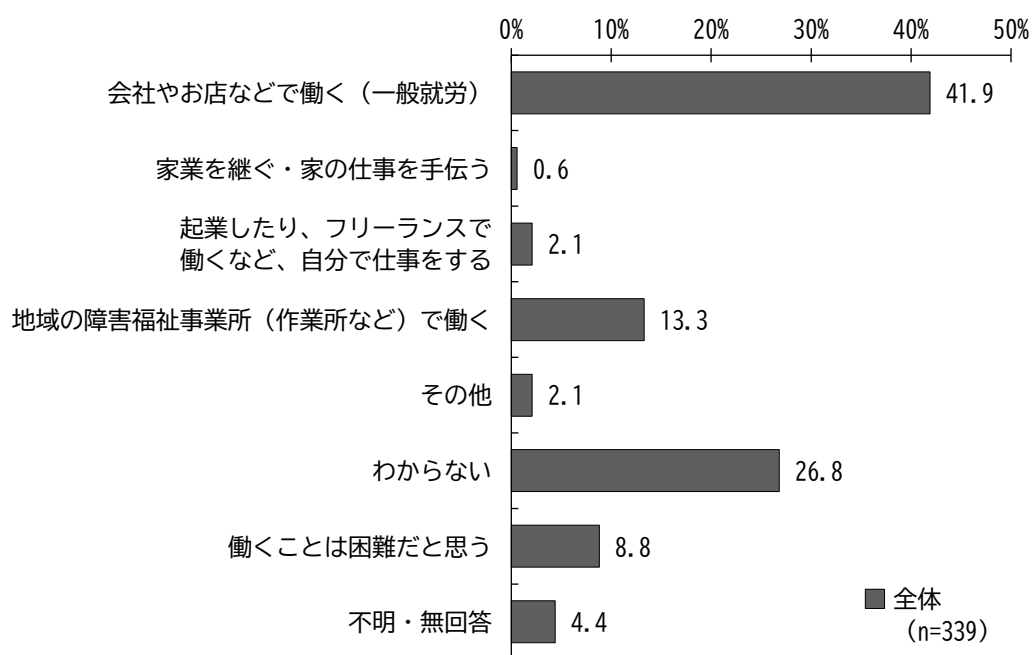


4 将来の暮らしなどについて

問15 あなた（あて名のお子さん）は、将来、どのような働き方を希望しますか。（○は1つ）

将来どのような働き方を希望するかは、「会社やお店などで働く（一般就労）」が41.9%と最も高く、次いで「わからない」が26.8%、「地域の障害福祉事業所（作業所など）で働く」が13.3%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「会社やお店などで働く（一般就労）」が最も高くなっています。

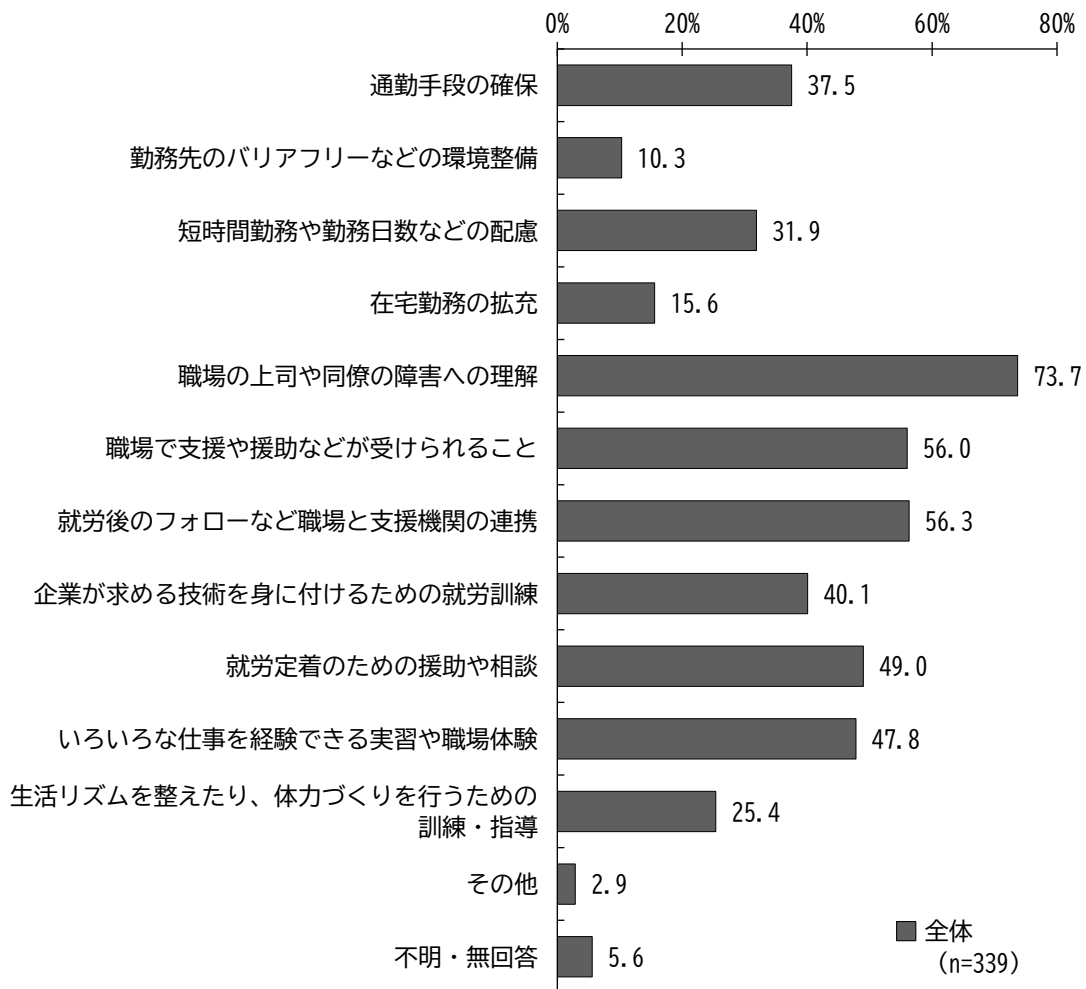


単位：%		会社やお店などで働く（一般就労）	家業を継ぐ・家の仕事を手伝う	起業したり、フリーランスで働くなど、自分で仕事をする	地域の障害福祉事業所（作業所など）で働く	その他	わからない	働くことは困難だと思う	不明・無回答
全体 (n=339)		41.9	0.6	2.1	13.3	2.1	26.8	8.8	4.4
障害種別	身体 (n=50)	34.0	0.0	0.0	10.0	2.0	30.0	20.0	4.0
	療育 (n=170)	29.4	1.2	0.6	24.7	2.4	24.1	15.3	2.4
	精神 (n=51)	45.1	0.0	7.8	0.0	3.9	27.5	5.9	9.8
	手帳非所持 (n=106)	60.4	0.0	1.9	1.9	0.9	28.3	0.9	5.7

問16 あなた（あて名のお子さん）は、障害のある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

障害のある人の就労支援として必要なことは、「職場の上司や同僚の障害への理解」が73.7%と最も高く、次いで「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」が56.3%、「職場で支援や援助などが受けられること」が56.0%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「職場の上司や同僚の障害への理解」が最も高くなっています。

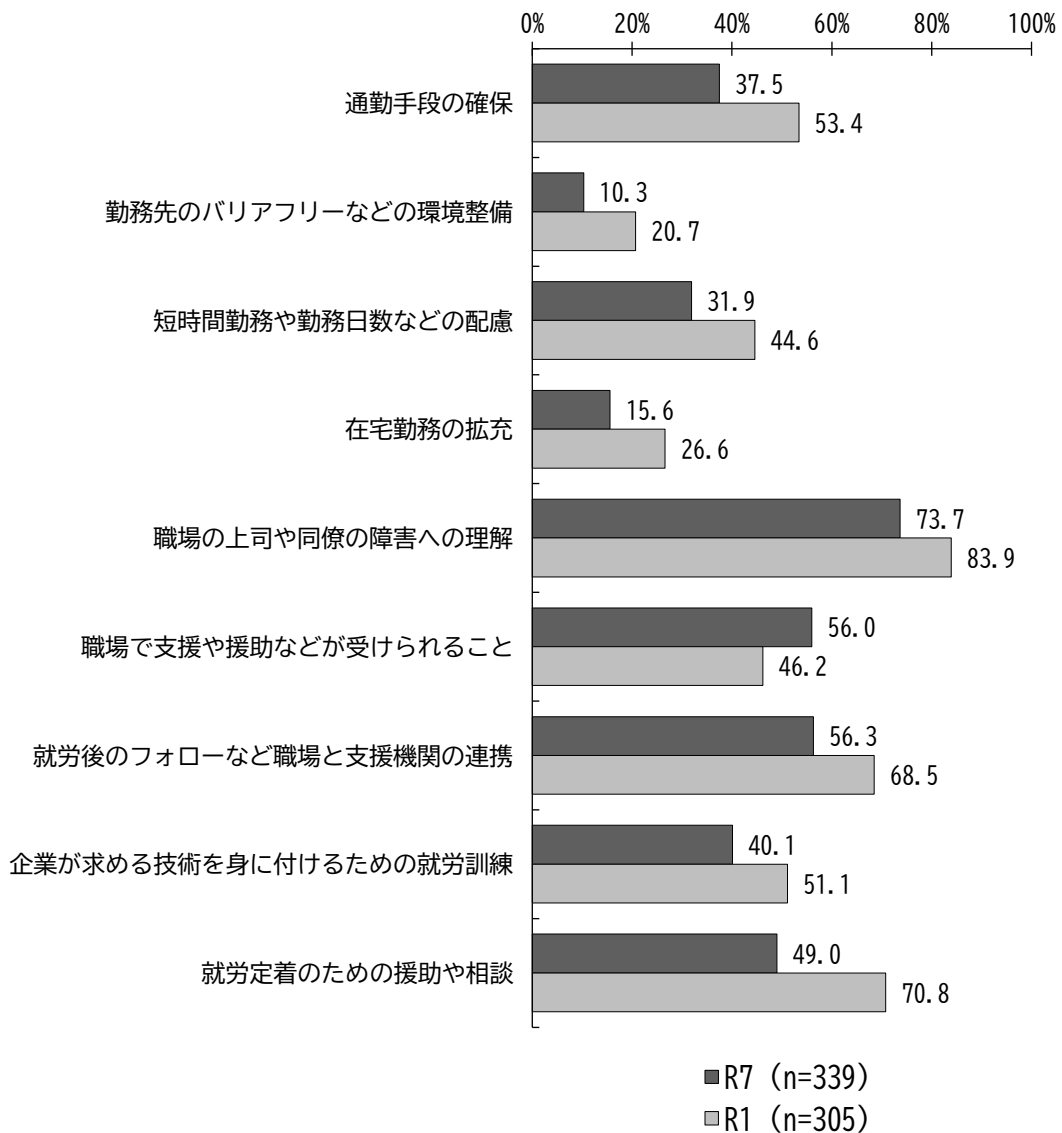


単位：%	通勤手段の確保	勤務先のバリアフリーなどの環境整備	短時間勤務や勤務日数などの配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚の障害への理解	職場で支援や援助などが受けられること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業が求める技術を身に付けるための就労訓練	就労定着のための援助や相談	いろいろな仕事を体験できる実習や職場体験	生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練・指導	その他	不明・無回答	
	全体 (n=339)	37.5	10.3	31.9	15.6	73.7	56.0	56.3	40.1	49.0	47.8	25.4	2.9	5.6
障害種別	身体 (n=50)	48.0	30.0	34.0	26.0	62.0	54.0	48.0	20.0	30.0	36.0	6.0	8.0	
	療育 (n=170)	49.4	8.8	34.7	12.9	77.6	64.7	64.7	42.9	53.5	31.8	2.4	1.8	
	精神 (n=51)	33.3	7.8	33.3	19.6	68.6	56.9	56.9	47.1	56.9	49.0	19.6	0.0	5.9
	手帳非所持 (n=106)	18.9	8.5	25.5	14.2	69.8	43.4	43.4	34.9	36.8	38.7	14.2	3.8	11.3

【問16「就労支援で必要だと思うこと」と問14「通学・通園先」のクロス集計】

単位：%		通勤手段の確保	勤務先の環境整備	短時間勤務や勤務日数などの配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚の障害への理解	職場で支援や援助などが受けられること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業が求める就労訓練を身に付けるための就労訓練	就労定着のための援助や相談	いろいろな仕事を体験できる実習や職場体験	生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練・指導	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		37.5	10.3	31.9	15.6	73.7	56.0	56.3	40.1	49.0	47.8	25.4	2.9	5.6
通園・通学先別	児童発達支援施設 (n=53)	34.0	11.3	35.8	15.1	67.9	54.7	54.7	37.7	41.5	49.1	22.6	5.7	7.5
	保育所・幼稚園・認定こども園 (n=61)	27.9	11.5	26.2	11.5	65.6	52.5	49.2	42.6	39.3	39.3	19.7	6.6	4.9
	小学校・小学部 (n=166)	36.1	12.7	33.7	21.1	74.1	59.6	60.2	43.4	48.2	49.4	25.3	1.8	4.2
	中学校・中学部 (n=61)	45.9	11.5	36.1	16.4	82.0	59.0	60.7	36.1	49.2	47.5	31.1	0.0	6.6
	高等学校・高等部等 (n=34)	41.2	0.0	26.5	5.9	76.5	52.9	52.9	38.2	58.8	55.9	26.5	2.9	2.9

【経年比較】



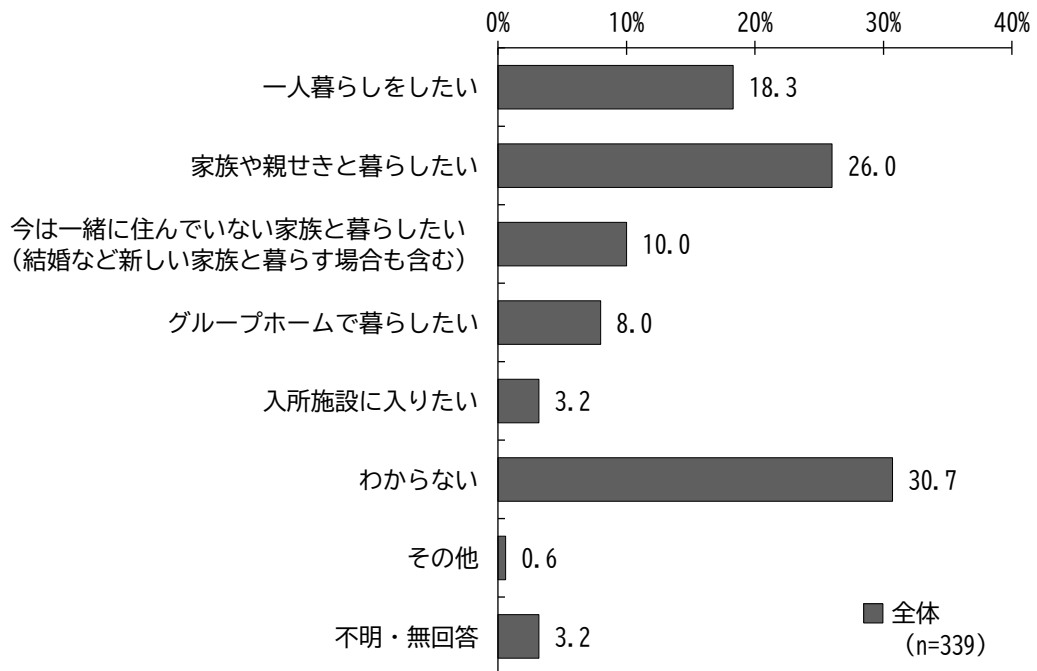
■各調査の選択肢

R7 年度調査	R1 年度調査
通勤手段の確保	変更なし
勤務先のバリアフリーなどの環境整備	勤務先のバリアフリーなどの配慮
短時間勤務や勤務日数などの配慮	変更なし
在宅勤務の拡充	変更なし
職場の上司や同僚の障害への理解	変更なし
職場で支援や援助などが受けられること	職場での介助や援助
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	就労後の支援など職場と支援機関の連携
企業が求める技術を身に付けるための就労訓練	企業ニーズに合った就労訓練
就労定着のための援助や相談	就労や就労定着のための援助や相談
いろいろな仕事を経験できる実習や職場体験	項目なし
生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練・指導	項目なし
その他	その他

問17 あなた(あて名のお子さん)は、将来、どのように生活したいですか。
(○は1つ)

将来どのように生活したいかは、「わからない」が30.7%と最も高く、次いで「家族や親せきと暮らしたい」が26.0%、「一人暮らしをしたい」が18.3%となっています。

障害種別にみると、身体・精神では「家族や親せきと暮らしたい」、療育では「わからない」、手帳非所持では「一人暮らしをしたい」が最も高くなっています。

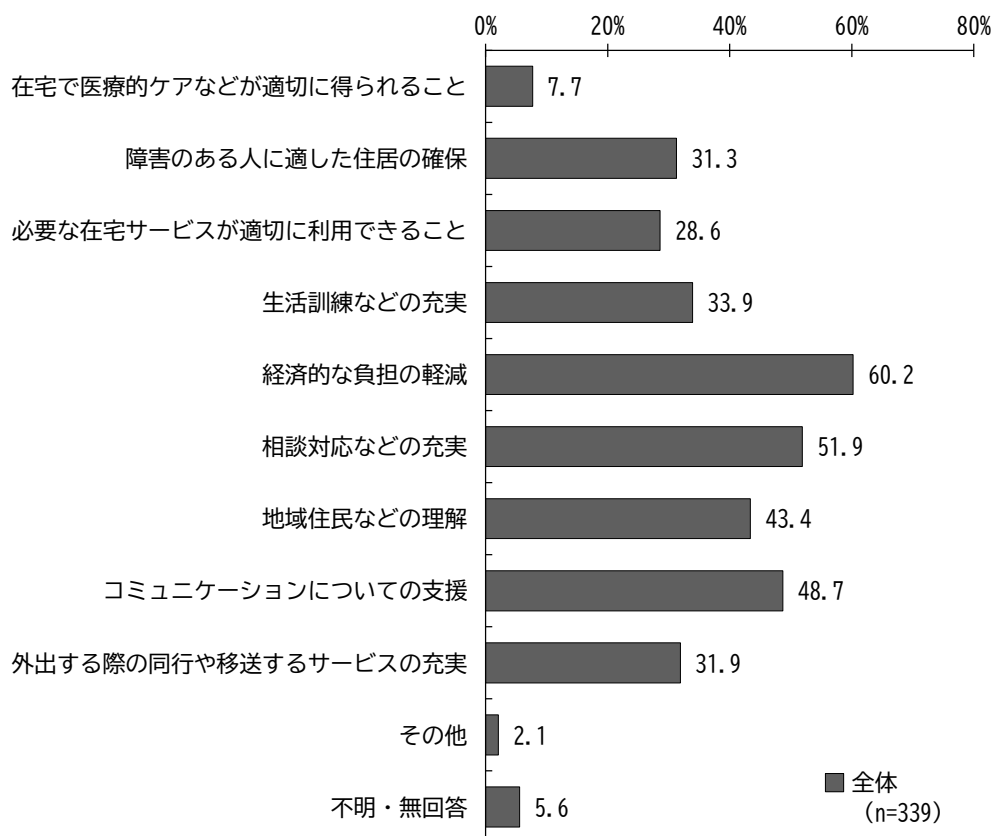


単位：%		一人暮らしをしたい	家族や親せきと暮らしたい	今は一緒に住んでいない家族と暮らしたい(結婚など新しい家族も含む)	グループホームで暮らしたい	入所施設に入りたい	わからない	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		18.3	26.0	10.0	8.0	3.2	30.7	0.6	3.2
障害種別	身体 (n=50)	10.0	36.0	6.0	6.0	8.0	30.0	2.0	2.0
	療育 (n=170)	8.2	30.6	4.7	15.9	5.9	31.8	0.6	2.4
	精神 (n=51)	21.6	29.4	19.6	3.9	2.0	15.7	0.0	7.8
	手帳非所持 (n=106)	31.1	18.9	14.2	0.0	0.9	30.2	0.0	4.7

問18 あなた（あて名のお子さん）は、地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

地域で生活するためにあればよい支援は、「経済的な負担の軽減」が60.2%と最も高く、次いで「相談対応などの充実」が51.9%、「コミュニケーションについての支援」が48.7%となっています。

障害種別にみると、手帳非所持では「相談対応などの充実」、その他の区分では「経済的な負担の軽減」が最も高くなっています。



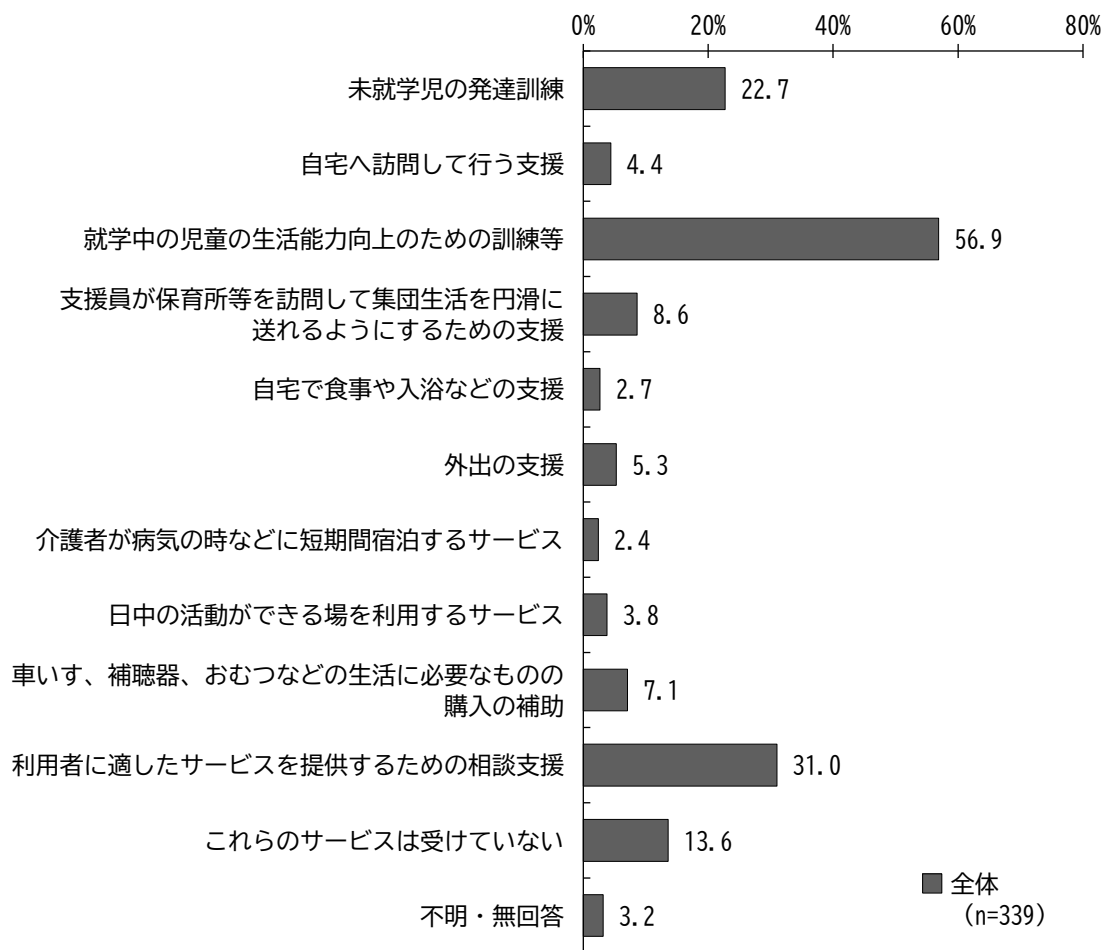
単位：%		在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	障害のある人に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	外出する際の同行や移送するサービスの充実	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		7.7	31.3	28.6	33.9	60.2	51.9	43.4	48.7	31.9	2.1	5.6
障害種別	身体 (n=50)	24.0	38.0	48.0	24.0	64.0	34.0	40.0	24.0	44.0	6.0	6.0
	療育 (n=170)	8.2	45.3	36.5	44.1	62.9	48.8	45.3	53.5	46.5	0.6	1.8
	精神 (n=51)	3.9	21.6	25.5	29.4	62.7	47.1	33.3	49.0	25.5	0.0	9.8
	手帳非所持 (n=106)	4.7	14.2	13.2	19.8	50.9	57.5	41.5	44.3	11.3	3.8	10.4

5 福祉サービスなどについて

問19 ①現在受けているサービス（○はいくつでも）

現在受けているサービスは、「就学中の児童の生活能力向上のための訓練等」が56.9%と最も高く、次いで「利用者に適したサービスを提供するための相談支援」が31.0%、「未就学児の発達訓練」が22.7%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「就学中の児童の生活能力向上のための訓練等」が最も高くなっています。

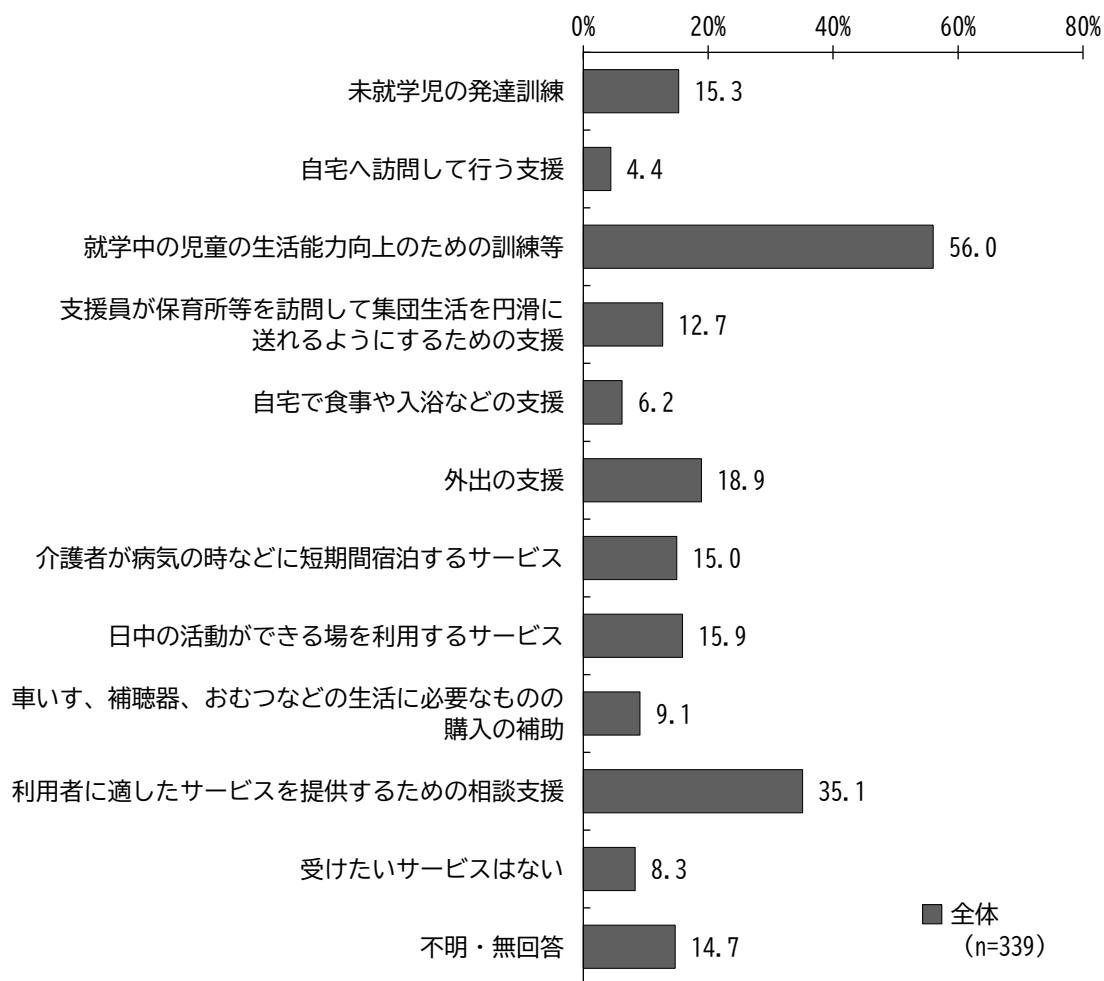


単位：%		未就学児の発達訓練	自宅へ訪問して行う支援	就学中の児童の生活能力向上のための訓練等	支援員が保育所等を訪問して集団生活を円滑に送れるようにするための支援	自宅で食事や入浴などの支援	外出の支援	介護者が病気の時などに短期間宿泊するサービス	日中の活動ができる場を利用するサービス	車いす、補聴器、おむつなどのおむつなどの購入の補助	利用者に適したサービスを提供するための相談支援	これらのサービスは受けていない	不明・無回答
全体 (n=339)		22.7	4.4	56.9	8.6	2.7	5.3	2.4	3.8	7.1	31.0	13.6	3.2
障害種別	身体 (n=50)	22.0	8.0	32.0	2.0	12.0	6.0	4.0	4.0	30.0	24.0	30.0	4.0
	療育 (n=170)	17.6	5.3	64.1	7.6	4.1	8.8	4.1	6.5	11.2	34.7	12.4	2.4
	精神 (n=51)	19.6	2.0	54.9	0.0	2.0	2.0	2.0	3.9	2.0	27.5	17.6	7.8
	手帳非所持 (n=106)	31.1	3.8	57.5	15.1	0.9	2.8	0.9	0.9	0.9	31.1	4.7	2.8

問19 ②利用を続けたいサービス・今後新たに利用したいサービス
(〇はいくつでも)

利用を続けたいサービス・今後新たに利用したいサービスは、「就学中の児童の生活能力向上のための訓練等」が56.0%と最も高く、次いで「利用者に適したサービスを提供するための相談支援」が35.1%、「外出の支援」が18.9%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「就学中の児童の生活能力向上のための訓練等」が最も高くなっています。



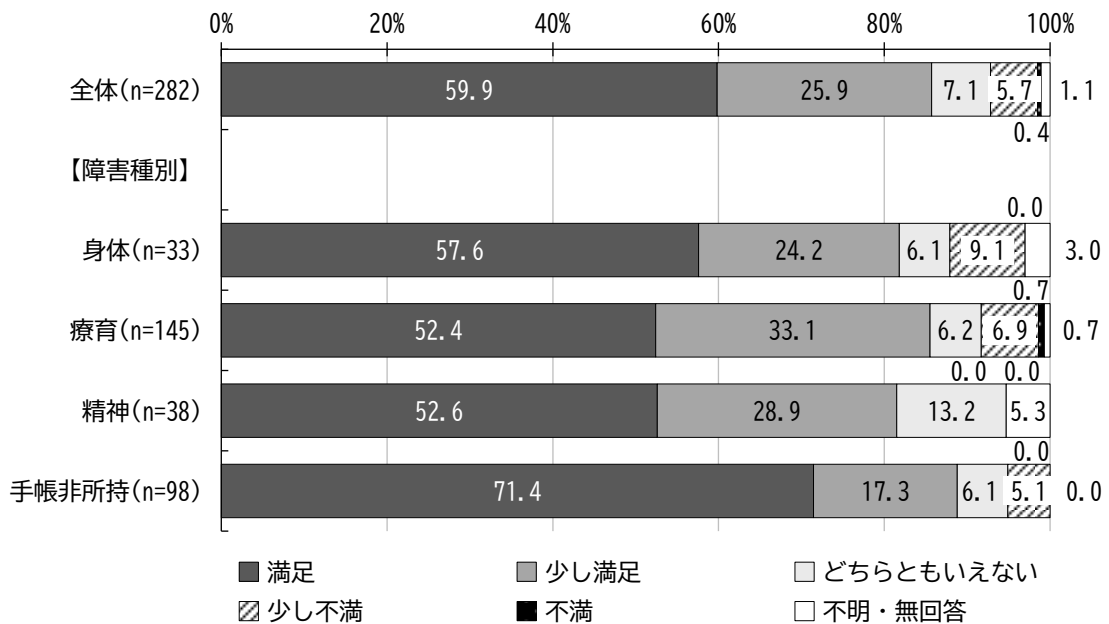
単位：%		未就学児の発達訓練	自宅へ訪問して行う支援	就学中の児童の生活能力向上のための訓練等	児童生活の円滑に送れるよう支援するための支援	支援員が保育所等を訪問して集団生活を円滑に送れるよう支援	自宅で食事や入浴などの支援	外出の支援	宿泊するサービス	介護者が病気の時などに短期間介泊するサービス	日中の活動ができる場を利用するサービス	車いす、補聴器、おむつなどの生活に必要なものの購入の補助	利用者にとって適したサービスを提供するための相談支援	受けたいサービスはない	不明・無回答
全体 (n=339)		15.3	4.4	56.0	12.7	6.2	18.9	15.0	15.9	9.1	35.1	8.3	14.7		
障害種別	身体 (n=50)	20.0	12.0	34.0	8.0	22.0	24.0	24.0	12.0	30.0	26.0	16.0	20.0		
	療育 (n=170)	11.2	6.5	57.6	12.9	10.0	31.8	27.1	24.7	14.7	36.5	6.5	15.3		
	精神 (n=51)	13.7	3.9	49.0	7.8	3.9	13.7	9.8	11.8	2.0	35.3	15.7	15.7		
	手帳非所持 (n=106)	18.9	0.9	64.2	17.0	1.9	5.7	2.8	7.5	1.9	39.6	4.7	10.4		

問19①で「未就学児の発達訓練」～「利用者に適したサービスを提供するための相談支援」のいずれかに答えた方

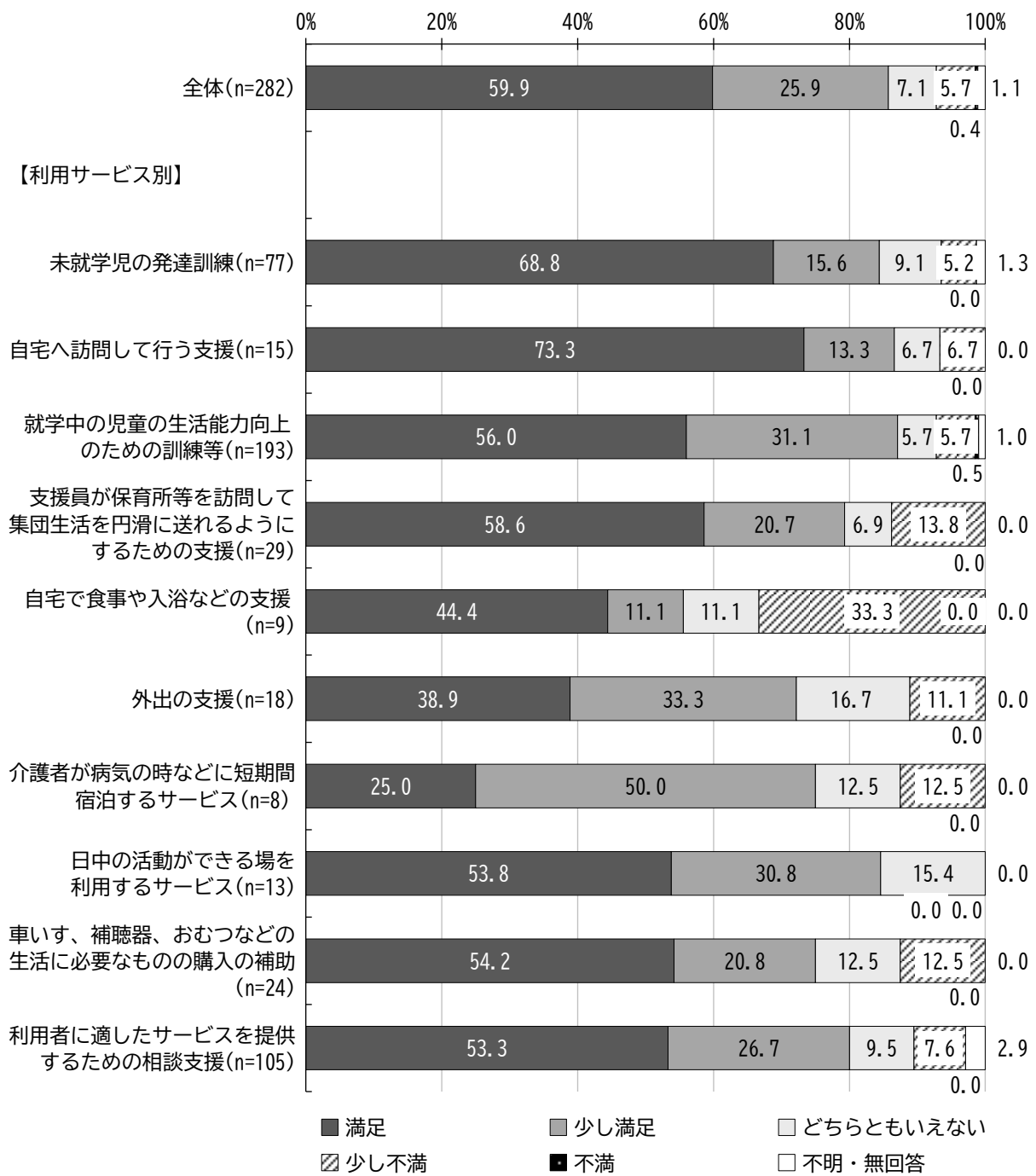
問19-1 そのサービスにどれくらい満足していますか。(○は1つ)

現在受けているサービスへの満足度は、「満足」が59.9%と最も高く、次いで「少し満足」が25.9%、「どちらともいえない」が7.1%となっています。『満足している』（「満足」と「少し満足」の合算）は85.8%、『不満である』（「不満」と「少し不満」の合算）は6.1%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「満足」が最も高くなっています。



【問19①「現在受けているサービス」と問19-1「サービスの満足度」のクロス集計】

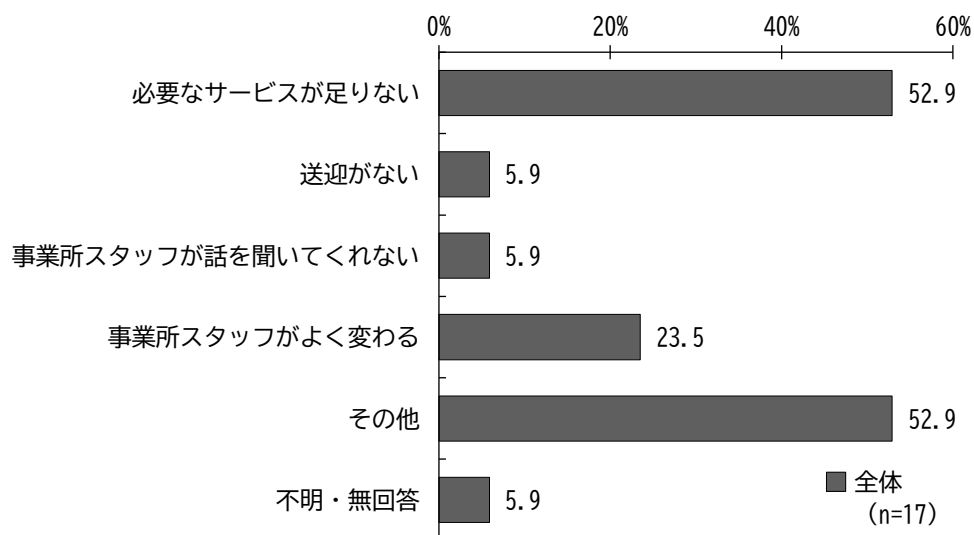


問19-1で「少し不満」又は「不満」と答えた方

問19-2 そのサービスに不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

現在受けているサービスに不満な理由は、「必要なサービスが足りない」「その他」が52.9%（9件）と最も高く、次いで「事業所スタッフがよく変わる」が23.5%（4件）となっています。

障害種別にみると、療育では「必要なサービスが足りない」「その他」が最も高くなっています。



単位：%		必要なサービスが足りない	送迎がない	事業所スタッフが話を聞いてくれない	事業所スタッフがよく変わる	その他	不明・無回答
全体 (n=17)		52.9	5.9	5.9	23.5	52.9	5.9
障害種別	身体 (n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	療育 (n=11)	54.5	9.1	0.0	27.3	54.5	9.1
	手帳非所持 (n=5)	60.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0

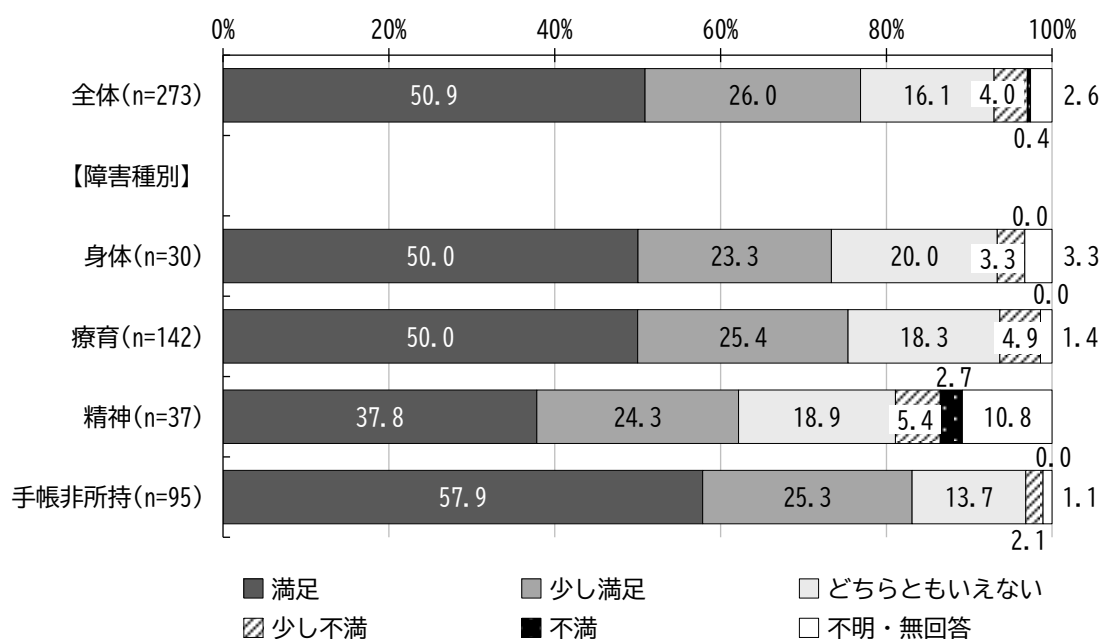
※精神は (n=0) のため省略

問19①で「未就学児の発達訓練」～「日中の活動ができる場を利用するサービス」のいずれかに答えた方

問19-3 障害児支援利用計画書を作るために相談支援専門員に相談してもらっていますが、その相談にどれくらい満足していますか。
(○は1つ)

相談支援専門員への相談への満足度は、「満足」が50.9%と最も高く、次いで「少し満足」が26.0%、「どちらともいえない」が16.1%となっています。『満足している』（「満足」と「少し満足」の合算）は76.9%、『不満である』（「不満」と「少し不満」の合算）は4.4%となっています。

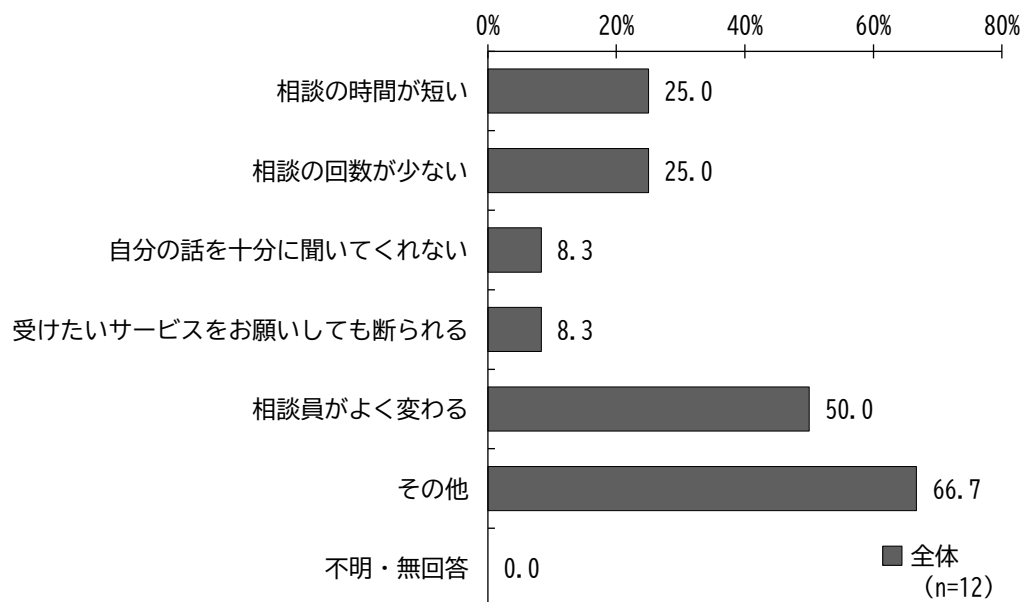
障害種別にみると、全ての区分で「満足」が最も高くなっています。



問19-3で「少し不満」又は「不満」と答えた方

問19-4 その相談に不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

相談支援専門員への相談に不満な理由は、「その他」が8件と最も高く、次いで「相談員がよく変わる」が6件、「相談の時間が短い」「相談の回数が少ない」が3件となっています。



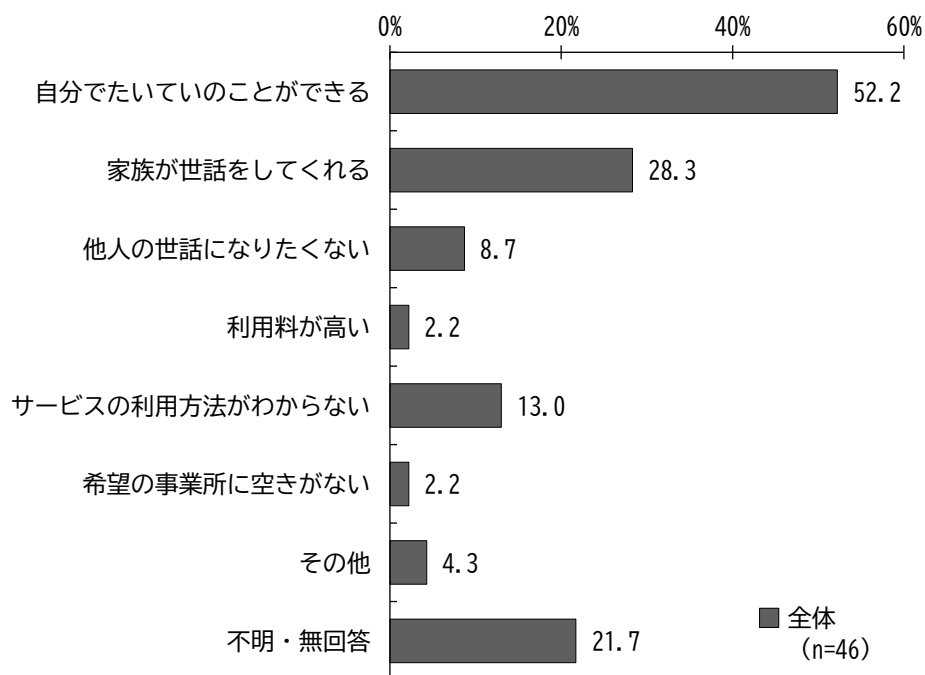
単位：%		相談の時間が短い	相談の回数が少ない	自分の話を十分に聞いてくれない	受けたサービスをお願いしても断られる	相談員がよく変わる	その他	不明・無回答
全体 (n=12)		25.0	25.0	8.3	8.3	50.0	66.7	0.0
障害種別	身体 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	療育 (n=7)	42.9	28.6	0.0	0.0	57.1	57.1	0.0
	精神 (n=3)	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0
	手帳非所持 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0

問19①で「これらのサービスは受けていない」と答えた方

問19-5 サービスを受けていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

サービスを受けていない理由は、「自分でたいていのことができる」が52.2%と最も高く、次いで「家族が世話をしてくれる」が28.3%、「サービスの利用方法がわからない」が13.0%となっています。

障害種別にみると、身体・療育では「自分でたいていのことができる」が最も高くなっています。



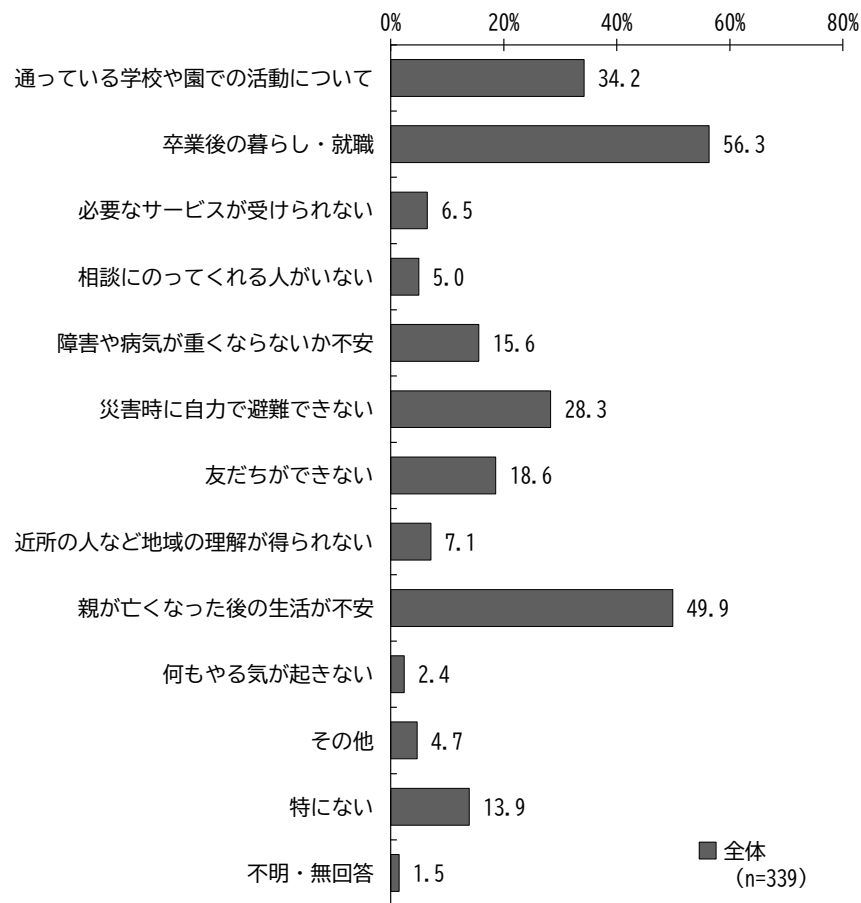
単位：%		自分でたいていのことができる	家族が世話をしてくれる	他人の世話になりたくない	利用料が高い	サービスの利用方法がわからない	希望の事業所に空きがない	その他	不明・無回答
全体 (n=46)		52.2	28.3	8.7	2.2	13.0	2.2	4.3	21.7
障害種別	身体 (n=15)	66.7	20.0	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	20.0
	療育 (n=21)	47.6	38.1	9.5	0.0	9.5	4.8	0.0	23.8
	精神 (n=9)	33.3	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
	手帳非所持 (n=5)	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0

6 相談や情報などについて

問20 あなた（あて名のお子さん）が、現在不安なことや困っていることはありませんか。（〇はいくつでも）

現在不安なことや困っていることは、「卒業後の暮らし・就職」が56.3%と最も高く、次いで「親が亡くなった後の生活が不安」が49.9%、「通っている学校や園での活動について」が34.2%となっています。

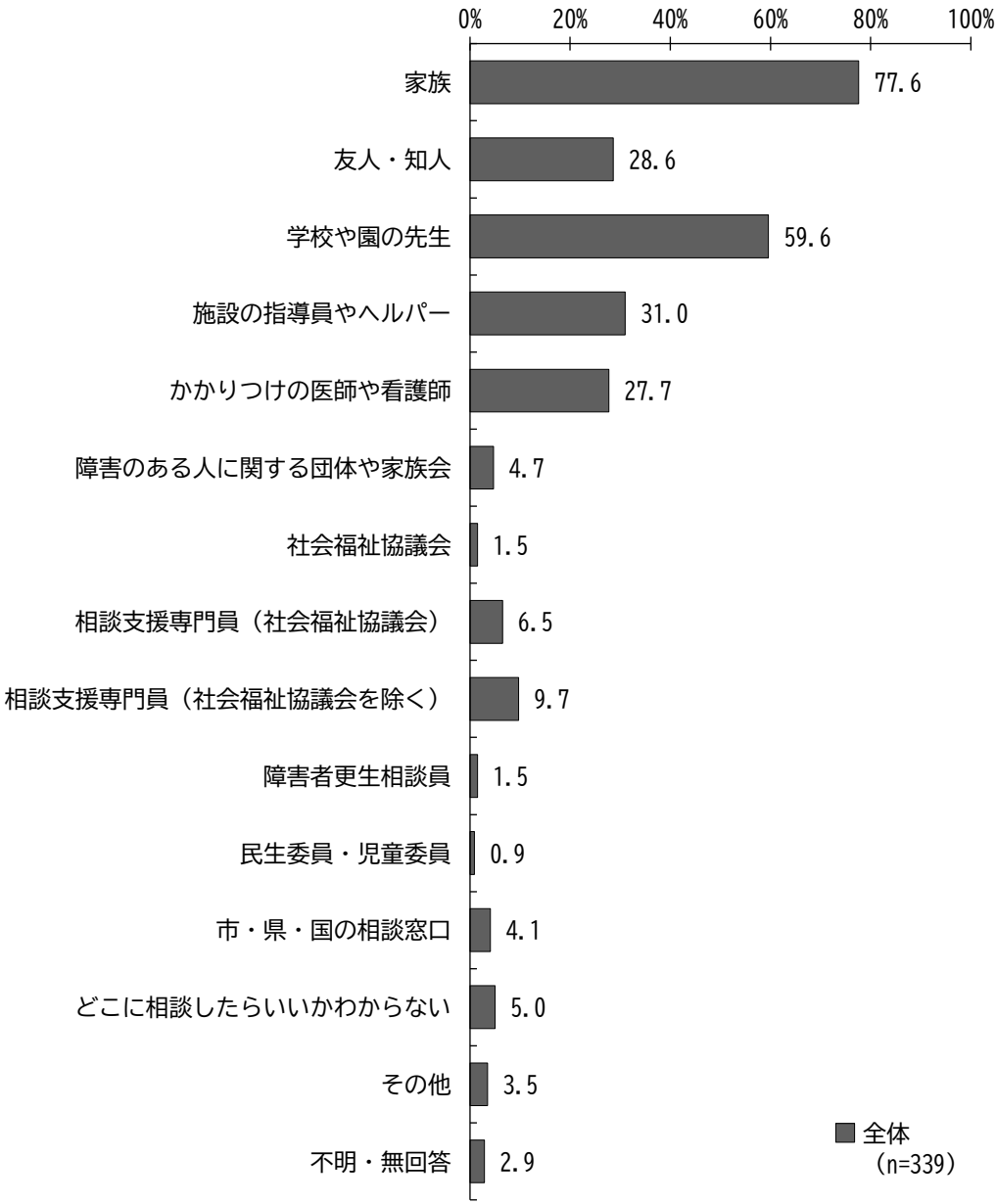
障害種別にみると、手帳非所持では「通っている学校や園での活動について」、その他の区分では「卒業後の暮らし・就職」が最も高くなっています。



単位：%		で通つ活て動いるつ学校や園	職卒業後の暮らし・就	け必要ならサービスが受	人が談いにのつてくれる	らないや病気が重くな	で災害時に自力で避難	友だちができない	理近所が得られない地域の	生親が亡くなった後の	い何もやる気が起きな	その他	特にな	不明・無回答
全体 (n=339)		34.2	56.3	6.5	5.0	15.6	28.3	18.6	7.1	49.9	2.4	4.7	13.9	1.5
障害種別	身体 (n=50)	22.0	52.0	4.0	0.0	26.0	36.0	10.0	8.0	48.0	0.0	6.0	24.0	2.0
	療育 (n=170)	22.9	72.4	10.0	2.9	18.2	41.8	17.1	8.2	68.8	2.4	2.9	7.1	0.6
	精神 (n=51)	31.4	51.0	0.0	7.8	11.8	17.6	39.2	13.7	41.2	5.9	2.0	7.8	3.9
	手帳非所持 (n=106)	54.7	39.6	4.7	7.5	10.4	13.2	17.0	5.7	30.2	1.9	7.5	19.8	1.9

問21 あなた（あて名のお子さん）は、悩みや困りごとを誰に相談したいですか。（〇はいくつでも）

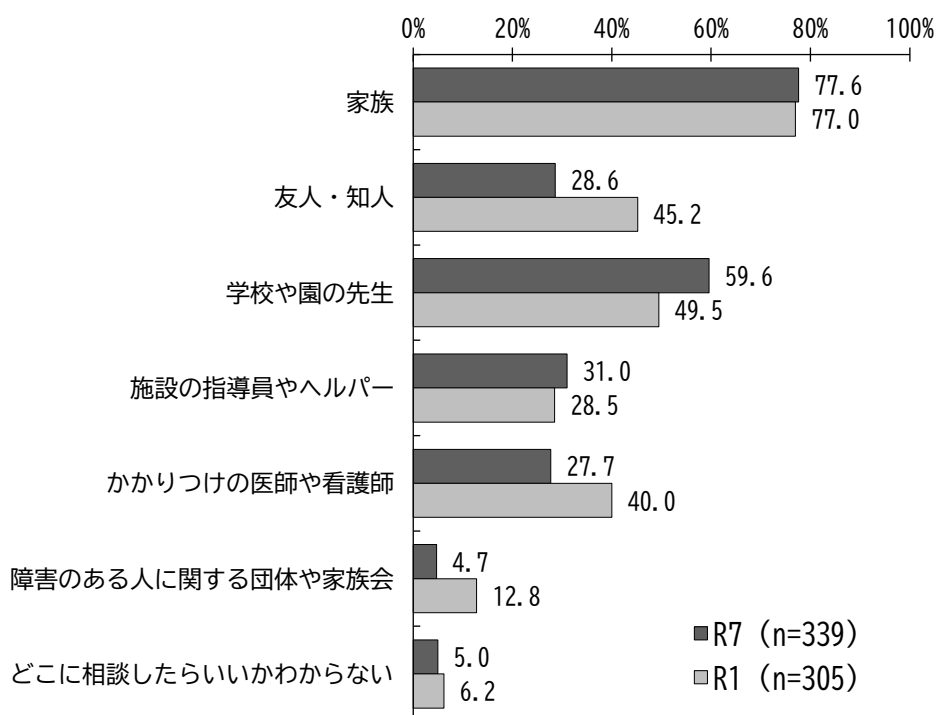
悩みや困りごとを誰に相談したいかは、「家族」が77.6%と最も高く、次いで「学校や園の先生」が59.6%、「施設の指導員やヘルパー」が31.0%となっています。
 障害種別にみると、全ての区分で「家族」が最も高くなっています。



単位：％		家族	友人・知人	学校や園の先生	施設の指導員やヘルパー	かかりつけの医師や看護師	障害のある人に関する団体や家族会	社会福祉協議会	相談支援専門員（社会福祉協議会）
全体 (n=339)		77.6	28.6	59.6	31.0	27.7	4.7	1.5	6.5
障害種別	身体 (n=50)	82.0	20.0	42.0	14.0	26.0	4.0	0.0	2.0
	療育 (n=170)	74.7	30.0	64.1	34.1	30.6	7.6	1.8	7.1
	精神 (n=51)	72.5	23.5	51.0	15.7	31.4	3.9	0.0	3.9
	手帳非所持 (n=106)	80.2	30.2	60.4	35.8	20.8	1.9	1.9	7.5

単位：％		相談支援専門員（社会福祉協議会を除く）	障害者更生相談員	民生委員・児童委員	市・県・国の相談窓口	どこに相談したらいいかわからない	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		9.7	1.5	0.9	4.1	5.0	3.5	2.9
障害種別	身体 (n=50)	6.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	6.0
	療育 (n=170)	12.4	1.8	0.6	6.5	6.5	2.9	2.9
	精神 (n=51)	15.7	3.9	0.0	5.9	11.8	2.0	2.0
	手帳非所持 (n=106)	3.8	0.9	1.9	1.9	2.8	4.7	3.8

【経年比較】



■各調査の選択肢

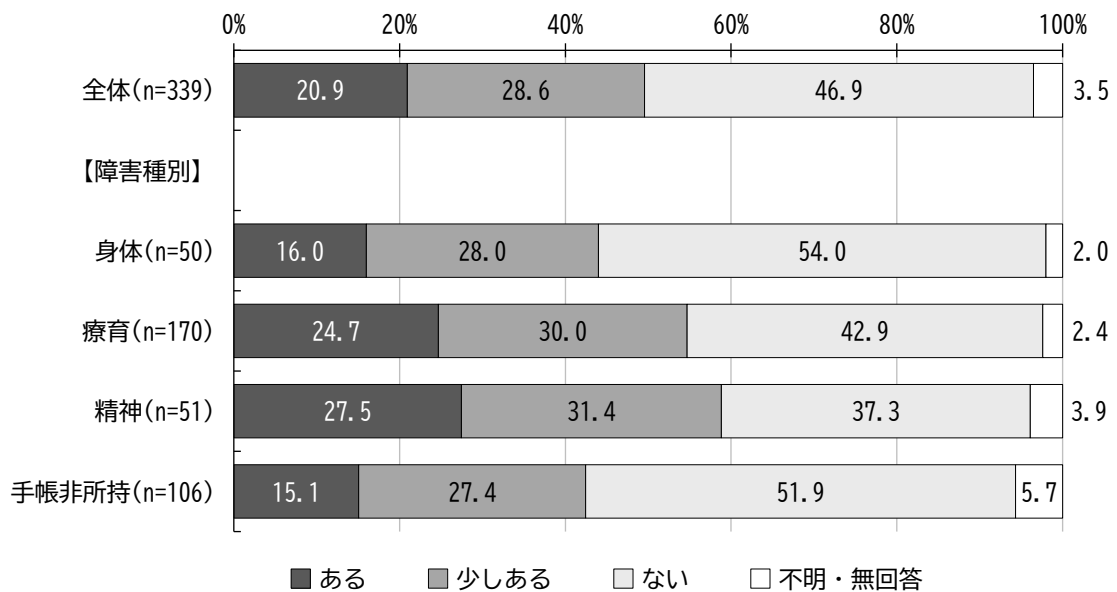
R7 年度調査	R1 年度調査
家族	家族や親せき
友人・知人	変更なし
項目なし	近所の人
学校や園の先生	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
項目なし	職場の上司や同僚
施設の指導員やヘルパー	施設の職員など
かかりつけの医師や看護師	変更なし
障害のある人に関する団体や家族会	障害者に関する団体や家族会
項目なし	地域生活支援拠点など
項目なし	ケースワーカー、ケアマネジャーなど
社会福祉協議会	項目なし
相談支援専門員(社会福祉協議会)	項目なし
相談支援専門員(社会福祉協議会を除く)	項目なし
項目なし	相談支援事業所などの民間の相談窓口
項目なし	ホームヘルパーなどサービス事業所の人
障害者更生相談員	項目なし
民生委員・児童委員	民生委員・児童委員・障害者相談員
項目なし	市の相談窓口
項目なし	県や国の相談窓口
市・県・国の相談窓口	項目なし
どこに相談したらいいかわからない	どこに相談したらいいかわからない
その他	その他

7 障害理解などについて

問22 あなた（あて名のお子さん）は、過去3年ぐらいのうちに、障害があることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。（○は1つ）

障害があることで差別や嫌な思いをした経験の有無は、「ない」が46.9%と最も高く、次いで「少しある」が28.6%、「ある」が20.9%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「ない」が最も高くなっています。

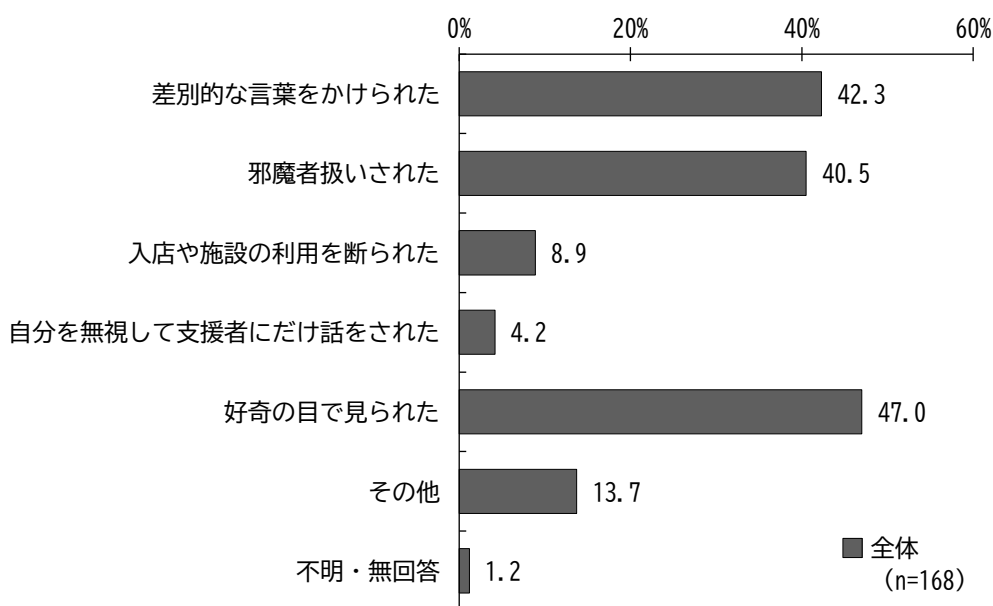


問22で「ある」又は「少しある」と答えた方

問22-1 障害のために受けた差別や嫌な思いは、具体的に何ですか。 (〇はいくつでも)

障害のために受けた差別や嫌な思いの具体的な内容は、「好奇の目で見られた」が47.0%と最も高く、次いで「差別的な言葉をかけられた」が42.3%、「邪魔者扱いされた」が40.5%となっています。

障害種別にみると、身体・療育では「好奇の目で見られた」、精神・手帳非所持では「差別的な言葉をかけられた」が最も高くなっています。

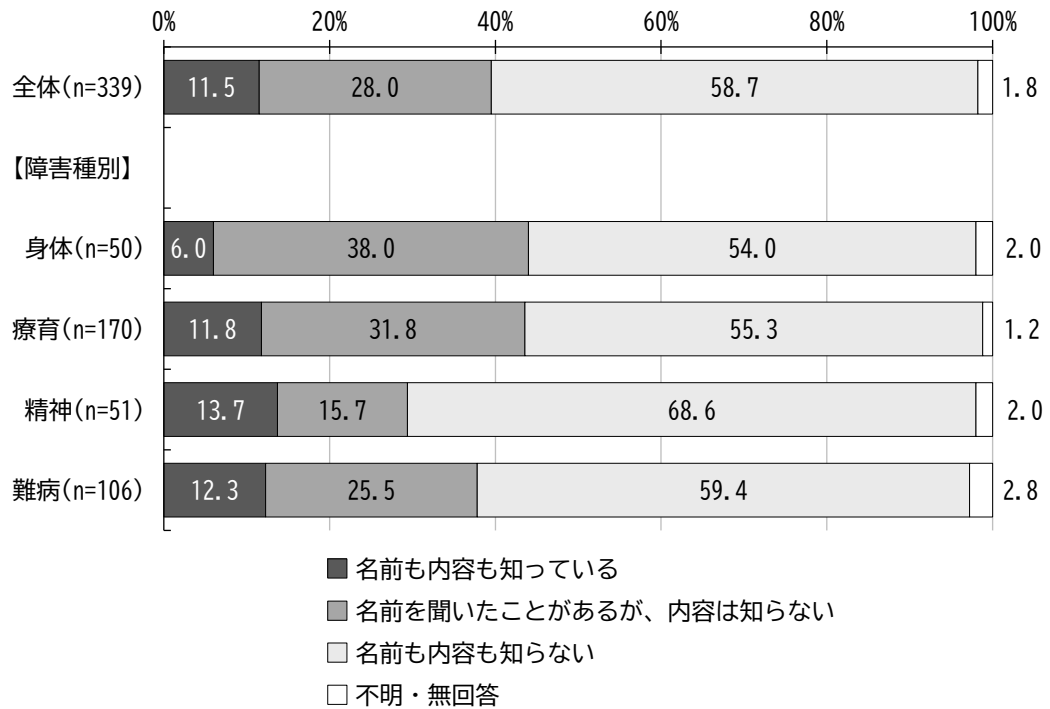


単位：%		差別的な言葉をかけられた	邪魔者扱いされた	入店や施設の利用を断られた	自分を無視して支援者にだけ話をされた	好奇の目で見られた	その他	不明・無回答
全体 (n=168)		42.3	40.5	8.9	4.2	47.0	13.7	1.2
障害種別	身体 (n=22)	36.4	31.8	13.6	18.2	45.5	9.1	4.5
	療育 (n=93)	35.5	38.7	8.6	3.2	55.9	14.0	2.2
	精神 (n=30)	53.3	36.7	3.3	6.7	16.7	20.0	3.3
	手帳非所持 (n=45)	48.9	46.7	8.9	2.2	44.4	11.1	0.0

問23 あなた（あて名のお子さん）は、障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）について知っていますか。（○は1つ）

障害者虐待防止法の認知度は、「名前も内容も知らない」が58.7%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が28.0%、「名前も内容も知っている」が11.5%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。

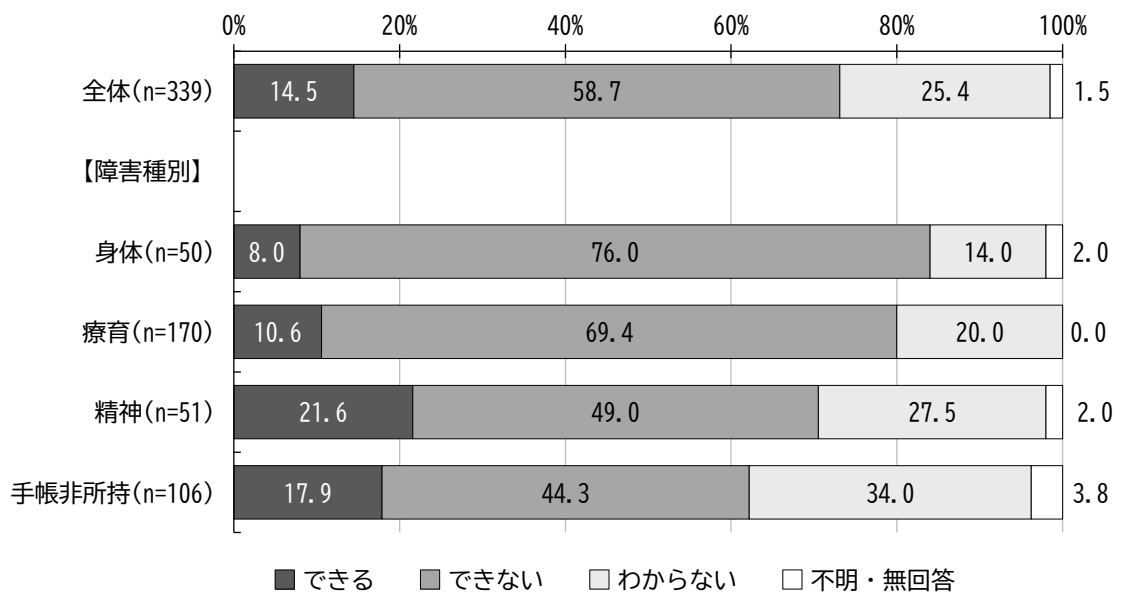


8 災害時の避難について

問24 あなた（あて名のお子さん）は、水害や地震などの災害時に一人で避難できますか。（○は1つ）

災害時に一人で避難できるかは、「できない」が58.7%と最も高く、次いで「わからない」が25.4%、「できる」が14.5%となっています。

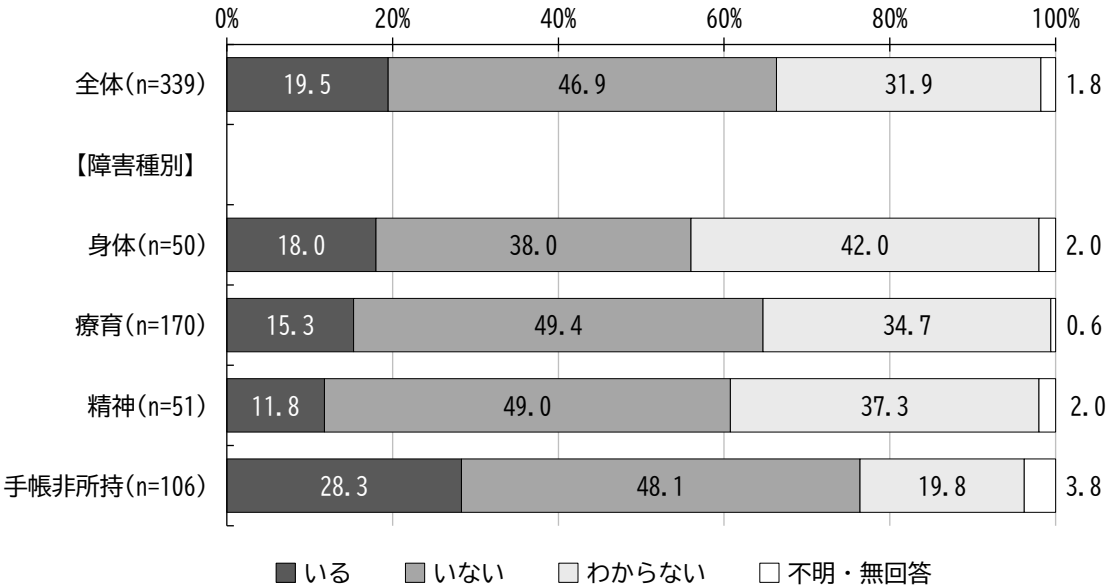
障害種別にみると、全ての区分で「できない」が最も高くなっています。



問25 あなた(あて名のお子さん)は、災害時に家族や支援者が不在の場合、近所に助けてくれる人はいますか。(○は1つ)

災害時に近所に助けてくれる人の有無は、「いない」が46.9%と最も高く、次いで「わからない」が31.9%、「いる」が19.5%となっています。

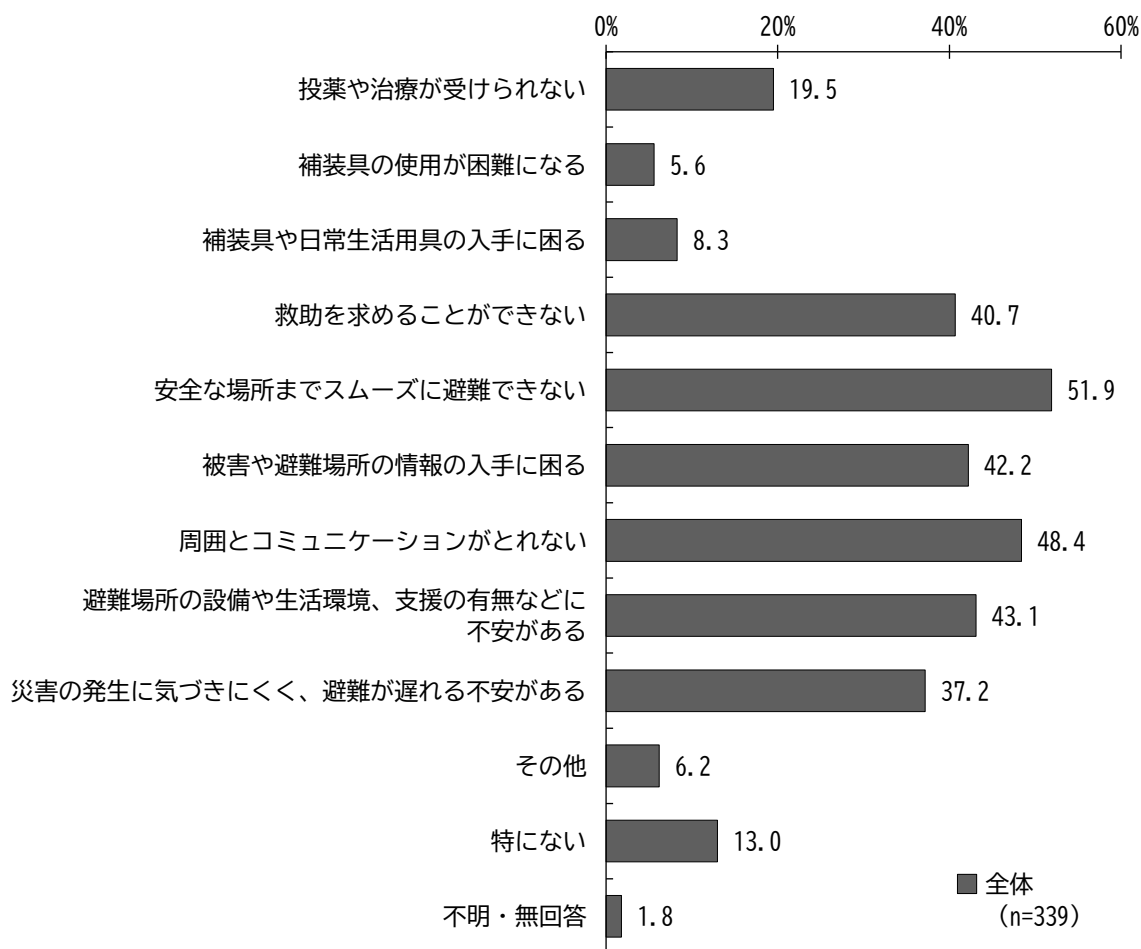
障害種別にみると、身体では「わからない」、その他の区分では「いない」が最も高くなっています。



問26 あなた（あて名のお子さん）は、水害や地震などの災害時にどのようなことに困りますか。（〇はいくつでも）

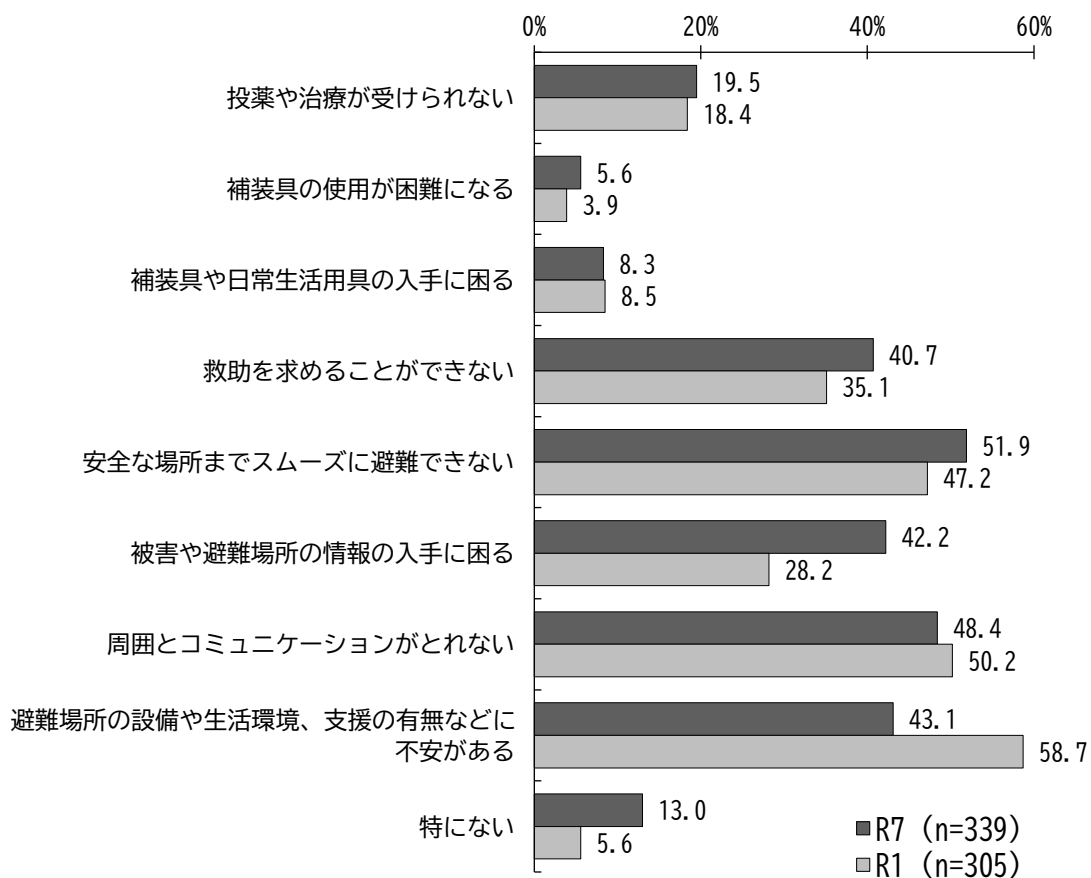
災害時に困ることは、「安全な場所までスムーズに避難できない」が51.9%と最も高く、次いで「周囲とコミュニケーションがとれない」が48.4%、「避難場所の設備や生活環境、支援の有無などに不安がある」が43.1%となっています。

障害種別にみると、身体では「安全な場所までスムーズに避難できない」、療育・精神では「周囲とコミュニケーションがとれない」、手帳非所持では「安全な場所までスムーズに避難できない」、「被害や避難場所の情報の入手に困る」が最も高くなっています。



単位：%		な投薬や治療が受けられない	な補装具の使用が困難になる	の補装具や日常生活用具の入手に困る	き救助を求めることができない	ズ安全な場所までスムーズに避難できない	の被害や避難場所の情報の入手に困る	シ周囲とコミュニケーションがとれない	に環境、場所の設備や生活環境、支援の有無などに不安がある	安がく、災害の発生に気づきにくい	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=339)		19.5	5.6	8.3	40.7	51.9	42.2	48.4	43.1	37.2	6.2	13.0	1.8
障害種別	身体 (n=50)	44.0	20.0	30.0	38.0	62.0	28.0	34.0	50.0	32.0	4.0	10.0	2.0
	療育 (n=170)	20.0	6.5	8.2	54.7	61.2	48.8	62.9	47.6	48.8	6.5	7.6	0.6
	精神 (n=51)	25.5	5.9	9.8	37.3	47.1	31.4	51.0	43.1	19.6	7.8	5.9	2.0
	手帳非所持 (n=106)	9.4	1.9	2.8	27.4	41.5	41.5	32.1	34.9	27.4	5.7	22.6	3.8

【経年比較】



■各調査の選択肢

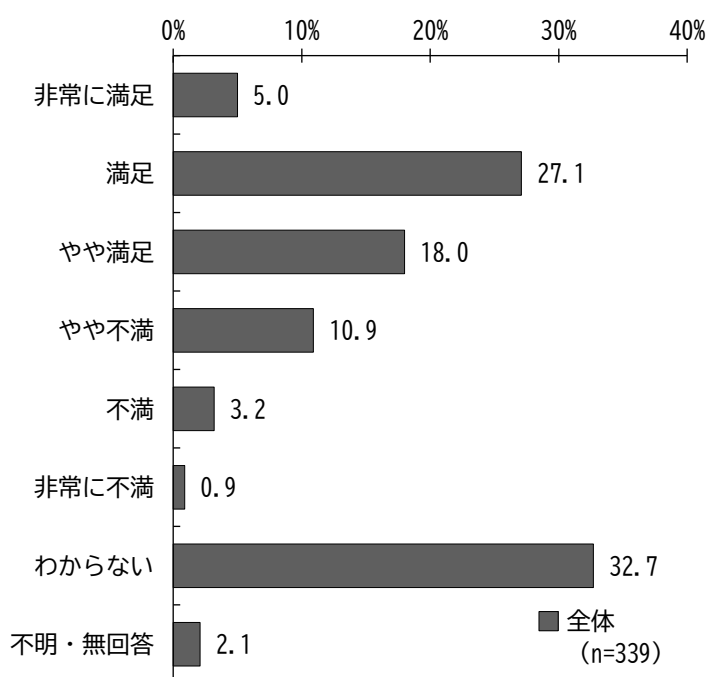
R7 年度調査	R1 年度調査
投薬や治療が受けられない	変更なし
補装具の使用が困難になる	変更なし
補装具や日常生活用具の入手に困る	変更なし
救助を求めることができない	変更なし
安全な場所までスムーズに避難できない	変更なし
被害や避難場所の情報の入手に困る	変更なし
周囲とコミュニケーションがとれない	変更なし
避難場所の設備や生活環境、支援の有無などに不安がある	避難場所の設備や生活環境への不安
災害の発生に気づきにくく、避難が遅れる不安がある	項目なし
その他	項目なし
特にない	特にない

9 市の施策について

問27 あなた(あて名のお子さん)は、安城市の障害者福祉の取組について、どれくらい満足していますか。(〇は1つ)

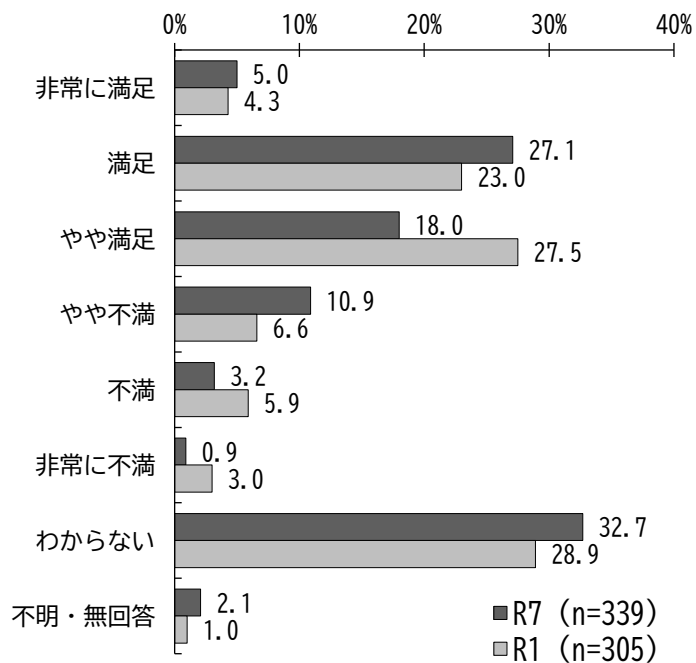
安城市の障害者福祉の取組への満足度は、「わからない」が32.7%と最も高く、次いで「満足」が27.1%、「やや満足」が18.0%となっています。『満足している』(「非常に満足」「満足」「やや満足」の合算)は50.1%、『不満である』(「非常に不満」「不満」「やや不満」の合算)は15.0%となっています。

障害種別にみると、身体・精神では「満足」、療育・手帳非所持では「わからない」が最も高くなっています。



単位：%		非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満	わからない	不明・無回答
全体 (n=339)		5.0	27.1	18.0	10.9	3.2	0.9	32.7	2.1
障害種別	身体 (n=50)	6.0	34.0	16.0	10.0	6.0	0.0	24.0	4.0
	療育 (n=170)	3.5	23.5	20.6	13.5	4.7	1.2	31.8	1.2
	精神 (n=51)	3.9	31.4	13.7	13.7	3.9	2.0	29.4	2.0
	手帳非所持 (n=106)	7.5	31.1	15.1	5.7	0.9	0.9	35.8	2.8

【経年比較】



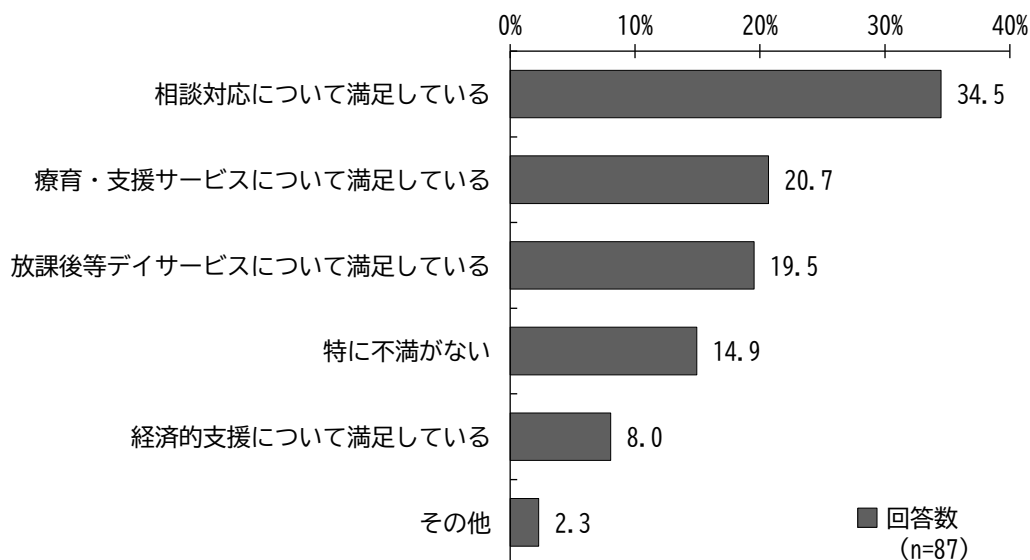
■各調査の選択肢

両調査ともにすべて同じ選択肢となっています。

問27で「非常に満足」～「やや満足」と答えた方

問27-1 安城市の障害者福祉の取組に満足と感じる理由は何ですか。 (自由に記入)

問27で「非常に満足」「満足」「やや満足」と回答した人にその理由をたずねたところ、87件の回答がありました。



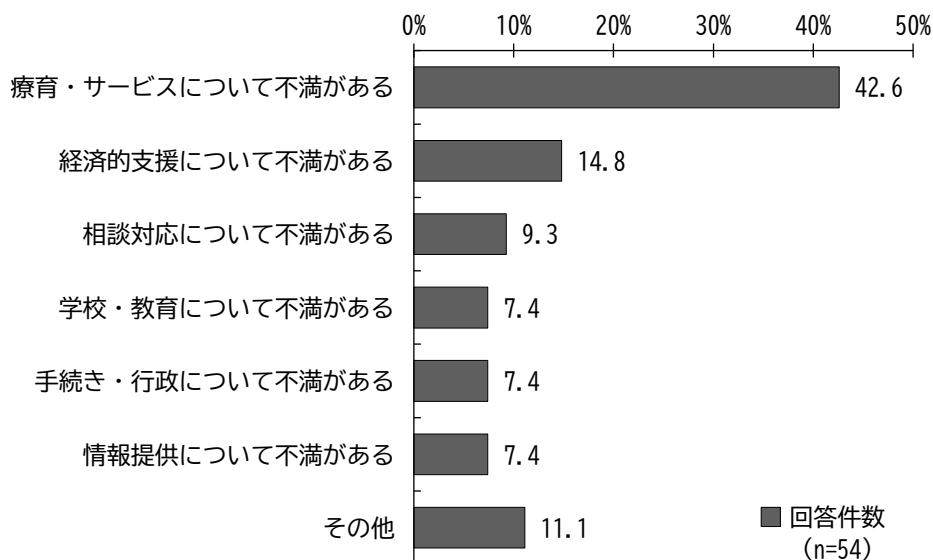
意見の主な内容

区分	満足の理由	
相談対応について満足している	・対応が優しい、親切・丁寧である ・寄り添ってアドバイスしてもらっている	等
療育・支援サービスについて満足している	・支援・サービスがありがたい ・スムーズにサービス利用につながる事ができた	等
放課後等デイサービスについて満足している	・放課後等デイサービスを利用できている・内容に満足している ・必要な福祉サービスを受けることができている	等
特に不満がない	・今のままでよい・特に不満はない ・特に不自由なく施設に通える	等
経済的支援について満足している	・補助、助成がたくさんある ・経済支援が手厚い	等
その他	・全体的に満足だが専門的な支援があるとよい	等

問27で「やや不満」～「非常に不満」と答えた方

問27-2 安城市の障害者福祉の取組に不満と感じる理由は何ですか。 (自由に記入)

問27で「非常に不満」「不満」「やや不満」と回答した人にその理由をたずねたところ、54件の記入がありました。



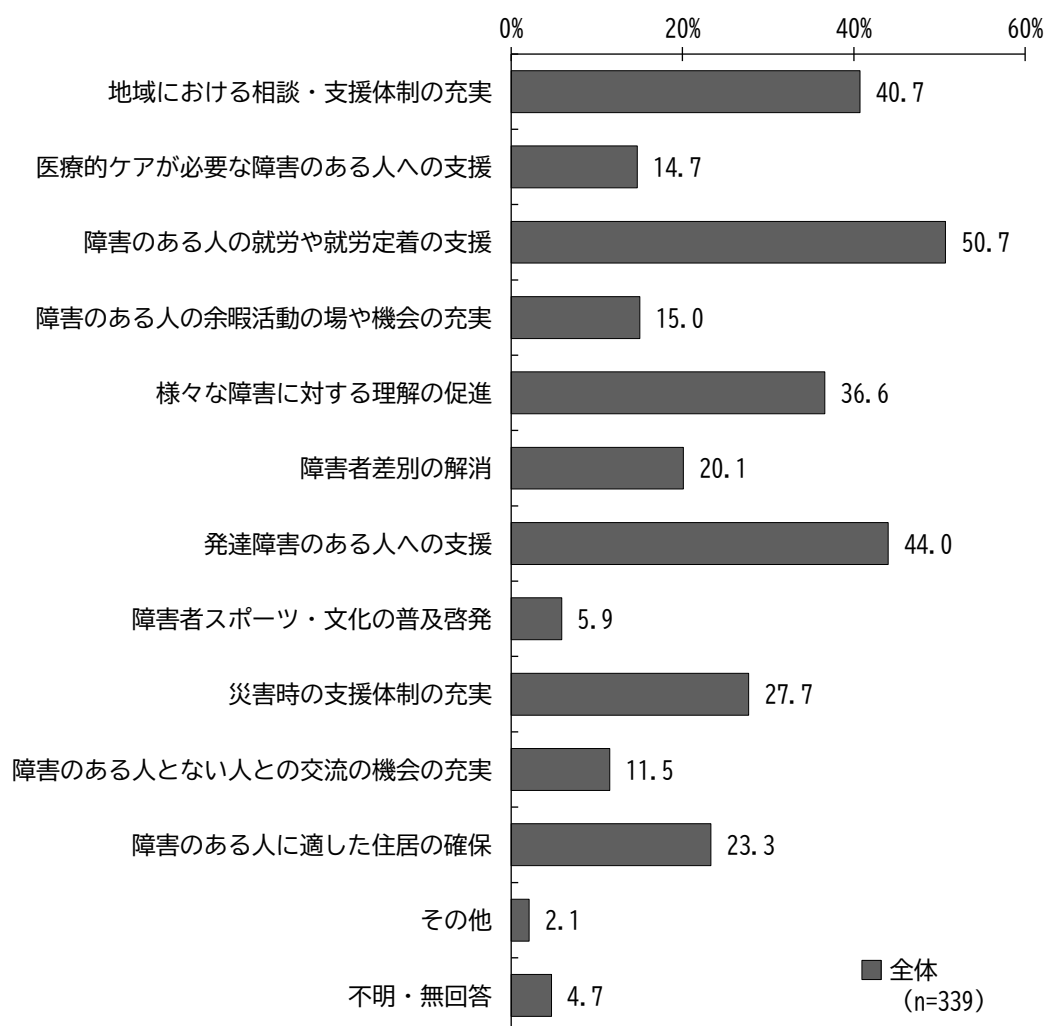
意見の主な内容

区分	不満の理由	
療育・サービスについて不満がある	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援の場が少ない ・放課後等デイサービスの空きがない ・サービス利用の時間が短いなどで就労したくてもできない 	等
経済的支援について不満がある	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ代が負担である ・所得制限や自己負担の多さが不満である 	等
相談対応について不満がある	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーに相談ができない、予約が取りにくい ・担当者の変更などで何度も同じことを説明しなければならない 	等
学校・教育について不満がある	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉と教育の連携ができていない ・教員の障害理解の差が大きい 	等
手続き・行政について不満がある	<ul style="list-style-type: none"> ・他市で利用できたサービスが安城市で利用できなかった ・何度も市役所に行かなければならない 	等
情報提供について不満がある	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を取りにいかないと得られない ・学校卒業後の情報をもっとほしい 	等
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今後が不安である ・何か特別な対応をしているという印象がない 	等

問28 あなた（あて名のお子さん）は、障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。（〇は3つまで）

障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで優先的に取り組むべきことは、「障害のある人の就労や就労定着の支援」が50.7%と最も高く、次いで「発達障害のある人への支援」が44.0%、「地域における相談・支援体制の充実」が40.7%となっています。

障害種別にみると、療育・精神では「障害のある人の就労や就労定着の支援」、身体では「地域における相談・支援体制の充実」「災害時の支援体制の充実」、手帳非所持では「発達障害のある人への支援」が最も高くなっています。



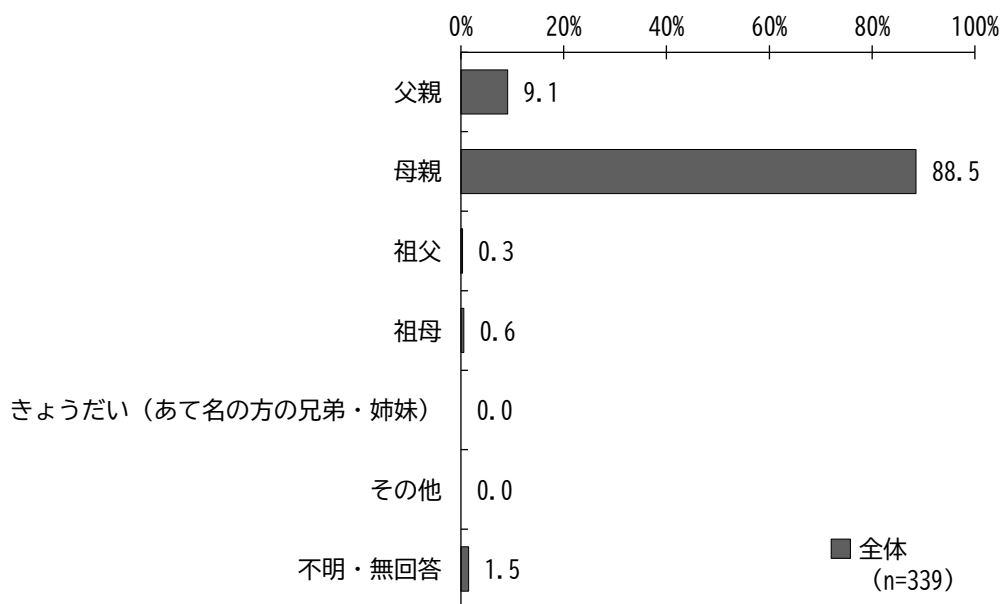
単位：%		地域における相談・支援体制の充実	医療的ケアが必要な障害のある人への支援	障害のある人の就労や就労定着の支援	障害のある人の余暇活動の場や機会の充実	様々な障害に対する理解の促進	障害者差別の解消	発達障害のある人への支援	障害者スポーツ・文化の普及啓発	災害時の支援体制の充実	障害のある人となない人との交流の機会の充実	障害のある人に適した住居の確保	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		40.7	14.7	50.7	15.0	36.6	20.1	44.0	5.9	27.7	11.5	23.3	2.1	4.7
障害種別	身体 (n=50)	42.0	30.0	34.0	10.0	28.0	12.0	14.0	4.0	42.0	14.0	28.0	10.0	8.0
	療育 (n=170)	37.1	14.7	55.3	20.0	33.5	22.4	37.6	7.1	34.1	12.4	34.7	2.4	3.5
	精神 (n=51)	41.2	13.7	60.8	9.8	39.2	23.5	52.9	3.9	19.6	11.8	29.4	0.0	3.9
	手帳非所持 (n=106)	45.3	11.3	42.5	13.2	38.7	17.9	54.7	4.7	18.9	10.4	4.7	0.9	6.6

10 あて名のお子さんの保護者について

問29 お子さんからみたあなたの続柄を教えてください。(○は1つ)

保護者の続柄は、「母親」が88.5%と最も高く、次いで「父親」が9.1%、「祖母」が0.6%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「母親」が最も高くなっています。

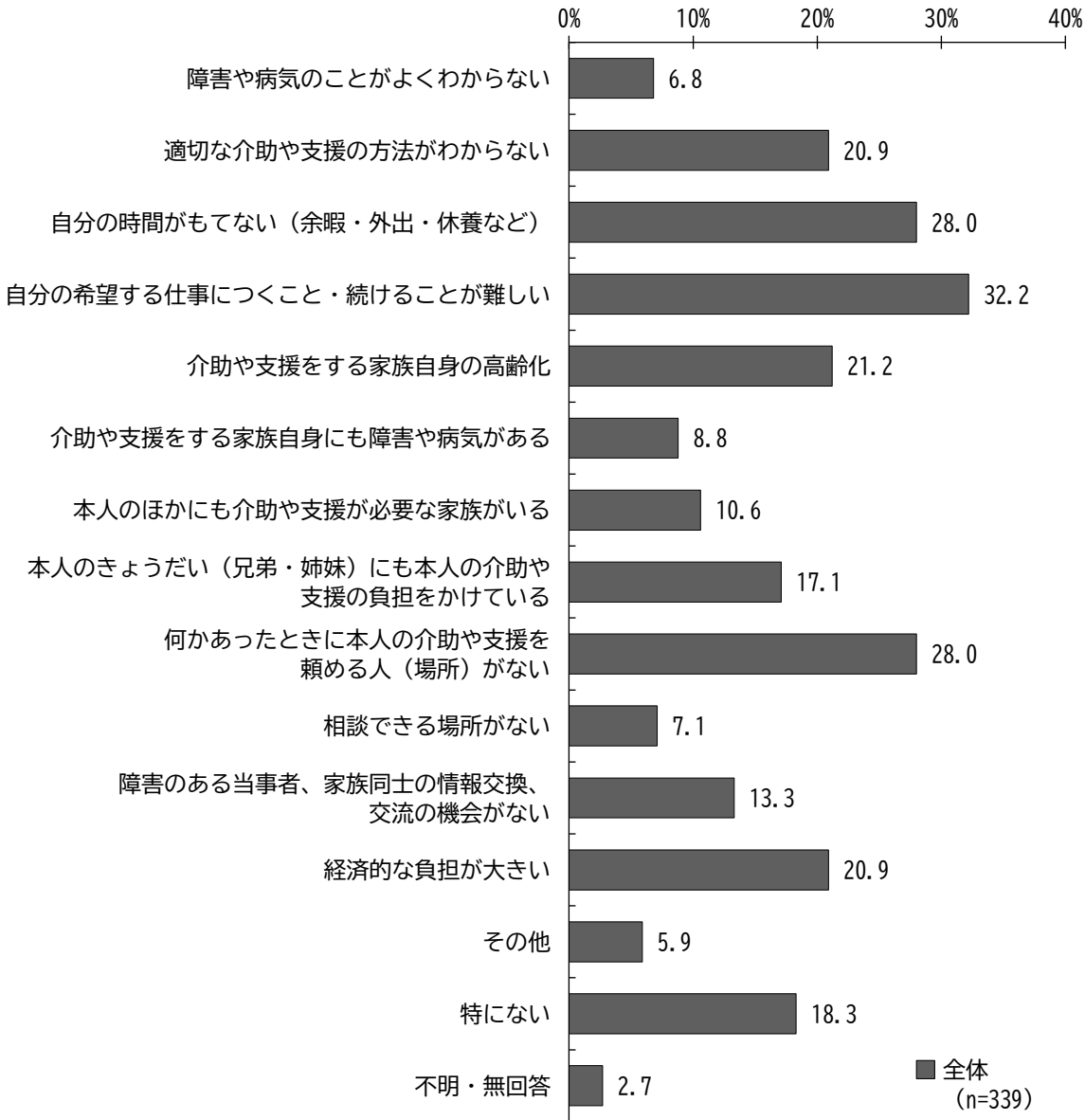


単位：%		父親	母親	祖父	祖母	きょうだい (あて名の方の兄弟・姉妹)	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		9.1	88.5	0.3	0.6	0.0	0.0	1.5
障害種別	身体 (n=50)	12.0	86.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	療育 (n=170)	11.8	85.9	0.6	0.6	0.0	0.0	1.2
	精神 (n=51)	7.8	86.3	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0
	手帳非所持 (n=106)	6.6	91.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9

問30 あなた（保護者）は、介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。（〇はいくつでも）

介助や支援にあたっての不安や困りごとは、「自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい」が32.2%と最も高く、次いで「自分の時間がない（余暇・外出・休養など）」「何かあったときに本人の介助や支援を頼める人（場所）がない」が28.0%、「介助や支援をする家族自身の高齢化」が21.2%となっています。

障害種別にみると、身体・手帳非所持では「自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい」、療育では「何かあったときに本人の介助や支援を頼める人（場所）がない」、精神では「自分の時間がない（余暇・外出・休養など）」が最も高くなっています。



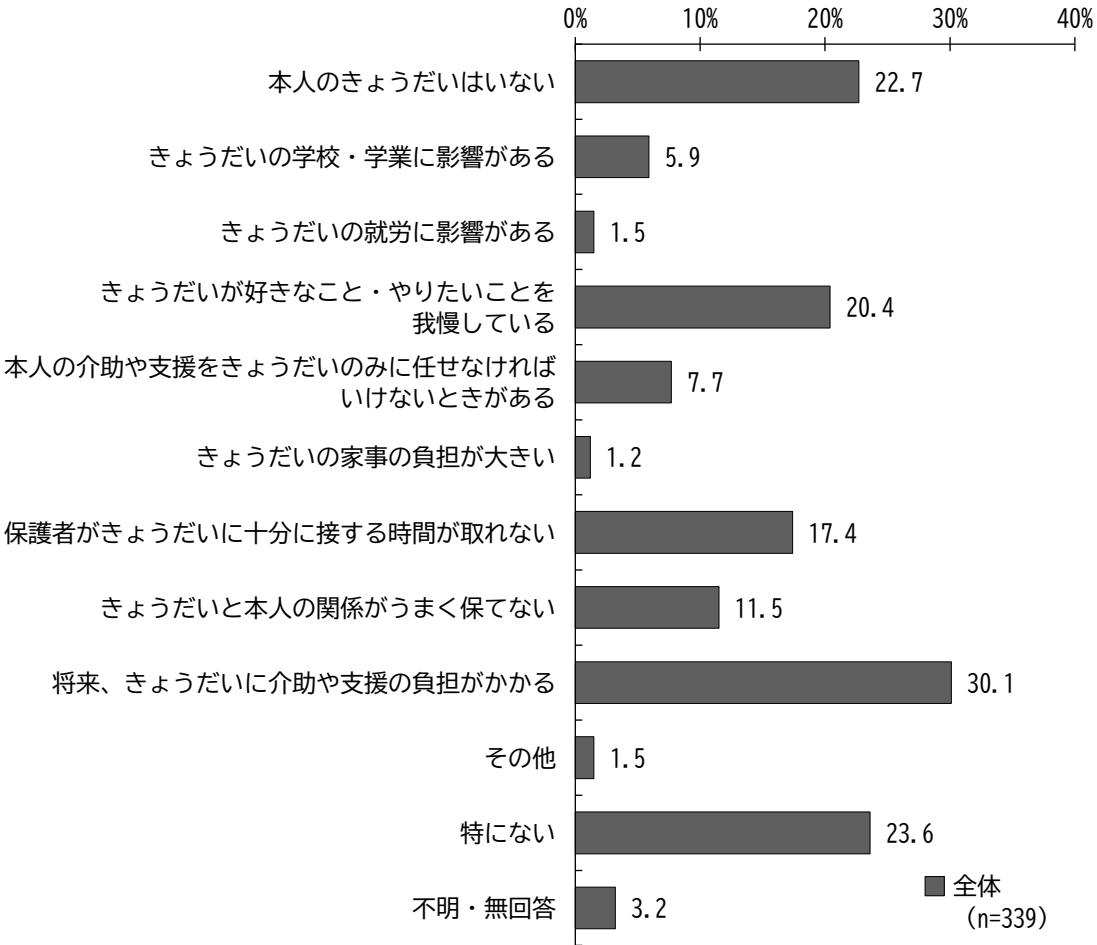
単位：%		い障害や病気のことがよくわからない	ない適切な介助や支援の方法がわからない	出・自分の時間がない（余暇・外出・休養など）	続けることが難しい	自分の希望する仕事につくこと・	化介助や支援をする家族自身の高齢	害介助や支援をする家族自身にも障	な本人のほかに介助や支援が必要	本人のきょうだい（兄弟・姉妹）
全体 (n=339)		6.8	20.9	28.0	32.2	21.2	8.8	10.6	17.1	
障害種別	身体 (n=50)	8.0	16.0	28.0	34.0	32.0	12.0	8.0	18.0	
	療育 (n=170)	6.5	18.8	29.4	33.5	32.9	11.2	10.0	20.0	
	精神 (n=51)	7.8	19.6	39.2	37.3	13.7	17.6	15.7	19.6	
	手帳非所持 (n=106)	5.7	22.6	25.5	30.2	9.4	3.8	13.2	12.3	

単位：%		援何をかあつめたとき（本人の介助や支	相談できる場所がない	報障害のある当事者、家族同士の情	経済的な負担が大きい	その他	特にな	不明・無回答
全体 (n=339)		28.0	7.1	13.3	20.9	5.9	18.3	2.7
障害種別	身体 (n=50)	28.0	4.0	6.0	24.0	8.0	20.0	4.0
	療育 (n=170)	35.3	6.5	10.6	21.8	4.1	15.9	2.9
	精神 (n=51)	17.6	15.7	19.6	27.5	7.8	11.8	2.0
	手帳非所持 (n=106)	22.6	5.7	15.1	18.9	6.6	21.7	1.9

問3 1 本人の介助や支援に関連し、本人のきょうだい（兄弟・姉妹）についてどのような不安や困りごとがありますか。（〇はいくつでも）

きょうだい（兄弟・姉妹）についての不安や困りごとは、「将来、きょうだいに介助や支援の負担がかかる」が30.1%と最も高く、次いで「特にない」が23.6%、「本人のきょうだいはいない」が22.7%となっています。

障害種別にみると、手帳非所持では「特にない」、その他の区分では「将来、きょうだいに介助や支援の負担がかかる」が最も高くなっています。

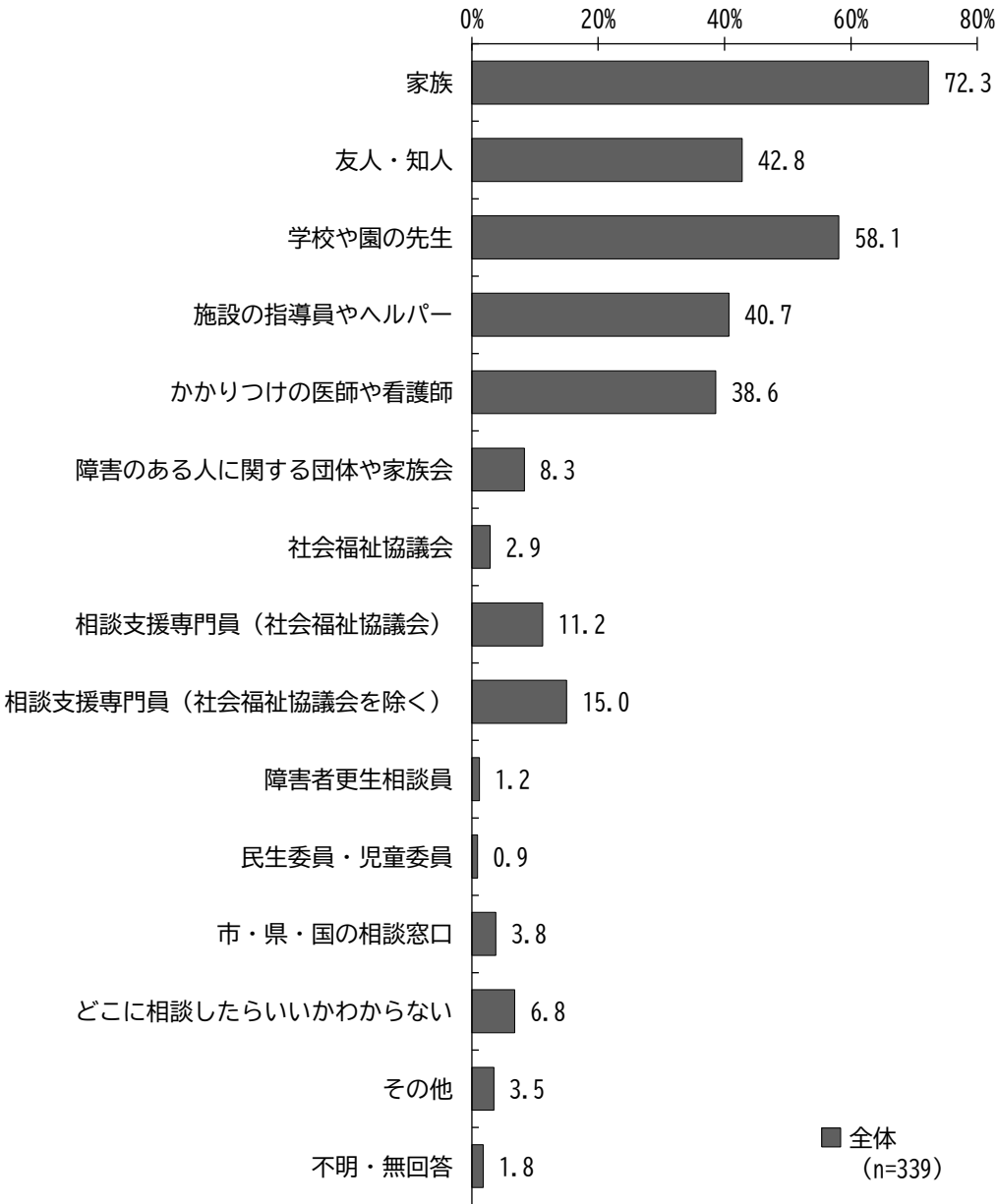


単位：%		本人のきょうだいはいない	きょうだいの学校・学業に影響がある	きょうだいの就労に影響がある	きょうだいが好きなこと・やりたいことを我慢している	本人の介助や支援をきょうだいのみに任せなければいけないときがある	きょうだいの家事の負担が大きい	保護者がきょうだいに十分に接する時間が取れない	きょうだいと本人の関係がうまく保てない	将来、きょうだいに介助や支援の負担がかかる	その他	特になし	不明・無回答
全体 (n=339)		22.7	5.9	1.5	20.4	7.7	1.2	17.4	11.5	30.1	1.5	23.6	3.2
障害種別	身体 (n=50)	18.0	10.0	2.0	22.0	12.0	0.0	20.0	14.0	48.0	0.0	18.0	4.0
	療育 (n=170)	24.7	7.1	2.4	24.7	11.2	1.2	18.8	12.4	38.8	1.8	15.9	4.7
	精神 (n=51)	13.7	2.0	0.0	21.6	9.8	3.9	25.5	13.7	31.4	2.0	23.5	3.9
	手帳非所持 (n=106)	25.5	4.7	0.9	16.0	3.8	0.9	16.0	9.4	15.1	0.9	31.1	1.9

問32 あなた（保護者）は、悩みや困りごとを誰に相談したいですか。
（〇はいくつでも）

悩みや困りごとを誰に相談したいかは、「家族」が72.3%と最も高く、次いで「学校や園の先生」が58.1%、「友人・知人」が42.8%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「家族」が最も高くなっています。



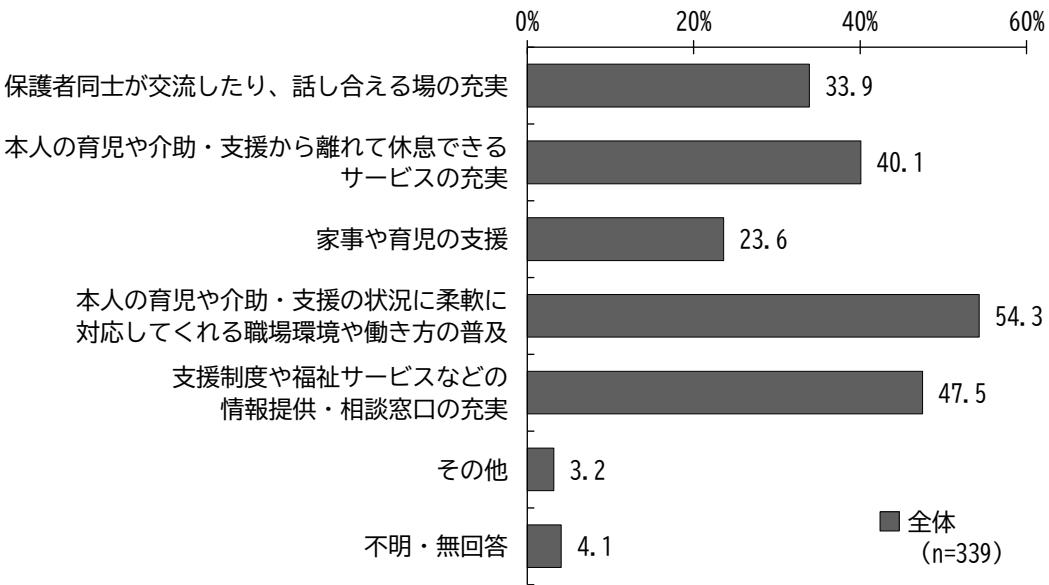
単位：％		家族	友人・知人	学校や園の先生	施設の指導員やヘルパー	かかりつけの医師や看護師	障害のある人に関する団体や家族会	社会福祉協議会	相談支援専門員（社会福祉協議会）
全体（n=339）		72.3	42.8	58.1	40.7	38.6	8.3	2.9	11.2
障害種別	身体（n=50）	76.0	46.0	38.0	20.0	50.0	10.0	0.0	4.0
	療育（n=170）	70.0	46.5	57.1	41.2	36.5	7.6	3.5	12.9
	精神（n=51）	62.7	31.4	49.0	31.4	41.2	13.7	3.9	7.8
	手帳非所持（n=106）	76.4	42.5	64.2	49.1	34.0	5.7	2.8	12.3

単位：％		相談支援専門員（社会福祉協議会を除く）	障害者更生相談員	民生委員・児童委員	市・県・国の相談窓口	どこに相談したらいいかわらない	その他	不明・無回答
全体（n=339）		15.0	1.2	0.9	3.8	6.8	3.5	1.8
障害種別	身体（n=50）	8.0	0.0	0.0	2.0	8.0	6.0	4.0
	療育（n=170）	12.4	1.2	0.6	3.5	7.6	3.5	1.8
	精神（n=51）	15.7	0.0	0.0	5.9	11.8	3.9	2.0
	手帳非所持（n=106）	18.9	1.9	1.9	4.7	3.8	2.8	0.9

問33 保護者への支援としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

力を入れるべき保護者への支援は、「本人の育児や介助・支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及」が54.3%と最も高く、次いで「支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実」が47.5%、「本人の育児や介助・支援から離れて休息できるサービスの充実」が40.1%となっています。

障害種別にみると、精神では「支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実」、その他の区分では「本人の育児や介助・支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及」が最も高くなっています。

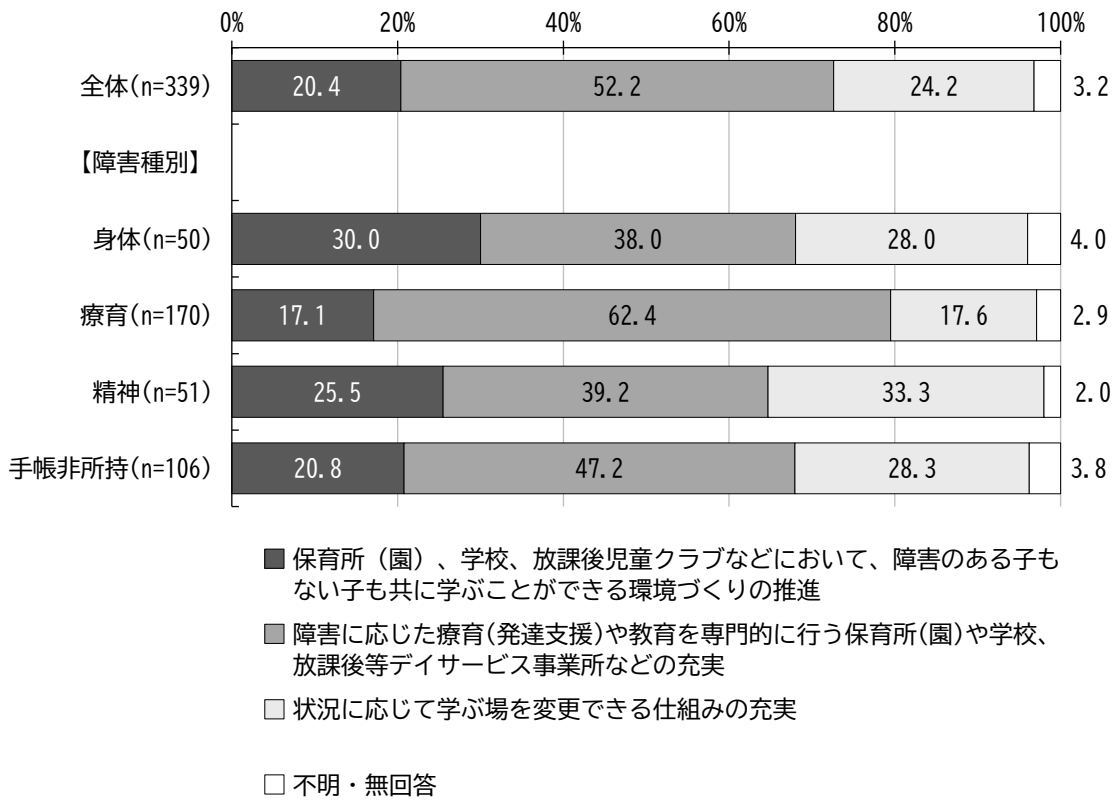


単位：%		保護者同士が交流したり、話し合える場の充実	本人の育児や介助・支援から離れて休息できるサービスの充実	家事や育児の支援	本人の育児や介助・支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及	支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		33.9	40.1	23.6	54.3	47.5	3.2	4.1
障害種別	身体 (n=50)	30.0	40.0	24.0	46.0	42.0	4.0	2.0
	療育 (n=170)	35.3	42.4	24.1	57.1	52.4	2.4	3.5
	精神 (n=51)	29.4	31.4	25.5	49.0	52.9	0.0	5.9
	手帳非所持 (n=106)	35.8	39.6	20.8	52.8	41.5	5.7	4.7

問34 障害のある児童・生徒の療育(発達支援)、教育についてどれを優先的に取り組む(継続する)べきと考えますか。(〇は1つ)

障害のある児童・生徒の療育(発達支援)、教育について優先的に取り組む(継続する)べきことは、「障害に応じた療育(発達支援)や教育を専門的に行う保育所(園)や学校、放課後等デイサービス事業所などの充実」が52.2%と最も高く、次いで「状況に応じて学ぶ場を変更できる仕組みの充実」が24.2%、「保育所(園)、学校、放課後児童クラブなどにおいて、障害のある子どもも共に学ぶことができる環境づくりの推進」が20.4%となっています。

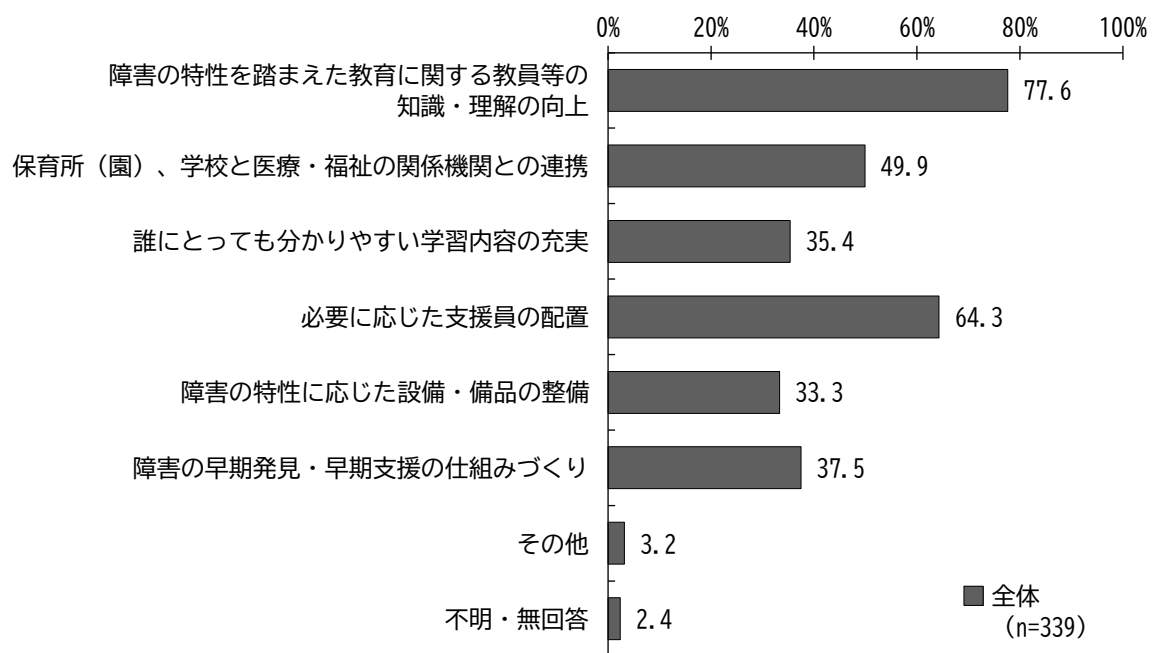
障害種別にみると、全ての区分で「障害に応じた療育(発達支援)や教育を専門的に行う保育所(園)や学校、放課後等デイサービス事業所などの充実」が最も高くなっています。



問35 障害のある児童・生徒の療育(発達支援)、教育について、具体的にどんな取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

障害のある児童・生徒の療育(発達支援)、教育について必要な取組は、「障害の特性を踏まえた教育に関する教員等の知識・理解の向上」が77.6%と最も高く、次いで「必要に応じた支援員の配置」が64.3%、「保育所(園)、学校と医療・福祉の関係機関との連携」が49.9%となっています。

障害種別にみると、全ての区分で「障害の特性を踏まえた教育に関する教員等の知識・理解の向上」が最も高くなっています。

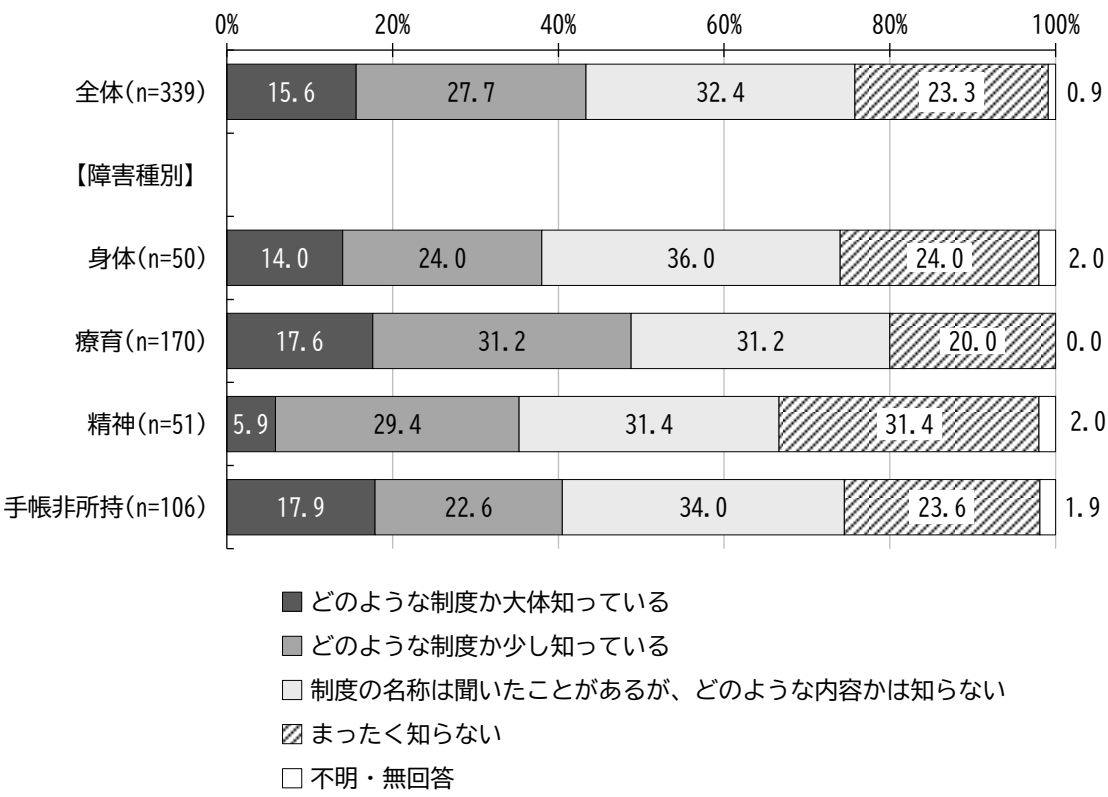


単位：%		障害の特性を踏まえた教育に関する教員等の知識・理解の向上	保育所(園)、学校と医療・福祉の関係機関との連携	誰にとっても分かりやすい学習内容の充実	必要に応じた支援員の配置	障害の特性に応じた設備・備品の整備	障害の早期発見・早期支援の仕組みづくり	その他	不明・無回答
全体 (n=339)		77.6	49.9	35.4	64.3	33.3	37.5	3.2	2.4
障害種別	身体 (n=50)	76.0	44.0	22.0	64.0	44.0	14.0	4.0	2.0
	療育 (n=170)	78.2	50.0	32.9	64.1	37.6	37.1	2.4	2.4
	精神 (n=51)	72.5	35.3	47.1	52.9	31.4	45.1	3.9	2.0
	手帳非所持 (n=106)	74.5	53.8	35.8	66.0	22.6	39.6	3.8	2.8

問36 認知症や障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利を守る「成年後見制度」についてお聞きします。あなたは、成年後見制度を知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度の認知度は、「制度の名称は聞いたことがあるが、どのような内容かは知らない」が32.4%と最も高く、次いで「どのような制度か少し知っている」が27.7%、「まったく知らない」が23.3%となっています。

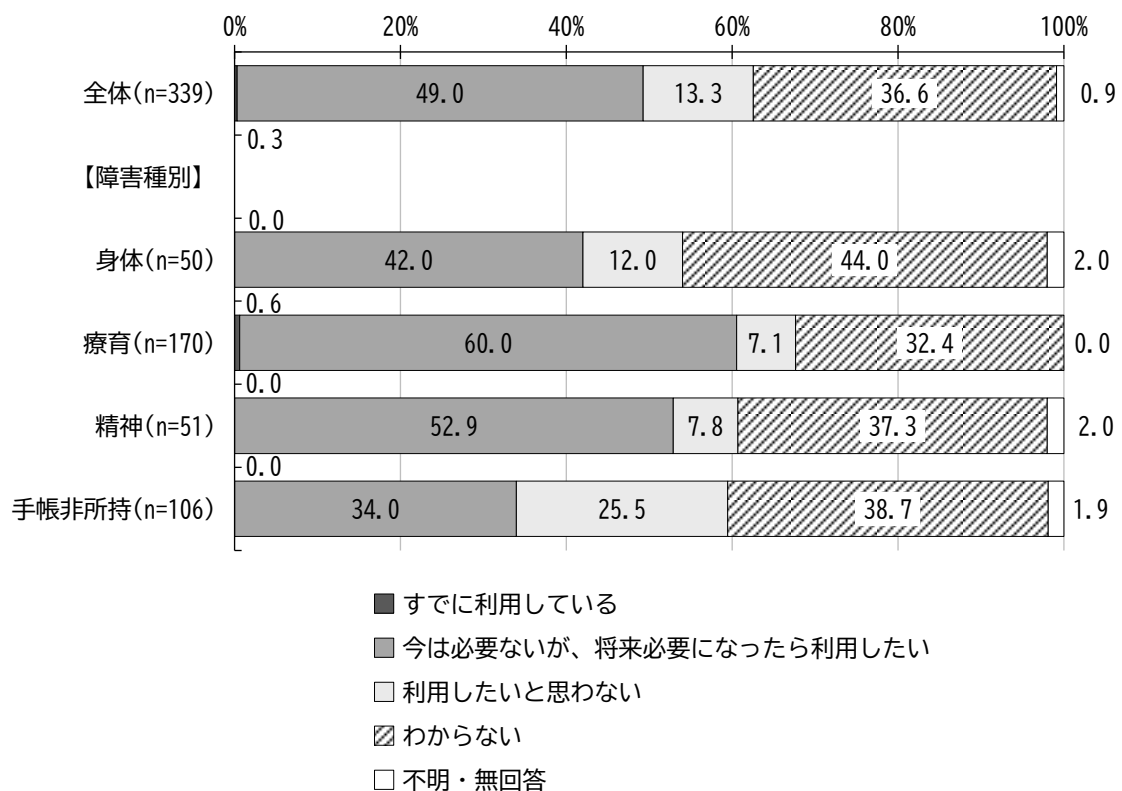
障害種別にみると、身体・手帳非所持では「制度の名称は聞いたことがあるが、どのような内容かは知らない」、療育では「どのような制度か少し知っている」「制度の名称は聞いたことがあるが、どのような内容かは知らない」が、精神では「制度の名称は聞いたことがあるが、どのような内容かは知らない」「まったく知らない」が最も高くなっています。



問37 お子さんに、成年後見制度を利用させたいと思いますか。(○は1つ)

成年後見制度の利用意向は、「今は必要ないが、将来必要になったら利用したい」が49.0%と最も高く、次いで「わからない」が36.6%、「利用したいと思わない」が13.3%となっています。

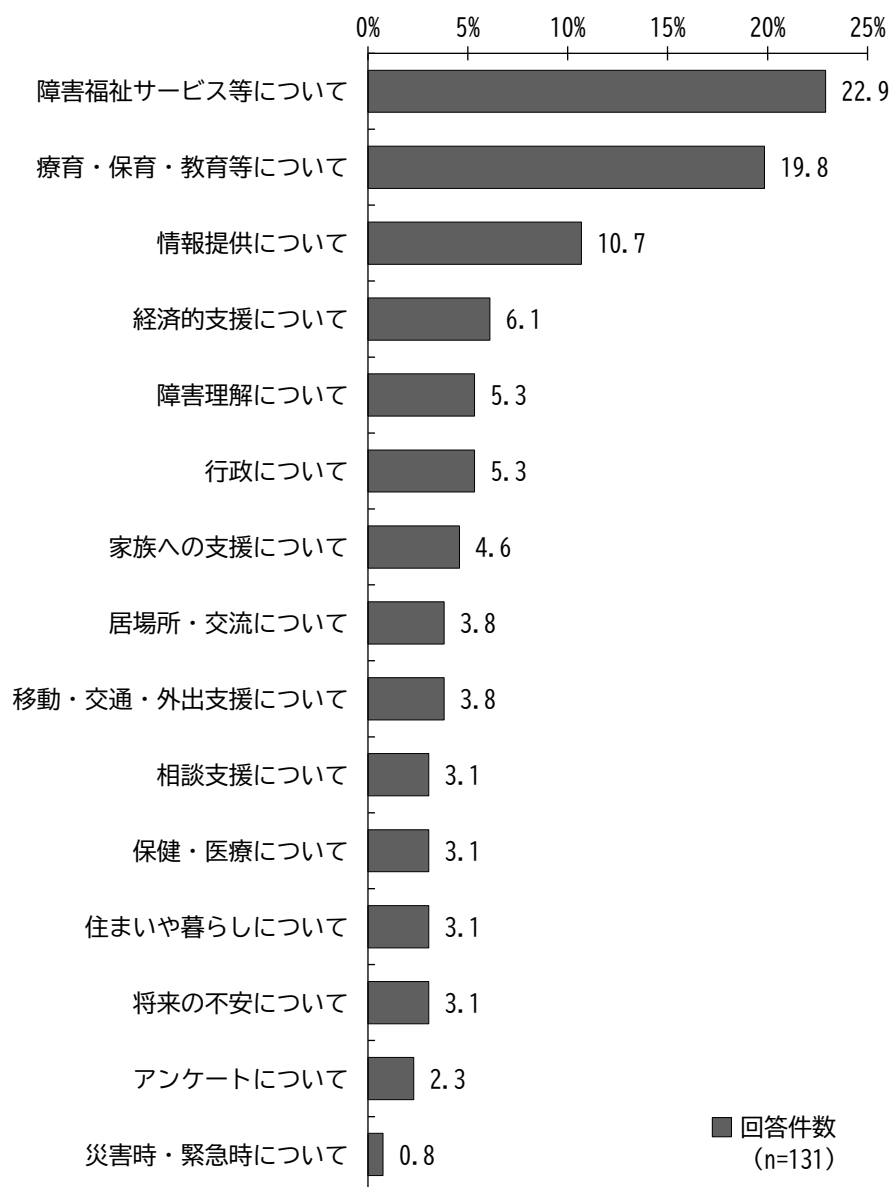
障害種別にみると、療育・精神では「今は必要ないが、将来必要になったら利用したい」、身体・手帳非所持では「わからない」が最も高くなっています。



11 自由意見について

安城市の障害者福祉全般についてご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。(自由に記入)

自由意見は131件ありました。意見内容をカテゴリ別に分類して整理すると、「障害福祉サービス等について」「療育・保育・教育等について」の意見が多くなっています。



意見の主な内容

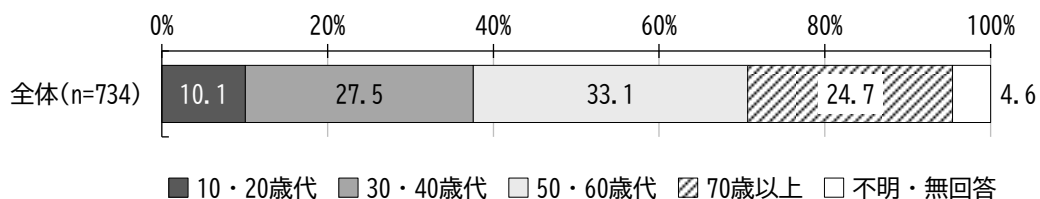
区分	主な意見
障害福祉サービス等について	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスの空きが少ない、利用できない ・グループホームを増やしてほしい ・グレーゾーンの子どもや医療的ケア児が通える場を充実してほしい ・18歳以上になった時に通える場が充実してほしい <p style="text-align: right;">等</p>
療育・保育・教育等について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生に障害についての理解を深めてほしい ・支援にあたる先生や支援員の増員をお願いしたい ・グレーゾーンの子どもへの支援を充実してほしい <p style="text-align: right;">等</p>
情報提供について	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の選択肢について体験談等を知りたい ・支援や制度に関する情報をわかりやすく届けてほしい ・将来に不安があるのでたくさん情報がほしい <p style="text-align: right;">等</p>
経済的支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・手当やサービスにかかる所得制限を撤廃してほしい ・療育やサービスの利用時間の関係で保護者の働く場所や時間が制限されてしまう <p style="text-align: right;">等</p>
障害理解について	<ul style="list-style-type: none"> ・差別のない意識づくりをお願いしたい ・発達障害への理解を深めてほしい <p style="text-align: right;">等</p>
行政について	<ul style="list-style-type: none"> ・申請や手続き等のオンライン化を進めてほしい ・教育、保育と福祉等との連携を強化してほしい <p style="text-align: right;">等</p>
家族への支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は働きたくても働くことができない ・保護者同士で情報交換できる場がほしい <p style="text-align: right;">等</p>
居場所・交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者向けの習い事がほしい ・体を動かしたり憩える場がほしい <p style="text-align: right;">等</p>
移動・交通・外出支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎のあるサービスを増やしてほしい ・車いすやシニアカー等が移動しやすい道路にしてほしい <p style="text-align: right;">等</p>
相談支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員に相談しやすくしてほしい ・ゆっくり相談できるように相談員の増員等をお願いしたい ・保護者が一人で抱え込まないよう相談体制を充実してほしい <p style="text-align: right;">等</p>
保健・医療について	<ul style="list-style-type: none"> ・市内でリハビリができる場所を充実してほしい ・児童精神科のある病院が充実してほしい <p style="text-align: right;">等</p>
住まいや暮らしについて	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のトイレにユニバーサルシートを設置してほしい ・介護ベッドを普及してほしい <p style="text-align: right;">等</p>
将来の不安について	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の将来の不安を解消してほしい ・18歳以降の支援がわからないため不安である ・安心して預けることができる施設がほしい <p style="text-align: right;">等</p>
アンケートについて	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果をみえるようにしてほしい ・このアンケートに意味があるのか <p style="text-align: right;">等</p>
災害時・緊急時について	<ul style="list-style-type: none"> ・災害があった際に直接家族で福祉避難所へ避難できるようになるとよい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・取組に満足している <p style="text-align: right;">等</p>

第4章 18歳以上の一般市民へのアンケート調査結果

1 あなた自身について

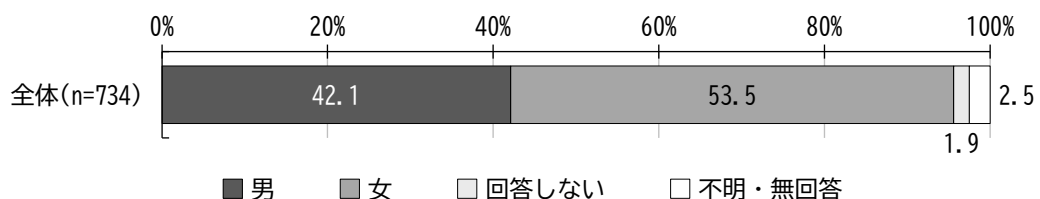
問1 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入)
(令和7年12月1日時点)

年齢は、「50・60歳代」が33.1%と最も高く、次いで「30・40歳代」が27.5%、「70歳以上」が24.7%となっています。



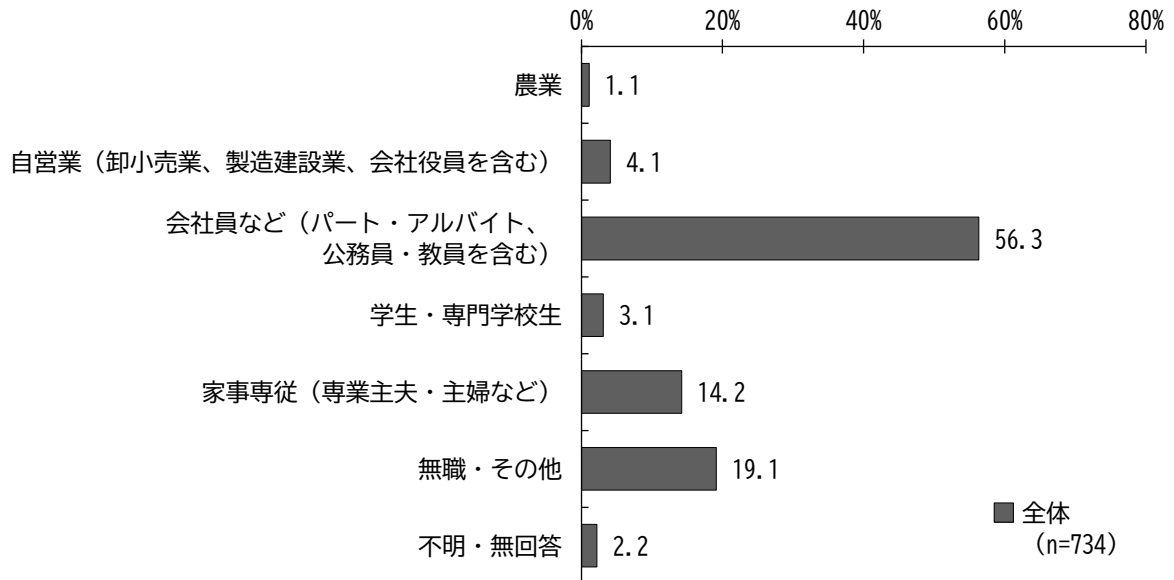
問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別は、「女」が53.5%と最も高く、次いで「男」が42.1%、「回答しない」が1.9%となっています。



問3 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

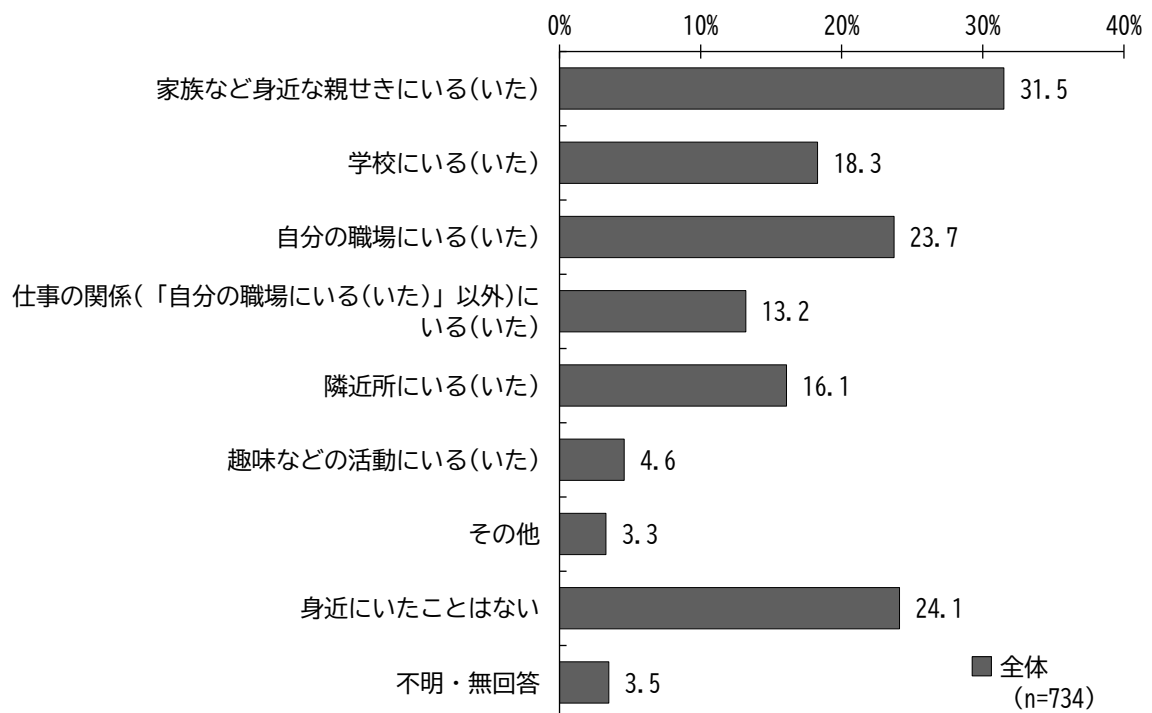
職業は、「会社員など（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」が56.3%と最も高く、次いで「無職・その他」が19.1%、「家事専従（専業主夫・主婦など）」が14.2%となっています。



2 障害のある人との関わりについて

問4 あなたの身近に障害のある人がいますか。または、これまでにいたことがありますか。(〇はいくつでも)

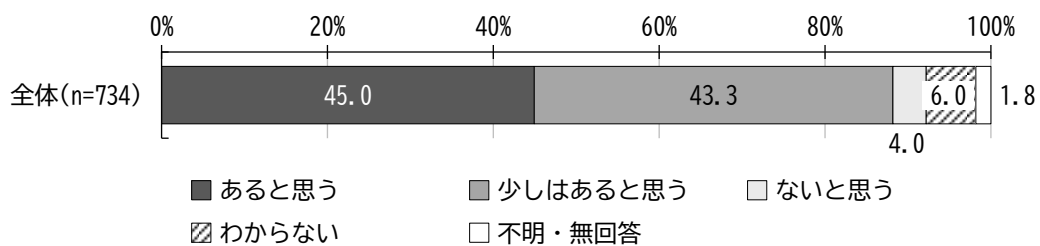
身近に障害のある人の有無は、「家族など身近な親せきにいる(いた)」が31.5%と最も高く、次いで「身近にいたことはない」が24.1%、「自分の職場にいる(いた)」が23.7%となっています。



3 障害のある人への差別・権利擁護について

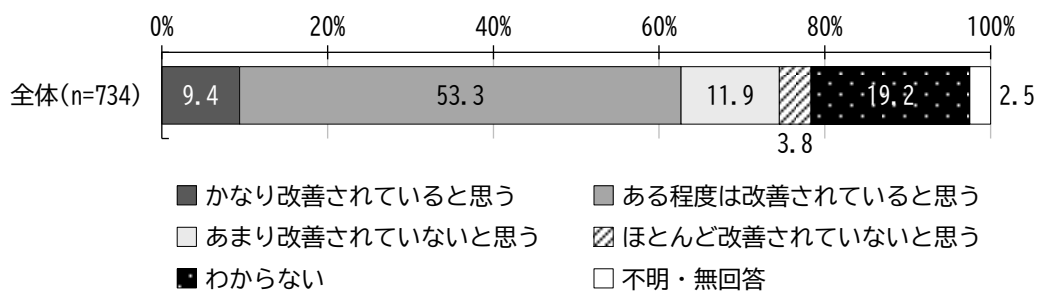
問5 世の中には、障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(〇は1つ)

障害のある人に対して障害を理由とする差別や偏見があると思うかは、「あると思う」が45.0%と最も高く、次いで「少しはあると思う」が43.3%、「わからない」が6.0%となっています。



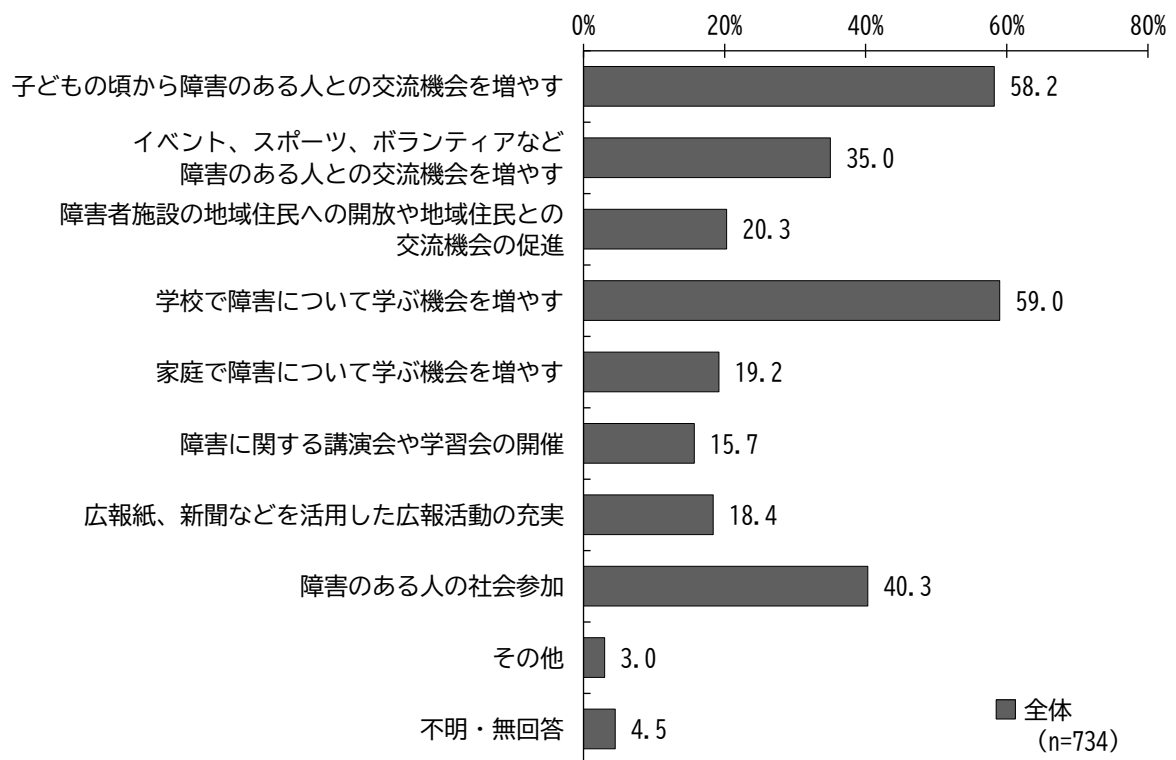
問6 5年前と比べ、障害のある人への差別や偏見は改善されていると思いますか。(〇は1つ)

5年前と比べて障害のある人への差別や偏見は改善されていると思うかは、「ある程度は改善されていると思う」が53.3%と最も高く、次いで「わからない」が19.2%、「あまり改善されていないと思う」が11.9%となっています。



問7 障害のある人への理解を深めるため、どのようなことが大切だと考えますか。(〇はいくつでも)

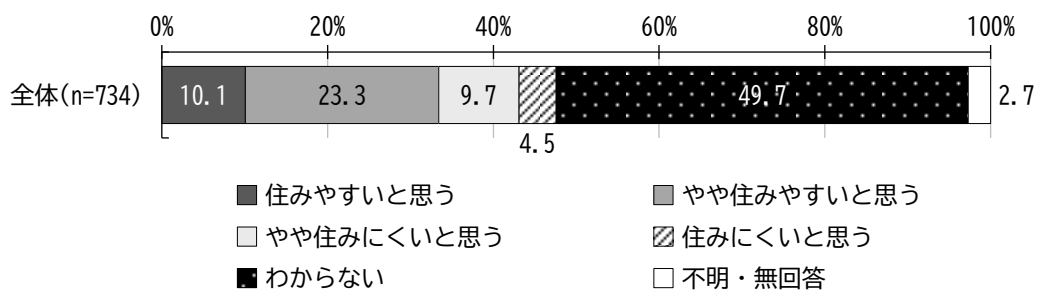
障害のある人への理解を深めるために大切なことは、「学校で障害について学ぶ機会を増やす」が59.0%と最も高く、次いで「子どもの頃から障害のある人との交流機会を増やす」が58.2%、「障害のある人の社会参加」が40.3%となっています。



4 障害のある人の地域生活について

問8 障害のある人にとって安城市は住みやすい地域だと思いますか。
(○は1つ)

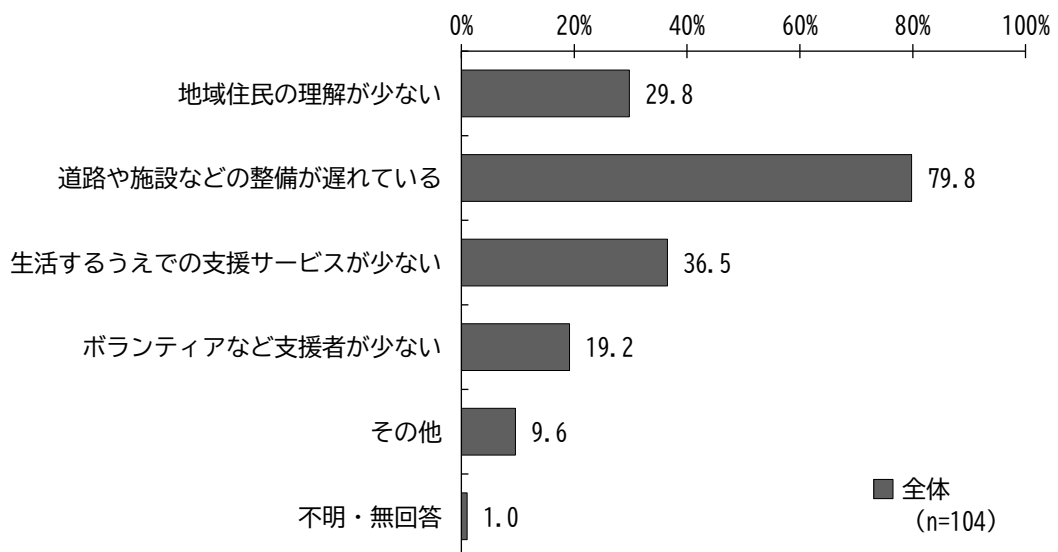
障害のある人にとって安城市は住みやすい地域だと思うかは、「わからない」が49.7%と最も高く、次いで「やや住みやすいと思う」が23.3%、「住みやすいと思う」が10.1%となっています。『住みやすい』（「住みやすいと思う」と「やや住みやすいと思う」の合算）が33.4%、『住みにくい』（「住みにくいと思う」と「やや住みにくいと思う」の合算）が14.2%となっています。



問8で「やや住みにくいと思う」又は「住みにくいと思う」と答えた方

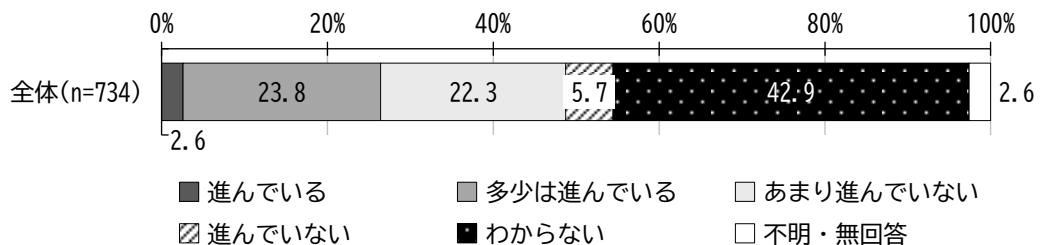
問8-1 住みにくいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

住みにくいと思う理由は、「道路や施設などの整備が遅れている」が79.8%と最も高く、次いで「生活するうえでの支援サービスが少ない」が36.5%、「地域住民の理解が少ない」が29.8%となっています。



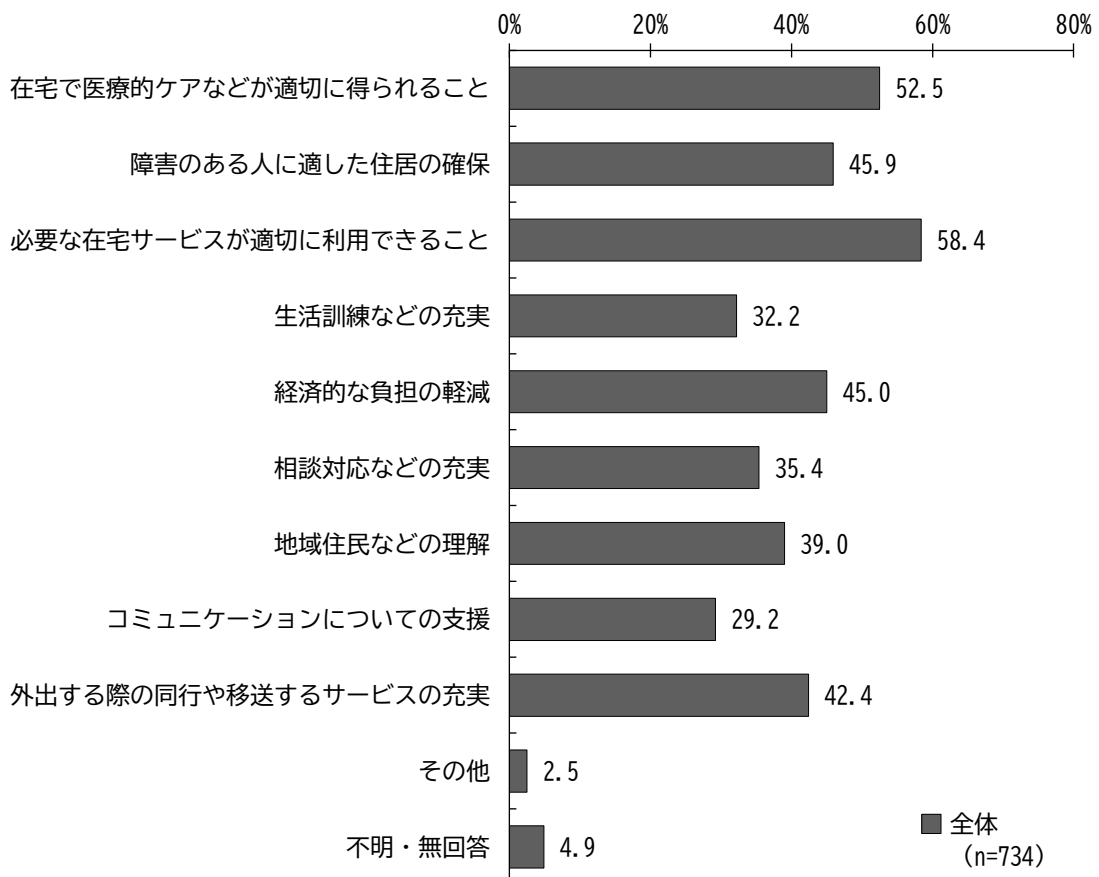
問9 国は施設や病院にいる障害のある人が地域での生活に移行すること（地域移行）を推進していますが、地域の理解はどの程度進んでいると思いますか。（○は1つ）

障害のある人の地域移行に対する地域の理解度は、「わからない」が42.9%と最も高く、次いで「多少は進んでいる」が23.8%、「あまり進んでいない」が22.3%となっています。



問10 障害のある人が地域で生活するために、どのような支援があればよいと思いますか。（○はいくつでも）

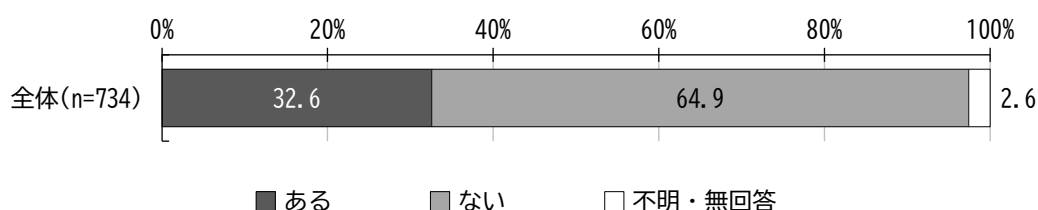
障害のある人が地域で生活するためにあればよい支援は、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が58.4%と最も高く、次いで「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が52.5%、「障害のある人に適した住居の確保」が45.9%となっています。



5 障害のある人への手助けについて

問11 あなたは、これまで障害のある人の手助け(身内や業務として関わる場合を除く)をしたことがありますか。(○は1つ)

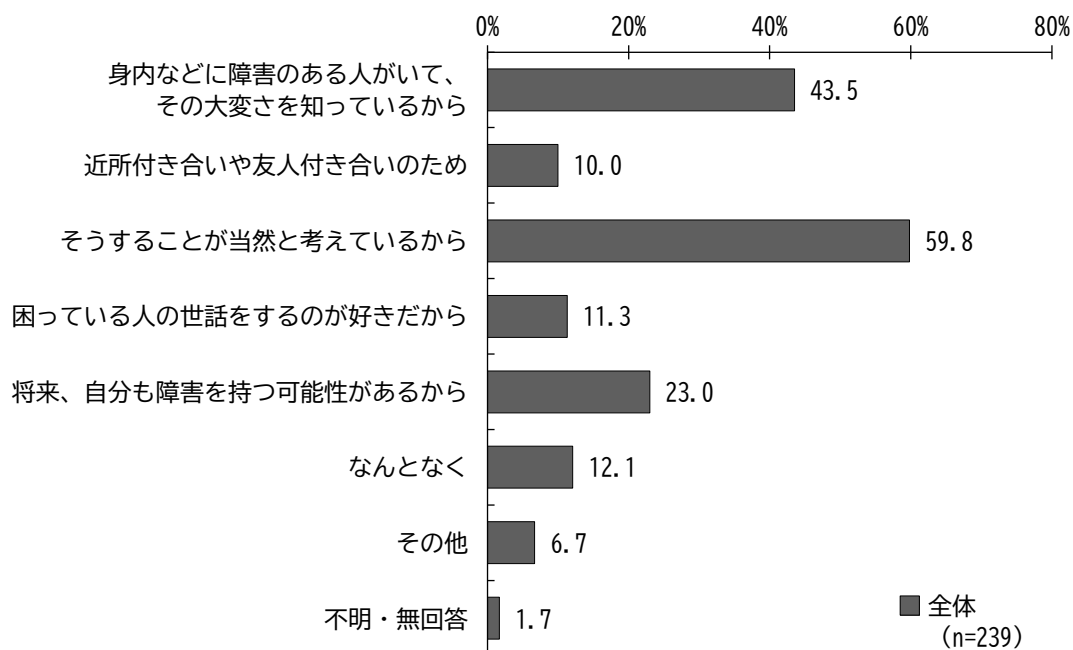
障害のある人の手助けの経験は、「ある」が32.6%、「ない」が64.9%となっています。



問11で「ある」と答えた方

問11-1 それはどのような気持ちからですか。(○はいくつでも)

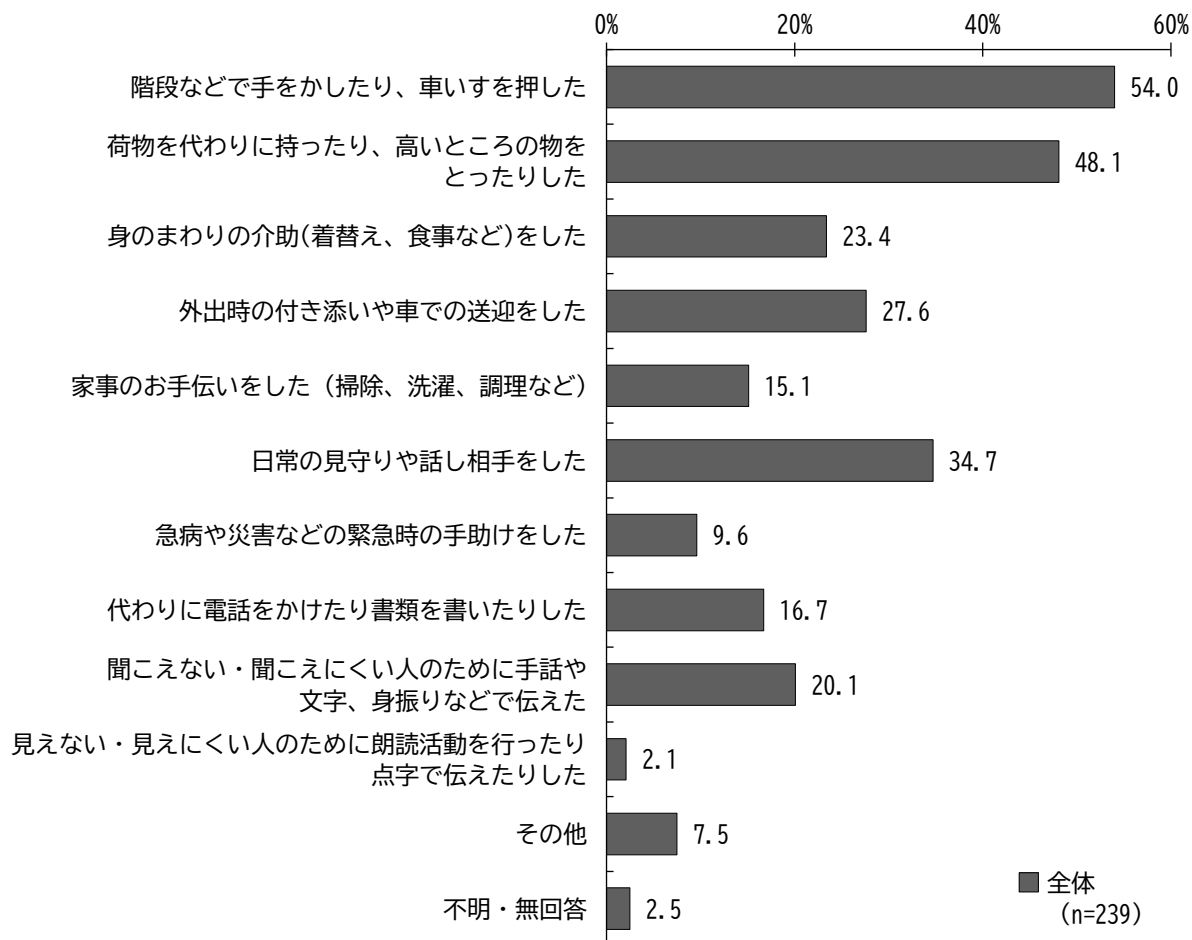
障害のある人の手助けをしたのはどのような気持ちからかは、「そうすることが当然と考えているから」が59.8%と最も高く、次いで「身内などに障害のある人がいて、その大変さを知っているから」が43.5%、「将来、自分も障害を持つ可能性があるから」が23.0%となっています。



問11で「ある」と答えた方

問11-2 あなたが実際に行った手助けは何ですか。(〇はいくつでも)

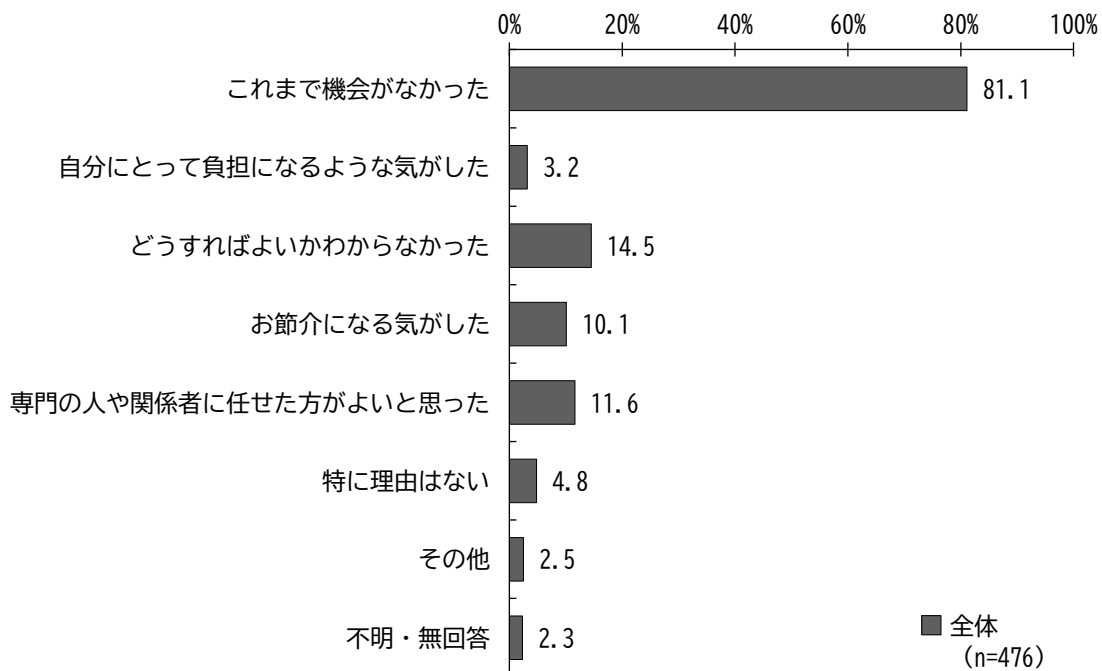
実際に行った手助けは、「階段などで手をかしたり、車いすを押した」が54.0%と最も高く、次いで「荷物を代わりに持ったり、高いところの物をとったりした」が48.1%、「日常の見守りや話し相手をした」が34.7%となっています。



問11で「ない」と答えた方

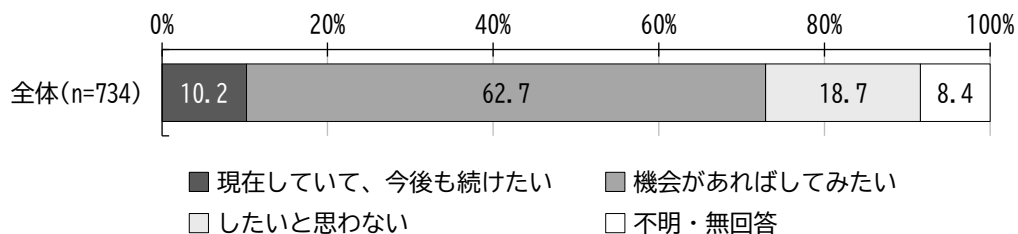
問11-3 それはどうしてですか。(〇はいくつでも)

障害のある人の手助けをしたことがない理由は、「これまで機会がなかった」が81.1%と最も高く、次いで「どうすればよいかわからなかった」が14.5%、「専門の人や関係者に任せの方がよいと思った」が11.6%となっています。



問12 今後、障害のある人の手助けをしたいと思いますか。(〇は1つ)

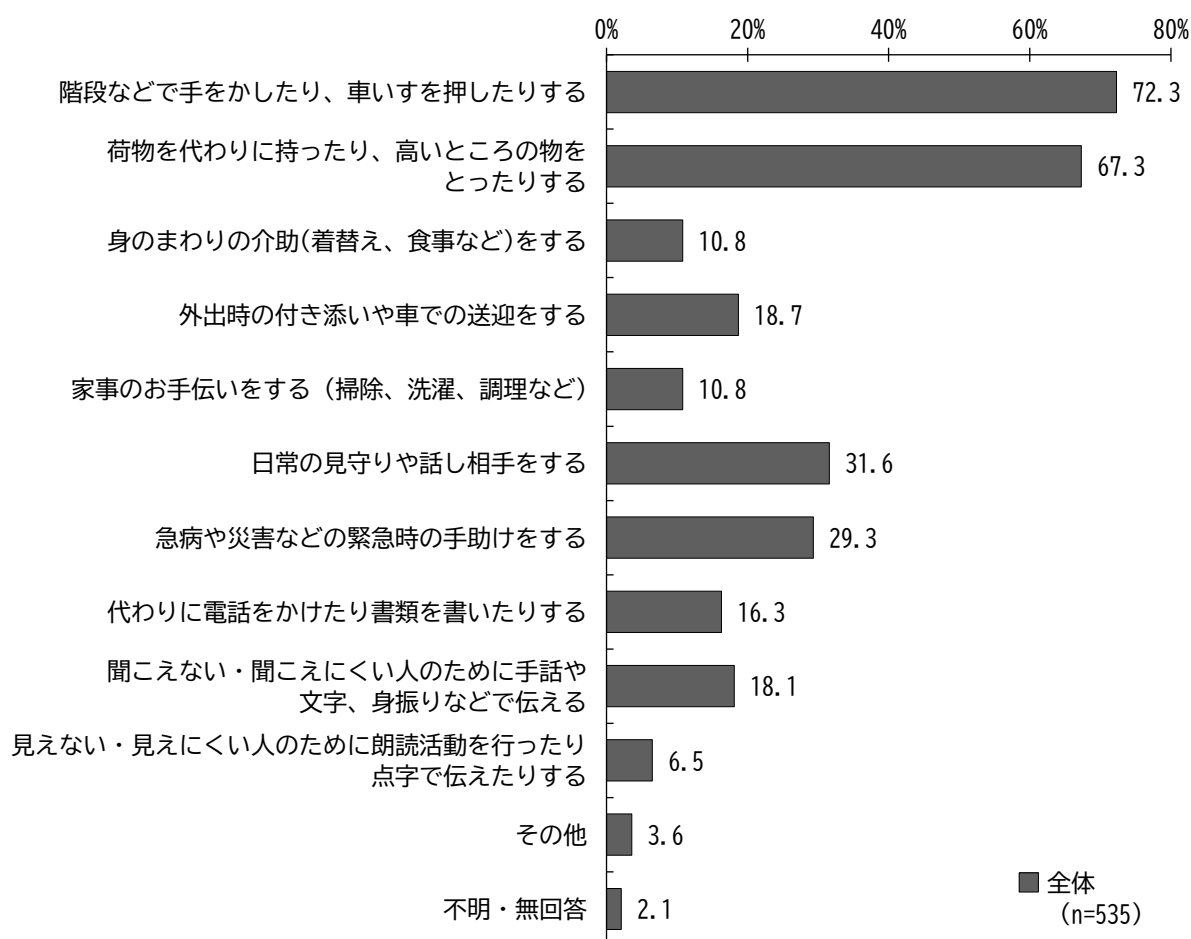
今後、障害のある人の手助けをしたいと思うかは、「機会があればしてみたい」が62.7%と最も高く、次いで「したいと思わない」が18.7%、「現在していて、今後も続けたい」が10.2%となっています。



問12で「現在していて、今後も続けたい」又は「機会があればしてみたい」と答えた方

問12-1 どのような手助けを今後したいですか。(〇はいくつでも)

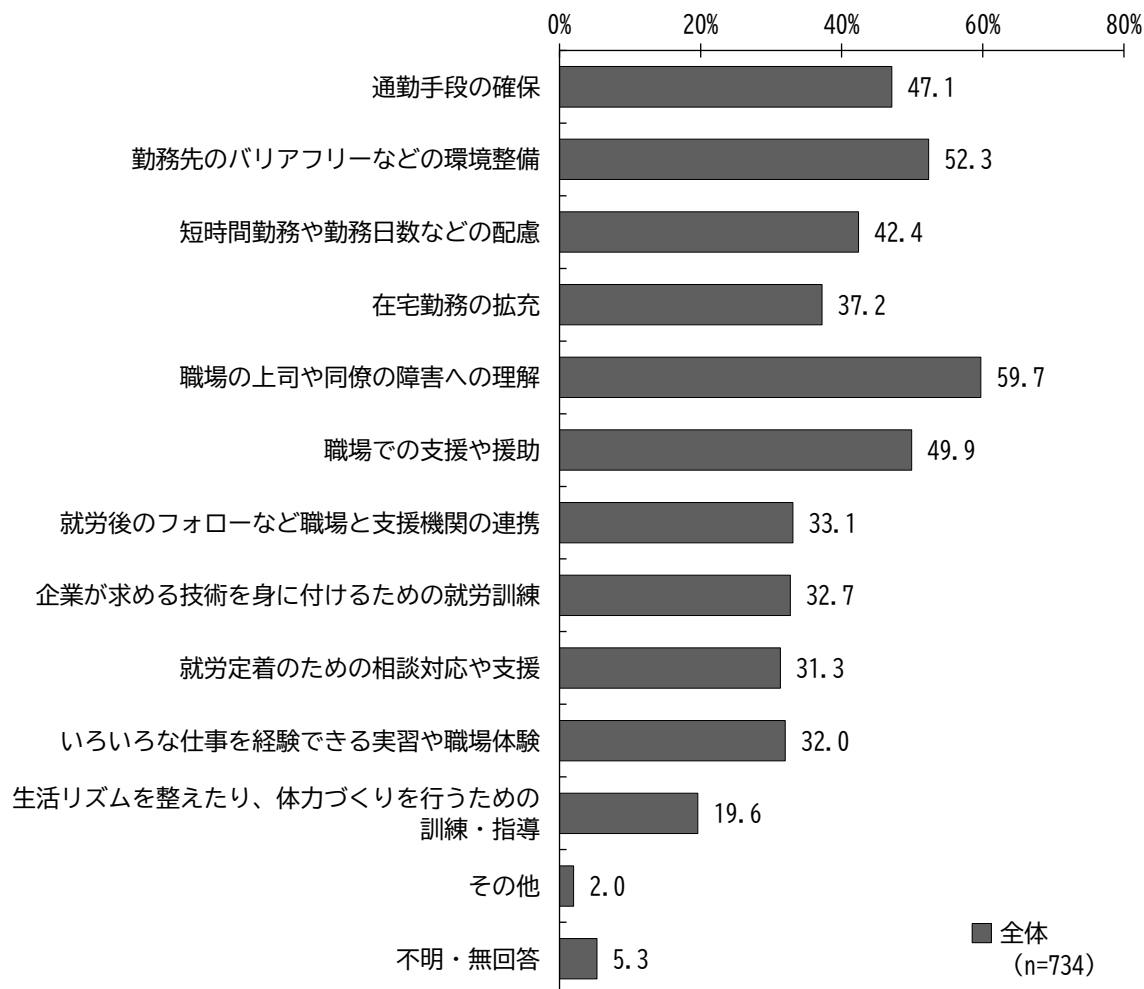
どのような手助けを今後したいかは、「階段などで手をかしたり、車いすを押したりする」が72.3%と最も高く、次いで「荷物を代わりに持ったり、高いところの物をとったりする」が67.3%、「日常の見守りや話し相手をする」が31.6%となっています。



6 障害のある人の就労について

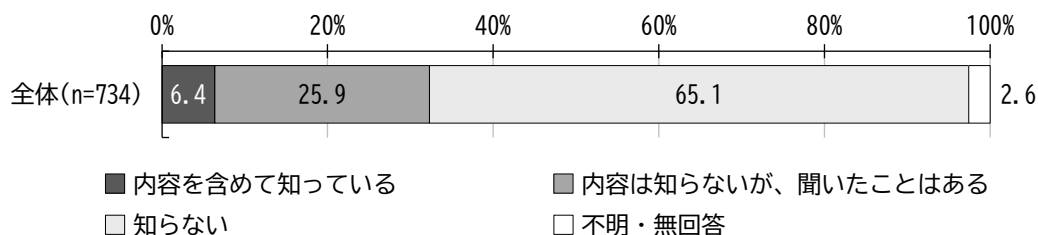
問13 障害のある人にどのような就労支援が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

障害のある人に必要な就労支援は、「職場の上司や同僚の障害への理解」が59.7%と最も高く、次いで「勤務先のバリアフリーなどの環境整備」が52.3%、「職場での支援や援助」が49.9%となっています。



問14 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が改正され、令和6年4月からは、これまでの国や地方公共団体に加え、民間事業者に対しても、社会的障壁を除去するための「合理的配慮」の提供が義務化されていますが、このことを知っていますか。(○は1つ)

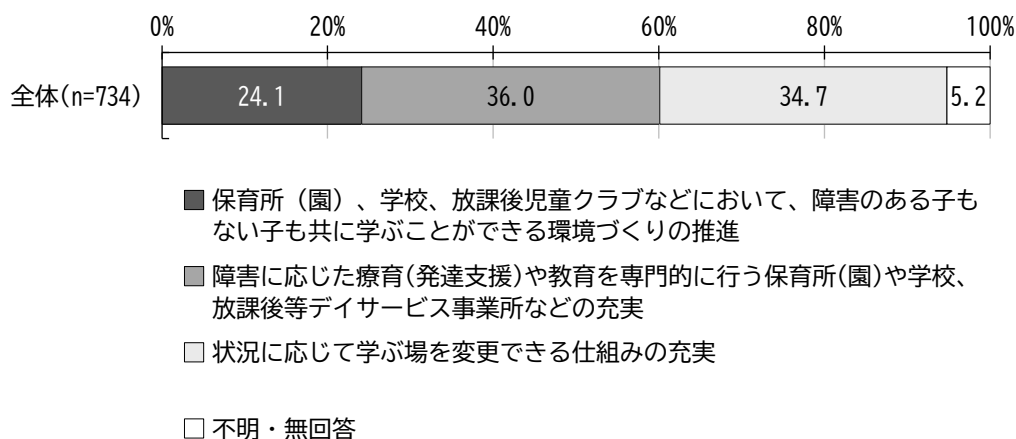
「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の改正内容の認知度は、「知らない」が65.1%と最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」が25.9%、「内容を含めて知っている」が6.4%となっています。



7 障害のある児童・生徒の教育について

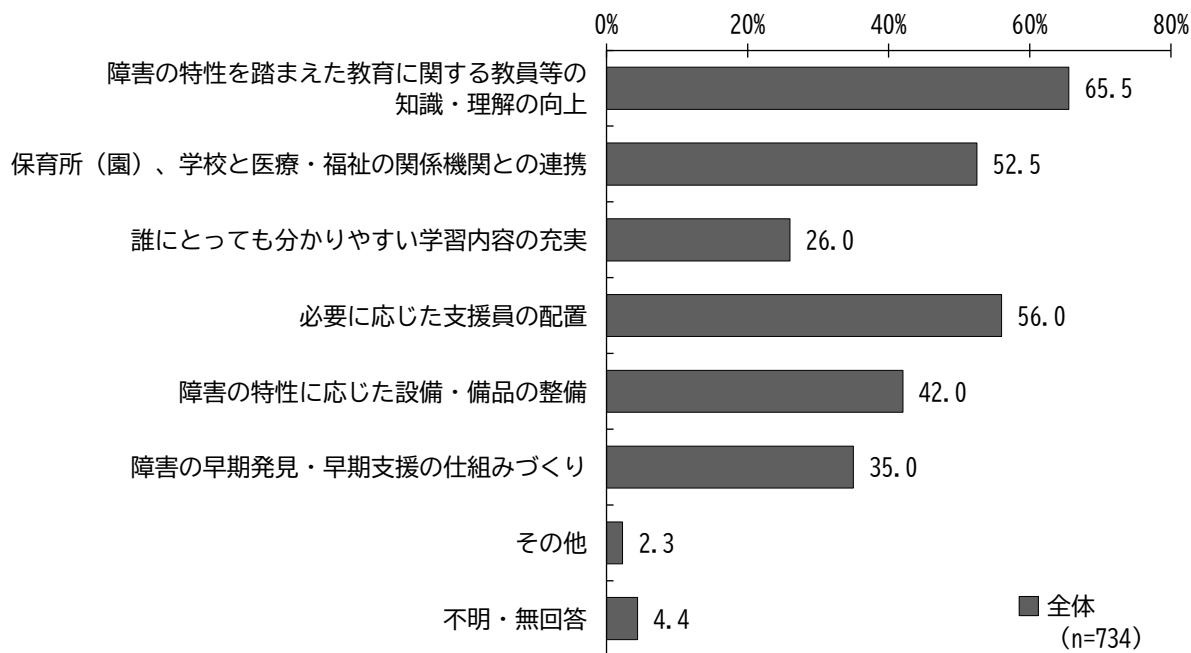
問15 障害のある児童・生徒の療育(発達支援)、教育についてどれを優先的に取り組む(継続する)べきと考えますか。(○は1つ)

障害のある児童・生徒の療育(発達支援)、教育について優先的に取り組む(継続する)べきことは、「障害に応じた療育(発達支援)や教育を専門的に行う保育所(園)や学校、放課後等デイサービス事業所などの充実」が36.0%と最も高く、次いで「状況に応じて学ぶ場を変更できる仕組みの充実」が34.7%、「保育所(園)、学校、放課後児童クラブなどにおいて、障害のある子どもも共に学ぶことができる環境づくりの推進」が24.1%となっています。



問16 障害のある児童・生徒の療育(発達支援)、教育について、具体的にどんな取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

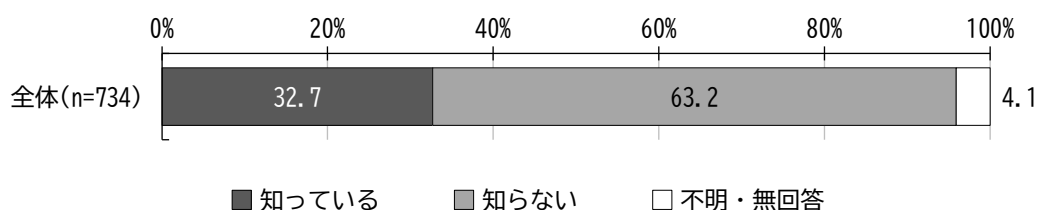
障害のある児童・生徒の療育(発達支援)、教育について必要な取組は、「障害の特性を踏まえた教育に関する教員等の知識・理解の向上」が65.5%と最も高く、次いで「必要に応じた支援員の配置」が56.0%、「保育所(園)、学校と医療・福祉の関係機関との連携」が52.5%となっています。



8 障害のある人への虐待について

問17 障害者虐待防止法において、「何人も、障害者に対し、虐待をしてはならない」とされていますが、あなたは、虐待を受けたと思われる(疑いを含む)障害のある人を発見した人に、通報義務があることを知っていますか。(〇は1つ)

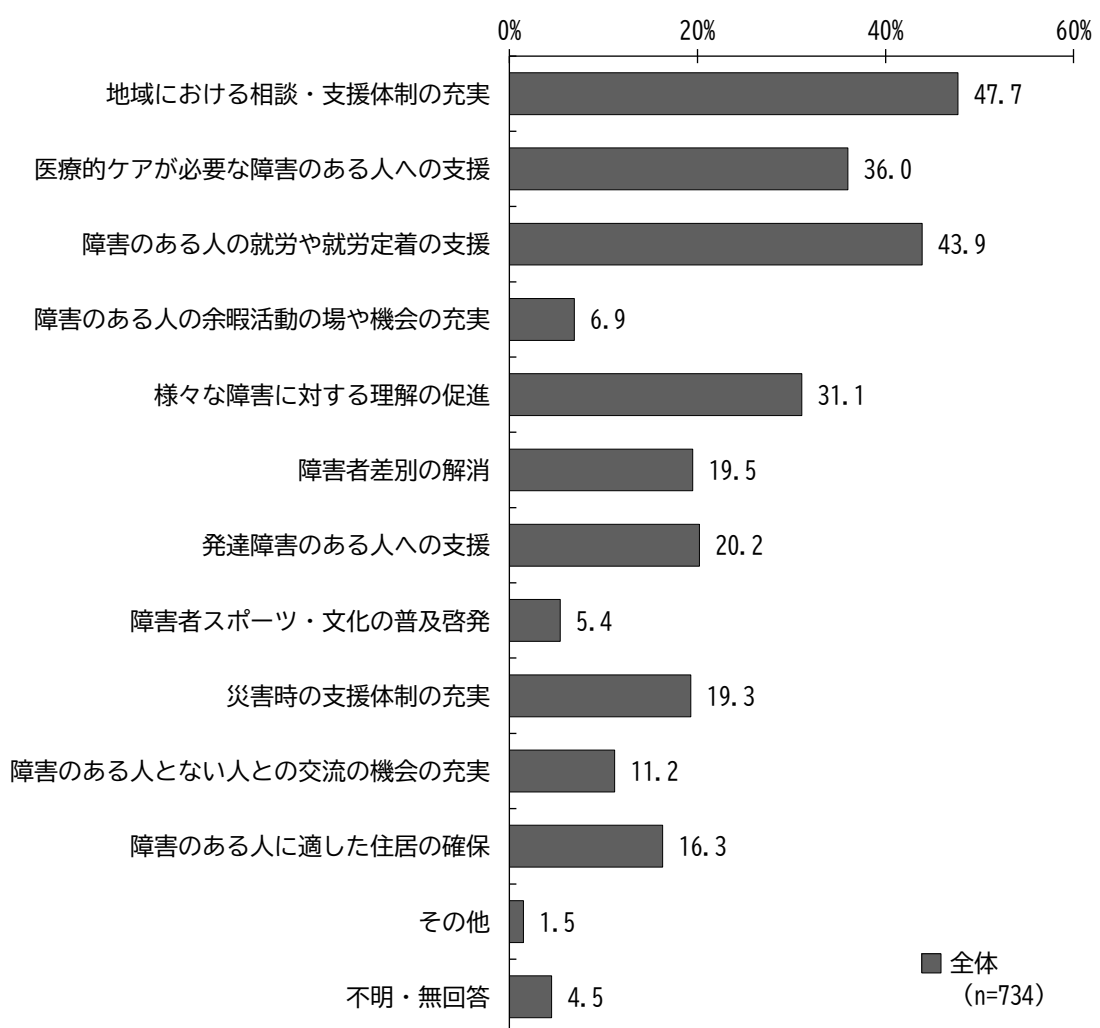
障害者虐待を発見した人に通報義務があることの認知度は、「知っている」が32.7%、「知らない」が63.2%となっています。



9 障害者施策などについて

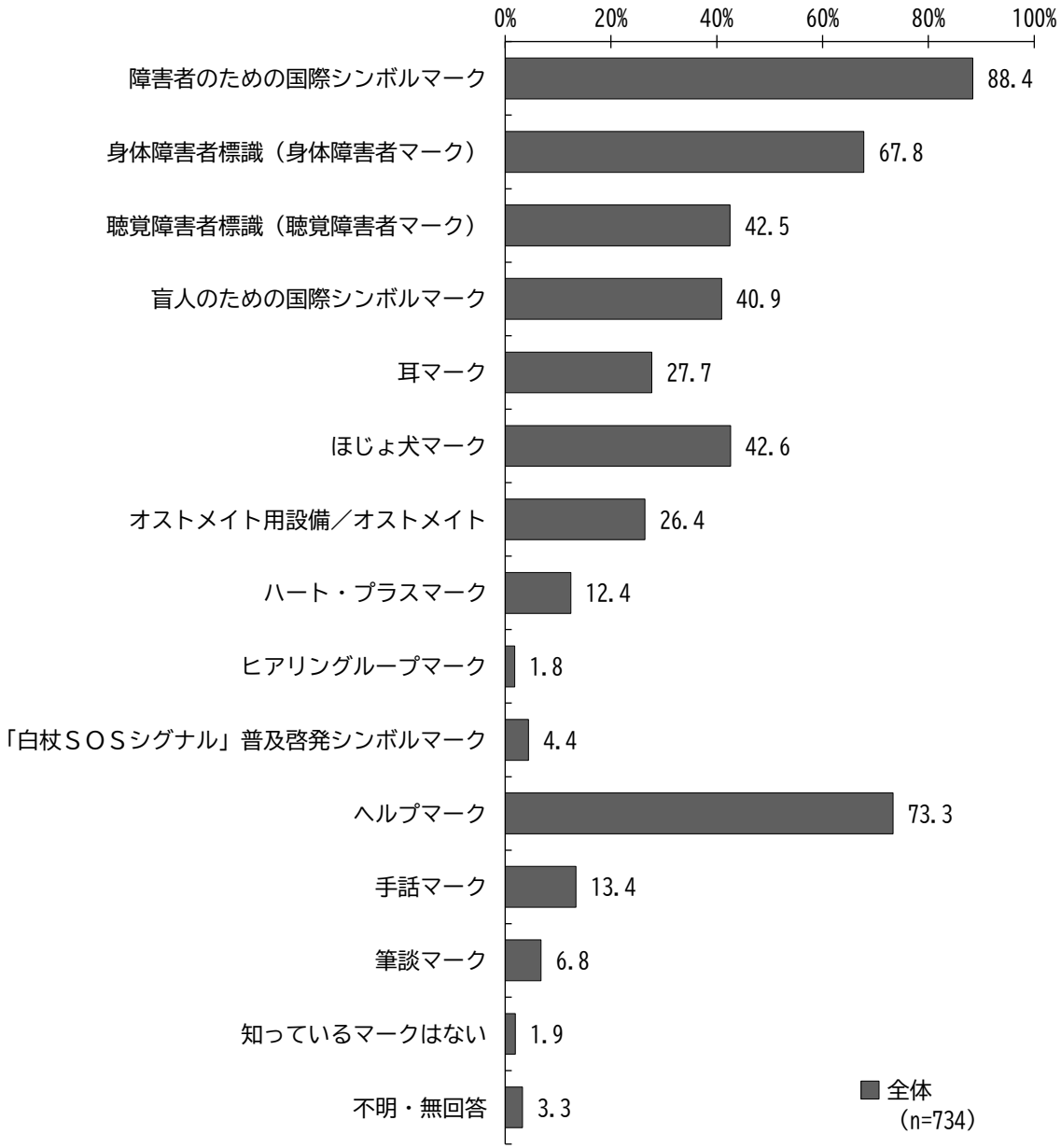
問18 障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
(○は3つまで)

障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで優先的に取り組むべきことは、「地域における相談・支援体制の充実」が47.7%と最も高く、次いで「障害のある人の就労や就労定着の支援」が43.9%、「医療的ケアが必要な障害のある人への支援」が36.0%となっています。



問19 障害のある人を支援するための様々なマークについて、知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

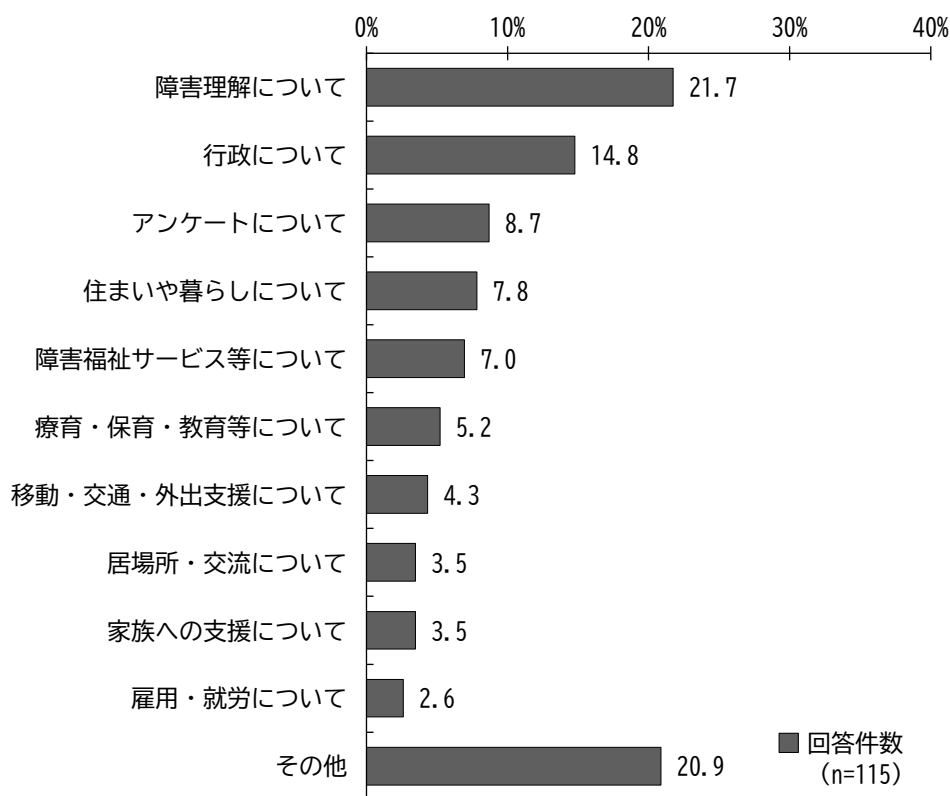
障害のある人を支援するためのマークについて知っているものは、「障害者のための国際シンボルマーク」が88.4%と最も高く、次いで「ヘルプマーク」が73.3%、「身体障害者標識(身体障害者マーク)」が67.8%となっています。



10 自由意見について

安城市の障害者福祉全般についてご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。(自由に記入)

自由意見は115件ありました。意見内容をカテゴリ別に分類して整理すると、「障害理解について」「行政について」の意見が多くなっています。



意見の主な内容

区分	主な意見
障害理解について	<ul style="list-style-type: none"> ・できることがあれば手助けしたい ・手助けしたいがどう声をかけていいかわからない、勇気がない ・理解のための情報発信をしてほしい <p style="text-align: right;">等</p>
行政について	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に関係なく連携して支援ができるとよい ・納税者として納得感のある市政運営をお願いしたい <p style="text-align: right;">等</p>
アンケートについて	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをきっかけに障害者施策を知ることができた ・様々な障害があるので回答しにくかった <p style="text-align: right;">等</p>
住まいや暮らしについて	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの拡充をしたほうがよい ・障害のある人が住みやすいまちになってほしい ・障害のある人が参加できるスポーツや交流機会を充実してほしい <p style="text-align: right;">等</p>
障害福祉サービス等について	<ul style="list-style-type: none"> ・支援する側の人員が少ない ・福祉人材の育成や支援をお願いしたい ・障害のある子どもの親が亡くなった場合の支援はどうなるのか <p style="text-align: right;">等</p>

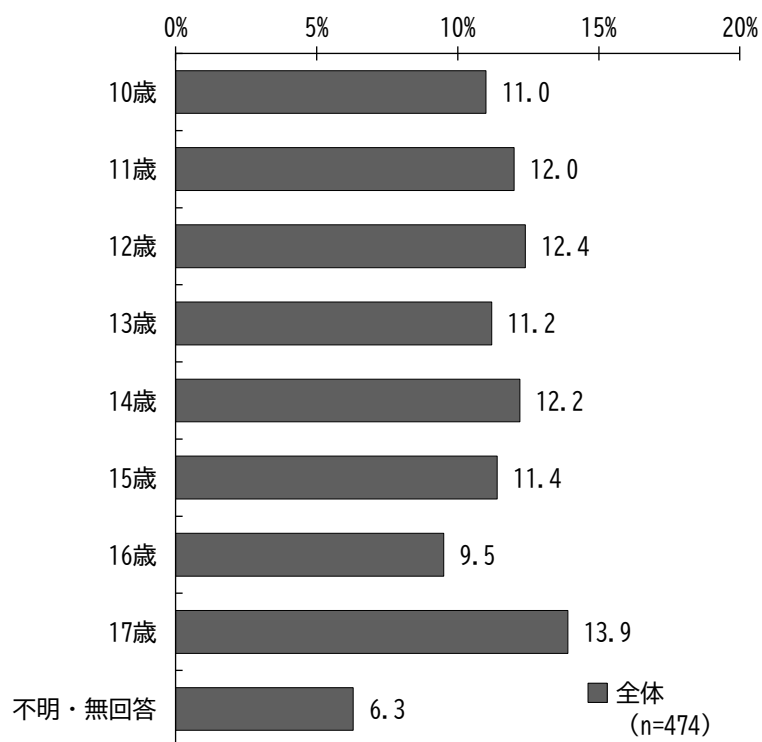
区分	主な意見
療育・保育・教育等について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での配慮の周知を進めてほしい ・学校での支援員の増員をお願いしたい ・発達障害のある子どもたちの選択肢が増えるとよい <p style="text-align: right;">等</p>
移動・交通・外出支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人が外出できる環境ができるとうい ・車いすが通しやすい歩道にしてほしい <p style="text-align: right;">等</p>
居場所・交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが参加できる交流イベントがあるとよい ・イベント等で交流や体験ができる機会があるとよい <p style="text-align: right;">等</p>
家族への支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人だけでなくケアをする家族への支援もあるとよい ・手当、サービス等の所得制限や、保護者が働けない環境の改善を望む <p style="text-align: right;">等</p>
雇用・就労について	<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良等で休む場合の職場の寛容さが必要である ・就労のための支援、働く場の充実が必要である <p style="text-align: right;">等</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり取り組んでほしい ・よくわからない、難しい <p style="text-align: right;">等</p>

第5章 18歳未満の一般市民へのアンケート調査結果

1 あなた自身について

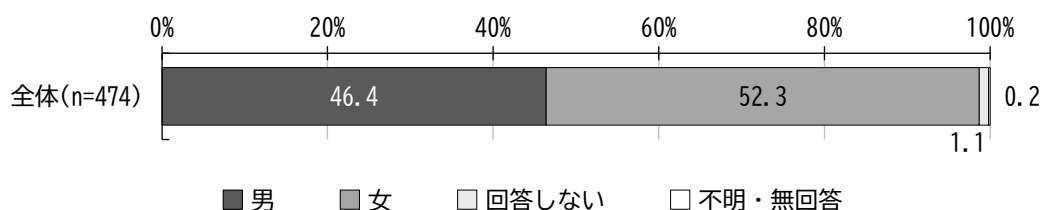
問1 あなたは何歳ですか。(数字を記入) (令和7年12月1日時点)

年齢は、「17歳」が13.9%と最も高く、次いで「12歳」が12.4%、「14歳」が12.2%となっています。



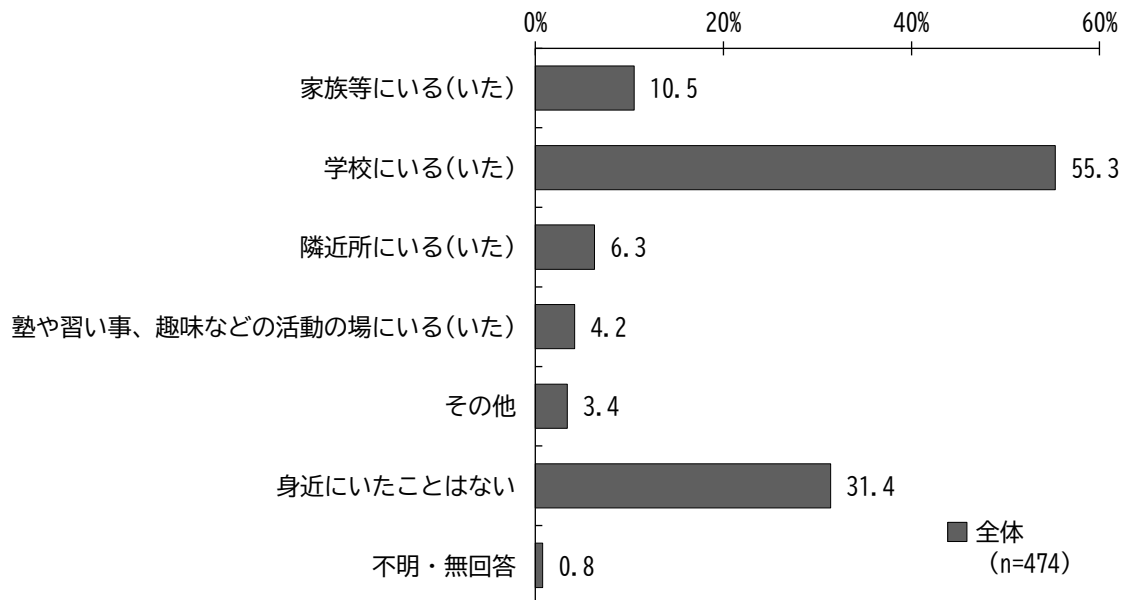
問2 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

性別は、「女」が52.3%と最も高く、次いで「男」が46.4%、「回答しない」が1.1%となっています。



問3 あなたの身近に障害のある人がいますか。または、これまでにいたことがありますか。(○はいくつでも)

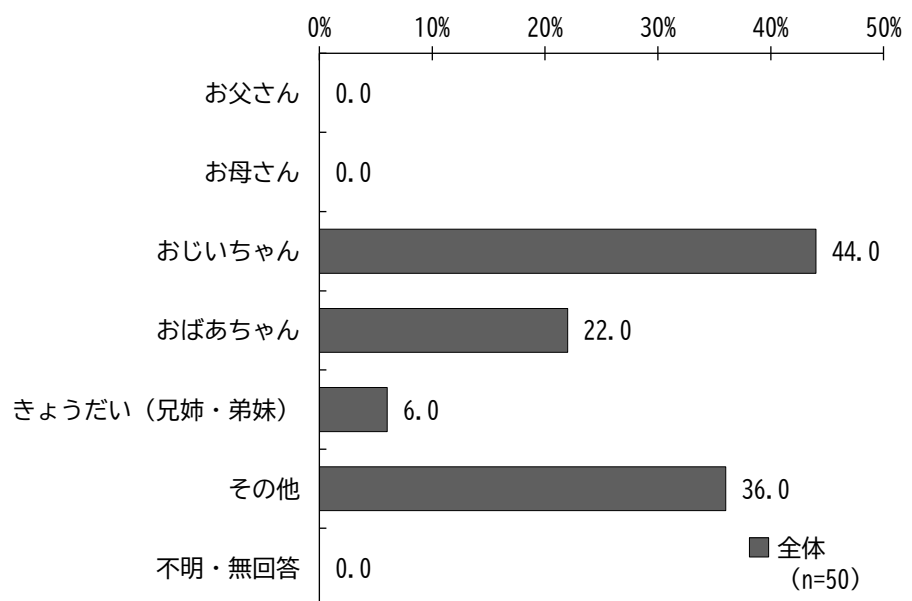
身近に障害のある人の有無は、「学校にいる(いた)」が55.3%と最も高く、次いで「身近にいたことはない」が31.4%、「家族等にいる(いた)」が10.5%となっています。



問3で「家族等にいる(いた)」と答えた方

問3-1 それはだれですか。(○はいくつでも)

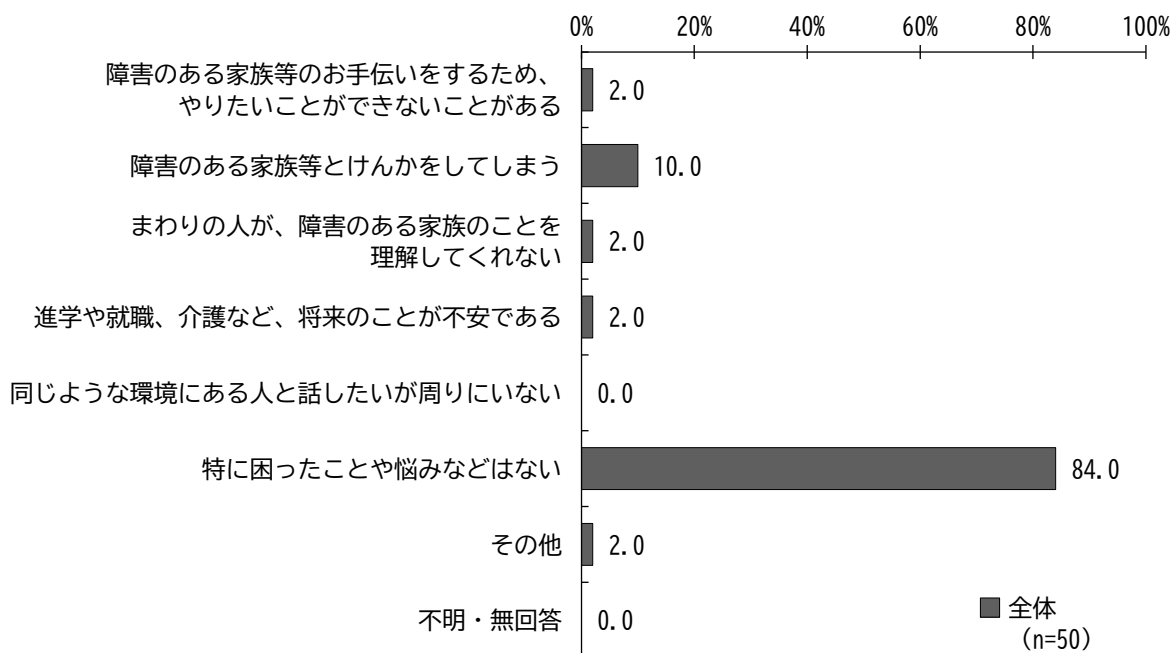
障害のある家族等は、「おじいちゃん」が44.0%と最も高く、次いで「その他」が36.0%、「おばあちゃん」が22.0%となっています。



問3で「家族等にいる(いた)」と答えた方

問3-2 困ったことや悩みなどがありますか。(〇はいくつでも)

困ったことや悩みなどの有無は、「特に困ったことや悩みなどはない」が84.0%と最も高く、次いで「障害のある家族等とけんかをしてしまう」が10.0%、「障害のある家族等のお手伝いをするため、やりたいことができないことがある」「まわりの人が、障害のある家族のことを理解してくれない」「進学や就職、介護など、将来のことが不安である」「その他」が2.0%となっています。



問3で「家族等にいる(いた)」と答えた方

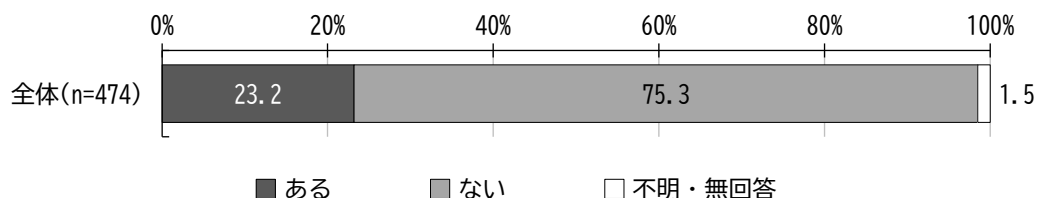
問3-3 そのほか、具体的な悩みや相談したいことなどがあれば自由に書いてください。(自由に記入)

回答内容
その人とどう関わればいいのかかわからない。
同じことを何回も何回も何回も何回も聞いてくる。何度言っても同じことを聞いてくる、繰り返す…。一つのことに「執着」して他のことを一切やらない…。
分からない程度の障害がある。(自閉症)

2 障害のある人への手助けについて

問4 あなたは、これまで障害のある人の手助けをしたことがありますか。
(○は1つ)

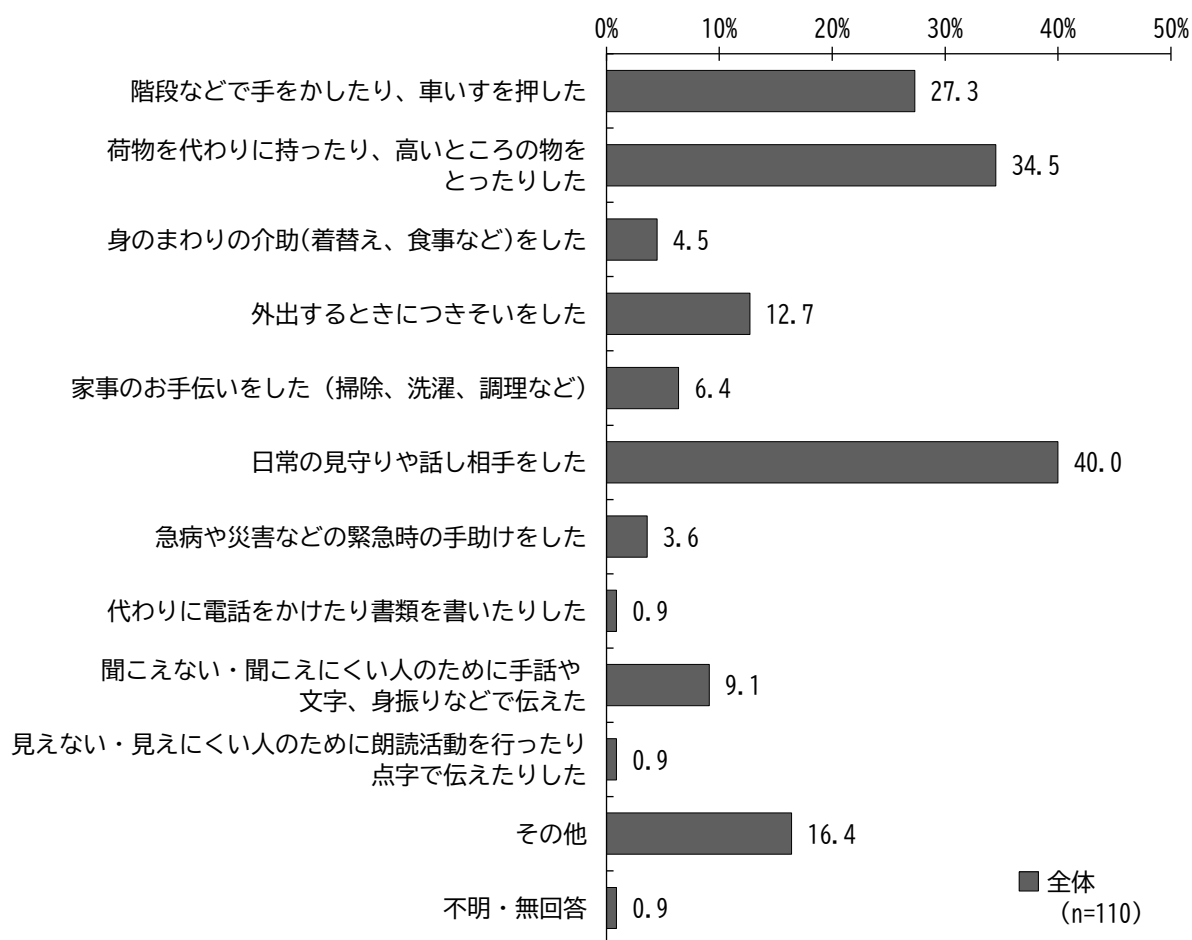
障害のある人の手助けの経験は、「ある」が23.2%、「ない」が75.3%となっています。



問4で「ある」と答えた方

問4-1 あなたが実際に行った手助けは何ですか。(○はいくつでも)

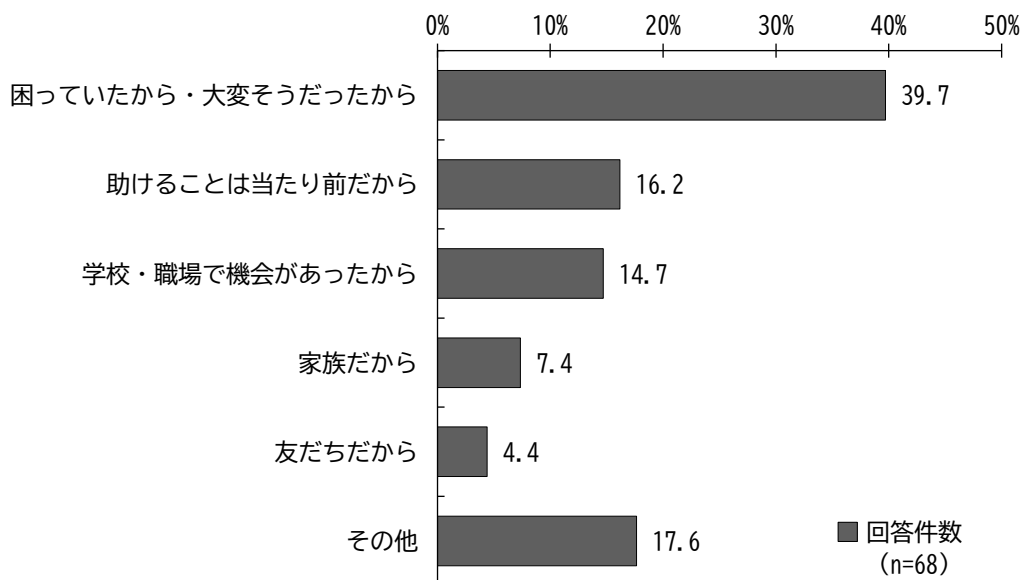
実際に行った手助けは、「日常の見守りや話し相手をした」が40.0%と最も高く、次いで「荷物を代わりに持ったり、高いところの物をとったりした」が34.5%、「階段などで手をかしたり、車いすを押した」が27.3%となっています。



問4で「ある」と答えた方

問4-2 あなたが手助けをしようと思った理由を教えてください。
(自由に記入)

問4で障害のある人の手助けの経験が「ある」と回答した人にその理由をたずねたところ、68件の回答がありました。

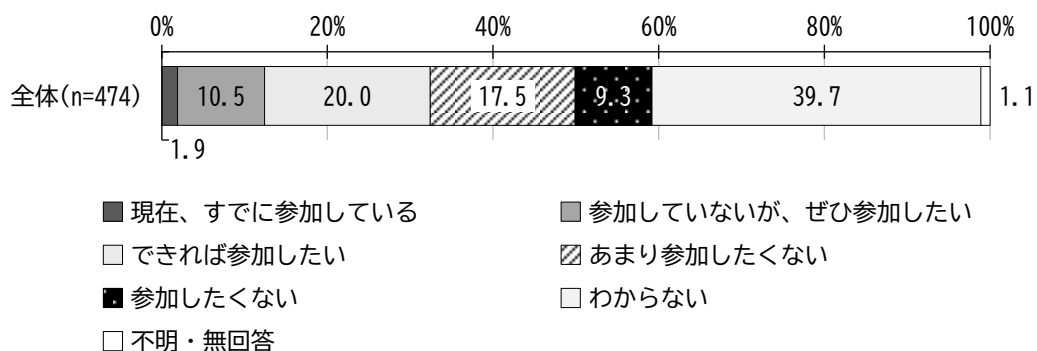


意見の主な内容

区分	理由	
困っていたから・大変そうだったから	・困っていたから ・大変そう・つらそうだったから	等
助けることは当たり前だから	・お互いに助け合って生きていくことが大切だと思うから ・困っている人を助けるのは当たり前だから	等
学校・職場で機会があったから	・学校で交流授業があったから ・職場体験で行ったため	等
家族だから	・おばあちゃんの手が不自由だから ・祖父の生活を良くしたいと思ったから	等
友だちだから	・友だちが障害者であり、手助けをしたいから ・友だちとして一緒にいて楽しかったから	等
その他	・なんとなく ・誰かがやらないといけなかったから	等

問5 あなたは、障害者福祉に関するボランティア活動に参加したいと思えますか。(○は1つ)

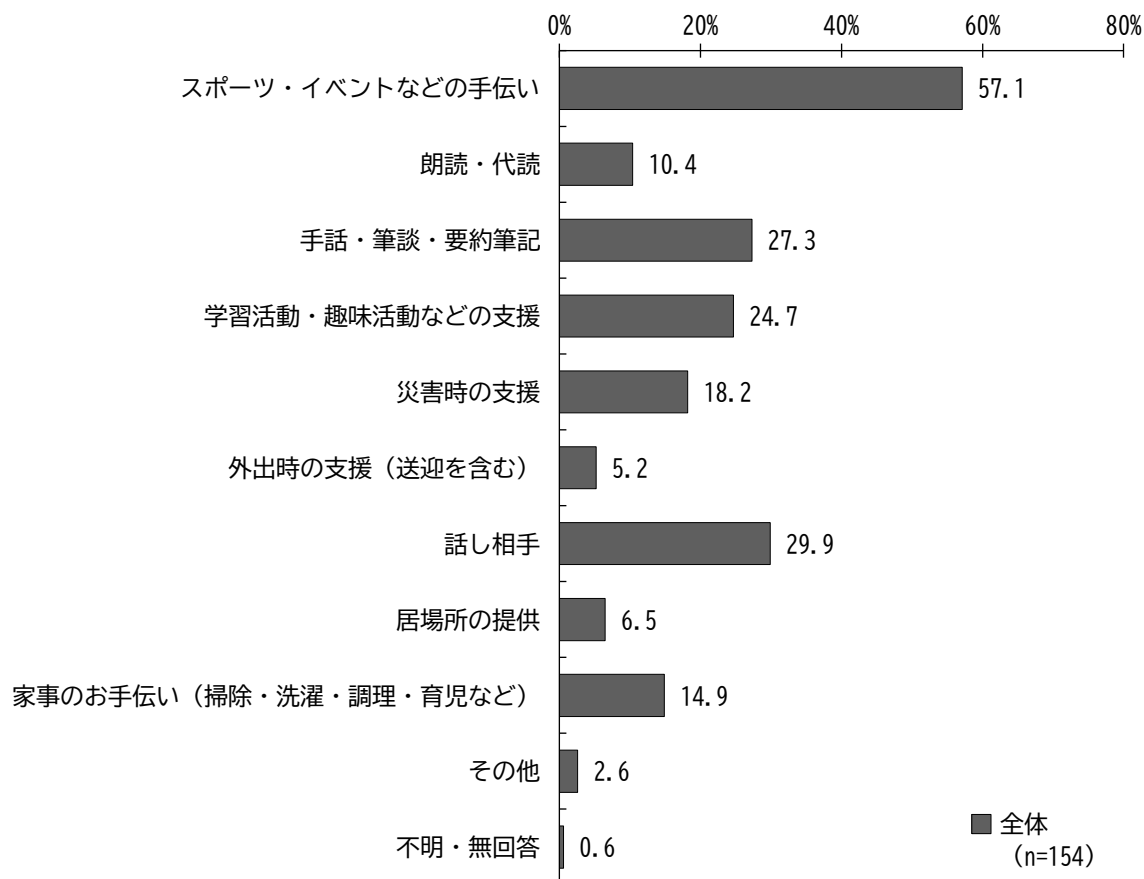
障害者福祉に関するボランティア活動への参加意向は、「わからない」が39.7%と最も高く、次いで「できれば参加したい」が20.0%、「あまり参加したくない」が17.5%となっています。



問5で「現在、すでに参加している」～「できれば参加したい」と答えた方

問5-1 どのような活動をしたいですか。現在参加している方は、すでに参加しているものを選んでください。(〇はいくつでも)

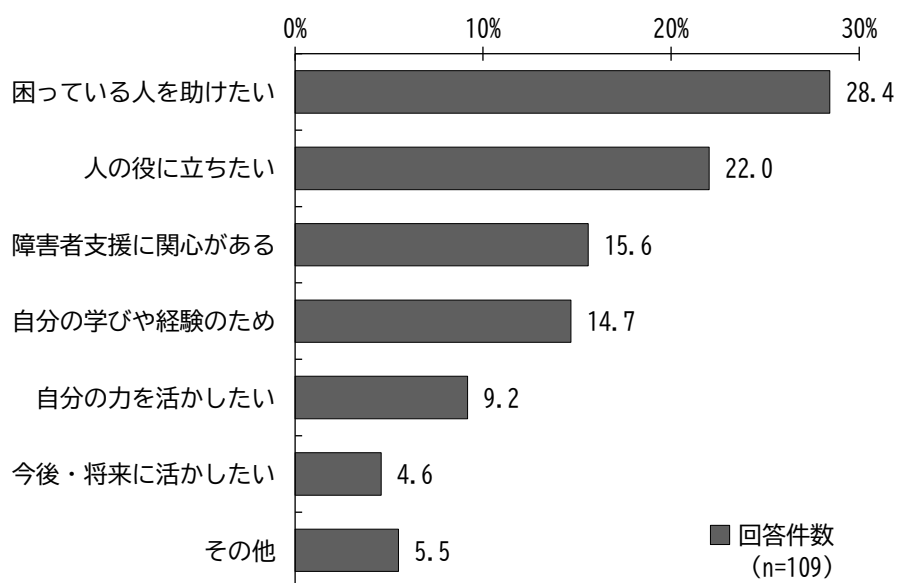
参加している・したい活動は、「スポーツ・イベントなどの手伝い」が57.1%と最も高く、次いで「話し相手」が29.9%、「手話・筆談・要約筆記」が27.3%となっています。



問5で「現在、すでに参加している」～「できれば参加したい」と答えた方

問5-2 障害者福祉に関するボランティア活動に参加したいと思った理由を教えてください。(自由に記入)

問5で「現在、すでに参加している」「参加していないが、ぜひ参加したい」「できれば参加したい」と回答した人にその理由をたずねたところ、109件の回答がありました。



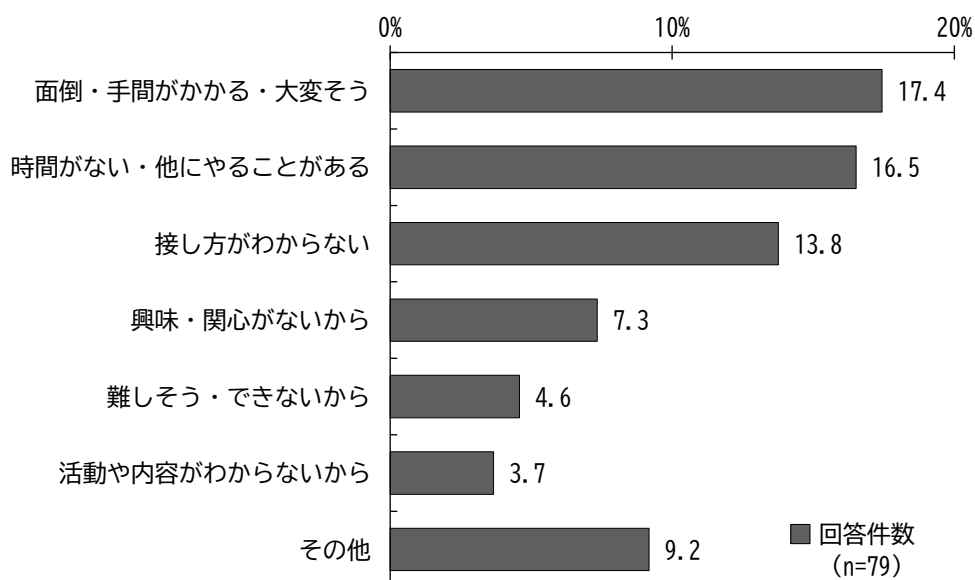
意見の主な内容

区分	理由	
困っている人を助けたい	・困っている人は助けたい・力になりたいから ・少しでも障害者の助けになればいいなと思ったから	等
人の役に立ちたい	・人の役に立ちたい・誰かのためになりたいから ・自分でできることをしたいから	等
障害者支援に関心がある	・ボランティア活動に興味があるから ・楽しそう・おもしろそうだから ・家族が福祉に関わる仕事をしているから	等
自分の学びや経験のため	・経験としてやっておきたい ・今まで参加したことがなかったから	等
自分の力を活かしたい	・スポーツをしているから・スポーツが好きだから ・自分が活躍できそうだから	等
今後・将来に活かしたい	・将来的に自分や身近な人が障害を持った時、役に立つから ・将来的にもボランティアの経験は役に立ちそうだから	等
その他	・みんなで楽しめるから ・なんとなく	等

問5で「あまり参加したくない」又は「参加したくない」と答えた方

問5-3 障害者福祉に関するボランティア活動に参加したくないと思った理由を教えてください。(自由に記入)

問5で「あまり参加したくない」又は「参加したくない」と回答した人にその理由をたずねたところ、79件の回答がありました。



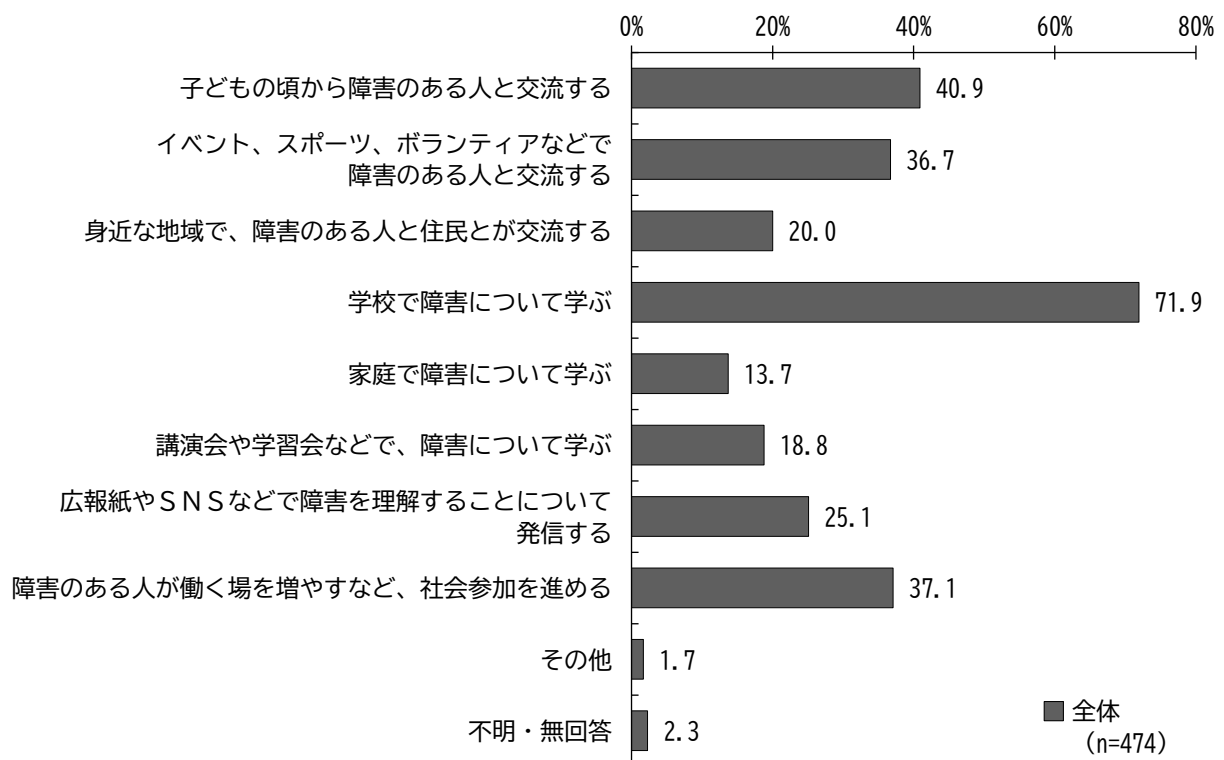
意見の主な内容

区分	理由	
面倒・手間がかかる・大変そう	・面倒くさいから ・大変そうだから	等
時間がない・他にやることがある	・時間がない・忙しい ・自分の時間を優先したい	等
接し方がわからない	・障害のある人にどのような接し方をすればよいかわからないから ・相手に失礼なことをしてしまうかもしれないから	等
興味・関心がないから	・ボランティア活動に興味がない ・あまり楽しそうではないから	等
難しそう・できないから	・何もできないから ・難しそうだから	等
活動や内容がわからないから	・どこに行けばどのような活動ができるか知らないから ・何をするかわからないから	等
その他	・1人で参加はしたくない ・恥ずかしいから	等

3 障害者施策などについて

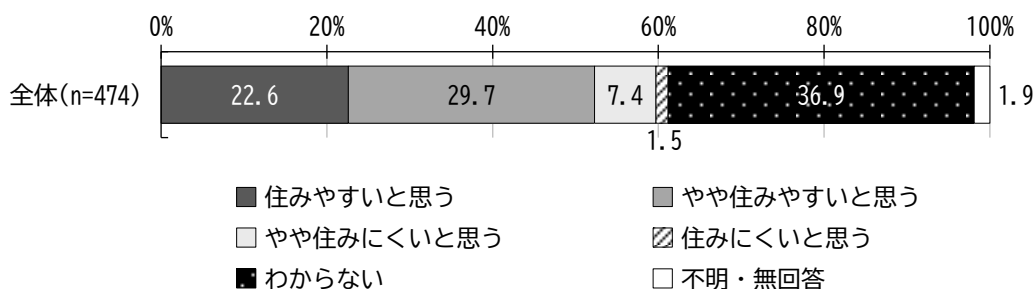
問6 障害のある人と同じ地域で一緒に暮らしていけるようにするためには、どのようなことが大切だと考えますか。(〇はいくつでも)

障害のある人と同じ地域で一緒に暮らしていけるようにするために大切なことは、「学校で障害について学ぶ」が71.9%と最も高く、次いで「子どもの頃から障害のある人と交流する」が40.9%、「障害のある人が働く場を増やすなど、社会参加を進める」が37.1%となっています。



問7 障害のある人にとって安城市は住みやすい地域だと思いますか。(○は1つ)

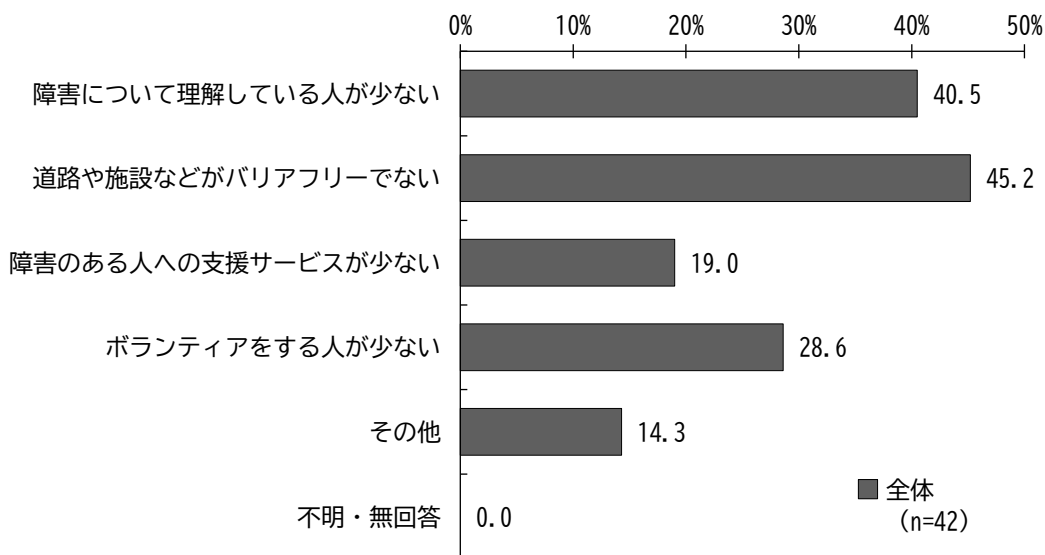
障害のある人にとって安城市は住みやすい地域だと思うかは、「わからない」が36.9%と最も高く、次いで「やや住みやすいと思う」が29.7%、「住みやすいと思う」が22.6%となっています。『住みやすい』（「住みやすいと思う」と「やや住みやすいと思う」の合算）が52.3%、『住みにくい』（「住みにくいと思う」と「やや住みにくいと思う」の合算）が8.9%となっています。



問7で「やや住みにくいと思う」又は「住みにくいと思う」と答えた方

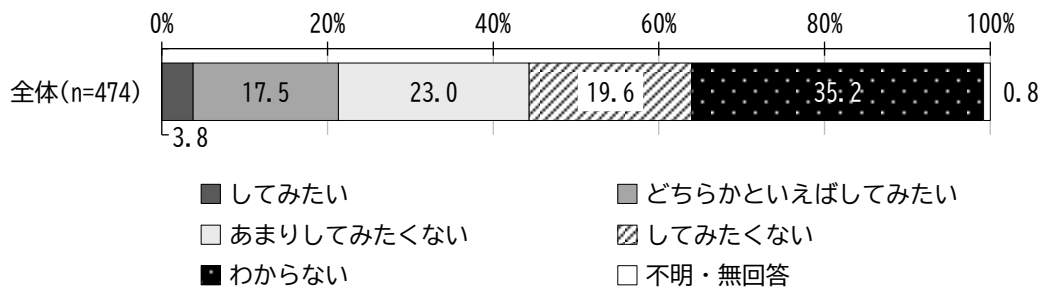
問7-1 住みにくいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

住みにくいと思う理由は、「道路や施設などがバリアフリーでない」が45.2%と最も高く、次いで「障害について理解している人が少ない」が40.5%、「ボランティアをする人が少ない」が28.6%となっています。



問8 あなたは、将来、障害のある人の生活を支える仕事をしてみたいですか。(〇は1つ)

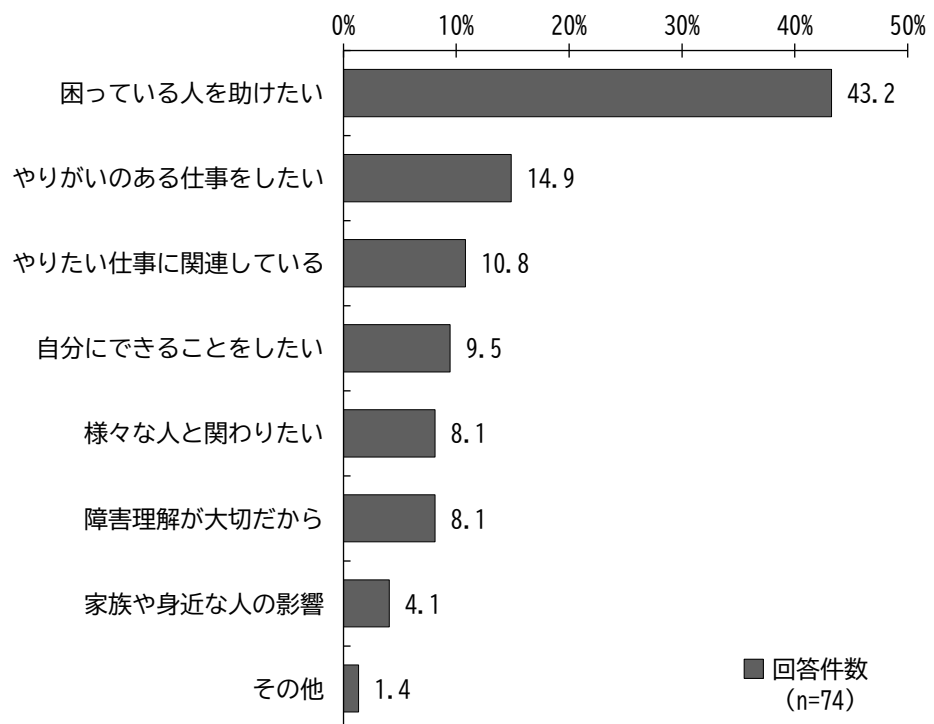
将来障害のある人の生活を支える仕事をしてみたいかは、「わからない」が35.2%と最も高く、次いで「あまりして見たくない」が23.0%、「して見たくない」が19.6%となっています。



問8-1 問8でそう思った理由を教えてください。(自由に記入)

【してみたい理由】

問8で「してみたい」又は「どちらかといえばしてみたい」と回答した人にその理由をたずねたところ、74件の回答がありました。

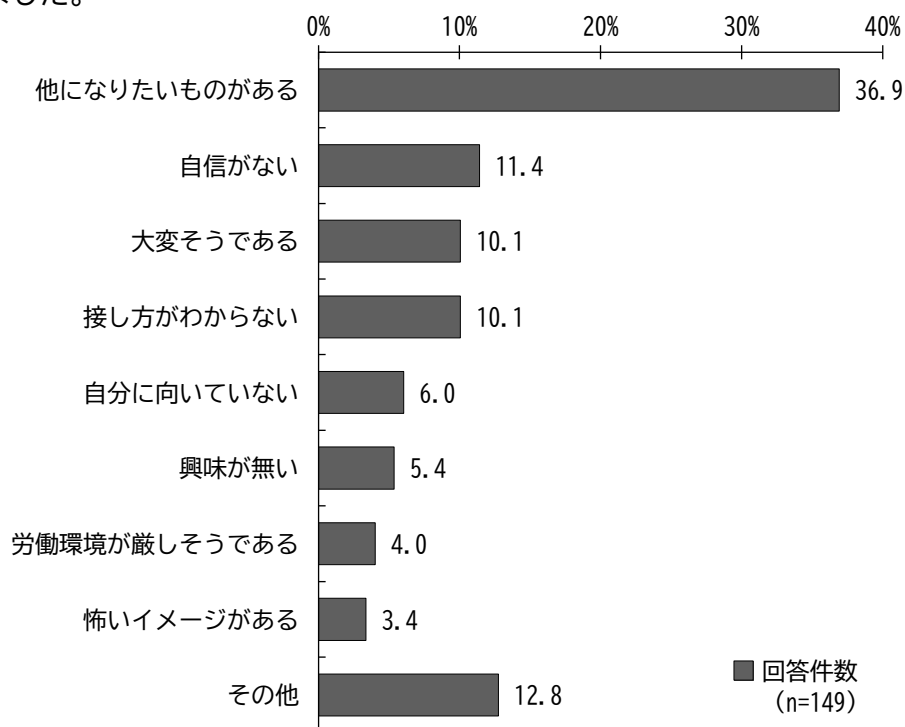


意見の主な内容

区分	理由	
困っている人を助けたい	・困っている人を助けたいから ・誰かの助けになりたい・頼ってもらいたい	等
やりがいのある仕事をしたい	・大変な事もあると思うが、やりがいがあると思うから ・誰かを支えることにやりがいを感じる	等
やりたい仕事に関連している	・医療系に進みたいと考えているから ・保育士になりたいので、障害のある子もいると思うから	等
自分にできることをしたい	・みんなが幸せに生きることは大切だと思うから ・障害の有無に関わらず人を救う仕事がしたい	等
様々な人と関わりたい	・障害のある人を助けてみたいし、仲良くなりたい ・いろいろな人と関わってみたい	等
障害理解が大切だから	・どんな仕事に就いても障害のある人と関わることはあるだろうし、ある程度の理解や興味を持って働きたい ・障害者に対する偏見が残っていると思うから	等
家族や身近な人の影響	・親が介護をしているから ・おじいちゃんを介護しているおばあちゃんを見ていたから	等
その他	・した方がかっこいいと思ったから	

【してみたくない理由】

問8で「あまりしてみたくない」「してみたくない」と回答した人にその理由をたずねたところ、149件の回答がありました。

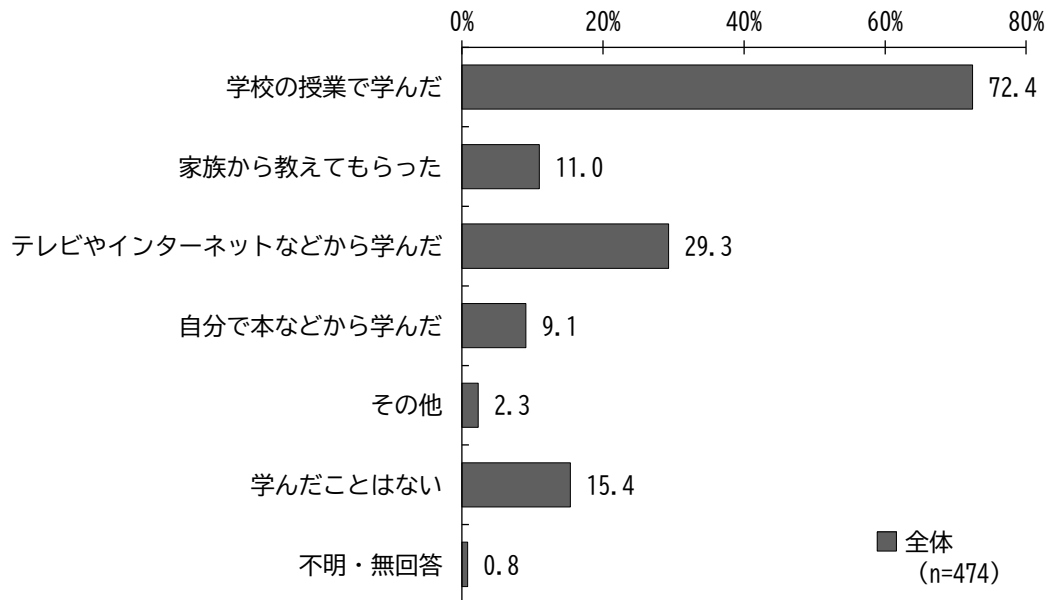


意見の主な内容

区分	理由	
他になりたいものがある	・他にやりたい仕事があるから ・好きなことを仕事にしたい	等
自信がない	・うまくできるか不安である ・自分には難しいと思う	等
大変そうである	・支えることは大変だから ・難しいと思うから	等
接し方がわからない	・接し方がよくわからない ・障害のことが理解できていない	等
自分に向いていない	・ボランティアをしてみて向いてないと感じたから ・人と接することが苦手だから	等
興味が無い	・興味が無いから ・よくわからないから	等
労働環境が厳しそうである	・大変そうだし生半可な仕事ではないと思うから ・精神的負担が大きそうだから	等
怖いイメージがある	・わからないので怖いイメージがある ・すべての人がいい人とは限らないから	等
その他	・なんとなく ・自分自身に集中したい	等

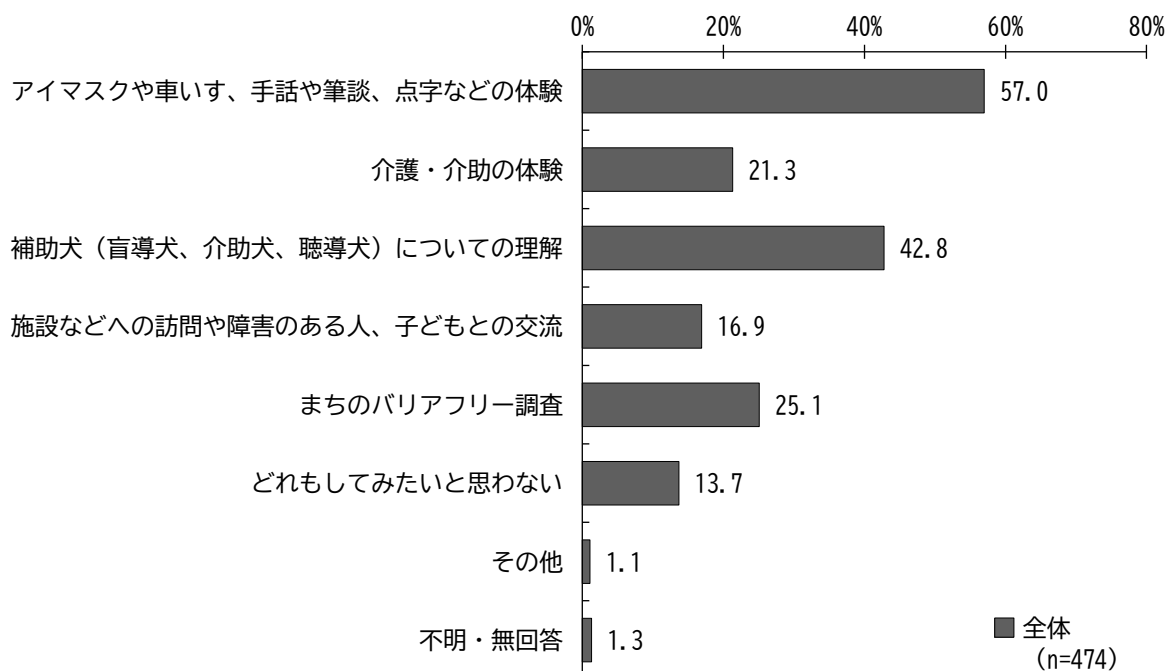
問9 あなたは、障害者福祉について学んだことがありますか。(〇はいくつでも)

障害者福祉について学んだ経験は、「学校の授業で学んだ」が72.4%と最も高く、次いで「テレビやインターネットなどから学んだ」が29.3%、「学んだことはない」が15.4%となっています。



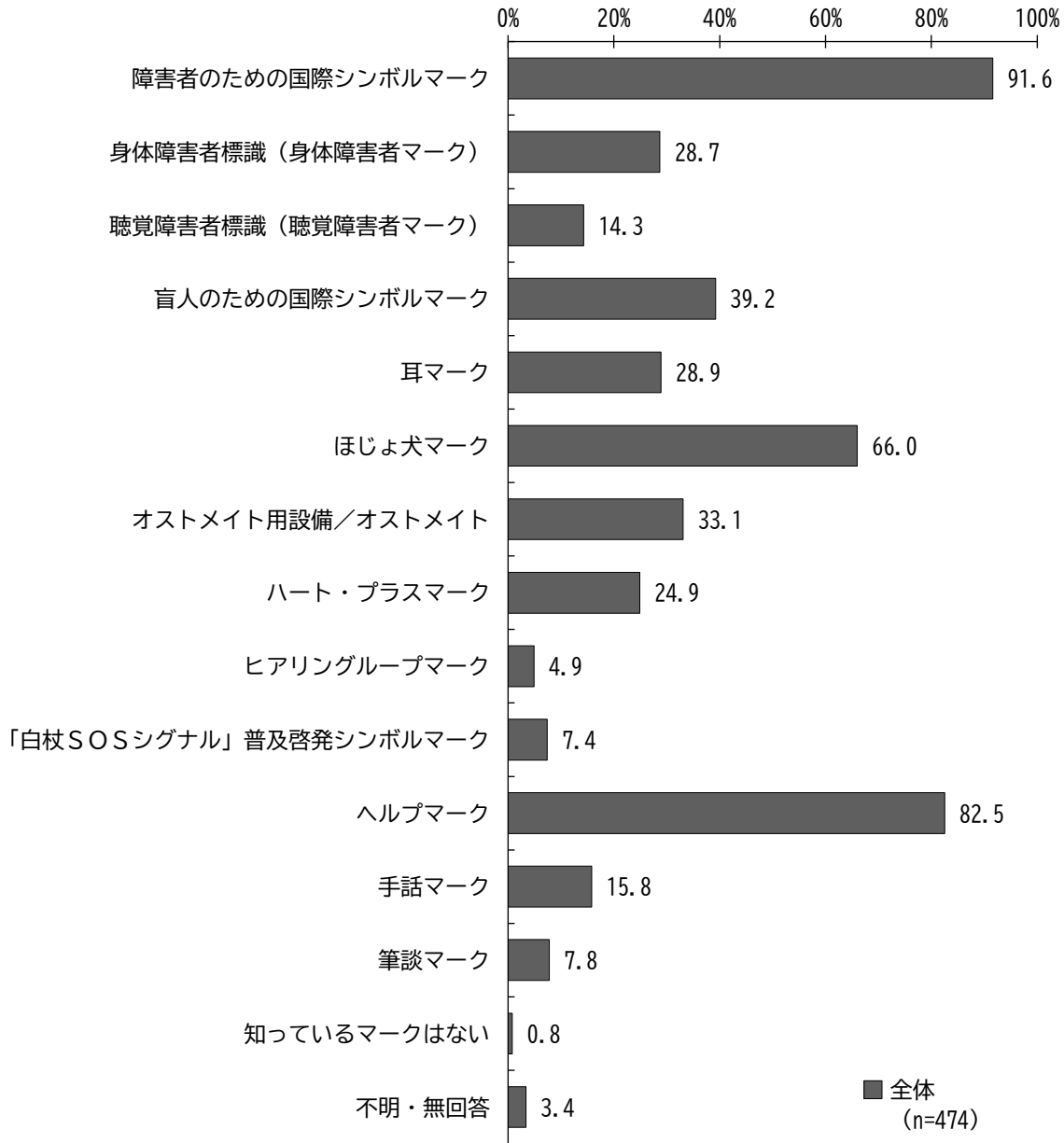
問10 あなたは、これから次のような障害者福祉の学習をしてみたいですか。(〇はいくつでも)

これからしてみたい障害者福祉の学習は、「アイマスクや車いす、手話や筆談、点字などの体験」が57.0%と最も高く、次いで「補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）についての理解」が42.8%、「まちのバリアフリー調査」が25.1%となっています。



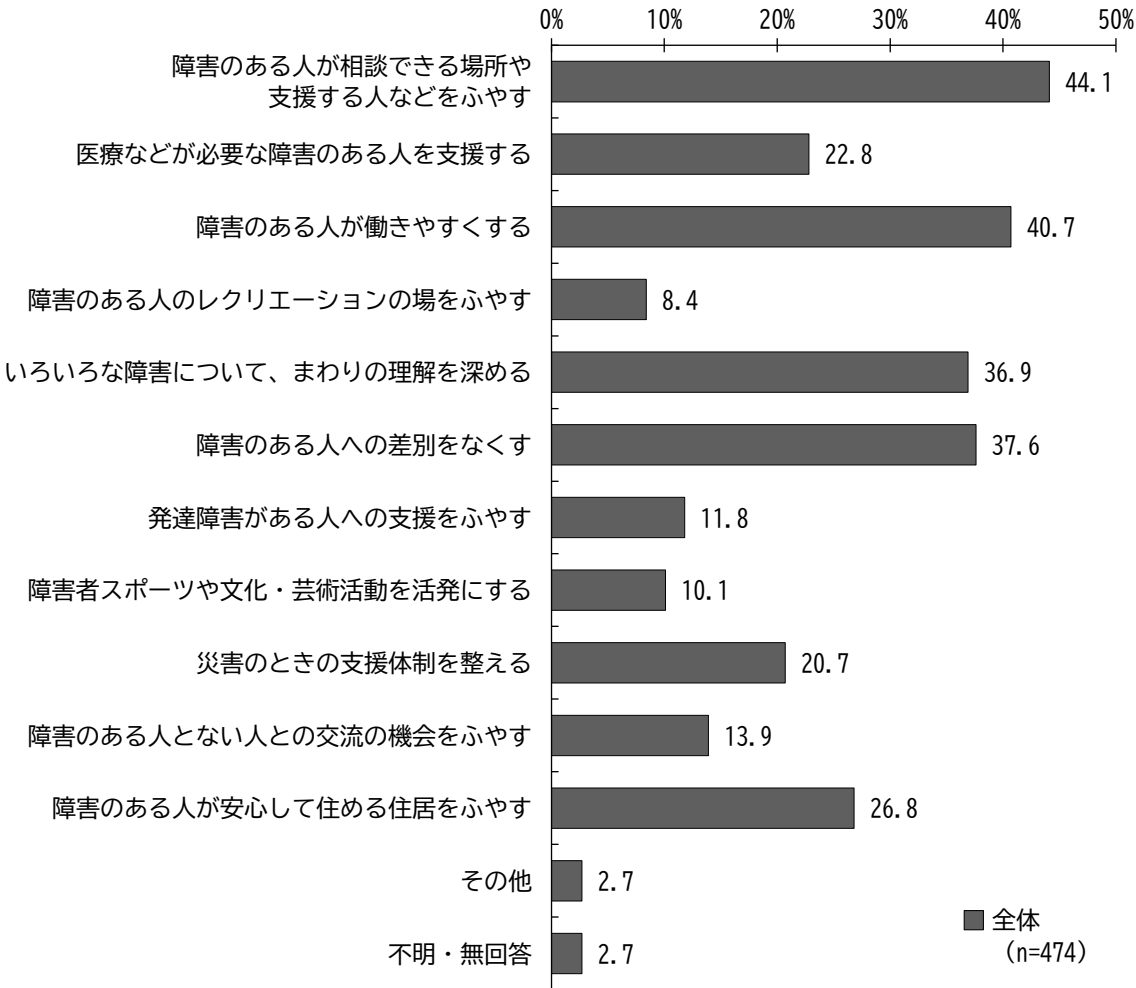
問11 障害のある人を支援するための様々なマークについて、知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

障害のある人を支援するためのマークについて知っているものは、「障害者のための国際シンボルマーク」が91.6%と最も高く、次いで「ヘルプマーク」が82.5%、「ほじょ犬マーク」が66.0%となっています。



問12 障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるためには、安城市がどのようなことに取り組んだ方がよいと思いますか。
(○は3つまで)

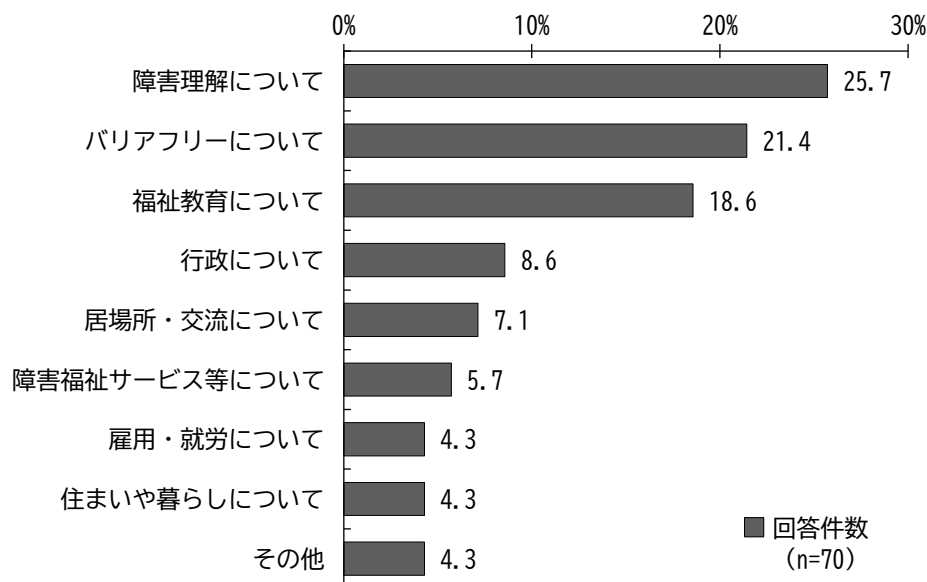
障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるために安城市が取り組んだ方がよいことは、「障害のある人が相談できる場所や支援する人などをふやす」が44.1%と最も高く、次いで「障害のある人が働きやすくする」が40.7%、「障害のある人への差別をなくす」が37.6%となっています。



4 自由意見について

安城市の障害のある人のまちづくりなどについてご意見がありましたら、ご記入ください。(自由に記入)

自由意見は70件ありました。意見内容をカテゴリ別に分類して整理すると、「障害理解について」「バリアフリーについて」の意見が多くなっています。



意見の主な内容

区分	主な意見
障害理解について	・小さい頃から交流し、理解を深める ・障害のある人のことを知ることでより良いまちになる 等
バリアフリーについて	・エレベーターや階段への手すりの設置など、障害のある人に配慮したまちづくりをしてほしい ・歩道の段差の解消や道幅の拡張をしてほしい 等
福祉教育について	・差別はゼロではないので理解を深めることが大切である ・学校などでもっと学びたい 等
行政について	・当事者の人が答えを出すまちづくりをしてほしい ・誰もが快適なまちづくりをお願いしたい 等
居場所・交流について	・相互に交流できるイベントがあるとよい ・障害について体験できる機会が身近にあるとよい 等
障害福祉サービス等について	・医療従事者や専門職が少ない ・障害のある子どもの親への支援を充実すべき 等
雇用・就労について	・障害のある人が働きやすくしてほしい ・企業などの障害者の採用枠が少なすぎる 等
住まいや暮らしについて	・障害のある人が安心して住める住居を増やしてほしい ・安城市は障害のある人を含むすべての人がすみよいまちだと思う 等

区分	主な意見
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたことがなかった ・ボランティアに参加したい <p style="text-align: right;">等</p>

安城市障害者福祉計画策定のための
アンケート
【調査結果報告書】

発行：安城市 福祉部 障害福祉課
TEL：0566-71-2225
FAX：0566-74-6789

発行年月：令和8年3月